

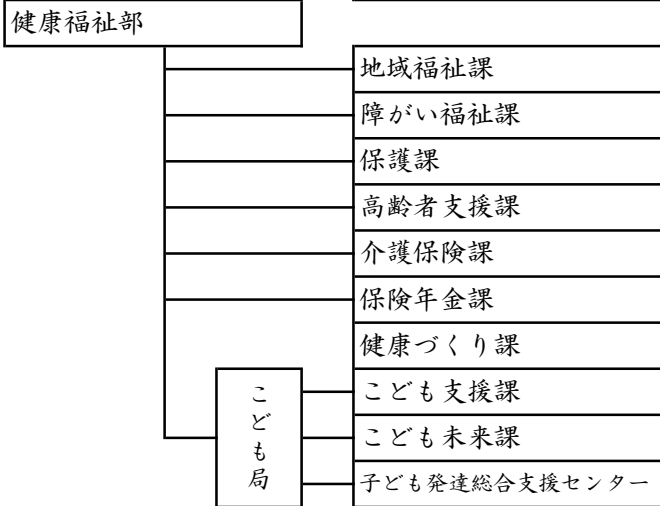
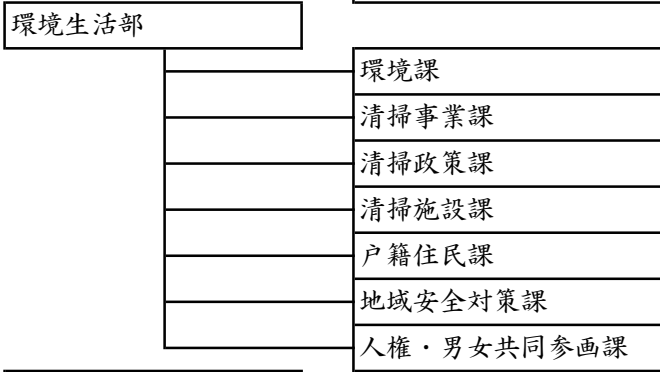
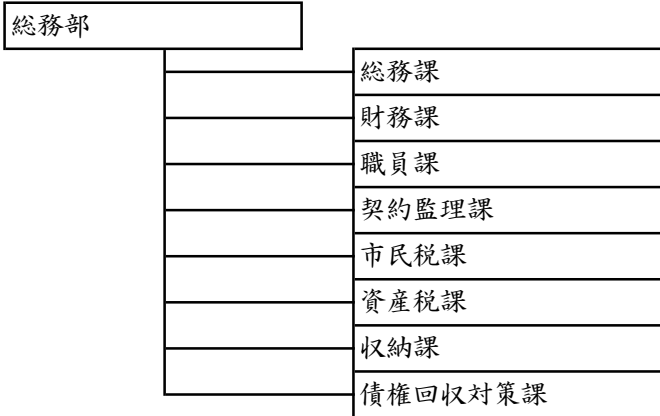
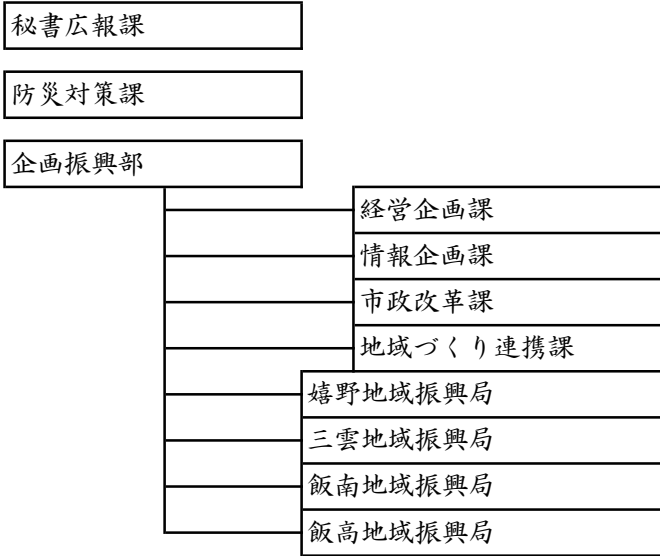
平成30年度 部局長の

「実行宣言」

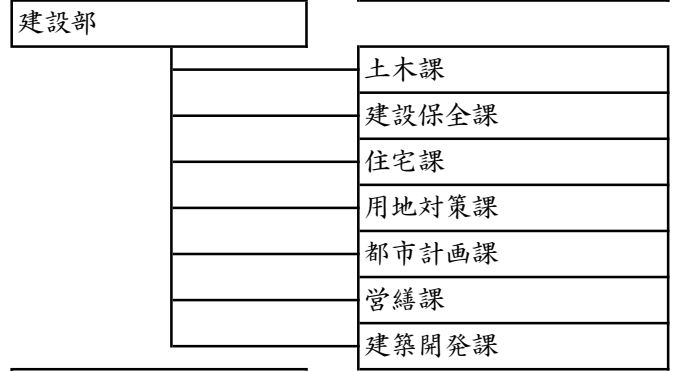
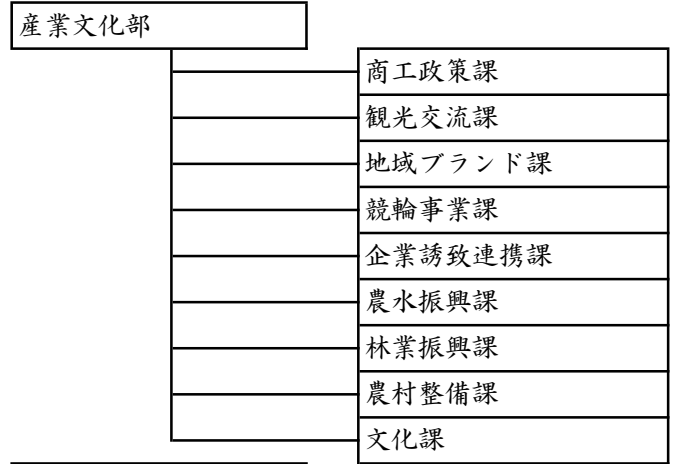


松阪市

平成30年度 松阪市行政組織 (平成30年4月1日時点)



こども局



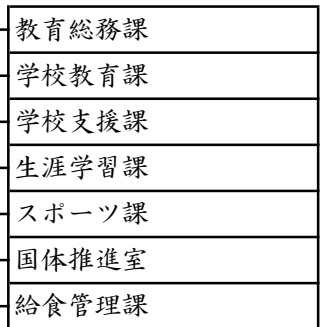
消防団事務局

会計管理課

市民病院事務部

上下水道部

教育委員会事務局



議会事務局

農業委員会事務局

監査委員事務局

選挙管理委員会事務局

ごあいさつ



市では、平成28年度に『松阪市総合計画～住みやすさ進行中！バージョンアップ松阪～（以下『総合計画』という。）』を策定し、「ここに住んで良かった・・・みんな大好き松阪市」という将来像実現に向けた7つの政策を掲げ、市民のみなさんと一緒に取り組んでいます。

政策は、共通の目標を持ったたくさんの方々の事務・事業の集合です。つまり、政策を推進するためには、個々の事務・事業を計画通り実施することが大前提となります。

しかし、事務・事業の目標が政策の方向性からずれてしまうと、どれだけ計画通り事務・事業を進めても、期待する成果を得ることはできません。

このような事態を防ぐためには、定期的に事務・事業の状況を「評価」し、成果が出ていない事務・事業については、その原因を究明し、改善していくことが重要です。

『部局長の「実行宣言」』は、年度期首に、各部局長・理事が昨年度の実績を「評価（Check）」することで、部局の課題とその原因を明らかにする仕組みであり、その後の「改善（Action）」、「計画（Plan）」、「実施（Do）」へつなげていく、「PDCAサイクル」の一環として、昨年（平成29年）度より試行を開始しました。

最大の特長は、一つひとつの事務・事業や『総合計画』関係施策に「定量的な指標」を設定し、「評価」の「客観性」を担保しているということです。また、平成29年度の実績と、平成30年度の目標を並べて掲載することで、各部局の「改善」を「見える化」しています。

『部局長の「実行宣言」』の公表にあたり、各部局には、「恐れずに課題を公表する」ことを求めました。「PDCAサイクル」の要は、「評価」によって「どれだけ課題を認識できるか」という点にあります。課題が認識できてはじめて、「改善」策を検討し、それを「計画（Plan）」に反映させることができ、効率的・効果的な事務・事業の「実施（Do）」が実現します。

「PDCAサイクル」は、繰り返していくことが重要です。常に、「誰のため、何のため」という視点を忘れず、より良い市政運営をめざしてまいります。

松阪市長 **竹上真人**

目次

| 内容 | | 頁 |
|--------------------------|-----------|--------------------------|
| ○『部局長の「実行宣言」』について | | 1 |
| ○本書の見方 | | 3 |
| 平成30年度 部局長の「実行宣言」 | | |
| 秘書広報課 | 6 | こども未来課 135 |
| 防災対策課 | 11 | 子ども発達総合支援センター 140 |
| 企画振興部 | 18 | 産業文化部 142 |
| 経営企画課 | 21 | 商工政策課 147 |
| 情報企画課 | 23 | 観光交流課 153 |
| 市政改革課 | 25 | 地域ブランド課 157 |
| 地域づくり連携課 | 28 | 競輪事業課 159 |
| 嬉野地域振興局 | 31 | 企業誘致連携課 161 |
| 三雲地域振興局 | 34 | 農水振興課 163 |
| 飯南地域振興局 | 37 | 林業振興課 171 |
| 飯高地域振興局 | 41 | 農村整備課 176 |
| 総務部 | 44 | 文化課 181 |
| 総務課 | 46 | 建設部 188 |
| 財務課 | 48 | 土木課 192 |
| 職員課 | 51 | 建設保全課 196 |
| 契約監理課 | 54 | 住宅課 199 |
| 市民税課 | 56 | 用地対策課 201 |
| 資産税課 | 58 | 都市計画課 203 |
| 収納課 | 60 | 営繕課 205 |
| 債権回収対策課 | 63 | 建築開発課 207 |
| 環境生活部 | 66 | 消防団事務局 209 |
| 環境課 | 70 | 会計管理課 215 |
| 清掃事業課 | 75 | 市民病院事務局 219 |
| 清掃政策課 | 78 | 上下水道部 223 |
| 清掃施設課 | 81 | 教育委員会事務局 230 |
| 戸籍住民課 | 83 | 教育総務課 233 |
| 地域安全対策課 | 85 | 学校教育課 238 |
| 人権・男女共同参画課 | 87 | 学校支援課 242 |
| 健康福祉部 | 90 | 生涯学習課 246 |
| 地域福祉課 | 95 | スポーツ課 250 |
| 障がい福祉課 | 102 | 国体推進室 254 |
| 保護課 | 108 | 給食管理課 256 |
| 高齢者支援課 | 110 | 議会事務局 258 |
| 介護保険課 | 115 | 農業委員会事務局 261 |
| 保険年金課 | 119 | 監査委員事務局 264 |
| 健康づくり課 | 123 | 選挙管理委員会事務局 268 |
| こども支援課 | 130 | |

『部局長の「実行宣言」』について

『部局長の「実行宣言」』は、年度期首に、部局長及び理事が、前年度の部局の実績を「評価」し、課題を明らかにし、改善につなげる仕組みです。

1. 実施目的

『部局長の「実行宣言」』には、次の2つの目的があります。

①計画的な部局マネジメントの推進

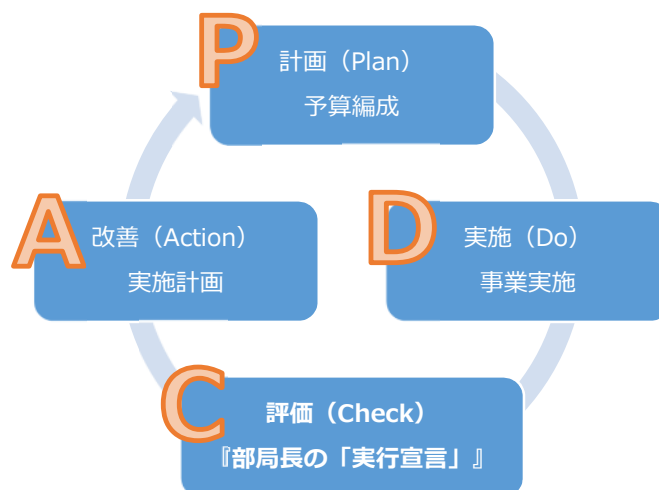
今年度の「**実行宣言（部局目標）**」や施策、事務・事業の目標を「見える化」することで、部局職員への浸透を図り、施策や事務・事業を計画的に推進する組織をめざします。

②市政PDCAサイクルによる「事務・事業の見直し」

事務・事業の成果及び『総合計画』関係施策の進捗状況を、数値等による「定量的な指標」によって「評価」することで、「事務・事業の見直し」につなげ、経営資源（ヒト・モノ・カネ・時間 等）の「選択と集中」による、効率的・効果的な市政運営をめざします。

※市政PDCAサイクルについて

市政運営における「計画（Plan）」とは「予算編成」のことです。効率的・効果的な「予算編成」を実現するために、市では、「市政運営に関するPDCAサイクル（市政PDCAサイクル）」をように下図のとおり位置付けています。



2. 構成

『部局長の「実行宣言」』は次の3つのシートで構成しています。

①部局長シート（部局長・理事が作成）

前年度の部局運営について、下記の各項目によって「評価」し、今年度の「目標」を設定します。

- ◆「実行宣言（部局目標）」
- ◆「部局マネジメント方針（経営品質向上に向けた改善目標）」
- ◆『『松阪市総合計画』関係施策の進捗度』

②課長シート（課長・地域振興局長が作成）

各課（地域振興局）が所管する事務・事業の実績等を総括し、組織として「達成できたこと」及び「達成できなかったこと」を明らかにします。

③事務・事業管理シート（課長・地域振興局長が作成）

各課（地域振興局）の事務・事業を一覧にしたシートです。

個別の事務・事業に設定した平成29年度の「活動指標」、「目標」に対する「実績」及び「評価」を明らかにするとともに、平成30年度の各事務・事業の「活動指標」、「目標」及び「方針」を示します。

※ゼロ予算事業について

市の「事務・事業」は、「予算を組んで実施するもの」というイメージがありますが、中には、市が既に保有している資産等の活用と創意工夫により、予算を組まずに実施している取組もあります。

これらの取組は、「〇〇事業」として予算に表れることはありませんが、『部局長の「実行宣言」』では、各課（地域振興局）の予算を組まずに実施する取組の中で、特に注力しているものを、「ゼロ予算事業」として「事務・事業管理シート」に表記しています。

「ゼロ予算事業」を予算事業と同じく「評価」することで、効率的・効果的な「組織マネジメント」と「事務・事業の見直し」につなげていきます。

【主なゼロ予算事業】

委員会・検討会議、出前講座、街頭啓発、庁内研修、各種イベント開催 等

本書の見方

「部局長シート」

部局長・理事による、平成29年度実績に基づく「実行宣言（部局目標）」の「評価」を記載しています。

| 平成29年度の評価 | | |
|--|----------------------|------|
| 評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下) | | |
| 宣言① | 未来につながる政策立案に努めます! | 評価 A |
| 【主な理由】 総合計画の進捗管理においては、施策評価システムの基礎は構築できたものの、事務事業レベルの活動指標が事業そのものの本質を捉えていないものがあるなどの要因により、施策単位において事務事業の「選択と集中」につながらなかったなど、次年度において更なる改善に取り組むべき課題が残されました。 他の事務事業においては当初の目標は概ね達成できたものと考えています。とりわけ、少子高齢化・人口減少時代における大きな問題である「空家等対策」については、空家等対策計画の素案にもつながる報告書の作成や市内全自治会にご協力をいただき実態調査を実施したことは、今後の「空家等対策」に大きな道筋をつけることができました。 | | |
| 宣言② | 市民と職員に役立つ情報施策を実行します! | 評価 |
| 【主な理由】 市のあらゆる業務を下支えするICTシステム | | |

部局長・理事による、平成29年度実績に基づく「部局マネジメント方針（経営品質向上に向けた改善目標）」の「評価」を記載しています。

| 部局マネジメント方針 | | | |
|-------------------|--|-------------------|----------|
| | 部の時間外勤務時間を対前年度比5%削減します。(災害・選挙対応を除く) | 評価 | E |
| | 交通事故、交通違反を起こさないよう、毎週開催する部内協議会を通じて部職員に徹底します。 | 評価 | A |
| | 部内会議及び部所属課が主催する会議はペーパーレス会議とし、他の部局への一層の普及を図ります。 | 評価 | B |
| 『松阪市総合計画』関係施策の進捗度 | | | |
| | 施策名 | 4-① 住民協議会・市民活動の推進 | 目標 (H31) |
| ① | 活動指標 | 地区住民協議会の認知度 | 45.0% |
| | 活動指標 | 地区住民協議会への参加率 | 40.0% |
| | 施策名 | 6-⑧ 中山間地域の振興 | 目標 (H31) |
| ② | 活動指標 | 空き家バンク利用登録件数(累計) | |
| | 活動指標 | 空き家バンク登録件数 | |

部局長・理事による、平成29年度末時点における、『松阪市総合計画』関係施策ごとに設定している「目標 (H31)」に対する「進捗度」の「評価」を記載しています。

【「評価」の基準について】

「部局長シート」では、上記すべての評価項目について、右表の基準により「評価」を実施しています。

| 分類 | 評価の目安 |
|----|-------------|
| A | 目標達成度90%以上 |
| B | 目標達成度70~89% |
| C | 目標達成度50~69% |
| D | 目標達成度30~49% |
| E | 目標達成度29%以下 |
| - | 評価対象外 |

「課長シート」

「課長シート」には、各課長による、平成29年度の所管事務・事業について、「達成できたこと」及び「達成できなかったこと」という視点から「総括」として記載しています。

| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | |
|-------------------------------------|---|
| 【達成できたこと】 | <ul style="list-style-type: none"> ・「行財政改革」の認知度向上に向け、係長級以下の職員を対象とする研修を4回実施しました。 ・職員の『松阪市行財政改革推進方針』に対する理解度を高める取組として、職員向けコラム（「行革ノススメ」）の発信をはじめました。 ・平成29年10月に、全職員を対象にした「『行財政改革』に関するアンケート」を実施した結果、職員の79%に、『松阪市行財政改革推進方針』が認知されていることがわかりました（回答率91.4%）。 ・「これからの松阪市行政のあり方」内検討委員会において、行政組織機構改革を実施した後の検証と継続協議事項等の検討を行いました。その中で、「空家対策」、「債権回収」、「団体」という喫緊の課題への対応を検討し、「空家対策係」、「債権管理係」、「団体推進室」を新設しました。 ・わかりやすく使いやすい窓口機能の検討については、平成29年度当初より窓口関係課によるワーキンググループを中心に協議・検討を重ね、平成29年11月1日より、戸籍住民課内に死亡時の手続きに関する包括的な案内・相談窓口「おこやみコーナー」を開設しました。 ・「実施計画」のヒアリング等の際に、『公共施設等総合管理計画』及び『個別施設計画』の進捗状況を確認し、『個別施設計画』については、適宜見直しを行いました。 ・部局を越えた横断的な施設マネジメントを進めるため、「部局横断的な施設管理」といった具体的な取組を進めています。 |

「事務・事業管理シート」

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | |
|-----|-----------|----|------|---------|-----------------|------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 |
| 1 | 行政経営推進事業費 | 一般 | 7-① | 303 | 活動指標 | | 統合 | |
| | | | | | トップマネジメント研修の理解度 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | | 評価 |
| | | | | | 90% | 81% | A | |

| | | | |
|--|-----------------------------|---------------------------------|--|
| <p>会計区分（3種類）を表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般会計 ・特別会計 ・企業会計 | <p>『松阪市総合計画』の関係施策を表します。</p> | <p>対象年度の「予算額」及び「決算額」を表します*。</p> | <p>対象年度の「活動指標」とその「目標」、「実績」、「評価」及び次年度に向けた「方針」を表します。</p> |
|--|-----------------------------|---------------------------------|--|

※予算額は、当初予算額を表示します（補正予算にて計上した事業については、最初に計上した際の補正予算額とします）。

【「評価」及び「方針」の基準について】

「事務・事業管理シート」の「評価」及び「方針」は、下表の基準により判断しています。

| 分類 | 評価の目安 | 分類 | 判断の目安 |
|----|-------------|-----------|----------------------|
| A | 目標達成度90%以上 | ↗ 拡大 | 予算、人員等を増加する方針 |
| B | 目標達成度70～89% | → | 現在の予算、人員等を維持する方針 |
| C | 目標達成度50～69% | ↘ 現状維持 | |
| D | 目標達成度30～49% | ↘ 縮小 | 予算、人員等を削減する方針 |
| E | 目標達成度29%以下 | … 定期 | 定期的に実施する方針 |
| - | 評価対象外 | ▶ 統合 | 他の事業に統合する方針 |
| | | — 終了 | 次年度に事業を終了（廃止・完了）する方針 |

平成30年度 秘書広報課の「実行宣言」

| | | |
|--------------|----------|-------|
| 作成者 (評価者) | 危機管理特命理事 | 鈴木 政博 |
|--------------|----------|-------|

| 基本方針と使命 | |
|--|--|
| <p>地域主権のもと市民が身近に感じることができる透明性の高い市役所づくりや市政運営への市民参加を促進するため、タイムリーで分かりやすい行政情報を提供するとともに、情報通信技術を活用して情報発信の多重化を図るなど、広報活動を充実します。</p> | |

| | |
|--------------------|-------------|
| 『松阪市総合計画』 との関わり | 7 市民のための市役所 |
|--------------------|-------------|

| 平成29年度の評価 | | | | |
|---|----------------------|-------------------|----------|----|
| 評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下) | | | | |
| 宣言① | 市民に分かりやすい行政情報を発信します！ | 評価 | A | |
| <p>【主な理由】</p> <p>秘書広報課については、行政情報等の迅速・確実な情報提供をより効率的に行うため、秘書部門と広報広聴部門を統合した組織であり、課題はありますが当該情報提供の部分では、その効果は発揮されていると評価します。</p> <p>松阪市の広報は、より分かりやすく伝わりやすい情報発信をめざし、松阪市の各広報媒体の改善やSNS活用の推進を図っています。</p> <p>主な情報発信媒体である「広報まつさか」、市ホームページ等では、文字・配色・デザインなどの工夫や新たな機能の追加により、より多くの方々に見ていただけるよう努めました。特に、ホームページでは、緊急時にも情報提供を安定して行うため「緊急用トップページ」に切り替える仕組みを追加するなど、市民に分かりやすく伝える工夫をしています。</p> <p>活動指標においては、平成29年度の松阪市ホームページの月平均閲覧数は約134,000件、また、出前講座においては、延7,426人の参加者と目標値に達しませんでした。実施件数では昨年からの17件増加の223件となりました。</p> <p>これらの事から宣言については、実行できたと評価します。</p> | | | | |
| 部局マネジメント方針 | | | | |
| 広報誌や広報番組、ホームページなど各種媒体を活用し、積極的に市政情報の発信に取り組みます。 | | 評価 | A | |
| ホームページのリニューアルにより、見やすく親しみを感じられるものにするるとともに、最新の情報を掲載します。 | | 評価 | B | |
| 『松阪市総合計画』関係施策の進捗度 | | | | |
| | 施策名 | 7-② 市民との情報共有 | 目標 (H31) | 評価 |
| ① | 活動指標 | 市ホームページにおける月平均閲覧数 | 100,000件 | A |
| | 活動指標 | 出前講座参加者数 | 8,300人 | B |

【部局長シート】



| 平成30年度 秘書広報課の「実行宣言」 | |
|---------------------------------------|------------------------------------|
| 宣言① | 多様な手法で行政情報を発信し、市民のみなさんの声を市政に生かします。 |
| 部局マネジメント方針 | |
| 時代に応じた情報媒体の特性を生かし、積極的に市政情報の発信に取り組みます。 | |

【課長シート】

| | | | |
|--|--------------|------------------------------------|----------|
| 組織名 | 秘書広報課 | 作成者（評価者） | 課長 浅井 嘉人 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 市民に分かりやすい行政情報を発信します！ | |
| | 平成30年度 | 多様な手法で行政情報を発信し、市民のみなさんの声を市政に生かします。 | |
| 関係する『総合計画』施策 | 7-① 計画的な行政運営 | | |
| | 7-② 市民との情報共有 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>地域主権のもと市民が身近に感じることができる透明性の高い市役所づくりや市政運営への市民参加を促進するため、タイムリーで分かりやすい行政情報を提供するとともに、情報通信技術を活用して情報発信の多重化を図るなど、広報活動を充実します。</p> | | | |

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・平成28年度末の市ホームページのリニューアルでは、目的であるアクセシビリティの向上を図るため、松阪らしさがありつつ、情報を得やすいホームページとするため、デザインを変更したり、パソコン版・スマートフォン版のデザインを統一しています。平成29年度も引き続き、より分かりやすく伝わりやすいホームページをめざし改善を行っています。

主な内容として、松阪市らしさが感じられるデザインに加え、イベントのカウントダウン機能や「広報まつさか」に掲載している「happy birthday～1歳になったよ」等を新たに掲載するなど改善を図っています。併せて、緊急時にも安定した情報提供を行うため「緊急用トップページ」への切り替えが可能となるなど、利便性等の向上を図りました。

・市民の7割が市の情報を得る「広報まつさか」では、より分かりやすく伝わりやすい広報誌をめざし、文字・配色・デザインなどを工夫し、様々な世代にも見ていただけるよう努めており、結果として三重県広報コンクールにおいて表彰されるなどの一定の評価はいただいています。

・「市長と語る会」として市長と市民が懇談できる場を市内36カ所で設け、教育環境の整備状況や松阪市の現状・将来像等の情報提供とともに、地域課題などの意見交換を行っています。

・市政バスや出前講座の利用については、市民に定着してきたため安定した利用者数が得られています。

【達成できなかったこと】

・秘書一般経費

行政需要の増大から総会やイベント等への出席依頼が集中し、二役（市長、副市長）の効率的なスケジュールの調整管理が目標に達しなかったことによるものです。

・広報広聴業務推進事業費

市全体の課題となっている事案であることから、一部局での調整協議は困難なことから目標には至らなかったものです。

秘書広報課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|---------------|----|------|---------------|---------------|--------------------------|-------|---------------|-----------|---------|---------|--------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 市長会等事業費 | 一般 | 7-① | 3,121 | / | 三重県政及び東海市長会への要望件数 | | | → 現状維持 | 2,997 | / | 三重県政及び東海市長会への要望件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 各3件 | 3件、4件 | A | | | | 各3件 | | | |
| 2 | 市政功労等顕彰事業費 | 一般 | 7-① | 187 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 198 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 市政功労者（人、団体） | | | | | | 市政功労者（人、団体） | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 8人（団体） | 9人（団体） | A | | 10人（団体） | | | | | | | |
| 3 | 秘書一般経費 | 一般 | 7-① | 4,897 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 5,008 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 調整不可の公務の割合 | | | | | | 市政等の啓発広告の掲載件数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 5% | 14% | E | | 24件 | | | | | | | |
| 4 | 広報松阪発行事業費 | 一般 | 7-② | 99,732 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 99,648 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 広報発行部数 | | | | | | 広報発行部数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 65,000部/月 | 65,000部/月 | A | | 65,000部/月 | | | | | | | |
| 5 | ホームページ管理運営事業費 | 一般 | 7-② | 4,335 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 3,741 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 情報書き込み件数 | | | | | | 情報書き込み件数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 760件 | 859件 | A | | 780件 | | | | | | | |
| 6 | 市民対話活動事業費 | 一般 | - | 1,107 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 1,107 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | ①市政バスの利用状況 ②出前講座の利用件数 | | | | | | ①市政バスの利用状況 ②出前講座の利用件数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | ①40件 ②230件 | ①54件 ②223件 | A | | ①40件 ②245件 | | | | | | | |
| 7 | 広報広聴業務推進事業費 | 一般 | - | 71,367 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 71,336 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | ①関係部局との検討会 ②連合自治会との協議 | | | | | | 回覧文書、ポスター配布依頼件数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | ①1回/月 ②3回 | ①1回 ②3回 | D | | 4回/月 | | | | | | | |
| 8 | 行政情報番組制作事業費 | 一般 | 7-② | 43,171 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 39,489 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 自主制作特集本数 | | | | | | 自主制作特集本数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 38本 | 38本 | A | | 39本 | | | | | | | |

秘書広報課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|--------|----|------|---------|---------|--------------|--------|-----------|---------|---------|--------------|--------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 9 | 広報一般経費 | 一般 | 7-② | 3,189 | / | 各部局からの情報提供件数 | | → 現状維持 | 7,427 | / | 各部局からの情報提供件数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 800件 | 1,440件 | | | | A | 1,200件 | | | |

平成30年度 防災対策課の「実行宣言」

| | | |
|--------------|--------|-------|
| 作成者 (評価者) | 防災対策課長 | 船木 精二 |
|--------------|--------|-------|

| 基本方針と使命 |
|--|
| <p>防災対策課は、防災の基本理念である「市民の生命、身体及び財産の安全確保」に基づく、「災害に強い安全なまちづくり」の実現に向け、市民・企業・行政等がそれぞれの役割を自覚し、相互の連携・協力による危機事態への適切な対策を推進するため、総合的かつ計画的に諸施策を進めます。</p> <p>特に、防災・減災の基礎となる「市民の防災意識の高揚」と「自助」、「共助」による初動体制の強化を進め、また、近年その発生が懸念される南海トラフ巨大地震や台風等の自然災害に備え「被害の未然防止と最小限化」に向けた取組を進め、『災害時の人的被害ゼロ』を防災ビジョンとして掲げ、市民とともに防災対策に努めます。</p> <p>本年度は特に、</p> <p>①津波避難困難地域の解消に向け、「松阪市津波避難計画」を策定するとともに、「関係地域とワークショップ等を開催しながら、地域特性に応じた「地区津波避難計画」の策定に取り組みます。</p> <p>②山間部地域で懸念される土砂災害からの人的被害を未然に防ぐため、ハザードマップを作成し周知を図ります。</p> <p>③市民や地域へ「自らの命は自らで守る。自らの地域はみんなで守る。」という自助・共助意識の向上に向けた取組を進めるとともに、家庭備蓄の啓発や公助として必要な「食料、飲料水、資器材等」の備蓄を計画的に進めます。</p> |

| | |
|----------------|-------------------|
| 『松阪市総合計画』との関わり | 5 安全・安心な生活（防犯・防災） |
|----------------|-------------------|

| 平成29年度の評価 | | | |
|---|--|----|---|
| 評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下) | | | |
| 宣言① | 市民・地域への積極的な防災啓発や庁内組織の防災意識向上への取組を実行します。 | 評価 | A |
| 【主な理由】 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 「松阪市地域防災計画」へ自助・共助の役割を追記してより実効性のある防災計画へ全面改定を行い、市民向け防災啓発冊子発行や津波・土砂災害ハザードマップの改定版を発行しました。 庁内全部局と連携して「災害時職員行動マニュアル」の策定を行いました。 | | | |
| 部局マネジメント方針 | | | |
| | 国、県等が開催する防災研修や情報共有会議に積極的に参加します。 | 評価 | A |
| | 月に1回職場ミーティングを開催し、職員間の意見交換や情報共有を図り、職員の防災知識の向上に取り組みます。 | 評価 | A |
| | 職場ミーティングを活用し、交通事故や違反に対する防止意識を高めます。 | 評価 | A |

【部局長シート】

| 『松阪市総合計画』関係施策の進捗度 | | | | |
|-------------------|------|--------------------|----------|----|
| ① | 施策名 | 5-④ 防災・危機管理対策の充実 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 災害に対する備えをしている市民の割合 | 50.0% | B |
| | 活動指標 | 木造住宅耐震診断の受診件数 (累計) | 2,982件 | A |
| | 活動指標 | 市の防災対策への市民満足度 | 3.00/5 | D |



| 平成30年度 防災対策課の「実行宣言」 | |
|-------------------------------------|---------------------------------|
| 宣言① | 「松阪市津波避難計画」を策定し、津波避難困難地域の解消をめざす |
| 部局マネジメント方針 | |
| 各種防災研修や情報共有会議に積極的に参加し、職員の防災知識の向上を行う | |
| 月に1回以上職場ミーティングを開催し、職員間の意見交換や情報共有を図る | |

【課長シート】

| 組織名 | 防災対策課 | | 作成者（評価者） | 課長 船木 精二 |
|--|------------------|--|----------|----------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 市民・地域への積極的な防災啓発や庁内組織の防災意識向上への取組を実行します。 | | |
| | 平成30年度 | 市民・地域への積極的な防災啓発や津波避難計画策定への取組を実行します。 | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 5-④ 防災・危機管理対策の充実 | | | |
| | 5-④ 防災・危機管理対策の充実 | | | |
| 課の基本方針と使命 | | | | |
| <p>防災対策課は、防災の基本理念である「市民の生命、身体及び財産の安全確保」に基づく、「災害に強い安全なまちづくり」の実現に向け、防災・減災の基礎となる「市民の防災意識の高揚」と「自助・共助」による初動体制の強化を進め、大地震や台風等の自然災害に備える取組や『災害時の人的被害ゼロ』を防災ビジョンに掲げ、市民・地域とともに防災対策に努めます。</p> <p>その中で平成30年度は、海岸部地域とのワークショップを開催して、地域特性に応じた『地区津波避難計画』の策定を地域や防災関係団体と協働で進め、実効性のある防災体制の確立をめざします。</p> | | | | |

| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | |
|---|--|
| 【達成できたこと】 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・市民への防災啓発に向け、担当職員の知識向上を目的に毎年1名防災士の資格取得を実施しています。 ・市防災訓練をより実効性のある実働型に切り替え、地域を主体とした避難所運営や災害対策本部では実践的図上訓練を実施しました。 ・一般木造住宅の耐震診断受診啓発においては、民間事業者への委託による戸別訪問時に耐震事業の重要性を専門的な資格者により啓発を行うことができました。 ・市民や地域の防災意識の高揚とともに防災出前講座の要請が増加し、特に新規に要請される団体が増加しました。 | |
| 【達成できなかったこと】 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・一般木造住宅に係る各種耐震施策を毎年継続して実施し、耐震診断受診件数は伸びているものの、補強工事までには至らず、また、耐震シェルター補助や家具固定事業も近年その申請が減少してきている状況です。 <p>このことから、市民の生命・財産を守るためにも、より一層市民への「自助」の取組に対する意識啓発の強化が必要です。</p> | |

防災対策課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-------------------|----|------|---------|---------|-----------------|------|----|-----------|---------|---------|--------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額(千円) | 決算額(千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額(千円) | 決算額(千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 防災一般経費 | 一般 | 5-④ | 13,769 | / | 職員の防災士資格取得 | | | → 現状維持 | 14,667 | / | 防災担当職員の防災士資格取得率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1名 | 1名 | A | | | | 70% | | | |
| 2 | 防災啓発事業費 | 一般 | 5-④ | 14,251 | / | 地域・団体への防災啓発開催回数 | | | → 現状維持 | 8,226 | / | 防災出前講座への女性参加率 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 80回 | 105回 | A | | | | 40% | | | |
| 3 | 防災訓練事業費 | 一般 | 5-④ | 1,000 | / | 防災関係機関との総合防災訓練 | | | → 現状維持 | 1,000 | / | 防災関係機関との総合防災訓練 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 1回 | | | |
| 4 | 一般木造住宅耐震診断事業費 | 一般 | 5-④ | 16,055 | / | 耐震診断の受診戸数 | | | ↗ 拡大 | 20,698 | / | 耐震診断の受診戸数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 250戸 | 300戸 | A | | | | 350戸 | | | |
| 5 | 防災設備等管理事業費 | 一般 | 5-④ | 42,569 | / | 屋外拡声子局バッテリー修繕 | | | → 現状維持 | 47,748 | / | 移動系防災行政無線の機能充実 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1式 | 1式 | A | | | | 33% | | | |
| 6 | 一般木造住宅耐震補強等事業費補助金 | 一般 | 5-④ | 26,615 | / | 耐震補強工事の補助件数 | | | ↘ 縮小 | 23,510 | / | 耐震施策（除却含む）事業の補助件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 15件 | 1件 | E | | | | 30件 | | | |
| 7 | 自主防災組織活動支援事業費 | 一般 | 5-④ | 677 | / | 防災シンポジウムの開催 | | | ↗ 拡大 | 4,618 | / | 避難行動要支援者名簿提供の同意確認率 | | | ▶ 統合 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 100% | | | |
| 8 | 防災行政無線整備事業費 | 一般 | 5-④ | 108,951 | / | カバー目標面積達成率 | | | ↗ 拡大 | 301,862 | / | カバー目標面積達成率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 83% | 83% | A | | | | 87% | | | |
| 9 | 高齢者世帯家具等転倒防止支援事業費 | 一般 | 5-④ | 1,034 | / | 家具固定実施件数 | | | ↘ 縮小 | 647 | / | 家具固定実施件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 80戸 | 20戸 | E | | | | 50世帯 | | | |

防災対策課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|---------------------|----|------|---------|---------|----------------|------|----|-----------|---------|---------|-------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 10 | 国民保護法推進事業費 | 一般 | 5-④ | 322 | / | 国民保護協議会の開催 | | | → 現状維持 | 377 | / | 国民保護協議会の開催 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 1回 | | | |
| 11 | 防災行政無線基地局舎管理事業費 | 一般 | 5-④ | 3,826 | / | カバー目標面積達成率 | | | → 現状維持 | 3,828 | / | カバー目標面積達成率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 83% | 83% | A | | | | 87% | | | |
| 12 | 防災情報・被災者台帳システム構築事業費 | 一般 | 5-④ | 318 | / | 構築先進地視察 | | | ↗ 拡大 | 41,740 | / | 防災情報・被災者台帳システムの構築 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3市 | 3市 | A | | | | 1式 | | | |
| 13 | 地域防災計画策定事業費 | 一般 | 5-④ | 26,792 | / | 職員研修会の開催 | | | ↘ 縮小 | 1,852 | / | 防災会議委員への防災情報提供 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3回 | 2回 | C | | | | 1回 | | | |
| 14 | 災害用備蓄管理事業費 | 一般 | 5-④ | 21,955 | / | 非常食の備蓄数 | | | ↗ 拡大 | 23,398 | / | 非常食の備蓄数 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 77% | 77% | A | | | | 90% | | | |
| 15 | 耐震シェルター設置事業補助金 | 一般 | 5-④ | 2,000 | / | 耐震シェルターの設置補助件数 | | | ↘ 縮小 | 800 | / | 耐震シェルターの設置補助件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 5件 | 1件 | E | | | | 2戸 | | | |
| 16 | 地域防災活動推進助成金 | 一般 | 5-④ | 2,715 | / | 助成金交付団体数 | | | ↘ 縮小 | 1,600 | / | 助成金交付団体数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 25団体 | 16団体 | C | | | | 20団体 | | | |
| 17 | 避難路沿道建築物耐震診断補助金 | 一般 | 5-④ | 6,334 | / | 耐震診断受診啓発 | | | → 現状維持 | 10,902 | / | 耐震診断受診件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3事業所 | 2事業所 | C | | | | 38% | | | |
| 18 | 避難路沿道建築物耐震改修等事業費補助金 | 一般 | 5-④ | / | / | 耐震補強設計の補助件数割合 | | | / | 2,140 | / | 耐震補強設計の補助件数割合 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | 7% | | | |

防災対策課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | |
|-----|-----------|----|------|---------|---------|------|----|--------|---------|---------|------|----------------|---------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 |
| 19 | 津波避難対策事業費 | 一般 | 5-④ | / | / | 活動指標 | | / | 9,065 | / | 活動指標 | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 地区津波避難計画の策定地区数 | |
| | | | | | | 2地区 | | | | | | 目標 | |
| 20 | 風水害対策事業費 | 一般 | - | / | / | 活動指標 | | / | 6,571 | / | 活動指標 | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 河川監視カメラの設置 | |
| | | | | | | 3河川 | | | | | | 目標 | |

防災対策課 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-----------------------|----|------|---------|---------|-----------------|----|--------|-----------|---------|------|-----------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| (1) | 防災出前講座や地域訓練への参加・支援・指導 | | 5-④ | | | 活動指標 | | | ↗ 拡大 | | | 活動指標 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 出前講座・地域訓練支援回数 | | | | | | 出前講座・地域訓練支援回数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 80回 | 105回 | A | | | | 90回 | | | | | |
| (2) | 親子防災キャンプの実施 | | 5-④ | | | 活動指標 | | | → 現状維持 | | | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 親子で参加できる防災講座の実施 | | | | | | 親子で参加できる防災講座の実施 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 30組 | 32組 | A | | | | 30組 | | | | | |

平成30年度 企画振興部の「実行宣言」

| | | |
|-------|----------|-------|
| 作成者 | 部長 | 加藤 正宏 |
| (評価者) | 地域振興担当理事 | 家城 斉和 |

基本方針と使命

企画振興部においては、平成28年度に策定した『松阪市総合計画 ～住みやすさ進行中!バージョンアップ松阪～』に基づき、市民のみなさんと一緒に、「ここに住んで良かった」と思えるまちづくりを推進していくことを使命としています。このことから松阪市の未来につながる戦略性をもった企画・調整、行財政改革、情報化の推進と本庁管内及び嬉野、三雲、飯南、飯高の4つの地域振興局管内における特色ある地域づくりを、地域連携、協働という視点でサポートしていきます。

本年度は特に、①施策評価システムによる総合計画の進捗管理、②ICTシステム及びネットワークの安全かつ正確な稼働、③「松阪市行財政改革推進方針」及び「松阪市公共施設等総合管理計画」に基づく行財政改革の取り組み、④地域主体のまちづくりを前提にした住民自治のあり方の検討と中山間地域の活性化などに取り組んでいきます。

また、平成29年4月の組織機構改革により、4つの地域振興局が企画振興部に位置づけられました。平成29年度においては、「嬉野・三雲」、「飯南・飯高」の区分で、新たに配置された地域振興担当理事(部長級)のもとそれぞれ月1回「連携会議」を開催し、地域のめざすべき姿、課題等の共有と取組の方向性について協議してきました。

今後は、「オール松阪市」の視点をより一層持ちながら、本庁と4地域振興局の連携をより強化し、それぞれの地域の特色を生かしながら松阪市の均衡ある発展をめざしていきます。

| | |
|--------------------|--------------------|
| 『松阪市総合計画』 との関わり | 4 人と地域の頑張る力(地域づくり) |
| | 6 快適な生活(生活基盤の整備) |
| | 7 市民のための市役所(行政経営) |

平成29年度の評価

評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)

| 宣言① | 未来につながる政策立案に努めます! | 評価 | A |
|---|-------------------|----|---|
| 【主な理由】 | | | |
| 総合計画の進捗管理においては、施策評価システムの基礎は構築できたものの、事務事業レベルの活動指標が事業そのものの本質を捉えていないものがあるなどの要因により、施策単位において事務事業の「選択と集中」につながらなかったなど、次年度において更なる改善に取り組むべき課題が残されました。 | | | |
| 他の事務事業においては当初の目標は概ね達成できたものと考えています。とりわけ、少子高齢化・人口減少時代における大きな問題である「空家等対策」については、空家等対策計画の素案にもつながる報告書の作成や市内全自治会にご協力をいただき実態調査を実施したことで、今後の「空家等対策」に大きな道筋をつけることができました。なお、「空家等対策」については、平成30年4月から建設部建築開発課空家対策係にて取組を進めていきます。 | | | |

【部局長シート】

| | | | |
|--|------------------------------|----|---|
| 宣言② | 市民と職員に役立つ情報施策を実行します! | 評価 | A |
| <p>【主な理由】</p> <p>市のあらゆる業務を下支えするICTシステム・ネットワークについては、若干のダウンタイムはあったものの、年間を通じて概ね安定稼働を実現することができました。また、平成26年12月に策定しました「松阪市情報化推進計画」について、時代の要請に応えるICT施策を展開していくために見直しを行い、2018年度(平成30年度)を初年度とする「松阪市情報化推進計画2018」として策定し、市民や来訪者の方々がICTによる利便性を実感でき、職員がICTによる生産性を実感できるこれからの電子自治体のあり方について示すことができました。</p> | | | |
| 宣言③ | 市職員全体の「行財政改革」に対する意識向上をめざします! | 評価 | A |
| <p>【主な理由】</p> <p>全庁的な行財政改革の指針である「松阪市行財政改革推進方針」に基づき、市政改革課として取り組むべき事項については、概ね年次計画に沿って行うことができました。特筆すべき事項としては、「これからの松阪市行政のあり方庁内検討委員会」に対して市長から諮問があった事項の内、死亡時における手続きを包括的に行う「おくやみコーナー」の設置について、庁内関係各課の調整を行い、11月に窓口設置を実現しました。このことは、今までになかった市民サービスの視点として、具体的な事例として職員の意識向上に寄与したものと考えます。</p> <p>また、この取組は、平成30年3月28日に総務省が公表した「地方公共団体における行政改革の取組」にも取り上げられ、全国に発信されるとともに、県外の複数の自治体からも、行政視察・議員視察が行われています。</p> | | | |
| 宣言④ | 地域主体の個性ある地域づくりを支援します! | 評価 | A |
| <p>【主な理由】</p> <p>地域主体のまちづくりに向け、平成29年度の各事業の目標値は概ね達成することができました。</p> <p>また、地域振興局が企画振興部の内部組織となったことについては、地域と関わりの大きい農林水産、建設部門が北部、西部2か所の直轄事務所に集約、再編されたことと合わせ、組織の二重構造の解消により権限、責任の明確化、効率化が図られるとともに、必然的に嬉野一三雲、飯南一飯高間の局間連携が必要となったことで連絡調整機能が充実するなど一定の効果がありました。</p> <p>特に西部地域においては、過疎地域活性化を考える会の立ち上げ等により、本庁、両地域振興局が一体となって実施する平成30年度の新規事業につなげることができました。</p> <p>ただ、地域住民課の業務など、依然本庁部局と権限、責任の所在が解消しきれない面もあり、引き続き局間連携を強化し、地域振興機能の充実を図っていきます。</p> | | | |
| 部局マネジメント方針 | | | |
| 部の時間外勤務時間を対前年度比5%削減します。(災害・選挙対応を除く) | | 評価 | E |
| 交通事故、交通違反を起こさないよう、毎週開催する部内協議を通じて部職員に徹底します。 | | 評価 | A |
| 部内会議及び部所属課が主催する会議はペーパーレス会議とし、他の部局への一層の普及を図ります。 | | 評価 | B |

【部局長シート】

| 『松阪市総合計画』関係施策の進捗度 | | | | |
|-------------------|------|-------------------|----------|----|
| ① | 施策名 | 4-① 住民協議会・市民活動の推進 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 地区住民協議会の認知度 | 45.0% | A |
| | 活動指標 | 地区住民協議会への参加率 | 40.0% | E |
| ② | 施策名 | 6-⑧ 中山間地域の振興 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 空き家バンク利用登録件数(累計) | 200件 | A |
| | 活動指標 | 空き家バンク物件登録軒数(累計) | 50軒 | A |
| ③ | 施策名 | 7-① 計画的な行政経営 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 総合計画の認知度 | 50.0% | E |
| ④ | 施策名 | 7-③ 健全な財政運営 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 公共施設(建物)の延床面積削減率 | 8% | E |



| 平成30年度 企画振興部の「実行宣言」 | |
|---|------------------------------|
| 宣言① | 総合計画の進捗管理を図り施策の推進に努めます! |
| 宣言② | 職場環境を改善し、市民サービスに寄与します! |
| 宣言③ | 「行財政改革」を市職員全体に浸透させる取組を推進します! |
| 宣言④ | 地域主体の個性ある地域づくりを支援します! |
| 部局マネジメント方針 | |
| 交通事故、交通違反を起こさないよう、毎週開催する部内協議等、機会を捉えて部職員に周知徹底します。 | |
| 職員の時間外勤務については、個々の職員の健康管理に留意し、係単位や課単位などで効率的・効果的な実施体制に努めます。 | |
| 事務事業の内容や地域情報などについては、市長記者会見や広報誌、SNSなど様々な媒体を活用し、市民のみなさんにわかりやすい形で情報発信していきます。 | |

【課長シート】

| | | | |
|---|--------------|-------------------------|----------|
| 組織名 | 経営企画課 | 作成者（評価者） | 課長 刀根 和宜 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 未来につながる政策立案に努めます！ | |
| | 平成30年度 | 総合計画の進捗管理を回り施策の推進に努めます！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | 7-① 計画的な行政運営 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>経営企画課は、重要施策の企画及び総合調整を担う課として、引き続き、松阪市総合計画に掲げる各施策を始め、部局を横断する様々な施策について、着実に推進できるよう調整を図ります。特に、市民意識調査などにより社会環境や市民ニーズを的確に把握するとともに、施策評価システムの本格実施により、総合計画の進捗管理を図りつつ効果的な事業の推進に努めていきます。</p> <p>また、国勢調査や経済センサスなど統計法に基づく各種基幹統計調査を実施するほか、人口動態をはじめ各種統計結果をとりまとめ、ホームページなどでわかりやすく情報提供するとともに、新たな政策形成に向けた統計情報の分析と活用を進めていきます。</p> | | | |

| |
|--|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内関係部局14人による空家等対策プロジェクトチームの事務局として、市内全域における空家実態調査を実施し、空家情報のデータベース化に取り組みました。また今後、本市の空家等対策を展開していく中で、その想定される事務量等から空家対策を専属で担当する係として、建築開発課内に「空家対策係」を新設することができました。 ・ 市民3,000人を対象に市民意識調査を7月に実施し、政策や行政サービスに対する市民ニーズ等を調査しました。有効回収率は44.3%でした。 ・ 若者の市政への参画意欲の向上と若者の発想力を市政に生かすことなどを目的に、16歳から39歳までを対象として「まつさか若者クラブ」を開催し、11月には市長への提案発表を行いました。提案の内容は、松阪の新たな魅力づくりなど多岐にわたる内容で、特に「松阪木綿で旅する松阪市」の提案を受けて、12月より松阪もめんの着物を着た方は、対象の文化施設に無料で入館していただけるようになりました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合計画の進捗管理ツールとして「施策評価システム」を構築し、平成29年度では試行結果についての検証を行いました。特に、施策を構成する事務事業の「選択と集中」という視点において更なるブラッシュアップが必要であることから、平成30年度においては指標の見直し等の改善を加え、より信頼度の高い評価システムを構築していきます。 |

経営企画課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|----------------|----|------|---------|---------|--|-------|--------|-----------|---------|---------|--|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 定住自立圏構想推進事業費 | 一般 | 7-① | 255 | | 定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催回数 | | | → 現状維持 | 245 | | 具体的取組の平均進捗率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 1回 | C | | | | 60% | | | |
| 2 | 松阪市政推進会議事業費 | 一般 | 7-① | 583 | | 松阪市政推進会議の開催回数 | | | → 現状維持 | 718 | | 市政に対する提案の実行数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 4回 | 3回 | B | | | | 1件 | | | |
| 3 | 総合計画策定事業費 | 一般 | 7-① | 4,257 | | 基本計画の進捗を管理する評価システムの評価対象事業数 | | | → 現状維持 | 4,172 | | 基本計画の進捗を管理する評価結果の公表回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 440事業 | 711事業 | A | | | | 1回 | | | |
| 4 | 若者チャレンジ松阪創造事業費 | 一般 | 7-① | 1,018 | | 討議回数 | | | → 現状維持 | 757 | | 会合の参加率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 4回 | 4回 | A | | | | 80% | | | |
| 5 | 企画一般経費 | 一般 | 7-① | 1,039 | | 研修会等への参加回数 | | | → 現状維持 | 1,064 | | 研修会等への参加回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 7回 | A | | | | 5回 | | | |
| 6 | 統計調査一般経費 | 一般 | 7-① | 913 | | 基幹統計調査結果に基づく松阪市版集計結果及び解説のホームページ上での公表回数 | | | → 現状維持 | 839 | | 基幹統計調査結果に基づく松阪市版集計結果及び解説のホームページ上での公表回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 4回 | | | |
| 7 | 各種基幹統計調査事業費 | 一般 | 7-① | 5,670 | | 基幹統計調査結果に基づく松阪市版集計結果及び解説のホームページ上での公表回数 | | | → 現状維持 | 11,308 | | 調査員の登録数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 155人 | | | |

【課長シート】

| | | | |
|---|--------------|-----------------------|---------|
| 組織名 | 情報企画課 | 作成者（評価者） | 課長 田中 靖 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 市民と職員に役立つ情報施策を実行します！ | |
| | 平成30年度 | 職場環境を改善し、市民サービスに寄与します | |
| 関係する『総合計画』施策 | 7-① 計画的な行政運営 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>情報通信技術は市民に提供している様々なサービスを支えると共に、限られたリソースの下で市の業務を遂行する役割を担っており、これらの基となるシステム及びネットワークを安全かつ正確に稼働させることが求められています。</p> <p>上記の業務を確実に履行していくためには、市の情報やネットワークが安全に保たれている環境を提供しなければなりません。この中には、市が保有する情報を確実に守るだけでなく、考えられる脅威からのリスクの極小化に努めることも含まれます。</p> | | | |

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

- ・ 職員用PCの調達に当たっては、計画を前倒しし、2 in 1 タブレットタイプのPCを導入しました。
- ・ 各種システムのダウンタイムをおよそ21時間に留めました。
- ・ 利便性の高い市民サービスの提供や、庁内業務の一層の効率化を目指した情報化推進計画2018を策定しました。
- ・ マイナンバー関連システムを2件改修しました。
- ・ セキュリティ研修を延べ10回開催し、813名の職員が参加しました。
- ・ 組織機構に加えて部署の配置も見直しされたことから、配置計画を適正に見直した結果、高性能複合機を12台導入しました。
- ・ セミナー、研修会等に、延42回参加しました。

【達成できなかったこと】

- ・ なし

情報企画課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|---------------------|----|------|----------|----------|----------------------|------|----|-----------|----------|----------|----------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 庁内OA化推進事業費 | 一般 | 7-① | 59,043 | / | 職員用パソコンの導入 | | | → 現状維持 | 67,341 | / | 職員用パソコンの導入 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 50台 | 50台 | A | | | | 200台 | | | |
| 2 | システム管理事業費 | 一般 | 7-① | 212,168 | / | システムダウンタイム | | | → 現状維持 | 207,030 | / | システムダウンタイム | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | ゼロ | 21時間 | A | | | | ゼロ | | | |
| 3 | 庁内ネットワーク管理事業費 | 一般 | 7-① | 198,829 | / | システムダウンタイム | | | → 現状維持 | 217,149 | / | システムダウンタイム | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | ゼロ | 21時間 | A | | | | ゼロ | | | |
| 4 | 庁内ネットワーク構築事業費 | 一般 | - | 7,446 | / | システムダウンタイム | | | ... 定期 | 0 | / | - | | | ... 定期 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | ゼロ | 21時間 | A | | | | - | - | - | |
| 5 | 情報化推進事業費 | 一般 | - | 719 | / | 情報化推進計画の策定 | | | → 現状維持 | 714 | / | 情報化推進委員会等の開催 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1件 | 1件 | A | | | | 5回 | | | |
| 6 | 社会保障・税番号制度システム改修事業費 | 一般 | 7-① | 8,624 | / | システムの改修 | | | → 現状維持 | 20,643 | / | システムの改修 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1件 | 1件 | A | | | | 2件 | | | |
| 7 | ICTガバナンス推進事業費 | 一般 | 7-① | 7,075 | / | セキュリティ研修の開催回数 (延べ) | | | → 現状維持 | 0 | / | セキュリティ研修の開催回数 (延べ) | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 10回 | 10回 | A | | | | 7回 | | | |
| 8 | プリンタ等統合事業費 | 一般 | 7-① | 10,354 | / | 高機能複合機等の導入 | | | → 現状維持 | 2,492 | / | 高機能複合機等の保守 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 16台 | 12台 | A | | | | 22台 | | | |
| 9 | IT推進一般経費 | 一般 | 7-① | 5,329 | / | セミナー、研修会等への参加回数 (延べ) | | | → 現状維持 | 3,011 | / | セミナー、研修会等への参加回数 (延べ) | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 20回 | 42回 | A | | | | 40回 | | | |

【課長シート】

| | | | | |
|---|---------------------|--------------------------------------|-----------------|-----------------|
| 組織名 | 市政改革課 | | 作成者（評価者） | 課長 中林 穰太 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | ③市職員全体の「行財政改革」に対する意識向上をめざします！ | | |
| | 平成30年度 | 「行財政改革」を市職員全体に浸透させる取組を推進します！ | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 7-① 計画的な行政運営 | | | |
| | 7-③ 健全な財政運営 | | | |
| 課の基本方針と使命 | | | | |
| <p>市政改革課は、少子高齢化や人口減少、公共施設の老朽化など、市が直面する様々な課題に対応し、市民ニーズに沿った質の高いサービス提供を実現するために、「行財政改革」の手法を職員一人ひとりに浸透させ、市の事業や施設の「選択と集中」を推進しています。</p> <p>同時に、市の「行財政改革」の考え方を示した『松阪市行財政改革推進方針』と市の保有する施設の今後の方向性を定めた『松阪市公共施設等総合管理計画』等に基づき、全庁的な「行財政改革」取組の進捗管理に努めます。</p> | | | | |

| |
|--|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「行財政改革」の認知度向上に向け、係長級以下の職員を対象とする研修を4回実施しました。 ・職員の『松阪市行財政改革推進方針』に対する理解度を高める取組として、職員向けコラム（「行革ノスゝメ」）の発信をはじめました。 ・平成29年10月に、全職員を対象にした「『行財政改革』に関するアンケート」を実施した結果、職員の79%に、『松阪市行財政改革推進方針』が認知されていることがわかりました（回答率91.4%）。 ・「これからの松阪市行政のあり方庁内検討委員会」において、行政組織機構改革を実施した後の検証と継続協議事項等の検討を行いました。その中で、「空家等対策」、「債権回収」、「国体」という喫緊の課題への対応を検討し、「空家対策係」、「債権管理係」、「国体推進室」を新設しました。 ・わかりやすく使いやすい窓口機能の検討については、平成29年度当初より窓口関係課によるワーキンググループを中心に協議・検討を重ね、平成29年11月1日より、戸籍住民課内に死亡時の手続きに関する包括的な案内・相談窓口「おこやみコーナー」を開設しました。 ・「実施計画」のヒアリング等の際に、『公共施設等総合管理計画』及び『個別施設計画』の進捗状況を確認し、『個別施設計画』については、適宜見直しを行いました。 ・部局を越えた横断的な施設マネジメントを進めるため、関係所管課等による個別施設の検討会議を開催し、施設の統合や民間移譲といった具体的なマネジメント手法について協議しました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後40年間の更新費用の推計から「公共施設等総合管理計画」において40年後の施設の延床面積の削減率を40%以上と掲げていますが、現行の削減率は、目標数値と大きくかい離していることから、今後の取組の強化が必要となっています。 |

市政改革課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-----------------|----|------|---------|---------|--|----|--------|-----------|---------|---------|--------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 行政経営推進事業費 | 一般 | 7-① | 303 | / | 活動指標 | | | → 統合 | 0 | / | 活動指標 | | | — 終了 |
| | | | | | | トップマネジメント研修の理解度 | | | | | | ※「行財政改革推進事業費」へ統合 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 90% | 81% | A | | | | - | - | - | | | |
| 2 | 行財政改革推進事業費 | 一般 | 7-① | 732 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 1,014 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | ①『松阪市行財政改革推進方針』の認知度 ②「行財政改革」に関する職員研修の実施 | | | | | | 『行財政改革推進方針』の達成度 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | ①80% | ①79% | A | | | 80% | | | | | | |
| | | | | ②4回 | ②4回 | | | | | | | | | | |
| 3 | 公共施設マネジメント推進事業費 | 一般 | 7-③ | 1,791 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 1,607 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 個別施設検討会議の開催回数 | | | | | | 基金を活用した施設の除却・集約化件数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 12回 | 25回 | A | | | 3件 | | | | | | |

市政改革課 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-------------------------|----|------|----------|----------|--------------------|------|-----------|----------|----------|--------------------|-----|-----------|----|----|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | 方針 | | |
| (1) | 「市民のための市役所」に向けた組織のあり方検討 | | 7-① | | | 全庁的な組織課題の解決数 | | → 現状維持 | | | 全庁的な組織課題の解決数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 4件 | 4件 | | | | A | 3件 | | | |
| (2) | 「民間活力の導入」の推進 | | 7-① | | | 指定管理者制度導入施設数 | | ↗ 拡大 | | | 新規民間活力導入事業数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 29施設 | 29施設 | | | | A | 3件 | | | |
| (3) | 「行政経営品質」改善活動の推進 | | 7-① | | | 各部局の「マネジメント方針」達成度 | | → 現状維持 | | | 各部局の「マネジメント方針」達成度 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 80% | 70% | | | | B | 80% | | | |
| (4) | 有料広告事業の推進 | | 7-① | | | 広告審査委員会審査案件数 | | → 現状維持 | | | 広告審査委員会媒体数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 12件 | 15件 | | | | A | 13件 | | | |
| (5) | 「公共施設マネジメント」に関する職員研修の実施 | | 7-③ | | | 公共施設マネジメント職員研修の理解度 | | → 現状維持 | | | 公共施設マネジメント職員研修の理解度 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 80% | 85% | | | | A | 80% | | | |
| (6) | 施設カルテの更新・公表 | | 7-③ | | | 施設カルテの更新・公表回数 | | → 現状維持 | | | 施設カルテの更新・公表回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 1回 | 1回 | | | | A | 1回 | | | |

【課長シート】

| | | | |
|--|--------------------------|------------------------------|------------------|
| 組織名 | 地域づくり連携課 | 作成者（評価者） | 課長 村林 由美子 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 地域主体の個性ある地域づくりを支援します！ | |
| | 平成30年度 | 地域主体の個性ある地域づくりを支援します！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | 4－① 住民協議会・市民活動の推進 | | |
| | 6－⑧ 中山間地域の振興 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>地域づくり連携課は、人口減少や少子高齢化、多様なライフスタイルや家族形態の様変わり等、社会環境や意識の変化によって、地域コミュニティの力が弱まってきている中、地域が地域資源を活用し、創意工夫をもって「やりくり(経営)」していく「地域マネジメント」の考え方にに基づき、地域主体のまちづくりを推進しています。そのために、住民協議会をはじめ、自治会等の地縁の組織や市民活動団体、企業等と行政が協働・連携のまちづくりを進めていきます。</p> | | | |

| |
|--|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と行政が協働するまちづくりに適したルールづくりと人的(市職員のサポート)・財政的支援体制の確立を図りました。地域の元気応援事業について、前年度に応募・審査・採択を行い年度当初から事業実施できるように変更するとともに採択の枠数も増やしました。 ・平成29年度から3年間において地区市民センター(徳和を除く20施設)のトイレを男女別に改修し、環境改善に努めています。平成29年度は改修設計19館、改修工事4館を行いました。 ・地域の特性を生かし、地域(住民協議会、自治会等)と連携し、地域を元気にしたいという思いを持った地域づくり活動に取り組む団体の発掘、育成、応援、サポートを行いました。 ・松阪市へのUターン、Iターンを含む地方に住みたいと考える方々への移住先として松阪市を選定していただくよう都市部で開催される移住フェアへ参加して、情報発信や他市の動向や移住希望者の意向など情報収集を行いました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし |

地域づくり連携課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|----------------------|----|------|----------|----------|-------------------------|-------|----|-----------|----------|----------|-------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 松阪市自治会連合会補助金 | 一般 | 4-① | 6,500 | / | 年間事業計画の実施率 | | | → 現状維持 | 6,500 | / | 年間事業計画の実施率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 2 | 地域マネジメント推進事業費 | 一般 | 4-① | 1,856 | / | 講演会の開催数 | | | → 現状維持 | 1,746 | / | 講演会の開催数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 3回 | A | | | | 3回 | | | |
| 3 | 地区集会所建設補助金 | 一般 | 4-① | 35,000 | / | 制度の告知に向けた通知の実施 | | | → 現状維持 | 25,000 | / | 補助メニューに対する満足度 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 年1回 | 年1回 | A | | | | 80% | | | |
| 4 | 住民協議会活動交付金 | 一般 | 4-① | 80,592 | / | 事務局体制の確立に向けた設置数 | | | → 現状維持 | 81,892 | / | 地域計画策定数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 43協議会 | 43協議会 | A | | | | 43計画 | | | |
| 5 | 地域の元気応援事業市民活動サポート補助金 | 一般 | 6-⑧ | 1,000 | / | げんきアップ松阪への登録数 | | | → 現状維持 | 1,000 | / | げんきアップ松阪への登録数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 21団体 | 36団体 | A | | | | 40団体 | | | |
| 6 | 市民活動センター管理運営事業費 | 一般 | 4-① | 32,520 | / | 市民活動センターの登録団体の増に向けたPR回数 | | | → 現状維持 | 34,060 | / | 市民活動センターの登録団体の増に向けたPR回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 12回 | 12回 | A | | | | 12回 | | | |
| 7 | 市民活動センター施設整備事業費 | 一般 | 4-① | 1,175 | / | 老朽設備の改修実施 | | | → 現状維持 | 1,070 | / | 老朽設備の改修実施 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2か所 | 2か所 | A | | | | 1か所 | | | |
| 8 | 指定管理者選定委員会事業費 | 一般 | - | 95 | / | 指定管理者選定委員会の開催 | | | … 定期 | 0 | / | - | | | … 定期 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 年2回 | 年2回 | A | | | | - | - | - | |
| 9 | 地域づくり連携一般経費 | 一般 | 4-① | 2,463 | / | コミュニティ助成事業のPRの実施 | | | → 現状維持 | 2,415 | / | コミュニティ助成事業のPRの実施 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 年1回 | 年1回 | A | | | | 年1回 | | | |

地域づくり連携課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-----------------|----|------|---------|---------|---------------------|-----|--------|-----------|---------|---------|------------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 10 | コミュニティ助成事業補助金 | 一般 | - | 6,900 | / | コミュニティ助成事業のPRの実施 | | | → 現状維持 | 22,500 | / | コミュニティ助成事業のPRの実施 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 年1回 | 年1回 | A | | | | 年1回 | | | |
| 11 | 地域づくり団体サポート事業費 | 一般 | - | 1,540 | / | 活動指標 | | | ▶ 統合 | 0 | / | 活動指標 | | | — 終了 |
| | | | | | | 広報によるPRの実施 | | | | | | ※「市民活動センター管理運営事業費」に統合 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 年4回 | 年4回 | A | - | - | - | | | | | | |
| 12 | 移住促進事業費 | 一般 | 6-⑧ | 887 | / | 活動指標 | | | ▶ 統合 | 0 | / | 活動指標 | | | — 終了 |
| | | | | | | 都市部で開催される移住フェアへの出展 | | | | | | ※飯南地域振興局の「田舎暮らし交流移住促進事業費」に統合 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 年1回 | 年4回 | A | - | - | - | | | | | | |
| 13 | 地区市民センター管理運営事業費 | 一般 | 4-① | 79,028 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 83,213 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 地区市民センター利用PRの実施 | | | | | | 地区市民センター利用PRの実施 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 年2回 | 年2回 | A | 年2回 | | | | | | | | |
| 14 | 地区市民センター施設整備事業費 | 一般 | 4-① | 83,940 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 62,000 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 地区市民センターのトイレ改修工事の実施 | | | | | | 地区市民センターのトイレ改修工事の実施 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 4施設 | 4施設 | A | 5施設 | | | | | | | | |

【課長シート】

| | | | | |
|---|--------------------------|------------------------------|-----------------|-----------------|
| 組織名 | 嬉野地域振興局 | | 作成者（評価者） | 局長 竹内 史郎 |
| 関係する「実行宣言」 | 平成29年度 | 地域主体の個性ある地域づくりを支援します！ | | |
| | 平成30年度 | 地域主体の個性ある地域づくりを支援します！ | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 4－① 住民協議会・市民活動の推進 | | | |
| | 6－⑧ 中山間地域の振興 | | | |
| 課の基本方針と使命 | | | | |
| <p>嬉野地域振興局は、六つの住民協議会の「地域計画」実現に向け、重点項目の確認を行い、各課、事務所が地域の掲げる諸問題に対し、協議会、社会福祉協議会と一体になって取組を進めていきます。</p> <p>地域の抱える問題としては、嬉野宇気郷地域や中郷地域の中山間地域では高齢化による人口減少や獣害対策、中川地域では都市化に伴うコミュニティ機能の脆弱化等が挙げられ、全体的には安全・安心のまちづくりが課題となっており、優先順位、実施時期を見直し計画の実現をめざします。</p> <p>また、今年度からは嬉野管内中山間地域にも適用されることとなった空き家バンク事業を活用することで、移住者の受け入れについても推進していきます。</p> <p>一方、職員に対しては接遇研修を通して利用者へのサービス向上に努めるとともに、交通安全研修を行うことで安全運転を徹底を図ります。</p> | | | | |
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「嬉野地域振興局管理運営事業費」…市民サービスの向上を検討する嬉野三雲連携会議を毎月1回、年12回を予定し11回実施。概ね目標を達成できました。 ・「中山間地域活性化事業補助金」…嬉野、飯南、飯高の3振興局で実施しました。イベント参加者数は平成28年度の8,646人が平成29年度は10,896人と2,250人の増加、前年度比26%の増加となり、目標を達成しました。 ・「中郷生活改善センター解体事業費」…遅滞なく発注業務を行うことで、目標どおり8月末日までに解体作業を完了することができました。 | | | | |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域活性化事業費」…4振興局のイベント(7事業)参加者数が天候等の影響もあり、平成29年度の参加者数は31,159人とどまり、平成28年度28,900人から約8%の増となり、目標の10%を達成することができませんでした。 ・「地域づくり支援事業補助金」…嬉野、三雲、飯南の3振興局で実施しました。イベント(9事業)参加者数は平成28年度の3,230人から平成29年度は2,756人へと474人の減少、前年度比15%の減少となり、目標の10%増を達成できませんでした。なお、当補助金は平成30年度をもって廃止します。 ・「中川新町交流センター管理運営事業費」…平成29年度は平成28年度支出額の10%減を目標額としましたが、予期せぬ空調機器の温度センサー交換、壁修繕があり達成することができませんでした。 | | | | |

嬉野地域振興局 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|---------------------|----|------------|----------|----------|-----------------------------|-------|----|-----------|----------|----------|-----------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 嬉野地域振興局管理運営事業費 | 一般 | - | 35,908 | / | 市民サービスの向上を検討する嬉野三雲連携会議の開催回数 | | | → 現状維持 | 36,096 | / | 市民サービスの向上を検討する嬉野三雲連携会議の開催回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 12回 | 11回 | A | | | | 12回 | | | |
| 2 | 地域づくり支援事業補助金 | 一般 | 4-① | 1,920 | / | イベント参加者の増加率（平成28年度対比） | | | ↘ 縮小 | 1,170 | / | イベント参加者数(4事業) | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 10% | △22% | B | | | | 2,000人 | | | |
| 3 | 地域活性化事業費 | 一般 | 4-① | 13,050 | / | イベント参加者の増加率（平成28年度対比） | | | → 現状維持 | 13,150 | / | イベント参加者数(9事業) | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 10% | △2% | A | | | | 32,000人 | | | |
| 4 | 中山間地域活性化事業補助金 | 一般 | 4-① 6-⑧ | 8,350 | / | イベント参加者の増加率（平成28年度対比） | | | → 現状維持 | 8,600 | / | イベント参加者数(15事業) | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 10% | 26% | A | | | | 12,000人 | | | |
| 5 | 中郷生活改善センター解体事業費 | 一般 | - | 7,078 | / | 解体作業進捗率（8月末完了予定） | | | — 終了 | 0 | / | - | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 8月末完了 | 8月末完了 | A | | | | - | - | - | |
| 6 | 中川新町地域交流センター管理運営事業費 | 一般 | - | 5,323 | / | 管理運営費の削減率（平成28年度対比） | | | → 現状維持 | 5,337 | / | 交流センター利用者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 10% | 8% | B | | | | 20,000人 | | | |
| 7 | 地域集会所管理事業費 | 一般 | - | 80 | / | 乙栗子集会所雨漏り修繕(3月補正) | | | … 定期 | 249 | / | 赤桶集会所小便器修繕進捗率(6月完了) | | | … 定期 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | 100% | | | | | 100% | | | |

嬉野地域振興局 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|--------------------------|----|------|----------|----------|---------------------------|-----------------|----|-----------|----------|-----------------|-----------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| (1) | 公共施設等総合管理計画に基づく地域集会所の整理 | | - | | | 地域集会所の譲渡にむけた地域との調整回数 | | | *** 定期 | | | 自治会等への譲渡数 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 11カ所 | 9カ所 | B | | | | 2カ所 | | | |
| (2) | うれしのを美しくする運動(ごみゼロ運動)の活性化 | | - | | | 活動指標 | | | ↗ 拡大 | | | 活動指標 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 参加者数 | | | | | | 参加者数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 7,000人 | 7,300人 | A | | | | 7,300人 | | | |
| (3) | おどろまいか事業の活性化 | | - | | | 活動指標 | | | → 現状維持 | | | 活動指標 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | ①出演団体数 ②来場者数の増 | | | | | | ①出演団体数 ②来場者数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | ①20チーム ②700人 | ①16チーム ②680人 | B | | | ①20チーム ②700人 | | | | |
| (4) | 移住促進の取組 | | - | | | 活動指標 | | | ↗ 拡大 | | | 活動指標 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | ①地元説明の実施回数 ②対象家屋調査の実施率 | | | | | | 空き家バンクへの登録件数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | ①5回 ②100% | ①5回 ②100% | A | | | 10軒 | | | | |
| (5) | 三雲地域振興局との情報共有と連携の推進 | | - | | | 活動指標 | | | → 現状維持 | | | 活動指標 | | | *** 定期 |
| | | | | | | 連携会議開催回数 | | | | | | 連携会議開催回数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 12回 | 11回 | A | | | 12回 | | | | |
| (6) | 嬉野管内独自の広報誌「うれし伝」の発行 | | - | | | 活動指標 | | | → 現状維持 | | | 活動指標 | | | *** 定期 |
| | | | | | | 広報誌発行回数 | | | | | | 広報誌発行回数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 12回 | 12回 | A | | | 12回 | | | | |

【課長シート】

| | | | | |
|---|--------------------------|------------------------------|-----------------|-----------------|
| 組織名 | 三雲地域振興局 | | 作成者（評価者） | 局長 石川 圭一 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 地域主体の個性ある地域づくりを支援します！ | | |
| | 平成30年度 | 地域主体の個性ある地域づくりを支援します！ | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 4-① 住民協議会・市民活動の推進 | | | |
| 課の基本方針と使命 | | | | |
| <p>三雲地域振興局は、三雲管内の地域づくりを担い、同時に地域活動の中核と位置づけられる組織です。地域振興としては、「武四郎まつり」をはじめ、4つの住民協議会や自治会、市民団体と協力しながら地域の特性を生かし活性化を図っていきます。また、庁舎の維持管理、事務の効率化を図り経費削減に取り組んでいきます。</p> | | | | |

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

- ・ 市民サービス向上を検討する嬉野三雲連携会議を11回実施し、災害対策や連携のまつりなどについて会議を行いました。
- ・ 旧天白住宅解体を行い、跡地においては地元自治会において防災倉庫等の設置を行いました。
- ・ 三雲管内独自の振興局だより「みくも」を年12回発行し様々な行事の紹介、地域の活動紹介など定期的に情報発信を行いました。
- ・ 住民協議会や自治会、消防団等の行事、会議に参加し連携を図りました。
- ・ 地域活性化事業として「武四郎まつり」、「鵲七夕まつり」、「みくもの七夕笹かざり」を開催し地域の活性化を図りました。

【達成できなかったこと】

- ・ 庁舎や公用車の光熱水費及び燃料費の削減目標を15%としましたが、去年は災害対応等もあり前年比で2%削減に留まりました。

三雲地域振興局 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|----------------|----|------|---------|---------|------------------|------|-----------|---------|---------|----------------------------|-----|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 1 | 三雲地域振興局管理運営事業費 | 一般 | 7-① | 28,426 | / | ①光熱水費及び燃料費の削減 | | → 現状維持 | 26,507 | / | 市民サービス向上を検討する嬉野三雲連携会議の開催回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | ①15% | 2% | | | | C | 12回 | | | |
| | | | | | | ②12回 | 11回 | | | | | | | | |
| 2 | 旧天白住宅解体事業費 | 一般 | - | 2,052 | / | 解体作業進捗率（9月未完了予定） | | — 終了 | 0 | / | - | | — 終了 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 100% | 100% | | | | A | - | | - | - |

三雲地域振興局 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | |
|-----|---------------------------------|----|------|----------|----------|--------------------------|-------------|-----------|----------|----------|--------------------------|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | 方針 |
| (1) | 三雲管内独自の振興局だより「みくも」の発行 | | - | / | / | 活動指標 | | → 現状維持 | / | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | 月1回の発行 | | | | | 月1回の発行 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| | | | | | | 12回 | 12回 | A | | | 12回 | | |
| (2) | 各地域の団体（住民協議会、自治会、消防団等）との連携・協力体制 | | - | / | / | 活動指標 | | → 現状維持 | / | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | 各団体との連携のための会議等への出席 | | | | | 各団体との連携のための会議等への出席 | | |
| | | | | | | ①自治会・消防団 ②住民協議会・その他団体 | | | | | ①自治会・消防団 ②住民協議会・その他団体 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | | |
| | | | | | | ①12回 ②6回 | ①17回 ②8回 | A | | | ①12回 ②6回 | | |
| (3) | 「武四郎まつり」等地域活性化事業の開催 | | - | / | / | 活動指標 | | ↗ 拡大 | / | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | 武四郎まつりの参加者数 | | | | | 武四郎まつりの参加者数 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| | | | | | | 6,000人以上 | 6,400人 | A | | | 6,500人以上 | | |
| (4) | 嬉野地域振興局との情報共有と連携の推進 | | - | / | / | 活動指標 | | → 現状維持 | / | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | 連携の打合せ回数 | | | | | 連携の打合せ回数 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| | | | | | | 12回 | 11回 | A | | | 12回 | | |

【課長シート】

| | | | | |
|--|--------------------------|------------------------------|-----------------|-----------------|
| 組織名 | 飯南地域振興局 | | 作成者（評価者） | 局長 野呂 隆生 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 地域主体の個性ある地域づくりを支援します！ | | |
| | 平成30年度 | 地域主体の個性ある地域づくりを支援します！ | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 4－① 住民協議会・市民活動の推進 | | | |
| | 6－⑧ 中山間地域の振興 | | | |
| 課の基本方針と使命 | | | | |
| <p>飯南地域振興局は住民サービスと防災の拠点であり、飯高地域振興局及び西部建設事務所、西部農林水産事務所、西部教育事務所との情報共有を図り、事務の効率化や課題の解決のための各種の事業に取り組んでいます。飯南管内は、合併後10年で人口が1,000人以上減少するなど、過疎化や少子高齢化が急速に進行しています。このような過疎地域特有の課題を解決するため、観光交流人口と移住人口の増加を柱に、地域と連携・協働しながら、アイデアと行動力、スピード感を持って、地域活動と地域経済の活性化、安全・安心な暮らしの確保、文化の継承などの事業に取り組んでいきます。</p> | | | | |

| |
|---|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯高地域振興局と連携し、「過疎地域の活性化を考える会」を立ち上げ、観光交流人口の増加、地場産業の活性化を図る施策について検討を行い、それらの意見等を反映した「田舎暮らし交流移住促進事業費」、「過疎地域魅力アップ整備事業費」を平成30年度予算に計上しました。 ・飯高地域振興局と連携し、「飯南高校の活性化を考えるパネルディスカッション」を企画、開催し、活性化に向けての意見を集約しました。 ・行政サービス向上のため、飯高地域振興局と連携のうえ、業務の効率化、組織の効率的な運営を図りました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田舎暮らし推進事業において、地域活性化セミナーの開催を4回計画していましたが、講師の人選、スケジュール調整が遅れ、3回の開催に留まりました。 ・平成26年度から実施している空家バンク事業について、移住促進イベントに参加したものの、移住希望者と所有者の契約が成立せず、移住に結びつけることができませんでした。 |

飯南地域振興局 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|------------------------|----|------|---------|---------|-------------|-----|-----------|---------|---------|-------------|-----|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 1 | 飯南地域振興局管理運営事業費 | 一般 | 7-① | 23,703 | / | 飯南飯高連携会議の開催 | | → 現状維持 | 22,566 | / | 飯南飯高連携会議の開催 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 12回 | 12回 | | | | A | 12回 | | | |
| 2 | 飯南地域振興局施設整備事業費 | 一般 | - | / | / | 活動指標 | | / | 2,500 | / | 活動指標 | | — 終了 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | | | | | | 5回 | | | |
| 3 | 出逢い創出事業費 | 一般 | 4-① | 152 | / | 活動指標 | | ▶ 統合 | 0 | / | 活動指標 | | — 終了 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 10回 | 16回 | | | | A | - | | - | - |
| 4 | 飯南コミュニティセンター管理事業費 | 一般 | 7-① | 1,834 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | 1,834 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 12回 | 12回 | | | | A | 12回 | | | |
| 5 | 出張所管理事業費 | 一般 | 7-① | 11,783 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | 11,841 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 12回 | 12回 | | | | A | 12回 | | | |
| 6 | 空家バンク活用補助金 | 一般 | 6-⑧ | 2,540 | / | 活動指標 | | ↗ 拡大 | 3,740 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 3回 | 3回 | | | | A | 5回 | | | |
| 7 | 田舎暮らし推進事業費 | 一般 | - | 1,077 | / | 活動指標 | | ▶ 統合 | 0 | / | 活動指標 | | — 終了 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 4回 | 3回 | | | | B | - | | - | - |
| 8 | 移住促進のための空家リノベーション支援補助金 | 一般 | 6-⑧ | 1,500 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | 1,500 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 4回 | 4回 | | | | A | 5回 | | | |
| 9 | 過疎地域交流施設管理運営事業費 | 一般 | - | / | / | 活動指標 | | / | 5,994 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | | | | | | 2回 | | | |

飯南地域振興局 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | |
|-----|----------------|----|------|---------|---------|------|----|--------|---------|---------|------|-------------|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 |
| 10 | 過疎地域魅力アップ整備事業費 | 一般 | 6-⑧ | / | / | 活動指標 | | / | 12,397 | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 4半期毎の工程管理 | |
| | | | | | | 4回 | 目標 | | | | 実績 | 評価 | |
| 11 | 田舎暮らし交流移住促進事業費 | 一般 | 6-⑧ | / | / | 活動指標 | | / | 6,097 | / | 活動指標 | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 調整企画会議と進捗管理 | |
| | | | | | | 12回 | 目標 | | | | 実績 | 評価 | |

飯南地域振興局 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | |
|-----|---------------------|----|------|---------|---------|-----------------|------|-----------|---------|---------|---------------------|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 |
| (1) | 飯南かわら版の発行 | | 7-② | / | / | 活動指標 | | → 現状維持 | / | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | 毎月発行 | | | | | 毎月発行 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| | | | | | | 12回 | 12回 | A | | | 12回 | | |
| (2) | 過疎地域の活性化を考える会 | | 6-⑧ | / | / | 活動指標 | | → 現状維持 | / | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | 短期課題の取りまとめ（12月） | | | | | 中期課題の取りまとめ（11月） | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | 100% | | |
| (3) | 飯高地域振興局との情報共有と連携の推進 | | 7-① | / | / | 活動指標 | | → 現状維持 | / | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | 連携会議の開催 | | | | | 連携会議の開催 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| | | | | | | 12回 | 12回 | A | | | 12回 | | |
| (4) | 飯南高校活性化のための検討 | | - | / | / | 活動指標 | | → 現状維持 | / | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | パネルディスカッションの開催 | | | | | 中学校等と連携し意識調査の実施（9月） | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | 100% | | |

【課長シート】

| | | | | |
|--|--------------------------|------------------------------|-----------------|-----------------|
| 組織名 | 飯高地域振興局 | | 作成者（評価者） | 局長 廣本 知律 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 地域主体の個性ある地域づくりを支援します！ | | |
| | 平成30年度 | 地域主体の個性ある地域づくりを支援します！ | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 4－① 住民協議会・市民活動の推進 | | | |
| | 6－⑧ 中山間地域の振興 | | | |
| 課の基本方針と使命 | | | | |
| <p>飯高地域振興局管内は、奈良県境に位置する中山間地域で、市面積の約4割を占める広範囲の行政エリアを有しており、地域振興局と川俣・森・波瀬出張所が行政サービス及び防災の拠点となっています。</p> <p>山間部では、人口減少、高齢化が著しく、集落の維持が危ぶまれる地域が出始めており、高齢者等への生活支援が課題となっています。</p> <p>一方、豊かな自然環境、歴史文化の地域資源に恵まれており、飯南地域振興局との連携のもと、これらの魅力を発信、活用し、交流人口の拡大から、移住・定住者の増加につなげ、過疎地域の活性化を図っていきます。</p> | | | | |

| |
|---|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯南地域振興局と連携し、「過疎地域の活性化を考える会」を立ち上げ、観光交流人口の増加、地場産業の活性化を図る施策について検討を行い、それらの提案・意見を反映した「田舎暮らし交流移住促進事業費」、「過疎地域魅力アップ整備事業費」を平成30年度予算に計上しました。 ・飯南地域振興局と連携し、「飯南高校の活性化を考えるパネルディスカッション」を企画、開催し、活性化に向けての意見を集約しました。 ・平成29年4月、組織改革が行われた中、行政サービス向上のため、飯南地域振興局と連携のうえ、業務の効率化、組織の効率的な運営を図りました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化事業において、新たに「香肌峡ふれあいフェスティバル」の予算を計上し、準備を行いました。が、台風の影響により中止となりました。 ・施設マネジメントの観点等を踏まえた出張所のあり方、業務の効率化・見直し等について、十分な議論を行うことができませんでした。 |

飯高地域振興局 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-----------------|----|------|---------|---------|--------------------------|------|-----------|---------|---------|--------------------------|-----|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 1 | 飯高地域振興局管理運営事業費 | 一般 | 7-① | 35,209 | / | 市民サービス向上を検討する飯南飯高連携会議の開催 | | → 現状維持 | 35,830 | / | 市民サービス向上を検討する飯南飯高連携会議の開催 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 12回 | 12回 | | | | A | 12回 | | | |
| 2 | 飯高山岳救助隊支援事業補助金 | 一般 | - | 248 | / | 登山道巡視等 | | → 現状維持 | 248 | / | 登山道等巡視 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 5回 | 6回 | | | | A | 5回 | | | |
| 3 | 飯高地域振興局施設整備事業費 | 一般 | - | 25,380 | / | 空調設備更新進捗率（2月末完成予定） | | *** 定期 | 0 | / | - | | *** 定期 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 100% | 100% | | | | A | - | | - | - |
| 4 | 飯高総合開発センター管理事業費 | 一般 | - | 6,016 | / | 庁舎内の整理整頓とチェック | | → 現状維持 | 5,514 | / | 庁舎内の整理整頓とチェック | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 12回 | 12回 | | | | A | 12回 | | | |

飯高地域振興局 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|------------------------------|----|------|----------|----------|---------------------|------|----|-----------|----------|----------|-----------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| (1) | 出張所（川俣、森、波瀬）業務の効率化 | | - | / | / | 業務量の洗い出し、現状把握 | | | → 現状維持 | / | / | 局内ワーキングの開催 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 80% | B | | | | 6回 | | | |
| (2) | 地域活性化事業 香肌峡ふれあいフェスティバルの開催 | | - | / | / | 地域団体、関係機関等と協働のうえ開催 | | | → 現状維持 | / | / | 参加者数500人 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 50% | C | | | | 100% | | | |
| (3) | 過疎地域の活性化を考える会 | | - | / | / | 短期課題の取りまとめ（12月） | | | → 現状維持 | / | / | 中期課題の取りまとめ（11月） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| (4) | 飯高管内独自の振興局だより「飯高とときだより」の発行 | | - | / | / | 年12回発行 | | | → 現状維持 | / | / | 振興局だよりの発行 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 12回 | | | |
| (5) | 飯南地域振興局との情報共有と連携の推進 | | - | / | / | 連携会議の開催 | | | → 現状維持 | / | / | 連携会議の開催 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 12回 | 12回 | A | | | | 12回 | | | |
| (6) | 地域集会所管理事業費 | | - | / | / | 赤桶集会所小トイレ修繕進捗（6月完了） | | | / | / | / | 赤桶集会所小トイレ修繕進捗（6月完了） | | | … 定期 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | | | | | | 100% | | | |
| (7) | 飯南高校活性化のための検討 | | - | / | / | パネルディスカッションの開催 | | | → 現状維持 | / | / | 管内中学校等と連携し意識調査の実施（9月） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |

平成30年度 総務部の「実行宣言」

| | | |
|-------|--------|-------|
| 作成者 | 部長 | 三宅 義則 |
| (評価者) | 税務担当理事 | 中井 昇 |

| 基本方針と使命 |
|--|
| <p>総務部は、市の税財政を所掌、事務事業を適切に推進するための法制執務、市有財産の適正な管理と有効活用、人材育成と職員適正配置、適正な入札・契約、情報公開など多岐にわたって市行政を担っています。</p> <p>総務部として特に、以下の4点を中心に「市民のための市役所」の政策を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市税の適正な課税と公平な徴収による財源確保、税外債権の適正管理と移管債権の徴収強化による滞納額の縮減 ○年間総合予算の徹底及び新しい評価システムを反映させた適正な予算編成 ○適切な予算執行で市債残高の増加を抑制し、健全財政を維持 ○公共調達における公正性、公平性、競争性、透明性を確保 |

| | |
|----------------|-------------------|
| 『松阪市総合計画』との関わり | 7 市民のための市役所（行政経営） |
|----------------|-------------------|

| 平成29年度の評価 | | | |
|--|-----------------------------|----|---|
| 評価基準…A（90%以上）、B（70～89%）、C（50～69%）、D（30～49%）、E（29%以下） | | | |
| 宣言① | 各部局事務事業の適正な法令運用支援に努めます！ | 評価 | A |
| 【主な理由】 | | | |
| <p>総務課の担う法務支援業務は、市の事業運営において側面からの支援を行うことから、成果が見えにくいものでありますが、弁護士法務支援事業を始め、個人情報保護事業、文書管理事業及び固定資産評価審査委員会などの運営において概ね目標を達成しています。</p> | | | |
| 宣言② | より良い行政サービスの発信基地を作り上げます！ | 評価 | A |
| 【主な理由】 | | | |
| <p>課内の情報共有や意見交換をめざし、毎月職場ミーティングを実施しました。この際「高齢者バスをもっと利用したい」との市民からの意見を伝え、対応を考えた結果、バスを運転するための大型運転免許は11名以上の乗車から必要となることに着目し、高齢者が11名以上利用されれば高齢者バスを利用できるよう利用条件を緩和しました。また、庁内の部局異動や「おくやみコーナー」の新設など、市民が使いやすい市役所となるよう、設備改修に協力しました。</p> | | | |
| 宣言③ | さらなる職員の人材育成・人員の適正配置に取り組みます！ | 評価 | A |
| 【主な理由】 | | | |
| <p>人材育成では、人事評価の目標設定において、具体例を取り上げた研修を行い、わかりやすかったとの意見が多くありました。また人事評価結果を部長級職員の勤勉手当に反映する制度を整備しました。平成29年度に実施した職員採用試験では、外部面接官を取り入れ、多角的に職員選考を実施しました。</p> <p>適正な人員配置では、年度途中で退職した職員の補充について、事業が完了した部署の職員等を適正に配置しました。</p> | | | |

【部局長シート】

| | | | | |
|---|----------------------|------------------------------|----------|----|
| 宣言④ | 適正な入札・契約業務を推進していきます！ | 評価 | A | |
| <p>【主な理由】</p> <p>各事業の目標である、電子入札の執行率は、工事関係92%、物品関係89%で概ね達成、平均入札参加者数13社、市内業者受注率95%で各内容とも達成できました。</p> <p>電子入札システムを利用した一般競争入札では、入札契約に関わる人為的ミスの排除、事務の効率化、速報性の向上、公正性、公平性、透明性、競争性の確保が図られ、適正な入札契約業務を執行することができました。</p> | | | | |
| 宣言⑤ | 確実な自主財源の確保に努めます！ | 評価 | A | |
| <p>【主な理由】</p> <p>総務部と税務部を統合し、組織のスリム化を図る中で、事務手続き、市民サービス等に支障をきたすことなく、税務担当の各課がそれぞれ活動指標に掲げた項目について全て達成できました。未収債権の一元化については、業務支援の強化や適正管理を行うため債権回収対策課の体制強化を図ることができました。</p> | | | | |
| 部局マネジメント方針 | | | | |
| 職場内、職場間のミーティングを実施し、情報共有を密にします。 | | 評価 | A | |
| 職員のコンプライアンス意識の向上を実践します。 | | 評価 | A | |
| 計画的な休暇取得をすることでリフレッシュを図り勤務意欲を高めます。 | | 評価 | B | |
| 時間外勤務時間数の縮減に向け、前年度対比減をめざします。 | | 評価 | E | |
| 『松阪市総合計画』関係施策の進捗度 | | | | |
| ① | 施策名 | 7-① 計画的な行政運営 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 人事評価制度効果度 (制度導入による仕事への影響度合い) | 95.0% | A |
| ② | 施策名 | 7-② 市民との情報共有 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 市の情報公開・情報提供に対し不満と感じる市民の割合 | 10% | A |



| | | | |
|---|------------------------------|--|--|
| 平成30年度 総務部の「実行宣言」 | | | |
| 宣言① | 職員の順法意識の維持向上に向け、法令運用支援に努めます！ | | |
| 宣言② | 健全な財政運営と市民のための市役所づくりに努めます！ | | |
| 宣言③ | さらなる職員の人材育成・人員の適正配置に努めます！ | | |
| 宣言④ | 適正な入札・契約業務を推進していきます！ | | |
| 宣言⑤ | 確実な自主財源の確保に努めます！ | | |
| 部局マネジメント方針 | | | |
| 毎週定期的に幹部ミーティングを開催し、部門内の情報・課題を共有します。 | | | |
| また職場内ミーティングにより、組織内のコミュニケーションの活性化を図ります。 | | | |
| 専門知識の習得、スキルアップ、職員の資質と待遇の向上を図ります。 | | | |
| 業務内容・体制を見直すなどし、時間外勤務時間数縮減を図ります。(昨年度対比減) | | | |

【課長シート】

| 組織名 | 総務課 | 作成者（評価者） | 課長 山口 博司 |
|---|--------------|------------------------------|----------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 各部署事務事業の適正な法令運用支援に努めます！ | |
| | 平成30年度 | 職員の順法意識の維持向上に向け、法令運用支援に努めます！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | 7-① 計画的な行政運営 | | |
| | 7-② 市民との情報共有 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>総務課は条例、規則、規程、要綱などの制定や改正、市の業務における法務相談など、市の事務・事業に関連する法務全般についての支援を行っています。</p> <p>また、市の事務・事業に関し市民への説明責任を明らかにし、市民の市政へ理解と信頼を深めるための情報公開制度の推進や、市の取り扱う個人情報の適正な管理・保護に関する業務を行っています。</p> <p>そのほか、社会に有益な人材の育成を目的とする給付型の奨学金の給付、市の文書の保管・收受・発送、各課からの依頼による印刷業務、及び公平委員会、固定資産評価審査委員会、行政不服審査委員会などの事務も担っています。</p> | | | |

| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
|--|
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学奨学金給付事業費について、将来社会に有意な人材の育成という制度目的の達成のため、募集周知を進めた結果、前年を上回る応募を得られました。 ・ 弁護士法務支援事業費では、顧問弁護士の法務相談により政策決定がなされた案件数は81件で、目標である48件を上回りました。 <p>また、リーガルアドバイザーについては、債権回収対策課において税外債権の未徴収にかかる相談・支援等のほか、各課の施策全般の法務相談について適宜、指導・支援を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政不服審査事業費については、制度改正により職員が審理を行う必要があることから、職員研修の実施を目標としており、特定任期付職員（弁護士）を講師に、審理員候補予定職員を対象とし、意見書の作成を中心に研修会を実施しました。 ・ 総務一般経費の目標、総務課職員の時間外勤務の縮減については、2月末時点で11.4%の縮減（対平成28年度）となり、目標の10%の縮減を達成しました。 ・ 公平委員会事業費、固定資産評価審査委員会事業費については、公平委員会は委員としての識見の向上のため延べ8回研修会に参加し、固定資産評価審査は2回審査会を開催し、適正な裁決のための審査を実施しました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報公開事業費、個人情報保護事業費、文書管理事業費については、関連性があることから各制度を一括で職員研修を行い、適正な公文書管理や、非公開情報の判断及び個人情報の保護について講義を受けました。参加者については256人と目標の300人には至りませんでした。受講者へのアンケートでは、内容に「参考になった」とする回答が98%を占め、その結果から制度趣旨への理解は深まったものと思われま |

総務課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|----------------|----|------|---------|---------|---------------------------------|------------|----|-----------|---------|---------|---------------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 大学奨学金給付事業費 | 一般 | 7-① | 5,541 | / | ①広報誌による周知 ②高校への周知依頼 | | | → 現状維持 | 5,533 | / | ①広報誌による周知 ②高校への周知依頼 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | ①2回 ②1回 | ①2回 ②1回 | A | | | | ①2回 ②1回 | | | |
| 2 | 情報公開事業費 | 一般 | 7-② | 1,721 | / | 情報公開制度研修会への職員の参加者数 | | | → 現状維持 | 1,675 | / | 情報公開制度研修の受講職員の満足度 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 300人 | 256人 | B | | | | 85% | | | |
| 3 | 個人情報保護事業費 | 一般 | 7-② | 296 | / | 個人情報保護制度研修会への職員の参加者数 | | | → 現状維持 | 341 | / | 個人情報保護研修会の受講職員の満足度 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 300人 | 256人 | B | | | | 85% | | | |
| 4 | 弁護士法務支援事業費 | 一般 | 7-① | 1,968 | / | 法務相談により政策決定がなされた案件数 | | | → 現状維持 | 1,967 | / | 法務相談により政策決定がなされた案件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 48件 | 81件 | A | | | | 48件 | | | |
| 5 | 文書管理事業費 | 一般 | 7-① | 13,465 | / | 文書の適正な取扱い研修会の実施 | | | → 現状維持 | 11,217 | / | 文書管理に関する職員研修の実施 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 2回 | A | | | | 1回 | | | |
| 6 | 行政不服審査事業費 | 一般 | 7-① | 150 | / | 行政不服審査制度に係る職員研修会の実施 | | | → 現状維持 | 241 | / | 行政不服審査制度にかかる職員研修会の実施 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 1回 | | | |
| 7 | 総務一般経費 | 一般 | 7-① | 17,122 | / | 職員の法務能力の向上等に伴う時間外勤務縮減（平成28年度対比） | | | → 現状維持 | 16,753 | / | 職員の法務能力の向上等に伴う時間外勤務縮減（平成28年度対比） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 10% | 11% | A | | | | 10% | | | |
| 8 | 公平委員会事業費 | 一般 | 7-① | 601 | / | 適正な委員会運営に資する研修会等への出席 | | | → 現状維持 | 470 | / | 委員会及び研修会への出席 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 7回 | 8回 | A | | | | 7回 | | | |
| 9 | 固定資産評価審査委員会事業費 | 一般 | 7-① | 203 | / | 適正な委員会運営に資する研修会等への出席 | | | → 現状維持 | 209 | / | 委員会及び研修会への出席 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 5回 | 2回 | A | | | | 5回 | | | |

【課長シート】

| | | | | |
|--|--------------------|-----------------------------------|-----------------|-----------------|
| 組織名 | 財務課 | | 作成者（評価者） | 課長 近田 雄一 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | より良い行政サービスの発信基地を作り上げます！ | | |
| | 平成30年度 | 健全な財政運営と市民のための市役所づくりに努めます！ | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 7-③ 健全な財政運営 | | | |
| 課の基本方針と使命 | | | | |
| <p>財務課は、持続可能で健全な財政運営をめざした適正な予算編成・執行管理に努めるとともに、公有財産の適正かつ効率的な管理、市民の利便性・効率性の高い庁舎機能の確保を図り、「市民のための市役所づくり」の実現をめざしています。</p> | | | | |

| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
|--|
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財政状況の公表を6月と12月の年2回、「広報まつさか」と一緒にご家庭へ届けることができました。 ・ 市民からの意見等への対応を協議するため、毎月職場ミーティングを開催し、情報共有や意見交換とともに解決策を全員で考えることができました。 ・ 計画的な設備等の更新・整備による本館の長寿命化をめざし、空調設備改修工事の方針を策定しました。 ・ 市政取締役会や職員ポータルに掲示板を通じて、職員に対して公用車の運転に関する注意喚起を行いました。 ・ 公用車の維持管理経費節減に向け、軽自動車の保有率を75%まで高めました。また、ドライブレコーダーの設置率も75%としました。 ・ 高齢者による乗合自動車利用促進に向け、高齢者の乗車人数の見直しを検討し、11名以上の乗車で利用できるように変更しました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コピー使用率の前年度実績の5%削減に取り組みましたが、コピー枚数は10%の増となりました。ただし、カラーコピーの使用を控えたため22%の予算削減を図ることができました。 ・ 財産管理推進委員会を2回開催し、未登記物件の処理を2件行うことができましたが、遊休未利用地の一般競争入札による売却は行えませんでした。 ・ 新地方公会計制度に基づく、平成28年度決算に係る「財務4表」の公表を平成30年3月末に行いましたが、馴染みの無い複式簿記方式（発生主義）による決算状況は、職員をはじめ一般住民からは理解しがたいことから、今後、決算の見方等の解説項目について作成する必要があります。 |

財務課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-------------|----|------|----------|----------|---------------------------|--------------|----|-----------|----------|----------|---------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 財政管理事業費 | 一般 | 7-③ | 1,811 | | 財政状況の公表 | | | → 現状維持 | 1,774 | | 財政状況の公表 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 2回 | A | | | | 2回 | | | |
| 2 | 庁舎等維持管理事業費 | 一般 | 7-③ | 127,783 | | 市民からの意見等への対応協議の実施 | | | → 現状維持 | 135,829 | | 市民からの意見等への対応協議の実施 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 12回 | A | | | | 12回 | | | |
| 3 | 庁舎等整備事業費 | 一般 | 7-① | 74,516 | | 空調設備工事の方針策定進捗率 | | | ↗ 拡大 | 283,322 | | 平成30年度予定の空調設備工事の進捗率 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 4 | 市有財産管理事業費 | 一般 | 7-③ | 6,378 | | 財産管理推進委員会の開催 | | | → 現状維持 | 8,912 | | 未利用地の処分 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 2回 | A | | | | 1件以上 | | | |
| 5 | 車両管理事業費 | 一般 | 7-③ | 20,497 | | ①車両運転に関する注意喚起 ②軽乗用車の割合 | | | ↗ 拡大 | 21,476 | | 集中管理車の事故10件未満 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | ①3回 ②75% | ①12回 ②75% | A | | | | 9件 | | | |
| 6 | 乗合自動車購入事業費 | 一般 | 7-③ | 7,214 | | 利用者対象者の見直し | | | — 終了 | 0 | | - | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回以上 | 規程の変更 | A | | | | - | - | - | |
| 7 | 新地方公会計導入事業費 | 一般 | - | 8,176 | | 財務4表の公表 | | | — 終了 | 0 | | - | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | - | - | - | |
| 8 | 財務書類作成事業費 | 一般 | 7-③ | | | | | | | 11,190 | | 解説項目の作成 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | 100% | | | |
| 9 | 財産管理一般経費 | 一般 | 7-③ | 360 | | コピー使用率の前年度実績の削減 | | | → 現状維持 | 353 | | コピー枚数、使用料の前年度実績の削減 | | | ↘ 縮小 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 5% | | | | | | 5% | | | |

財務課 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-----------|----|------|---------|---------|------------|----|-----------|---------|---------|------------|------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| (1) | 財産管理推進委員会 | / | - | / | / | 未利用地の活用、対策 | | → 現状維持 | / | / | 未利用地の活用、対策 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 2回以上 | 2回 | | | | | 2回以上 | | 2回 | |

【課長シート】

| 組織名 | 職員課 | 作成者（評価者） | 課長 松本 健 |
|---|--------------|-----------------------------|---------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | さらなる職員の人材育成・人員の適正配置に取り組みます！ | |
| | 平成30年度 | さらなる職員の人材育成・人員の適正配置に取り組みます！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | 7-① 計画的な行政運営 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>職員課は、多様な人材を採用し、高度化・多様化する市民ニーズや行政課題に柔軟かつ迅速に対応できるよう職員の人材育成を行い、業務量に見合った適正な人員配置に努めます。</p> <p>人材育成においては、「松阪市人材育成基本方針」に基づき職員一人ひとりの能力開発を行い、人材育成型の人事評価制度の改善と評価結果の活用により、職員のモチベーションの向上を図ります。人事評価結果は次長・課長級職員の2020年（平成32年）度の勤勉手当に反映できるよう制度を整備します。</p> <p>適正な人員配置においては、市の財政状況も鑑み、現在の職員数と今後の業務量とを慎重に管理するとともに、「最少の経費で最大の効果」が得られるよう取り組みます。</p> <p>以上のような効果的・効率的な働き方を推進・支援することにより、「働き方改革」やさらなるワーク・ライフ・バランスの推進に取り組みます。</p> | | | |

| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
|--|
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員採用試験において、採用活動の豊富な実績・ノウハウのある外部面接官を取り入れたことにより、一般的な面接では把握困難な受験者の適応能力を見極めることができました。 平成29年度新規採用職員から、新採職員の1年間の振り返りと今後の抱負の研修を実施してほしいとの提案があり、3月下旬に研修を実施しました。このような前向きな考えを持つ新採職員を採用できたことは面接を重視した選考手法による成果であると考えます。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員採用試験事業費において、募集開始時期を早め、7月から実施しましたが、採用試験総受験者数が目標値に達しませんでした。理由は、好景気から民間企業に受験者が流れたものと思われます。 <p>今後は都内での募集活動やフリーペーパーなど新たな媒体により職員募集の周知を図り、優秀な人材確保に努めます。</p> |

職員課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|---------------|----|------|---------|---------|--------------------------|-------|----|-----------|---------|---------|--------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 被災地支援事業費 | 一般 | - | 895 | | 派遣職員の年度末勤務成績報告書の評定 | | | → 現状維持 | 731 | | 派遣職員の年度末勤務成績報告書の評定 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | B評価以上 | B評価 | A | | | | B評価以上 | | | |
| 2 | 職員研修事業費 | 一般 | 7-① | 8,257 | | 職員アンケート調査による研修の理解度 | | | → 現状維持 | 9,750 | | 職員アンケート調査による研修の理解度 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 90% | 93% | A | | | | 90% | | | |
| 3 | 職員採用試験事業費 | 一般 | 7-① | 2,084 | | 採用試験総受験者数 | | | ↗ 拡大 | 4,399 | | 採用試験総受験者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 450人 | 360人 | B | | | | 400人 | | | |
| 4 | 職員通信教育講座受講補助金 | 一般 | 7-① | 376 | | 通信教育受講者に対する個別サポート回数 | | | → 現状維持 | 376 | | 職員ポータルによる制度の周知・啓発回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3回 | 3回 | A | | | | 3回 | | | |
| 5 | 職員資格取得等補助金 | 一般 | 7-① | 90 | | 職員ポータルによる制度の周知・啓発回数 | | | → 現状維持 | 90 | | 職員ポータルによる制度の周知・啓発回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 年3回 | 年3回 | A | | | | 年3回 | | | |
| 6 | 職員福利厚生事業費 | 一般 | 7-① | 98,577 | | 職員ポータルによる利用促進の広報活動 | | | → 現状維持 | 98,680 | | 職員ポータルによる利用促進の広報活動 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 年3回 | 年3回 | A | | | | 年3回 | | | |
| 7 | 安全衛生事業費 | 一般 | 7-① | 11,495 | | 安全衛生委員会（職場巡視含む）の開催 | | | → 現状維持 | 11,502 | | 安全衛生委員会（職場巡視含む）の開催 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 年12回 | 年11回 | A | | | | 年12回 | | | |
| 8 | 当直関連業務事業費 | 一般 | 7-① | 8,045 | | 宿日直の業務日誌及び報告事項のチェック | | | → 現状維持 | 8,045 | | 宿日直の業務日誌及び報告事項のチェック | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 週3日 | 週3日以上 | A | | | | 週3日 | | | |
| 9 | 人事評価制度事業費 | 一般 | 7-① | 1,639 | | 職員アンケート調査による人事評価支援研修の理解度 | | | → 現状維持 | 1,604 | | 職員アンケート調査による人事評価支援研修の理解度 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 95% | 97% | A | | | | 95% | | | |

職員課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|----------|----|------|---------|---------|--------------|-----|--------|-----------|---------|------|---------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 10 | 人事管理一般経費 | 一般 | 7-① | 13,681 | / | 事業経費の対前年度削減率 | | | → 現状維持 | 15,115 | / | コピー枚数の対前年度削減率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1% | 20% | A | | | | 3% | | | |

【課長シート】

| | | | |
|---|---------------------|-----------------------------|-----------------|
| 組織名 | 契約監理課 | 作成者（評価者） | 課長 松下 敏幸 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 適正な入札・契約業務を推進していきます！ | |
| | 平成30年度 | 適正な入札・契約業務を推進していきます！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | 7-① 計画的な行政運営 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>契約監理課は、市が発注する公共工事、物品調達等の入札及び契約に関する業務並びに市が整備する道路や建物の工事検査を主な業務としています。</p> <p>これらの業務を効率化し、公正性、公平性、透明性、競争性のある入札制度を確保するとともに、適正な価格で品質の良い社会資本や行政サービスの実現に役立つことが組織の使命となります。</p> | | | |

| |
|---|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <p>（電子入札システム事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子入札執行率は、目標90%に対し工事関係92%、物品関係89%で概ね達成できました。 ・電子入札システムにより、入札契約事務に関わる人為的ミスの排除、効率化、速報性の向上、透明性が確保できました。 ・入札参加者の入札に係る事務の省力化を図ることができました。 <p>（契約監理事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標である平均入札参加者10社、市内業者受注率92%は、それぞれ13社、95%で達成できました。 ・条件付一般競争入札による工事品質の確保、公正性、公平性、透明性、競争性の確保を図ることができました。 ・入札等監視委員会の監視の下、入札及び契約業務の適正化を図ることができました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし |

契約監理課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | |
|-----|-------------|----|------|---------|---------|----------------|----|-----------|---------|---------|----------------|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 |
| 1 | 電子入札システム事業費 | 一般 | 7-① | 29,725 | / | ①電子入札執行率（工事） | | → 現状維持 | 29,721 | / | ①電子入札執行率（工事） | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | ②電子入札執行率（物品関係） | | | | | ②電子入札執行率（物品関係） | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| | | | | ①90% | ①92% | A | | | | ①90% | | | |
| | | | | ②90% | ②89% | | | | | ②90% | | | |
| 2 | 契約監理事業費 | 一般 | 7-① | 4,388 | / | ①平均入札参加者 | | → 現状維持 | 4,365 | / | ①平均入札参加者 | | → 現状維持 |
| | | | | | | ②市内業者受注率（工事） | | | | | ②市内業者受注率（工事） | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| | | | | ①10社 | ①13社 | A | | | | ①10社 | | | |
| | | | | ②92% | ②95% | | | | | ②92% | | | |

【課長シート】

| 組織名 | 市民税課 | | 作成者（評価者） | 課長 北川 高宏 |
|---|-------------|------------------|----------|----------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 確実な自主財源の確保に努めます！ | | |
| | 平成30年度 | 確実な自主財源の確保に努めます！ | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 7-③ 健全な財政運営 | | | |
| 課の基本方針と使命 | | | | |
| <p>市民税課は、個人市民税、法人市民税、軽自動車税、市たばこ税の公平かつ適正な課税を行い、税負担の公平・公正化に努め安定的な自主財源の確保に努めています。</p> <p>公平かつ適正な課税に向け、複雑化する税制に対応するために専門研修などを実施するとともに、各種研修会へ積極的に参加し、職員のスキルアップと組織としての実践力の向上を図っています。また、国税連携システム等を活用し、三税（国税・県税・市税）が連携して所得未把握者などの調査を行い適正な課税に向け取り組みます。</p> <p>納税者の利便性の向上と事務の効率化の推進については、平成28年1月から稼働させたインターネットによる個人住民税の申告書作成・試算システムの利用件数が増加しています。またeLTAXによる給与支払報告書、法人市民税申告書の提出件数も年々増加している中、一層の活用推進を図っていきます。</p> <p>平成30年2月から開始した、マイナンバーカードを利用したコンビニエンスストアでの税務関係証明書交付システムについては、今後も戸籍住民課と連携を取りながら利用増進に向けた普及啓発に取り組みます。</p> <p>特に近年の度重なる税制改正等により、業務が複雑・増大化したため増加する時間外勤務時間数の縮減に向け、個人市民税等の賦課業務の民間委託導入に向けた研究に取り組みます。</p> | | | | |
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 税務窓口での税諸証明発行時の渡し間違い件数0件を達成しました。 ・ 個人市民税の公平・公正な課税に向けた未申告調査による夜間窓口を目標回数の3回実施しました。 ・ 法人市民税においても公平・公正な課税に向けて、三税（国税・県税・市税）との税情報の突合作業を12回実施しました。 ・ 軽自動車税においては、課税に対する審査申出容認件数0件を達成しました。 ・ 適切な賦課事務を遂行するため状況報告や情報共有等を目的にミーティングを「毎日開催」を目標に実施することができ情報共有等を図ることができました。 ・ 情報発信については、「ぎゅうっと松阪」による軽自動車税に関する周知や、市ホームページへQ&Aコーナーの開設を実施しました。また、市行政チャンネルを活用し、職員自らの出演による映像放送や文字放送により、申告に関する周知や軽自動車税に関して正しい知識をご理解いただくための周知に努めました。（情報発信回数：ぎゅうっと松阪 3回、市ホームページ 7回、行政チャンネル 2回、広報まつさか 5回） ・ 職員のスキル向上のため、接遇研修（2回）や職員自らが講師を務める申告研修（7回）を開催するとともに、各種専門研修（10回）へ職員が参加しました。 | | | | |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし | | | | |

市民税課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|------------|----|------|----------|----------|---------------------|-----|--------|-----------|----------|----------|---------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 税務証明交付事業費 | 一般 | 7-③ | 557 | / | 税諸証明発行時の渡し間違い件数 | | | → 現状維持 | 869 | / | 税諸証明発行時の渡し間違い件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | ゼロ | ゼロ | A | | | | ゼロ | | | |
| 2 | 税務一般経費 | 一般 | 7-③ | 17,086 | / | ミーティングの開催 | | | → 現状維持 | 18,633 | / | ミーティングの開催 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 毎日 | 毎日 | A | | | | 毎日 | | | |
| 3 | 個人市民税賦課事業費 | 一般 | 7-③ | 63,191 | / | 未申告調査による夜間窓口の開催 | | | → 現状維持 | 63,902 | / | 未申告調査による夜間窓口の開催 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3回 | 3回 | A | | | | 3回 | | | |
| 4 | 法人市民税賦課事業費 | 一般 | 7-③ | 1,294 | / | 三税（国・県・市）との税情報の突合作業 | | | → 現状維持 | 1,301 | / | 三税（国・県・市）との税情報の突合作業 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3回 | 12回 | A | | | | 12回 | | | |
| 5 | 軽自動車税賦課事業費 | 一般 | 7-③ | 11,904 | / | 課税に対する審査申出容認件数 | | | → 現状維持 | 11,851 | / | 課税に対する審査申出容認件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 0件 | 0件 | A | | | | 0件 | | | |

【課長シート】

| | | | |
|--|--------------------|-------------------------|-----------------|
| 組織名 | 資産税課 | 作成者（評価者） | 課長 藤木 洋司 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 確実な自主財源の確保に努めます！ | |
| | 平成30年度 | 確実な自主財源の確保に努めます！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | 7-③ 健全な財政運営 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>資産税課は、固定資産税、都市計画税の公平・公正な課税を行い、自主財源の確保に努めています。</p> <p>課税業務には、複雑な税制度や法令に対応することが求められ、職員のスキルアップが必須であることから、各種研修会等に積極的に参加し知識や経験の習得を行うとともに、課内で情報の共有をし職員全員のレベルアップを図ります。また、昨年度に完成した「評価事務取扱要領」を活用し事務を行うことで、より精度の高い評価事務による、公平・公正な課税を行います。</p> <p>なお、資産税課は災害時に被害住家の調査を行う必要があることから、今年度も中越大震災ネットワークおぢや主催の実際に災害対応の経験を基に行われる、被災家屋調査研修会に参加し、調査の手法等について学び、不測の事態に備えます。</p> | | | |

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

- ・外部研修会への参加や研修を受講した職員が講師となるフィードバック研修会を開催することにより、職員全員のスキルアップ、レベルアップを図ることができました。（計15回）
- ・「ぎゅうっと松阪」等により、情報発信を行い業務内容や税に対する周知を行いました。また、行政チャンネルでは、職員が出演し償却資産の申告等について広報を行いました。
（情報発信回数：ぎゅうっと松阪 4回、広報まつさか 7回、行政チャンネル・文字放送 各1回）
- ・毎日就業前と就業後にミーティングを行うことにより、職員間の情報共有や意思疎通を図りました。
- ・「評価事務取扱要領」が完成し、それを基に平成30年度の評価替えを行うことができました。

【達成できなかったこと】

- ・なし

資産税課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-------------|----|------|---------|---------|----------------------------------|-----|-----------|---------|---------|----------------------------------|-----|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 1 | 固定資産税賦課事業費 | 一般 | 7-③ | 45,160 | / | 実務研修会参加とフィードバック研修会開催による職員のスキルアップ | | → 現状維持 | 45,528 | / | 実務研修会参加とフィードバック研修会開催による職員のスキルアップ | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 15回 | 15回 | | | | A | 16回 | | | |
| 2 | 固定資産税評価替事業費 | 一般 | 7-③ | 33,446 | / | 実務研修会参加とフィードバック研修会開催による職員のスキルアップ | | → 現状維持 | 20,544 | / | 実務研修会参加とフィードバック研修会開催による職員のスキルアップ | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 15回 | 15回 | | | | A | 16回 | | | |

【課長シート】

| | | | |
|--|-------------|------------------|----------|
| 組織名 | 収納課 | 作成者（評価者） | 課長 西嶋 秀喜 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 確実な自主財源の確保に努めます！ | |
| | 平成30年度 | 確実な自主財源の確保に努めます！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | 7-③ 健全な財政運営 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>持続可能な市政運営の実現と市民の信頼を保つため、堅実かつ安定的な自主財源の確保と税負担の公平性の確保に努めます。そのために事務処理体制の整備を図り、社会情勢に柔軟に対応した納税者にとって利用しやすい納税環境を整備することで、税の自主納付の推進と納期内納付の推進を図るとともに、地方税法等に基づく厳正で適正な滞納整理等の強化に努め、滞納を累積しない取組や滞納解消へ向けての取組を進め、高い収納率の維持に努めます。</p> | | | |

| |
|--|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市税徴収事業費及び市税等過誤納還付金の活動指標の目標を現年度課税分収納率98.4%に設定し、収納率の向上に取り組み、実績は98.5%と目標を達成しました。 ・ 社会情勢に応じた費用対効果のある利便性の高い納付方法の検討を進め、スマートフォンアプリを利用して納税ができるシステムを構築しました。 ・ 電話催告による早期の納付勧奨により滞納早期の納付催告を実施し、滞納累積を防止しました。 ・ 三重地方税管理回収機構の徴収第二課に職員1名を派遣し、滞納解消に努めました。 ・ 10月、3月を差押強化月間として職員の意識を高め、年間を通じて前年度を上回る差押えに取り組みました。（平成28年度：313件 ⇨ 平成29年度：395件） ・ 差押えた財産の公売情報を広く周知し、より高額での落札が期待できるインターネット公売を行いました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし |

収納課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-----------|----|------|---------|---------|--------------|-------|-----------|---------|---------|---------------|--------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 1 | 市税等過誤納還付金 | 一般 | 7-③ | 100,000 | / | 現年度課税分の徴収率向上 | | → 現状維持 | 100,000 | / | ①現年度課税分の徴収率向上 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 98.4% | 98.5% | | | | A | ①98.6% | | | |
| 2 | 市税徴収事業費 | 一般 | 7-③ | 86,122 | / | 現年度課税分の徴収率向上 | | → 現状維持 | 84,683 | / | ①現年度課税分の徴収率向上 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 98.4% | 98.5% | | | | A | ①98.6% | | | |
| | | | | | | | | | | | ②22.4% | | | | |

収納課 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-------------------------|----|------|---------|---------|--------------|-------|-----------|---------|---------|--------------|-------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| (1) | 費用対効果のあるより利便性の高い納付方法の検討 | | - | | | 現年度課税分の徴収率向上 | | → 現状維持 | | | 現年度課税分の徴収率向上 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 98.4% | 98.5% | | | | A | 98.6% | | | |

【課長シート】

| | | | |
|---|-------------|------------------|----------|
| 組織名 | 債権回収対策課 | 作成者（評価者） | 課長 岡本 孝雄 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 確実な自主財源の確保に努めます！ | |
| | 平成30年度 | 確実な自主財源の確保に努めます！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | 7-③ 健全な財政運営 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>自主財源を確保し市民負担の公平性を図るため、全ての税外未収債権の徴収強化と適正管理に努めます。</p> <p>「債権の適正管理・回収に関する知識の増進及び職員意識の向上」を目的とした研修会を開催するとともに、相談業務を常時行い、債権管理の適正化に取り組みます。</p> <p>非強制徴収公債権・私債権については、今年度より「債権管理係」を新設し、債権回収のための法的手続きの業務支援などに取り組みます。</p> <p>強制徴収公債権（公課）については、移管対象を昨年度までの4公課から全ての公課に拡大し、滞納処分などの徴収強化を図るとともに、所管課管理の公課についても、財産調査の方法など滞納整理の指導を行い、滞納額の縮減と適正管理に取り組みます。</p> | | | |

| |
|---|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移管債権4公課の徴収率実績は42%で、目標徴収率30%を達成できました。 ・ 平成30年度から、全ての債権の適正管理に取り組む体制を整えることができました。 <ul style="list-style-type: none"> ①限定的であった移管できる公課を全ての公課に拡大しました。 ②非強制徴収公債権や私債権の回収に関する法的手続きの業務支援に取り組む体制を整えました。 ・ 「松阪市滞納処分の執行停止に関する基準」を収納課と連携して整理しました。 ・ 債権の適正管理に関する研修会を前年度より早い時期に2回開催し、早期着手を促すとともに職員意識の向上を図りました。 ・ 税外未収債権のある所管課にヒアリングを行い、債権回収の方向性について助言・指導を行いました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし |

債権回収対策課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-----------|----|------|---------|---------|----------------|-----|--------|-----------|---------|---------|----------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 債権回収対策事業費 | 一般 | 7-③ | 3,103 | / | 移管債権の徴収強化（徴収率） | | | → 現状維持 | 3,034 | / | 移管債権の徴収強化（徴収率） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 30% | 42% | A | | | | 30% | | | |

債権回収対策課 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-----------|----|------|---------|---------|---------------|-------|-----------|---------|---------|--------------------|-----|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| (1) | 債権回収体制の強化 | | 7-③ | | | 未収債権回収の一元化の検討 | | → 現状維持 | | | 法的手続きの業務支援の強化（処理率） | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 体制の整備 | 体制の整備 | | | | A | 80% | | | |
| (2) | 債権管理職員研修会 | | 7-③ | | | 債権管理の職員研修会の開催 | | → 現状維持 | | | 債権管理職員研修会への対象課参加率 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 2回 | 2回 | | | | A | 80% | | | |

平成30年度 環境生活部の「実行宣言」

| | | |
|-------|----------|-------|
| 作成者 | 部長 | 吉田 敏昭 |
| (評価者) | 清掃行政担当理事 | 溝田 明 |

基本方針と使命

【使命】

豊かな自然環境に恵まれる松阪において、市民生活が及ぼす環境への影響を軽減するとともに市民が安全で安心して暮らせ、かつ一人ひとりが個人として尊重されるまちの実現を使命とします。

【基本方針】

- 一人ひとりが環境問題を「自分のこと」として捉え、環境の保全と創造に向け意識を高め、行動実践していくことで、めざすべき環境像「うるおいある豊かな環境」の実現をめざします。
- 廃棄物の発生抑制と再利用、再生利用及び熱回収の循環的な利用の促進やごみの適正な処理を行うことで、「ムダなく資源が循環しているまち」の実現をめざします。
- 日常の身近な犯罪や交通事故などの発生を抑制することで、市民の生命、身体及び財産を守り「安全で安心なまちづくり」をめざします。
- お互いの人権が尊重されるよう人権意識を高めるとともに、性別にとらわれることなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画意識を高めることで、一人ひとりが個人として尊重され希望と誇りをもって社会に参画できる地域社会の実現をめざします。
- 戸籍、住民基本台帳、印鑑登録などの業務における個人情報の適切な管理とともに、正確で迅速・丁寧な窓口対応により安心してご利用いただける環境を提供します。

| | |
|--------------------|--------------------|
| 『松阪市総合計画』 との関わり | 4 人と地域の頑張る力（地域づくり） |
| | 5 安全・安心な生活（防犯、防災） |
| | 6 快適な生活（生活基盤の整備） |
| | 7 市民のための市役所（行政経営） |

平成29年度の評価

評価基準…A（90%以上）、B（70～89%）、C（50～69%）、D（30～49%）、E（29%以下）

| | | | |
|--|--|----|---|
| 宣言① | 環境施策の計画的な推進を図るため「第二次環境基本計画」を策定し、環境にやさしい市民が暮らすまちをめざします。 | 評価 | A |
| 【主な理由】 「第二次松阪市環境基本計画」を策定しました。めざすべき環境像を「うるおいある豊かな環境につつまれるまち まつさか」とし、その実現にあたり6つのビジョン、基本方針、環境目標を設定し施策を展開することで、環境にやさしい市民が暮らすまちをめざします。 | | | |

【部局長シート】

| | | | |
|---|---|-----------|----------|
| <p>宣言②</p> | <p>効率的かつ適正なごみ処理（分別、収集、処理）体制の構築について検討します。</p> | <p>評価</p> | <p>A</p> |
| <p>【主な理由】 効率的かつ適正なごみ処理体制の構築をめざして住民のニーズを把握し、ニーズにマッチした収集方式や収集頻度の適正化の検討を行い住民サービスの向上に努めました。また、収集業務の起点となるごみ集積所の整備について、管理している自治会等へ支援を行いました。</p> | | | |
| <p>宣言③</p> | <p>3R活動等を推進し、一人一日当たりのごみ排出量900g以下をめざします。</p> | <p>評価</p> | <p>A</p> |
| <p>【主な理由】 平成29年度は、生ごみ堆肥化に取り組む支援団体の環境大臣表彰を支援するなど、市民と一体となった3R活動を推進しました。平成29年度における一人一日当たりのごみ排出量は、災害廃棄物の大量発生（388t）といった特殊要因を除くと一人一日当たり904gで概ね達成している状況です。</p> | | | |
| <p>宣言④</p> | <p>ごみ処理・処分施設の適正管理と発生するごみを迅速かつ衛生的に処理します。</p> | <p>評価</p> | <p>A</p> |
| <p>【主な理由】 各施設の適正かつ計画的な維持管理ができ、焼却炉施設については年間稼働日数は359日となり、効率的で安定したごみ処理を行うことができました。</p> | | | |
| <p>宣言⑤</p> | <p>「証明書コンビニ交付事業」の開始を踏まえマイナンバーカードの普及に取り組みます。</p> | <p>評価</p> | <p>A</p> |
| <p>【主な理由】 平成30年2月1日、証明書コンビニ交付サービスを開始しました。コンビニでの証明書発行件数の増加は、マイナンバーカードの普及率に大きく左右されるためマイナンバーカードの普及啓発の強化や申請補助などに取り組んだ結果、平成30年3月31日現在、マイナンバーカードの交付率は目標の10.0%に対し10.47%となっています。</p> | | | |
| <p>宣言⑥</p> | <p>交通事故死傷者数748人及び刑法犯認知件数1,374件（平成28年度）以下をめざします。</p> | <p>評価</p> | <p>A</p> |
| <p>【主な理由】 交通事故死傷者数は646人、刑法犯認知件数は1,240人です。それぞれの件数は年々減少傾向にあり、地域や関係団体、関係機関との連携により交通安全や防犯対策事業を繰り返し実施してきたことや全国的に様々な対策が展開されていることなどが要因ではないかと推測されます。</p> | | | |
| <p>宣言⑦</p> | <p>こころの相談窓口の周知や関係機関、団体との連携により自殺者数26人以下をめざします。</p> | <p>評価</p> | <p>B</p> |
| <p>【主な理由】 平成29年の自殺者数は30人で目標の達成には至りませんでした。自殺に追い込まれるという危機は「誰にでも起こりうる危機」であり、危機に陥った場合には誰かに助けを求めることができるよう相談窓口の周知を行ってきました。また、関係各課が実施する事業においては、「生きることの支援」であるとの視点から実施しているところです。自殺の背景には様々な社会的要因があり、来年度は、「自殺対策計画」を策定し全庁的な取組として包括的な支援をめざします。</p> | | | |

【部局長シート】

| 部局マネジメント方針 | | | | |
|-------------------|---|---------------------------|----------|----|
| | 業務の状況報告や情報の共有があたりまえにできる職場体制をめざします。 | 評価 | A | |
| | 新たな取組に対する提案を具申できる職場環境をめざします。 | 評価 | A | |
| | 職員の資質の向上に努めます。 | 評価 | A | |
| | 市民に対し、常に親切、丁寧な対応に心がけ市のイメージアップに努めます。 | 評価 | A | |
| | 交通事故の抑止の取組は、当部局が担任していることの重みを常に意識し、危機感を持った行動や意識の高揚を図ります。 | 評価 | A | |
| | 作業現場における安全対策の確立をめざし安全衛生委員会を毎月開催するとともに毎朝の安全作業等の確認ミーティングを実施します。 | 評価 | A | |
| 『松阪市総合計画』関係施策の進捗度 | | | | |
| ① | 施策名 | 4-④ 人権の尊重 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 人権講演会の参加者数 | 500人 | E |
| | 活動指標 | 人権講演会の参加者満足度 (会場アンケート) | 95.0% | E |
| | 活動指標 | 多言語による生活情報などの提供、窓口業務支援件数 | 6,000件 | A |
| | 活動指標 | 自殺者数 | 26人 | B |
| ② | 施策名 | 4-⑤ 男女共同参画の推進 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 「男女共同参画」のことばの認知度※ | 60.0% | - |
| | 活動指標 | 家事・育児・介護にかかわっている男性の割合※ | 80.0% | - |
| ③ | 施策名 | 5-① 交通安全対策の充実 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 交通事故死傷者数 (1月~12月) | 770人 | A |
| | 活動指標 | 交通マナーが悪いと感じる市民の割合 | 30.0% | E |
| ④ | 活動指標 | 交通安全サポート事業所の登録数 | 70事業所 | C |
| | 施策名 | 5-③ 防犯対策の充実 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 刑法犯認知件数 (自転車盗) (1月~12月) | 180件 | A |
| ⑤ | 活動指標 | 特殊詐欺件数(1月~12月) | 10件 | E |
| | 活動指標 | 自主防犯パトロール団体数 | 44団体 | A |
| | 施策名 | 6-① 自然と生活の環境保全 | 目標 (H31) | 評価 |
| ⑥ | 活動指標 | 1人1日当たりのエネルギー (電気) 消費量※ | 6.17kWh | - |
| | 活動指標 | 生活排水処理施設整備率 | 87.9% | A |
| ⑥ | 施策名 | 6-② 資源循環型社会の推進 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 1人1日当たりのごみの排出量 (集団回収を除く) | 890g | C |
| | 活動指標 | 廃棄物 (ごみ) 対策の整備に満足している人の割合 | 28.0% | E |
| | 活動指標 | 啓発講座開催数 | 30回 | A |

※評価対象外の活動指標について

調査周期及びその他事情 (算出基準の変更等) により、平成29年度実績が測定できない活動指標については「評価対象外」としています。



平成30年度 環境生活部の「実行宣言」

| | |
|-----|---|
| 宣言① | 一人ひとりが環境問題を「自分のこと」として捉え行動できるよう環境の保全や創造に向けた教育・学習を推進します。（三重県環境学習情報センターを活用した環境学習の園児・児童生徒数1,000人以上） |
| 宣言② | 各般の行政領域にまたがる施策を整合性を持って効果的に推進するため「松阪市自殺対策計画」を策定します。 |
| 宣言③ | 交通事故死傷者数646人及び刑法犯認知件数1,240件（平成29年度）以下をめざします。 |
| 宣言④ | 3R活動を推進し、一人一日当たりのごみ排出量900g以下をめざします。 |
| 宣言⑤ | 新最終処分場施設整備について、住民の理解を得て、事業に着手します。 |
| 宣言⑥ | 環境学習の一環として、小学生を対象に「パッカー車によるごみ投入体験」や「ごみ分別学習」等の出前授業を行うことにより、小学生の時からごみに対する意識を高める取組を行います。 |
| 宣言⑦ | オリジナル婚姻届を作成することで市への愛着やイメージアップに繋がります。 |

部局マネジメント方針

業務の状況報告や情報の共有があたりまえにできる職場体制をめざします。

市民に対し、常に親切、丁寧な対応に心がけ市のイメージアップに努めます。

作業現場における安全対策の確立をめざし安全衛生委員会を毎月開催するとともに毎朝の安全作業等の確認ミーティングを実施します。

【課長シート】

| 組織名 | 環境課 | 作成者（評価者） | 課長 荒川 浩和 |
|---|----------------|---|----------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 環境施策の計画的な推進を図るため「第二次環境基本計画」を策定し、環境にやさしい市民が暮らすまちをめざします。 | |
| | 平成30年度 | 一人ひとりが環境問題を「自分のこと」として捉え行動できるよう環境の保全や創造に向けた教育・学習を推進します。（三重県環境学習情報センターを活用した環境学習の園児・児童生徒数1,000人以上） | |
| 関係する『総合計画』施策 | 6-④ 自然と生活の環境保全 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>環境課は、快適で安全な生活環境の実現、環境にやさしい活動実践、省エネルギーの推進、さらには新たなエネルギー政策等、みんなで地球にやさしい生活をする中で、豊かな自然を身近に感じることができ環境づくりを推進しています。</p> <p>環境の保全に向け市民、市民団体、事業者、行政の取り組みの指針となる、第二次松阪市環境基本計画を平成29年度に策定しました。計画で示す「自分のこと化」を取り入れ、環境パートナーシップ会議を中心に、環境にやさしい行動の普及・啓発に取り組んでいきます。</p> <p>平成29年度に設立した自治体新電力会社により電力の地産地消及び再生可能エネルギー等の効率的な地域での活用による市公共施設の電気使用料削減と地域活性化をめざしていきます。</p> <p>動物愛護意識の高揚に向けた啓発活動を実施し、人と動物の共生する社会の実現に取り組みます。</p> <p>水環境の保全をめざし、単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換促進に取り組みます。</p> | | | |

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

- ・ 第二次松阪市環境基本計画を策定しました。
- ・ 自治体新電力事業を実施するため「松阪新電力株式会社」を設立しました。
- ・ 斎場・火葬場事業費及び篠田山墓地管理事業費
 利用者の満足度の向上をめざし接遇研修を実施するとともに、朝礼などでの情報共有、窓口対応時の改善指導などにより業務改善を図りました。
- ・ 火葬施設解体事業費
 宮前火葬場解体工事に際し、地元への事前説明により合意のうえ、予定どおり火葬場の解体ができました。
- ・ し尿転送業務負担金
 安定的な転送業務を行うにあたり、受託事業者との協議を行いました。

【達成できなかったこと】

- ・ 環境パートナーシップ会議事業費の活動指標を「環境フェアの来場者数4,100人」と掲げましたが、台風18号により環境フェアが中止になったため目標を達成できませんでした。
- ・ し尿業者許可事業費の活動指標を「担当者会議開催回数2回」と掲げていましたが、個々の事業者と協議することで対応できたため、担当者会議は1回の開催となりました。
- ・ 戸別合併浄化槽整備事業特別会計繰出金について、一般管理経費、施設維持管理事業費、生活排水処理施設整備事業費の活動指標を「戸別合併処理浄化槽の新規設置数40基」と掲げていましたが、設置相談については40基あったものの、内8基については年度内完成に必要な工事期間の確保が困難な時期での申し込みであった為、32基の設置にとどまりました。

環境課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|----------------------|----|------|----------|----------|---------------------|------|----|-----------|----------|----------|---------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 浄化槽設置促進事業費 | 一般 | 6-① | 65,855 | / | 行政チャンネルでの啓発回数 | | | → 現状維持 | 63,298 | / | イベント等での啓発回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 2回 | A | | | | 2回 | | | |
| 2 | 畜犬登録等事業費 | 一般 | 6-① | 3,743 | / | 行政チャンネルでの啓発回数 | | | → 現状維持 | 3,765 | / | イベント等での啓発回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 2回 | A | | | | 2回 | | | |
| 3 | 行旅死亡人取扱事業費 | 一般 | 6-① | 896 | / | 行旅死亡人の処理 | | | → 現状維持 | 896 | / | 行旅死亡人の処理 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 4 | 公衆便所管理事業費 | 一般 | 6-① | 3,722 | / | 職員による毎月の見回り回数 | | | → 現状維持 | 3,770 | / | 職員による毎月の見回り回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3回 | 3~5回 | A | | | | 3回 | | | |
| 5 | 共同簡易飲料水供給施設管理事業費 | 一般 | 6-⑦ | 1,700 | / | 木梶、栃谷両地区の水道組合との協議回数 | | | ↘ 縮小 | 300 | / | 木梶、栃谷両地区の水道組合との協議回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 3回 | A | | | | 2回 | | | |
| 6 | 動物愛護推進事業費 | 一般 | 6-① | 3,688 | / | イベント等での啓発回数 | | | → 現状維持 | 3,719 | / | イベント等での啓発回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3回 | 3回 | A | | | | 3回 | | | |
| 7 | 環境衛生一般経費 | 一般 | 6-① | 1,980 | / | 行政チャンネルでの啓発回数 | | | → 現状維持 | 2,564 | / | イベント等での啓発回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 2回 | A | | | | 2回 | | | |
| 8 | 戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計繰出金 | 一般 | 6-① | 75,952 | / | 戸別合併処理浄化槽の新規設数 | | | → 現状維持 | 78,168 | / | 戸別合併処理浄化槽の新規設数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 40基 | 32基 | B | | | | 40基 | | | |
| 9 | 環境調査事業費 | 一般 | 6-① | 5,649 | / | 騒音・振動等の調査箇所数 | | | → 現状維持 | 3,939 | / | 騒音・振動等の調査箇所数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 11か所 | 11か所 | A | | | | 11か所 | | | |

環境課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|------------------|----|------|----------|----------|--------------------|------|----|-----------|----------|----------|-------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 10 | 環境啓発活動事業費 | 一般 | 6-① | 1,868 | / | イベント等での啓発活動回数 | | | ↗ 拡大 | 1,825 | / | イベント等での啓発活動回数 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 7回 | 7回 | A | | | | 8回 | | | |
| 11 | Matsusaka-EMS事業費 | 一般 | 6-① | 4,003 | / | 外部の視点を取り入れた外部監査の実施 | | | → 現状維持 | 1,263 | / | 外部の視点を取り入れた外部監査の実施 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 1回 | | | |
| 12 | 環境基本計画策定事業費 | 一般 | 6-① | 5,370 | / | 環境基本計画策定委員会の開催回数 | | | … 定期 | 729 | / | 計画の周知に向けた冊子の印刷と小学校等への配布 | | | … 定期 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 9回 | 8回 | A | | | | 1,400冊 | | | |
| 13 | 環境パートナーシップ会議事業費 | 一般 | 6-① | 1,409 | / | 環境フェア来場者数 | | | ↗ 拡大 | 1,551 | / | 環境フェア来場者数 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 4,100人 | 0人 | - | | | | 4,200人 | | | |
| 14 | 自治体新電力事業出資金 | 一般 | - | 4,500 | / | プロポーザルの実施と新会社の設立 | | | — 終了 | 0 | / | - | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | - | - | - | |
| 15 | 環境保全一般経費 | 一般 | 6-① | 2,111 | / | イベント等での啓発活動回数 | | | ↗ 拡大 | 1,714 | / | イベント等での啓発活動回数 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 7回 | 7回 | A | | | | 8回 | | | |
| 16 | 火葬施設解体事業費 | 一般 | - | 6,578 | / | 火葬場解体に伴う地元の合意 | | | ↘ 縮小 | 2,500 | / | 火葬場解体に伴う地元の合意 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 17 | 斎場・火葬場管理事業費 | 一般 | 6-① | 105,247 | / | 職員の接遇研修実施回数 | | | → 現状維持 | 112,049 | / | 職員の接遇研修実施回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 1回 | | | |
| 18 | 篠田山墓地管理事業費 | 一般 | 6-① | 9,891 | / | 職員の接遇研修実施回数 | | | → 現状維持 | 11,339 | / | 職員の接遇研修実施回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 1回 | | | |

環境課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|---------------|----|------|----------|----------|-----------------|----|--------|-----------|----------|----------|-----------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 19 | 斎場・火葬場施設整備事業費 | 一般 | 6-① | 2,733 | / | 職員の接遇研修実施回数 | | | ↗ 拡大 | 22,383 | / | 職員の接遇研修実施回数 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 1回 | | | |
| 20 | 篠田山霊苑施設整備事業費 | 一般 | 6-① | / | / | 活動指標 | | | / | 2,850 | / | 活動指標 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 12月までに工事を完了 | | | | | | 12月までに工事を完了 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 21 | し尿業者許可事業費 | 一般 | 6-① | 25 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 79 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 担当者会議開催回数 | | | | | | 担当者会議開催回数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | し尿転送業務負担金 | 一般 | 6-① | 7,480 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 7,480 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 受託業者との担当者協議開催回数 | | | | | | 受託業者との担当者協議開催回数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 23 | 松阪地区広域衛生組合分担金 | 一般 | 6-① | 339,303 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 368,201 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 担当者会議開催回数 | | | | | | 担当者会議開催回数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24 | 一般管理経費 | 特別 | 6-① | 2,880 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 3,356 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 戸別合併処理浄化槽の新規設数 | | | | | | 戸別合併処理浄化槽の新規設数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 25 | 施設維持管理事業費 | 特別 | 6-① | 133,851 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 138,433 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 戸別合併処理浄化槽の新規設数 | | | | | | 戸別合併処理浄化槽の新規設数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 26 | 生活排水処理施設整備事業費 | 特別 | 6-① | 42,428 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 42,624 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 戸別合併処理浄化槽の新規設数 | | | | | | 戸別合併処理浄化槽の新規設数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |

環境課 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|----------|----|------|---------|---------|------------------|------|-----------|---------|---------|--------------------------------------|------|---------|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | |
| (1) | 自治体新電力事業 | / | - | / | / | プロポーザルの実施と新会社の設立 | | → 現状維持 | / | / | 経営の安定化に向けた供給施設の拡大（当初供給予定施設の供給実施537件） | | ↗ 拡大 | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 目標 | 実績 | | 評価 |
| | | | | | | 100% | 100% | | | | A | 537件 | | |

【課長シート】

| | | | |
|---|----------------|---|----------|
| 組織名 | 清掃事業課 | 作成者（評価者） | 課長 谷口 昌由 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 効率的かつ適正なごみ処理（分別、収集、処理）体制の構築について検討します。 | |
| | 平成30年度 | 環境学習の一環として、小学生を対象に「パッカー車によるごみ投入体験」や「ごみ分別学習」等の出前授業を行うことにより、小学生の時からごみに対する意識を高める取組を行います。 | |
| 関係する『総合計画』施策 | 6-② 資源循環型社会の推進 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>ごみの適正な分別・収集・処理を市民と連携して取り組み、居心地が良いと感じられる環境にやさしいまちづくりを進めます。また、ムダなく資源が循環しているまちをめざし、3Rの推進、環境教育、啓発の推進等に取り組み、ごみ減量と再利用化の促進等を図ります。</p> <p>主な取組として</p> <p>①適正なごみ処理体制を維持するために「ごみの分け方・出し方」の周知や啓発、業務量に応じた人員配置による処理体制の強化等に取り組みます。</p> <p>②監視活動や啓発の推進により、不法投棄を発生させない環境づくりに取り組みます。</p> <p>③リサイクル施設の運転及び資源化処理として、資源物の圧縮・梱包や選別・破碎に取り組みます。</p> | | | |

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

| No | 事業名 | 活動指標 | 目標 | 評価 |
|----|-------------|--------------|---------|----|
| 1 | 清掃一般経費 | ごみカレンダー作成 | 68,000部 | 達成 |
| 2 | 塵芥収集事業費 | 不法投棄監視パトロール | 3回/月 | 達成 |
| 3 | 廃棄物集積所設置補助金 | 補助件数 | 20件/年 | 達成 |
| 4 | 塵芥収集車購入事業費 | 塵芥収集車輛の計画的買替 | 1台/年 | 達成 |
| 5 | 塵芥処理一般経費 | 高須処分場跡地の清掃 | 3回/年 | 達成 |
| | | 油川排水路の清掃 | 2回/年 | |

【達成できなかったこと】

・松ヶ崎公園管理事業費 松ヶ崎公園のグラウンド等の利用団体及び利用者数について700回、33,000人を見込んでいましたが、516回、23,358人の利用となりました。利用者数が見込みより減となった理由につきましては、グラウンド等が屋外の施設であり天候の影響があったと考えています。

利用者に対しては、施設の空き状況の照会や利用予約申請がインターネットを通じて出来る『松阪市体育施設予約システム』の利用を周知していきます。

清掃事業課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-------------|----|------|----------|----------|------------------------------|---------|----|-----------|---------|----------|------------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額(千円) | 決算額(千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額(千円) | 決算額(千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 清掃一般経費 | 一般 | 6-② | 17,031 | / | ごみカレンダー配布部数 | | | → 現状維持 | 14,040 | / | ごみカレンダー配布部数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 68,000部 | 68,000部 | A | | | | 68,000部 | | | |
| 2 | 松ヶ崎公園管理事業費 | 一般 | - | 13,310 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 14,139 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | ①利用団体 ②利用者数 | | | | | | ①利用団体 ②利用者数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | ①700回 | ①516回 | B | | | | | ①500回 | | | | |
| | | | | ②33,000人 | ②23,358人 | | | | | | ②23,000人 | | | | |
| 3 | 塵芥収集事業費 | 一般 | 6-② | 376,587 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 377,068 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 不法投棄監視パトロール回数 | | | | | | 不法投棄監視パトロール回数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 3回/月 | 3回/月 | A | | | | | 3回/月 | | | | |
| 4 | 廃棄物集積所設置補助金 | 一般 | 6-② | 2,500 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 2,500 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 補助件数 | | | | | | 補助件数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 20件 | 36件 | A | | | | | 20件 | | | | |
| 5 | 塵芥収集車購入事業費 | 一般 | 6-② | 28,964 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 26,900 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 塵芥収集車輛等の計画的買替 | | | | | | 塵芥収集車輛等の計画的買替 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 1台/年 | 3台/年 | A | | | | | 4台/年 | | | | |
| 6 | 塵芥処理一般経費 | 一般 | 6-② | 9,433 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 12,950 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | ①高須処分場跡地の清掃回数 ②油川排水路の清掃回数 | | | | | | ①高須処分場跡地の清掃回数 ②油川排水路の清掃回数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | ①年3回 | ①年3回 | A | | | | | ①年3回 | | | | |
| | | | | ②年2回 | ②年2回 | | | | | | ②年2回 | | | | |

清掃事業課 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|--|----|------|---------|---------|-------------|---------------|--------|-----------|---------|------|---------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| (1) | 出前授業 対象：市内小学生 パッカー車によるごみ投入体験、ごみ分別学習等 | | 6-② | | | 参加児童数 | | | → 現状維持 | | | 参加児童数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 20校 900人 | 24校 1,059人 | A | | | | 20校 1,000人 | | | |
| (2) | 自治会等の要請によるごみ回収 地域の一斉清掃、草刈等に応じて収集する。 | | 6-② | | | 活動指標 | | | → 現状維持 | | | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 出勤回数 | | | | | | 出勤回数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 130回 | 年138回 | A | | | 130回 | | | | |

【課長シート】

| | | | |
|---|----------------|--------------------------------------|----------|
| 組織名 | 清掃政策課 | 作成者（評価者） | 課長 竹川 福男 |
| 関係する「実行宣言」 | 平成29年度 | 3R活動等を推進し、一人一日当たりのごみ排出量900g以下をめざします。 | |
| | 平成30年度 | 3R活動等を推進し、一人一日当たりのごみ排出量900g以下をめざします。 | |
| 関係する『総合計画』施策 | 6-② 資源循環型社会の推進 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>清掃政策課は、3Rの考え方を基本として、市民・事業・行政が連携してごみの適正な処理を行うとともに、ごみの発生抑制を図ることで、資源を有効に利用できる循環型のまちづくりをめざします。</p> <p>平成30年度は、新最終処分場施設整備事業を基本構想に沿って着手するとともに、旧第二清掃工場跡地に「資源物保管庫」を建設します。</p> <p>また、今年度実施する市民意識調査において、「ごみ減量化の施策として具体的にどのような取組が効果的か」という趣旨の調査を行い、調査結果から、2019年（平成31年）度以降の啓発事業につなげていきます。</p> <p>さらに、小学校を対象とした環境学習の実施、3Rサポーター活動の支援、ごみ減量に関する各種講座の開催、資源物集団回収補助金の推進、生ごみ堆肥化容器補助金制度の推進など、ごみの減量化と資源化の推進に取り組みます。</p> | | | |

| |
|---|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物の大量発生といった特殊要因を除くと、一人一日当たりのごみ量は904gとなり、ほぼ目標を達成しました。 ・啓発講座開催数は29回開催し、効果的な啓発を実施できました。 ・庁舎及び設備に関する苦情は0件であり、来庁者や電話対応の問い合わせに対して的確で丁寧な対応が徹底できました。 ・他市町・団体が集まる研修会等に参加した回数は6回であり、中でも、熊本市での災害廃棄物の実地研修は、有事の対応に生かせる効果的なものでした。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三雲リサイクルセンターにおける資源の受け入れ量は301tとなり、目標を達成できませんでした。これは、人口が増加する三雲地区であっても、全体的な資源量、特に紙類の減少に影響を受けているものと考えます。加えて、スーパー等で展開する資源物回収が加速しており、そちらに出す市民も相当数いるものと考えます。 ・飯南・飯高地区における資源受け入れ量は前年と比べマイナス10%となり、目標を達成できませんでした。これは、全体的な資源量の減少に加え、人口減少の影響も受けたものと考えます。 ・生ごみ堆肥化容器等補助金の申請件数は47件となり、目標を達成できませんでした。これは、生ごみを燃えるごみとして出す手軽さを優先する市民がまだまだ多いことが考えられ、更なる啓発や制度工夫の検討が必要と考えます。 ・資源物集団回収活動における回収量は3,356tとなり、目標を達成できませんでした。これは、全体的な資源量、特に電子媒体の普及に伴う紙類の減少に影響を受けていることに加え、スーパー等で展開する資源物受け入れの影響も受けていると考えます。 ・ごみ処理基盤施設の建設について、ストックヤードの実施設計は完成しましたが、広陽公園仮置土撤去工事は完成に至りませんでした。これは、広陽公園仮置土の運搬にかかる関係者との調整に相当数の期間を要したことから、工事着手が遅れ、年度内完成に至らなかったものです。 |

清掃政策課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-------------------|----|------|----------|----------|----------------------|----|----|-----------|----------|----------|----------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | リサイクル事業費 | 一般 | 6-② | 58,505 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 66,778 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 一日一人当たりのごみ量 | | | | | | 一日一人当たりのごみ量 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 900 g以下 | 904 g | A | | | | | 900 g以下 | | | | |
| 2 | 三雲リサイクルセンター管理事業費 | 一般 | - | 7,442 | / | 活動指標 | | | ▶ 統合 | 0 | / | 活動指標 | | | — 終了 |
| | | | | | | 資源の受け入れ量 | | | | | | ※リサイクル事業費に統合 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 400t | 301t | B | | | | | - | - | - | | |
| 3 | 飯南・飯高ごみ減量推進事業費 | 一般 | - | 1,510 | / | 活動指標 | | | ▶ 統合 | 0 | / | 活動指標 | | | — 終了 |
| | | | | | | 資源の受け入れ量増加率 | | | | | | ※リサイクル事業費に統合 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 3% | -10% | B | | | | | - | - | - | | |
| 4 | ごみ減量対策事業費 | 一般 | 6-② | 3,763 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 2,987 | / | 活動指標 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 啓発講座開催数 | | | | | | 啓発講座開催数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 30回 | 29回 | A | | | | | 30回 | | | | |
| 5 | 生ごみ堆肥化容器等購入補助金 | 一般 | 6-② | 1,980 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 1,941 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 補助金申請件数 | | | | | | 補助金申請件数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 100件 | 47件 | D | | | | | 100件 | | | | |
| 6 | 資源物集団回収活動補助金 | 一般 | 6-② | 18,787 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 17,351 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 集団回収量 | | | | | | 集団回収量 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 4,320t | 3,356t | B | | | | | 4,000t | | | | |
| 7 | リサイクルセンター管理事業費 | 一般 | 6-② | 15,329 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 15,329 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 庁舎及び設備に関する苦情件数 | | | | | | 庁舎及び設備に関する苦情件数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 0件 | 0件 | A | | | | | 0件 | | | | |
| 8 | 一般廃棄物処理基本計画等策定事業費 | 一般 | - | / | / | 活動指標 | | | / | 3,240 | / | 活動指標 | | | ↘ 縮小 |
| | | | | | | 事業の進捗状況 | | | | | | 事業の進捗状況 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | 100% | | | | |
| 9 | 省資源再資源化一般経費 | 一般 | 6-② | 1,528 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 1,427 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 他市町・団体が集まる研修等に出席する回数 | | | | | | 他市町・団体が集まる研修等に出席する回数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 3回 | 6回 | A | | | | | 5回 | | | | |

清掃政策課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|---------------|----|------|----------|----------|---------|-----|-----------|----------|----------|---------|------|---------|----|----|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | 方針 | | |
| 10 | ごみ処理基盤施設建設事業費 | 一般 | - | 156,056 | / | 事業の進捗状況 | | → 現状維持 | 143,246 | / | 事業の進捗状況 | | — 終了 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 100% | 60% | | | | C | 100% | | | |
| 11 | 新最終処分場施設整備事業費 | 一般 | 6-② | / | / | 活動指標 | | / | 50,000 | / | 活動指標 | | ↗ 拡大 | | |
| | | | | | | 事業の進捗状況 | | | | | 事業の進捗状況 | | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | | | | | 100% | | | | |

【課長シート】

| | | | |
|--|----------------|--------------------------------------|----------|
| 組織名 | 清掃施設課 | 作成者（評価者） | 課長 堀口 英明 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | ごみ処理・処分施設の適正管理と発生するごみを迅速かつ衛生的に処理します。 | |
| | 平成30年度 | 新最終処分場施設整備について住民の理解を得て事業に着手します。 | |
| 関係する『総合計画』施策 | 6-② 資源循環型社会の推進 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>清掃施設課は、施設の適正な運営管理とごみ処理を行うとともに、熱回収の循環的な利用を促進することにより、温室効果ガスの排出量を削減し、資源を有効に利用できる循環型社会の実現をめざし、周辺地域の環境保全に努めています。</p> | | | |

| |
|---|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設の適正かつ計画的な維持管理ができ、焼却炉施設については、年間稼働日数は359日となり、効率的で安定したごみ処理を行うことができました。 ・最終処分場周辺地域の環境保全のため、放流水の水質検査を12回実施した結果、いずれも基準値以下でした。 ・上川町遊歩道公園の利用団体数は53団体で、利用者は6,218人でした。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし |

清掃施設課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|---------------|----|------|----------|----------|------------------------|------------------|----|-----------|----------|----------|------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | クリーンセンター管理事業費 | 一般 | - | 16,357 | / | 一般廃棄物を適正に処理するための年間稼働日数 | | | → 現状維持 | 16,423 | / | 一般廃棄物を適正に処理するための年間稼働日数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 350日 | 359日 | A | | | | 350日 | | | |
| 2 | 最終処分場管理事業費 | 一般 | 6-② | 8,566 | / | 周辺地域における処理水の水質検査の実施回数 | | | → 現状維持 | 9,542 | / | 周辺地域における処理水の水質検査の実施回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 12回 | 12回 | A | | | | 12回 | | | |
| 3 | 上川町遊歩道公園管理事業費 | 一般 | - | 11,022 | / | ①利用団体数 ②利用者数 | | | → 現状維持 | 12,021 | / | 定期的な草刈清掃等の実施 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | ①35団体 ②2500人 | ①53団体 ②6,218人 | A | | | | 3回/年 | | | |
| 4 | ごみ処理事業費 | 一般 | - | 285,668 | / | 一般廃棄物を適正に処理するための年間稼働日数 | | | → 現状維持 | 295,754 | / | 一般廃棄物を適正に処理するための年間稼働日数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 350日 | 359日 | A | | | | 350日 | | | |
| 5 | 最終処分場事業費 | 一般 | 6-② | 54,251 | / | 周辺地域における処理水の水質検査の実施回数 | | | → 現状維持 | 56,486 | / | 周辺地域における処理水の水質検査の実施回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 12回 | 12回 | A | | | | 12回 | | | |
| 6 | 最終処分場施設整備事業費 | 一般 | 6-② | 5,000 | / | 周辺地域における処理水の水質検査の実施回数 | | | *** 定期 | 0 | / | 周辺地域における処理水の水質検査の実施回数 | | | *** 定期 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 12回 | 12回 | A | | | | 12回 | | | |

【課長シート】

| 組織名 | 戸籍住民課 | | 作成者（評価者） | 課長 北村 哉女 |
|---|--------------|--|----------|----------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 「証明書コンビニ交付事業」の開始を踏まえマイナンバーカードの普及に取り組めます。 | | |
| | 平成30年度 | オリジナル婚姻届けを作成することで市への愛着やイメージアップに繋がります。 | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 7-① 計画的な行政運営 | | | |
| | 7-② 市民との情報共有 | | | |
| 課の基本方針と使命 | | | | |
| <p>戸籍に関する届出や住民異動の手続き、各種証明書の交付などを行う窓口で、多くの個人情報を取り扱うため、常に慎重に取り扱いながら正確・迅速・丁寧を心がけた窓口サービスを行っています。</p> <p>平成30年2月から「証明書コンビニ交付サービス」を開始し、今後も市民のみなさんに活用していただけるようマイナンバーカードの普及促進に努めます。</p> <p>昨年11月には、市役所にお越しいただくご遺族の不安や事務的な負担を少しでも軽減できるよう、ライフステージに特化した窓口として「おくやみコーナー」を開設し、好評を得ていますので、引き続き、更なる利便性の向上をめざします。</p> <p>また、人生の大きな節目となる「婚姻」という大切なイベントに対し「お祝いの気持ち」を形として表せるような取組を実施してきました。今年度は、届出時の大切な思い出づくりのお手伝いとして「ご当地婚姻届」を作成します。戸籍住民課では、引き続き市役所を身近に感じ、市民のみなさんとの距離を縮めていけるよう努めます。</p> | | | | |

| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | |
|--|--|
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの申請率が12.6%となり目標（10%）を達成できました。 ・証明書コンビニ交付での証明書発行率は、2月1.2%、3月1.0%で目標（1%）を達成できました。 ・結婚お祝い事業に関するアンケートでは、利用者の83%の方が「良い」と回答しています。 ・「おくやみコーナー」に関するアンケートでは、利用者の92%の方が満足と回答しています。 ・平日、午後8時までの時間外窓口の実施については、「広報まつさか」をはじめ、バスマスク等で周知を行った結果、毎日平均10人程度の方にご利用いただいています。 ・戸籍住民課業務に必要な研修の受講や課内での研修などスキルアップに努めました。 ・接遇チェックシートにより個々で気づいたことや要望などを書き込み、課内で公表、話し合いすることで業務改善、接遇向上等に取り組めました。 | |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <p>・窓口でのお客様の待ち時間短縮については、窓口案内（コンシェルジュ）の配置や職員間の連携により対応しましたが、お客様の待ち時間の短縮には至りませんでした。戸籍の請求に当たっては、個々の聞き取りが必要となり、1件の処理時間がかかってしまうことや、転入、転居、氏名変更については、マイナンバーカード・マイナンバー通知カードの裏面に変更内容を記載することになっており、家族全員の変更となると複数枚のカード裏面記載となるなど処理に時間がかかってしまうことが短縮に至らない要因でした。</p> | |

戸籍住民課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|--------------|----|------|---------|---------|----------------|-----|--------|-----------|---------|---------|-----------------|----|----|---------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 個人番号カード交付事業費 | 一般 | 7-① | 30,498 | / | マイナンバーカードの申請率 | | | ↗ 拡大 | 23,797 | / | マイナンバーカードの申請率 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 10% | 13% | A | | | | 14% | | | |
| 2 | 証明書コンビニ交付事業費 | 一般 | 7-① | 61,871 | / | コンビニ交付での申請書発行率 | | | ↗ 拡大 | 14,120 | / | コンビニ交付での申請書発行率 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1% | 1% | A | | | | 1% | | | |
| 3 | 結婚お祝い事業費 | 一般 | 7-① | 2,600 | / | アンケート結果の満足度 | | | ↗ 拡大 | 2,145 | / | オリジナル婚姻届書の作成 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 80% | 83% | A | | | | 8月完成 | | | |
| 4 | 戸籍住民基本台帳一般経費 | 一般 | - | 39,602 | / | 窓口でのお客様待ち時間短縮 | | | → 現状維持 | 44,064 | / | おくやみコーナーワンストップ率 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 10% | 0% | E | | | | 40% | | | |

【課長シート】

| | | | |
|---|---------------|--|----------|
| 組織名 | 地域安全対策課 | 作成者（評価者） | 課長 越川 元博 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 交通事故死傷者数748人及び刑法犯認知件数1,374件（平成28年度）以下をめざします。 | |
| | 平成30年度 | 交通事故死傷者数646人及び刑法犯認知件数1,240件（平成29年度）以下をめざします。 | |
| 関係する『総合計画』施策 | 5－① 交通安全対策の充実 | | |
| | 5－② 防犯対策の充実 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>地域安全対策課は、課名が示すように『松阪市の安全』を担うことを業務としている部署であり、この目的を達成するため、2つの柱を構築し、事業を進めています。</p> <p>一つ目の柱は、「交通安全対策の充実」です。</p> <p>様々な交通安全対策を通じて、松阪市民の交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組み、交通事故死者数ゼロをめざします。</p> <p>二つ目の柱は、「防犯対策の充実」です。</p> <p>地域や関係団体と連会をした防犯対策事業に取り組み、安全で安心なまちづくりを進め、刑法犯認知件数の半減をめざします。</p> | | | |

| |
|--|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全啓発における啓発者数延べ人数 ・地域交通安全対策活動において地域での交通安全教室の開催 ・自転車対策における放置自転車啓発の延べ人数 ・安全・安心なまちづくりの推進における「安全・安心施策推進協議会」等の開催回数 ・防犯対策における防犯啓発活動等の開催回数 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <p>交通安全教育推進事業における交通安全教室延べ参加人数が目標に達していません。</p> <p>交通安全教育推進事業は、幼小中、高校をはじめ老人会などの団体に対し交通教育指導員「とまどーず」による交通安全教室において、交通ルールの順守やマナーについて正しく、分かりやすく伝えることで、交通安全意識の醸成、行動の実践に繋げ交通事故のない社会をめざすものです。このことから、各学校、団体へ働きかけを行っていますが、開催回数が例年より少なかったため目標に達しませんでした。当事業は特に社会人としての基盤を形成する層を対象としており、交通安全対策としては非常に重要な事業であり、今後も継続していきます。</p> |

地域安全対策課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|------------------|----|------|---------|---------|--------------------|---------|-----------|---------|---------|--------------------|---------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 1 | 交通安全啓発事業費 | 一般 | 5-① | 7,438 | / | 交通安全啓発延べ人数 | | ↗ 拡大 | 6,522 | / | 交通安全啓発延べ人数 | | ↗ 拡大 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 6,000人 | 7,950人 | | | | A | 6,300人 | | | |
| 2 | 交通安全教育推進事業費 | 一般 | 5-① | 9,656 | / | 交通安全教室延べ参加者数 | | ↗ 拡大 | 9,150 | / | 交通安全教室延べ参加者数 | | ↗ 拡大 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 22,500人 | 18,150人 | | | | B | 22,700人 | | | |
| 3 | 地域交通安全対策活動事業費 | 一般 | 5-① | 2,929 | / | 地域での交通安全教室開催回数 | | ↗ 拡大 | 2,559 | / | 地域での交通安全教室開催回数 | | ↗ 拡大 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 26回 | 41回 | | | | A | 40回 | | | |
| 4 | 自転車駐車対策事業費 | 一般 | 5-① | 9,247 | / | 放置自転車対策啓発延べ人数 | | ↗ 拡大 | 9,316 | / | 放置自転車対策啓発延べ人数 | | ↗ 拡大 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 5,000人 | 5,100人 | | | | A | 5,300人 | | | |
| 5 | 交通安全対策一般経費 | 一般 | 5-① | 5,979 | / | 交通安全啓発延べ人数 | | ↗ 拡大 | 5,723 | / | 交通安全啓発延べ人数 | | ↗ 拡大 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 6,000人 | 7,950人 | | | | A | 6,300人 | | | |
| 6 | 安全・安心なまちづくり推進事業費 | 一般 | 5-③ | 1,762 | / | 安全・安心施策推進協議会等の開催回数 | | → 現状維持 | 2,356 | / | 安全・安心施策推進協議会等の開催回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 3回 | 3回 | | | | A | 5回 | | | |
| 7 | 防犯対策事業費 | 一般 | 5-③ | 18,944 | / | 防犯啓発活動等の開催回数 | | ↗ 拡大 | 14,692 | / | 防犯啓発活動等の開催回数 | | ↗ 拡大 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 10回 | 15回 | | | | A | 12回 | | | |
| 8 | 防犯カメラ設置補助金 | 一般 | - | / | / | 防犯カメラの設置台数 | | / | 1,000 | / | 防犯カメラの設置台数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | | | | | | 10台 | | | |

【課長シート】

| 組織名 | 人権・男女共同参画課 | 作成者（評価者） | 課長 西 澄子 |
|--|--------------|--|---------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | こころの相談窓口の周知や関係機関、団体との連携により自殺者数26人以下をめざします。 | |
| | 平成30年度 | こころの相談窓口の周知や関係機関、団体との連携により自殺者数26人以下をめざします。 | |
| 関係する『総合計画』施策 | 4－④人権の尊重 | | |
| | 4－⑤男女共同参画の推進 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>人権・男女共同参画課は、市民一人ひとりの人権が尊重され、障がい者、高齢者、女性、子ども、外国人への差別や部落差別など、あらゆる差別をなくすための人権意識を高め、すべての人々が希望と誇りを持って社会に参加できる地域社会の実現をめざします。</p> <p>市民が性別にかかわらず個人として尊重され、責任も分かちあい、個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現をめざします。</p> <p>誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現のため自殺対策に取り組みます。</p> | | | |

| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
|---|
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラザ鈴閉館にあたり、講座生の受け入れ先について、市内各施設に関する詳細な情報提供、ヒアリング等みなさんの意向に沿えるようできる限りの努力を行いました。その結果、一部廃止となる講座もありましたが、引き続き講座を開設していただけることになりました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権図画ポスター応募者数 目標770人のところ564人と目標達成度73%でした。 （小中学校へ依頼した結果、応募が少なかったことによるものです） ・人権講演会参加者数 目標400人のところ300人と目標達成度75%でした。 （啓発において、チラシ配布、広報掲載等で周知したものの参加者数は達成出来ませんでした。講演会の内容の発信不足であるため、啓発方法を検討する必要があります。） ・自殺者数 目標26人のところ30人でした。一人でも多くの方が相談窓口へ辿りつけるよう、「相談窓口」の周知や「合同相談会」の開催を引き続き行います。 ・松阪フォーラム参加者数、目標450人のところ350人と目標達成度78%でした。 （啓発において、チラシ配布、広報掲載等で周知したものの参加者数は達成出来ませんでした。講演会の内容の発信不足であるため、啓発方法を検討する必要があります。） |

人権・男女共同参画課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|----------------|----|------|---------|---------|---------------------------|--------|----|-----------|---------|---------|---------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 人権啓発活動推進事業費 | 一般 | 4-④ | 1,745 | / | 人権図画ポスター応募者数 | | | → 現状維持 | 1,942 | / | 人権図画ポスター応募者数 | | | ▶ 統合 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 770人 | 564人 | B | | | | 600人 | | | |
| 2 | 人権啓発事業費 | 一般 | 4-④ | 5,183 | / | 人権講演会参加者数 | | | → 現状維持 | 5,097 | / | 人権講演会参加者満足度 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 400人 | 300人 | B | | | | 95% | | | |
| 3 | 人権施策推進事業費 | 一般 | 4-④ | 501 | / | 人権関係職員等養成講座受講者数 | | | → 現状維持 | 403 | / | 人権関係職員等養成講座受講者数 | | | ▶ 統合 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 40人 | 38人 | A | | | | 40人 | | | |
| 4 | 多文化共生推進事業費 | 一般 | 4-④ | 1,064 | / | イベント参加者数 | | | → 現状維持 | 1,064 | / | イベント参加者数 | | | ▶ 統合 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 4,500人 | 4,800人 | A | | | | 4,500人 | | | |
| 5 | 地域自殺対策強化事業費 | 一般 | 4-④ | 1,215 | / | 自殺者数 | | | → 現状維持 | 1,700 | / | 自殺者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 26人 | 30人 | B | | | | 26人 | | | |
| 6 | 生活オリエンテーション事業費 | 一般 | 4-④ | 6,876 | / | 通訳、翻訳対応件数 | | | → 現状維持 | 6,933 | / | 通訳、翻訳対応件数 | | | ▶ 統合 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 6,000件 | 8,712件 | A | | | | 8,000件 | | | |
| 7 | 人権啓発一般経費 | 一般 | 4-④ | 1,536 | / | 三重県人権・同和行政連絡協議会の研修内容の課内研修 | | | → 現状維持 | 1,509 | / | 三重県人権・同和行政連絡協議会の研修内容の課内研修 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 1回 | | | |
| 8 | 男女共同参画行政推進事業費 | 一般 | 4-⑤ | 2,331 | / | 松阪フォーラム参加者数 | | | → 現状維持 | 2,230 | / | 男女共同参画松阪フォーラム参加者満足度 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 450人 | 350人 | B | | | | 95% | | | |
| 9 | 男女共同参画一般経費 | 一般 | 4-⑤ | 2,863 | / | 松阪市男女共同参画審議会開催 | | | → 現状維持 | 3,934 | / | 松阪市男女共同参画審議会開催 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 2回 | A | | | | 3回 | | | |

人権・男女共同参画課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-------------|----|------|---------|---------|---------|-----|----|---------|---------|---------|--------|----|----|---------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 10 | プラザ鈴管理運営事業費 | 一般 | 4-⑤ | 11,499 | | 主催講座開催数 | | | — 終了 | 0 | | - | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 10講座 | 9講座 | A | | | | - | - | - | |
| 11 | プラザ鈴解体事業費 | 一般 | 4-⑤ | | | 活動指標 | | | | 142,320 | | 解体工事進捗 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | 100% | | | |

平成30年度 健康福祉部の「実行宣言」

| | | |
|--------------|---------------|------|
| 作成者 (評価者) | 部長 | 小山 誠 |
| | 福祉担当理事兼福祉事務所長 | 片岡 始 |
| | 理事兼こども局長 | 園部 功 |

| 基本方針と使命 |
|--|
| <p>健康福祉部は、市民の方々が、住み慣れた地域で自分らしく安心して、健康に暮らすことができるまちづくりを進めます。事業の推進については、健康、医療、保健、介護、福祉、子育ての各分野が連携を図りながら、各施策の実現に取り組みます。</p> <p>本年度は特に</p> <p>①平成30年度を初年度とする「第3期地域福祉計画」、「第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画」の実現に向け、福祉団体と連携した新しい地域包括支援体制や、障がい者の望む地域支援、障がい児支援のニーズの多様化へのきめ細かな対応を進めます。</p> <p>②子どもを安心して産み育てられる環境を整備して、「子育てするなら松阪」と言われるよう「松阪版ネウボラ」の施策を展開します。</p> <p>③平成29年度実施した、「松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針」に基づく各地区における意見交換会での意見やアンケート結果を踏まえ一定の方向性を示していくとともに、意見交換会が未実施の地区について実施していきます。</p> |

| | |
|--------------------|------------------------|
| 『松阪市総合計画』 との関わり | 1 輝く子どもたち（子育て・教育） |
| | 2 いつまでもいきいきと（福祉・健康づくり） |

| 平成29年度の評価 | | | |
|---|---|----|---|
| 評価基準…A（90%以上）、B（70～89%）、C（50～69%）、D（30～49%）、E（29%以下） | | | |
| 宣言① | 生活困窮世帯の子どもたちに寄り添える学習支援を、市直営実施！ | 評価 | B |
| 【主な理由】 生活困窮世帯学習支援事業は、目標利用者数を40名とし48名の参加申込がありました。しかしながら、継続して参加ができない児童・生徒もおり、一人ひとりの状況把握と支援員が個々の課題に寄り添った支援・助言に努めるとともに、定期的な保護者との連絡や学校との情報共有に努めましたが、平成29年度32回の開催で、延575名の参加に留まりました。 | | | |
| 宣言② | これまでの実績を検証・評価し、各種団体等の意見を十分反映した「松阪市障がい福祉計画」の策定に臨みます！ | 評価 | A |
| 【主な理由】 「障害者総合支援法」および「児童福祉法」に基づき、障がいのある人に必要なサービスや支援が提供されるよう、将来に向けた計画的サービスの提供体制の整備を進める観点から国の定めた基本的な指針に即した数値目標や各種サービス等の必要な量の見込みについて、計画の評価・見直し等を行うため、障がい者および関係団体等で組織された「松阪市障がい者地域自立支援協議会」にて十分な審議を経て策定しました。 | | | |

【部局長シート】

| | | | |
|---|--|----|---|
| 宣言③ | 生活保護の適正実施に取り組みます。 | 評価 | A |
| <p>【主な理由】</p> <p>生活保護の動向は、平成20年のリーマンショック以降、失業等により増加してきましたが、平成25年1月をピークに関係機関との連携協力による自立支援や経済状況の好転等もあり減少傾向となっています。平成29年度末と平成28年度末の保護率を比較すると、0.8%の減少となりました。</p> | | | |
| 宣言④ | 介護予防を強力に推進。認知症サポーターを本年度2,000人養成します！ | 評価 | A |
| <p>【主な理由】</p> <p>高齢者がいつまでも元気で暮らし続けられるよう、介護予防や認知症対策に取り組みました。特に地域でできる介護予防を広め、生活支援サービスの体制づくりを進めるなど高齢者の見守り体制の充実を図り、認知症サポーターを1,964人養成しました。</p> | | | |
| 宣言⑤ | 国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険制度の安定した運営体制により、市民に寄り添った適切なサービスを提供します。 | 評価 | A |
| <p>【主な理由】</p> <p>国民健康保険においては、安定的な運営や効率的な事業を行うため、平成30年度から「国保の広域化(県単位化)」へ移行がスムーズに行われました。また、介護サービスの質の確保と介護給付の適正化、費用負担の公平化を図る取組など、様々な事業を推進しました。</p> | | | |
| 宣言⑥ | 健康センター「はるるコンシェルジュ・子育てコンシェルジュ」配置等で利用者満足度100%！ | 評価 | A |
| <p>【主な理由】</p> <p>平成29年4月に健康センターはるるが開設し、市民が集まり、元気づくりの拠点として、また妊娠・出産から子育て期を途切れなくサポートする松阪版ネウボラの拠点として、誰もが気軽に立ち寄りふれあいや交流ができる施設として運営しており、利用者アンケートにおいても健康センターはるるの満足度は90.6%、32,829人（休日夜間応急診療所利用除く）の利用がありました。</p> | | | |
| 宣言⑦ | 三世帯同居・近居に向けた支援策の周知徹底！ | 評価 | A |
| <p>【主な理由】</p> <p>市外から転入し、世代間で助け合いながら子育てするために、三世帯での同居または近居を始める世帯の住宅取得等に対し平成29年度から事業を開始。地域の会合・研修会、金融機関、ハウスメーカーなど計65か所へ出向きPR活動を実施し、20世帯（同居7世帯・近居13世帯）に対し支援を行いました。（実施計画 活動指標 20件）</p> | | | |

【部局長シート】

| | | | | |
|--|--|-----------------------------------|----------------|-----------|
| <p>宣言⑧</p> | <p>保育園・幼稚園全施設を正確に把握し、再編・統廃合等に向け各地域での懇談会を実施します。</p> | <p>評価</p> | <p>A</p> | |
| <p>【主な理由】</p> <p>平成29年3月に作成した「松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針」に基づき、飯南・飯高地域に4回、花岡地区に2回、幸地区、神戸地区に各1回、地域住民や保護者の方との意見交換会を実施しました。また、幼稚園において園児が少ない地域（阿坂地区2回、大石地区1回、港地区1回）に出向き、今後の運営等について話し合いを持ちました。春日保育園園舎移転改築においては、地域住民、保護者に対して各4回計8回の説明会を重ね、2020年（平成32年）4月の開園に向け意見調整ができました。</p> <p>また、平成29年度には組織改編により「こども局」が設置され、幼稚園の事務が教育委員会事務局から保育園を所管することも局こども未来課に移管されたことにより、入園受付等に対する窓口の一本化によるサービスの向上ならびに保育園・幼稚園が連携し就学前の保育・教育について学び合い考え合うことができました。未就園児への支援についても、各関係機関および関係部局と連携を密にし情報共有を図り、円滑に実施することができました。</p> | | | | |
| <p>宣言⑨</p> | <p>多職種間の連携・協働に取り組み、組織力及び支援力を強化します。</p> | <p>評価</p> | <p>C</p> | |
| <p>【主な理由】</p> <p>子ども発達総合支援センターでは、専門職員（理学療法士、言語聴覚士、作業療法士、臨床心理士）等を講師とし、保育園・幼稚園、児童発達支援関係者等を対象に人材育成講座を5回開催294人が参加し、心身の発達に心配がある又は障がいのある子ども及びその家族等への支援・指導実践の方法について取り組みました。なお、保育園・幼稚園を担当することも未来課では、よりよい幼児教育・保育ができる環境を作るための保育士と幼稚園教諭によるワークショップを開催することができませんでした。</p> | | | | |
| <p>部局マネジメント方針</p> | | | | |
| <p>部長・理事・課長による「健康福祉部月例会」を開催し、部内における情報共有・連携・調整により適確かつ円滑に施策を展開します。</p> | | <p>評価</p> | <p>A</p> | |
| <p>事業計画表を作成し、事業の進捗管理に努めます。</p> | | <p>評価</p> | <p>A</p> | |
| <p>交通事故、交通違反を起こさない意識づくりに取り組みます。</p> | | <p>評価</p> | <p>A</p> | |
| <p>職員の時間外勤務時間の削減に努めます。</p> | | <p>評価</p> | <p>E</p> | |
| <p>『松阪市総合計画』関係施策の進捗度</p> | | | | |
| <p>①</p> | <p>施策名</p> | <p>1-① 子育て支援の推進</p> | <p>目標（H31）</p> | <p>評価</p> |
| | <p>活動指標</p> | <p>乳児家庭全戸訪問実施率</p> | <p>95.0%</p> | <p>A</p> |
| | <p>活動指標</p> | <p>児童虐待件数</p> | <p>0件</p> | <p>C</p> |
| | <p>活動指標</p> | <p>松阪市で今後も子育てをしていきたいと思う保護者の割合</p> | <p>95.0%</p> | <p>A</p> |
| | <p>施策名</p> | <p>1-② 未就学児への支援</p> | <p>目標（H31）</p> | <p>評価</p> |
| | <p>活動指標</p> | <p>保育園の待機児童数（10月1日国基準）</p> | <p>0人</p> | <p>E</p> |
| | <p>活動指標</p> | <p>幼稚園の3歳児保育実施園数</p> | <p>14園</p> | <p>B</p> |

【部局長シート】

| | | | | |
|---|------|----------------------------------|----------|----|
| ③ | 施策名 | 2-① 健康づくりの推進 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 乳がん検診受診率 (40~69歳) | 23.0% | B |
| | 活動指標 | 虫歯のない3歳児の割合 | 83.0% | A |
| | 活動指標 | 健康だと思っている市民の割合 | 80.0% | A |
| ④ | 施策名 | 2-③ 救急医療体制の確保 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 医療施設、救急医療が整っていると感じる市民の割合 | 30.0% | A |
| ⑤ | 施策名 | 2-④ 地域福祉・生活支援の充実 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 地域福祉計画実践プランの取組を充実している地区 | 43地区 | B |
| | 活動指標 | 生活困窮者自立相談新規受付件数 | 36件/月 | B |
| | 活動指標 | プラン(自立支援計画)作成件数 | 18件/月 | E |
| | 活動指標 | 就労支援対象者数 | 11人/月 | E |
| ⑥ | 施策名 | 2-⑤ 高齢者福祉の推進 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 認知症サポーター養成講座受講者数 | 26,000人 | A |
| | 活動指標 | 医療と介護の連携拠点の整備数 | 1か所 | A |
| | 活動指標 | お年寄りが住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりの市民満足度 | 3.10/5 | E |
| ⑦ | 施策名 | 2-⑥ 障がい者福祉の推進 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | グループホームの利用者数 | 150人 | A |
| | 活動指標 | 就労移行支援事業所利用者数 | 20人 | A |
| | 活動指標 | 手話奉仕員養成講座修了者数 | 60人 | B |



平成30年度 健康福祉部の「実行宣言」

| | |
|-----|--|
| 宣言① | 地域と連携・協働した地域共生社会実現に向け、市内全域（エリア別9か所）で地域福祉意見交換会を開催します！ |
| 宣言② | 障がいを理由とする差別を解消するための取組を効果的かつ円滑に実施するネットワークを構築します！ |
| 宣言③ | 訪問活動を充実し生活保護の適正実施に取り組みます！ |
| 宣言④ | 介護予防を強力に推進。一般介護予防事業の参加者15,000人！ |
| 宣言⑤ | 施設整備や介護サービスの質の確保及び保険給付の適正化を推進し、介護を受けながら安心してできる暮らしを支えます！ |
| 宣言⑥ | 健康診査・保健指導等の実施により、疾病予防や医療費抑制を図り、国民健康保険・後期高齢者医療制度の安定した運営に努めます！ |
| 宣言⑦ | 土曜はるる遊ぼうDAYや日曜はるる子育てセミナーを開催して、松阪版ネウボラを推進します！ |
| 宣言⑧ | 次期子ども・子育て支援事業計画作成の基礎となる保護者のニーズを的確に把握するため、アンケート調査項目の充実及び回収率アップ！ |

【部局長シート】

| | |
|---|---|
| 宣言⑨ | 昨年度に引き続き、「松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針」に基づき、保育園・幼稚園の再編・統廃合等に向け各地域での意見交換会を開催するとともに、一定の方向性を示していきます！ |
| 宣言⑩ | 障がい児支援の提供体制の充実！ |
| 部局マネジメント方針 | |
| 部長・理事・課長による「健康福祉部月例会」を開催し、部内における情報共有・連携・調整により適確かつ円滑に施策を展開します。 | |
| 事業計画表を作成し、事業の目的の明確化、進捗管理に努めます。 | |
| 無事故、無違反を目標に交通安全の意識向上に努めます。 | |
| 事業の見直しに取り組み、時間外勤務時間の削減に努めます。 | |

【課長シート】

| 組織名 | 地域福祉課 | | 作成者（評価者） | 課長 鈴木 茂郎 |
|---|------------------|--|----------|----------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 生活困窮世帯の子どもたちに寄り添える学習支援を、市直営実施！ | | |
| | 平成30年度 | 地域と連携・協働した地域共生社会実現に向け、市内全域（エリア別9か所）で地域福祉意見交換会を開催します。 | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 1－① 子育て支援の推進 | | | |
| | 2－④ 地域福祉・生活支援の充実 | | | |
| | 2－⑥ 障がい者福祉の推進 | | | |
| 課の基本方針と使命 | | | | |
| <p>第3期地域福祉計画のもと、市民のだれもが住み慣れた地域で自分らしく尊厳を持って、それまで培ってきた役割や関係を維持しながら暮らし続けていけるよう「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現に向かって、市民のみなさんと一緒になって施策を推進していきます。また、生活困窮者等における様々な生活課題の相談を受けとめ関係機関等と連携を図るとともに、住居確保支援や就労準備支援、こどもの学習支援など、自立助長に向けた相談・支援の充実に努めます。</p> <p>また、地域福祉を支える関係機関・団体等がそれぞれの福祉課題の改善に向けて、効果的に運営できるよう、協議・助言を行います。</p> <p>隣保館においては、福祉の向上や人権啓発・住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、地域住民の理解と信頼を得ながら、地域に密着し、生活上の各種相談事業や人権問題の解決のための各種事業に取組み、魅力ある事業の実施に努めます。</p> | | | | |

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

- ・地域福祉計画策定事業は、地域福祉に関わる団体及び市民公募等の委員23名で、各種関係する団体等の意見の反映に繋がりました。また、委員会では、必要な資料提供を適宜行い、活発な議論のもとで進行し、開催数を減らすことができました。
- ・保護司会補助金は、目標の保護観察支援の取り組み数を大きく上回り、活動支援に繋がっています。
- ・民生委員児童委員協議会連合会補助金は民生委員活動の充実を目標とし日々の活動状況が把握できました。
- ・中国残留邦人等生活支援給付事業は、対象者に対し基準額等適切に支援給付できました。
- ・社会福祉法人指導監査等事業は、法改正等に伴う開示システムの利用を目標とし全26法人が利用しました。
- ・地区民生委員児童委員協議会補助金は、13地区全ての民生委員児童委員協議会で研修及び地域活動の目標を達成できました。
- ・新福祉会館施設整備事業は、改修工事に伴う実施設計の進捗率を目標としスケジュールどおり完了しました。
- ・隣保館管理運営事業は、施設管理（点検）を職員への意識づけとし、実施できました。
- ・隣保館施設整備事業は、第一隣保館の玄関等の改修、中原文化センター駐車場擁壁工事等が施工できました。
- ・隣保館事業は、各種事業で参加・交流者数の増加を目標とし、前年度を上回りました。
- ・社会福祉一般経費は、経費の効率化（執行額の削減）を目標とし、達成できました。
- ・医療費助成事業（障がい者・一人親家庭等・こども）は、適正な期間内の処理を目標とし達成できました。

【課長シート】

【達成できなかったこと】

- ・ 社会福祉協議会補助金は、サポートチームの支援会議回数を目標としましたが、会議開催が大きく下回りました。
- ・ 遺族会補助金は、高齢等で年々減少する会員の維持を目標としましたが、若い世代の会員数が少ない状況です。
- ・ 厚生団体補助金は、母親大会の運営を補助し参加者数を目標としましたが、当日の悪天候で少くなりました。
- ・ 戦没者追悼式事業は、高齢化等により年々会員の減少も伴い、若い世代の参加も少なく、追悼式参加者も減少傾向となっています。
- ・ 小災害見舞金は、火災や台風21号の浸水被害以外は目標の3日以内に対応できましたが、台風21号は浸水被害地域が広く把握に時間を要しました。
- ・ 福祉会館管理運営事業は、利用団体の利用回数を目標としていましたが、療育センターの移転等により90%程度となりました。
- ・ 生活困窮者自立相談支援事業は、新規相談件数を目標としましたが、景気動向などで相談件数は減少傾向となっています。しかし、継続相談件数は前年度比約40%増加しています。
- ・ 生活困窮者住居確保給付金支給事業は、支給件数を目標としましたが、景気動向などで対象者が減少しています。
- ・ 生活困窮者家計相談支援事業は、利用件数を目標としましたが、家計相談を必要とする相談件数は多く、日々相談はあるものの、プラン作成につながる件数は少ない状況です。
- ・ 生活困窮者就労準備支援事業は平成29年度の新規事業で、利用者数を目標としましたが、日常生活・社会生活の改善につなげる相談件数は少なく、対象者の把握も難しい状況です。
- ・ 生活困窮世帯学習支援事業は、利用（登録）者数を目標とし、多くの児童・生徒の登録がありましたが、継続して参加することのできない児童・生徒があり、延人数575名に留まりました。

地域福祉課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|----------------------|----|------|---------|---------|---|--------------------------|----|-----------|---------|---------|---|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 地域福祉計画策定事業費 | 一般 | - | 3,582 | / | ①策定委員数 ②策定委員会開催数 | | | — 終了 | 0 | / | - | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | ①25人 ②5回 | ①23人 ②4回 | A | | | | - | - | - | |
| 2 | 社会福祉協議会補助金 | 一般 | 2-④ | 207,392 | / | サポートチームによる地域へのアプローチ | | | → 現状維持 | 208,703 | / | 小地域福祉活動の支援地区数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回/月 | 1回/年 | E | | | | 35地区 | | | |
| 3 | 保護司会補助金 | 一般 | 2-④ | 1,295 | / | 保護観察支援数（47件：H28.6月） | | | → 現状維持 | 1,295 | / | 保護司支援活動数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 50回 | 80回/月 | A | | | | 50回/月 | | | |
| 4 | 遺族会補助金 | 一般 | 2-④ | 1,188 | / | 会員数を維持するため、若い世代の会員数増 | | | → 現状維持 | 1,120 | / | 遺族会活動の推進と若い世代の参加（会員数増） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 10人 | 3人 | D | | | | 10人 | | | |
| 5 | 厚生団体補助金 | 一般 | 2-④ | 45 | / | 松阪地区母親大会参加者数 | | | → 現状維持 | 45 | / | 松阪地区母親大会参加者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100人 | 80人 | B | | | | 100人 | | | |
| 6 | 民生委員児童委員協議会連合会活動費補助金 | 一般 | 2-④ | 5,544 | / | ①活動日数（一人平均） ②相談支援件数（一人平均） ③研修参加回数（一人平均） | | | → 現状維持 | 5,259 | / | ①活動日数（一人平均） ②相談支援件数（一人平均） ③研修参加回数（一人平均） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | ①12日/月 ②3回/月 ③3回/年 | ①13日/月 ②3回/月 ③4回/年 | A | | | | ①12日/月 ②3回/月 ③3回/年 | | | |
| 7 | 社会福祉統計調査事業費 | 一般 | 2-④ | 20 | / | 調査依頼時の実施率 | | | → 現状維持 | 20 | / | 調査依頼時の実施率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 8 | 戦没者追悼式事業費 | 一般 | 2-④ | 1,585 | / | 追悼式出席者数 | | | → 現状維持 | 1,307 | / | 追悼式出席者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 700人 | 600人 | B | | | | 700人 | | | |

地域福祉課 事務・事業管理シート（予算事業）

98

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-------------------|----|------|---------|---------|---------------------|----------|--------|-----------|---------|---------|---------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 9 | 中国残留邦人等生活支援給付事業費 | 一般 | 2-④ | 4,760 | / | 生活・住宅・医療の支援給付の支給率 | | | → 現状維持 | 4,738 | / | 支援・相談員訪問面談回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 15回/年 | | | |
| 10 | 社会福祉法人指導監督等事業費 | 一般 | 2-④ | 1,714 | / | 「財務諸表等電子開示システム」の利用率 | | | → 現状維持 | 1,185 | / | 一般監査における「助言」件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 3件/回 | | | |
| 11 | 地区民生委員児童委員協議会補助金 | 一般 | 2-④ | 9,935 | / | 研修の実施、地域活動の実施 | | | → 現状維持 | 9,935 | / | 研修の実施、地域活動の実施 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 各2回 | 各3回 | A | | | | 各2回 | | | |
| 12 | 生活困窮者自立相談支援事業費 | 一般 | 2-④ | 16,880 | / | 生活困窮者自立相談新規受付件数 | | | → 現状維持 | 16,816 | / | 生活困窮者自立相談受付件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 39件/月 | 25件/月 | C | | | | 200件/月 | | | |
| 13 | 生活困窮者住居確保給付金支給事業費 | 一般 | 2-④ | 1,319 | / | 生活困窮者住居確保給付金支給件数 | | | → 現状維持 | 1,181 | / | 支援件数に対する就労率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 11世帯/年 | 3世帯/年 | E | | | | 100% | | | |
| 14 | 生活困窮者家計相談支援事業費 | 一般 | 2-④ | 5,199 | / | 生活困窮者家計相談支援事業利用件数 | | | → 現状維持 | 5,203 | / | 生活困窮者家計相談件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 5件/月 | 2件/月 | D | | | | 20件/月 | | | |
| 15 | 生活困窮者就労準備支援事業費 | 一般 | 2-④ | 6,102 | / | 生活困窮者就労準備支援事業利用者数 | | | → 現状維持 | 5,949 | / | 生活困窮者就労準備支援事業利用者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 15人 | 3人 | E | | | | 10人 | | | |
| 16 | 生活困窮世帯学習支援事業費 | 一般 | 2-④ | 2,412 | / | 生活困窮世帯学習支援事業利用者数 | | | → 現状維持 | 4,106 | / | 生活困窮世帯学習支援事業利用者数 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 40人 | 41人/48人中 | B | | | | 75人 | | | |
| 17 | 社会福祉一般経費 | 一般 | 2-④ | 5,991 | / | 経費の効率化（当初予算額からの削減額） | | | → 現状維持 | 4,414 | / | 経費の効率化（当初予算額からの削減額） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 120千円 | 130千円 | A | | | | 100千円 | | | |

地域福祉課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-------------------------|----|------|---------|---------|---------------------|---------|----|-----------|---------|---------|-----------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額(千円) | 決算額(千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額(千円) | 決算額(千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 18 | 医療費助成事業費 (障がい者医療費助成) | 一般 | 2-⑥ | 473,835 | / | 助成データチェック業務に要する日数 | | | → 現状維持 | 478,542 | / | H31.4月末就学児の現物給付への進捗管理 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 25日/月 | 25日/月以内 | A | | | | 100% | | | |
| 19 | 福祉会館管理運営事業費 | 一般 | 2-④ | 10,751 | / | 会館利用団体の利用回数 | | | → 現状維持 | 9,826 | / | 会館利用団体等の利用回数(前年度5%増) | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1,820回 | 1,597回 | B | | | | 1,680回 | | | |
| 20 | 新福祉会館施設整備事業費 | 一般 | 2-④ | 19,872 | / | 実施設計書の作成進捗率 | | | ↗ 拡大 | 499,264 | / | H31年4月移転に向けた改修工事の進捗管理 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | H31.4.1開設 | | | |
| 21 | 隣保館管理運営事業費 | 一般 | 2-④ | 29,809 | / | 職員による施設点検 | | | → 現状維持 | 30,984 | / | 職員の目視等による施設点検 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 毎日 | 毎日 | A | | | | 毎日2回 | | | |
| 22 | 隣保館施設整備事業費 | 一般 | 2-④ | 9,474 | / | 設計書に基づく改修規模の適正化 | | | → 現状維持 | 29,463 | / | 年度内の改修工事完了に向けた進捗管理 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 23 | 隣保館事業費 | 一般 | 2-④ | 10,075 | / | 各隣保館における交流者数の前年度増加率 | | | → 現状維持 | 9,568 | / | 各隣保館における交流数の前年度増加率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 101% | 106% | A | | | | 101% | | | |
| 24 | 医療費助成事業費 (こども医療費助成) | 一般 | 1-① | 555,819 | / | 助成データチェック業務に要する日数 | | | → 現状維持 | 593,560 | / | H31.4月現物給付・年齢拡大への進捗管理 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 25日/月 | 25日/月以内 | A | | | | 100% | | | |
| 25 | 医療費助成事業費 (一人親家庭等) | 一般 | 1-① | 110,005 | / | 助成データチェック業務に要する日数 | | | → 現状維持 | 110,890 | / | H31.4月末就学児の現物給付への進捗管理 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 25日/月 | 25日/月以内 | A | | | | 100% | | | |
| 26 | 災害弔慰金 | 一般 | 2-④ | 5,000 | / | 支給対象者の把握率 | | | → 現状維持 | 5,000 | / | 支給対象者の把握率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 対象者無し | - | | | | 100% | | | |

地域福祉課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|--------|----|------|---------|---------|-----------------|---------------|--------|-----------|---------|---------|-----------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 27 | 小災害見舞金 | 一般 | 2-④ | 1,300 | / | 対象者への見舞金支給までの期間 | | | → 現状維持 | 1,300 | / | 対象者への見舞金支給までの期間 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3日以内 | 火災達成 浸水未達成 | B | | | | 3日以内 | | | |

地域福祉課 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | | | |
|-----|------------------------|----|------|---------|---------|-----------------|-------------|-----------|---------|---------|----------------------|-----|-----------|------|----|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | | | |
| (1) | 第3期地域福祉（活動） 計画の推進業務 | | 7-③ | | | ①地域福祉計画の策定委員数 | | — 終了 | | | 小地域福祉活動連絡協議会へ周知・活動推進 | | ↗ 拡大 | | | | |
| | | | | | | ②委員会開催数 | | | | | 目標 | 実績 | | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | ①25人 ②5回 | ①23人 ②4回 | | | | A | 9地区 | | | | | |
| (2) | 民生委員児童委員協議会 連合会事務局 | | 2-④ | | | 正副会長会議・理事会の開催 | | → 現状維持 | | | 正副会長会議・理事会の開催 | | → 現状維持 | | | | |
| | | | | | | 目標 | | | | | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 各11回 | | | | | | | | 各11回 | | | |
| (3) | 日本赤十字社松阪支部事 務局 | | 2-④ | | | 社資・義援金の募金等の適正管理 | | → 現状維持 | | | 社資・義援金の募金等の適正管理 | | → 現状維持 | | | | |
| | | | | | | 目標 | | | | | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | | | | | | | | 100% | | | |

【課長シート】

| | | | |
|---|---------------|---|----------|
| 組織名 | 障がい福祉課 | 作成者（評価者） | 課長 伊藤 由里 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | これまでの実績を検証・評価し、各種団体等の意見を十分反映した「松阪市障がい福祉計画」の策定に臨みます！ | |
| | 平成30年度 | 障がいを理由とする差別を解消するための取組を効果的かつ円滑に実施できるネットワークを構築します！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | 2-⑥ 障がい者福祉の推進 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>障がい福祉課は、障がいのある人もない人も、お互いの人格と個性を尊重し、支えあいのもと、障がい者が自らの意思に基づき、社会のあらゆる分野の活動に参加・参画することができ、地域でその人らしく生きいきと自立した生活を送ることができるまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>改正障害者総合支援法に位置づけられる「障がい者の望む地域支援」「障がい児支援のニーズの多様化へのきめ細かな対応」「サービスの質の確保・向上に向けた環境整備」を進めます。また、「第5期障がい福祉計画」に示す数値目標を達成するため具体的な取組を進めるとともに新たに設けた「第1期障がい児福祉計画」における児童発達支援センター設置に向けて関係機関と協議を進めます。</p> <p>また、障害者差別解消法に基づき、相談事例等に係る情報の共有・協議を通じて、事案解決のための取組や類似事案の発生防止などを行う「協議会」の設置に向け、協議・検討を行います。</p> | | | |

| |
|---|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改正障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく、障がい福祉サービスの数値目標及び見込量について見直し、サービス提供体制の確保を図るため、2018年（平成30年）度から2020年（平成32年）度までの3か年の「第5期松阪市障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画」を策定しました。 ・「手話は言語である」との認識を深めるため、企業等への手話研修開催の推進を図り、手話の普及推進に取り組み、実施企業数が前年度を上回りました。 ・障がい者就労施設等優先調達方針に基づいた障がい者就労施設への発注の促進に取り組み、目標額を達成しました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重度身体障がい者自動車燃料費助成の利用者は、前年度比9.8%増加しましたが、目標値を下回りました。 ・一般的な相談事業について、市が委託する障がい者総合相談センター“マーベル”への相談件数は増加傾向にありますが、当事者相談員や家族相談員による障がい者相談員設置事業における相談件数は目標値を下回りました。 ・手話普及啓発事業の手話普及啓発イベントについては、広報やチラシ配布、ネット活用等によりPRに努めましたが、参加者数が目標値を下回りました。 ・福祉ホーム運営事業費補助金は、福祉ホームの利用に対し補助を行いました。2名の見込みが1名の利用となりました。 ・障害者自立支援認定審査事業では、介護給付費等の支給に関する審査会を設置し、障害福祉サービスを利用するための障害支援区分の審査判定を行い、審査件数は前年度比9.3%増加しましたが、目標値を下回りました。 ・障がい者自立生活推進事業は、自立生活体験室の利用に対し、経費負担を行いました。3名の見込みが1名の利用となりました。 |

障がい福祉課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-----------------------|----|------|---------|---------|------------------------------|-----------|--------|---------|------------------------------|-----------|----|------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 1 | 重度身体障がい者自動車燃料費助成事業費 | 一般 | 2-⑥ | 10,834 | / | 重度身体障がい者自動車燃料費助成事業利用者数 | → 現状維持 | 11,012 | / | 重度身体障がい者自動車燃料費助成事業利用者数 | → 現状維持 | | | | |
| | | | | | | 目標 | | | | 実績 | | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 500人 | | | | 415人 | | B | 415人 | | |
| 2 | 重度心身障がい者タクシー料金助成事業費 | 一般 | 2-⑥ | 10,161 | / | 重度心身障がい者タクシー料金助成事業利用者数 | → 現状維持 | 10,161 | / | 重度心身障がい者タクシー料金助成事業利用者数 | → 現状維持 | | | | |
| | | | | | | 目標 | | | | 実績 | | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 550人 | | | | 551人 | | A | 550人 | | |
| 3 | 重度身体障がい者福祉タクシー料金助成事業費 | 一般 | 2-⑥ | 2,592 | / | 重度身体障がい者福祉タクシー料金助成事業利用者数 | → 現状維持 | 2,592 | / | 重度身体障がい者福祉タクシー料金助成事業利用者数 | → 現状維持 | | | | |
| | | | | | | 目標 | | | | 実績 | | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 80人 | | | | 75人 | | A | 80人 | | |
| 4 | 障がい者相談員設置事業費 | 一般 | 2-⑥ | 212 | / | 障がい者等からの相談件数 | → 現状維持 | 212 | / | 障がい者等からの相談件数 | → 現状維持 | | | | |
| | | | | | | 目標 | | | | 実績 | | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 80件 | | | | 60件 | | B | 60件 | | |
| 5 | 障がい者団体活動事業費補助金 | 一般 | 2-⑥ | 2,360 | / | 各障がい者団体の活動事業参加者増加率（平成28年度対比） | → 現状維持 | 2,160 | / | 各障がい者団体の活動事業参加者増加率（平成29年度対比） | → 現状維持 | | | | |
| | | | | | | 目標 | | | | 実績 | | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 3% | | | | 5% | | A | 3% | | |
| 6 | 障がい児通所施設等医療的ケア支援事業費 | 一般 | - | 726 | / | 障がい児通所施設等医療的ケア支援事業対象児童数 | → 現状維持 | 726 | / | 障がい児通所施設等医療的ケア支援事業対象児童数 | → 現状維持 | | | | |
| | | | | | | 目標 | | | | 実績 | | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 1人 | | | | 0人 | | - | 1人 | | |
| 7 | 心身障害者扶養共済掛金助成金 | 一般 | 2-⑥ | 72 | / | 三重県心身障害者扶養共済掛金助成金対象者数 | → 現状維持 | 72 | / | 三重県心身障害者扶養共済掛金助成金対象者数 | → 現状維持 | | | | |
| | | | | | | 目標 | | | | 実績 | | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 1人 | | | | 1人 | | A | 1人 | | |
| 8 | 手話普及啓発事業費 | 一般 | 2-⑥ | 2,024 | / | 手話普及啓発イベント参加者数 | → 現状維持 | 2,345 | / | 手話普及啓発イベント参加者数 | → 現状維持 | | | | |
| | | | | | | 目標 | | | | 実績 | | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 350人 | | | | 300人 | | B | 350人 | | |

障がい福祉課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|--------------------|----|------|-----------|---------|--------------------------------|--------|----|-----------|-----------|---------|--------------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 9 | 緊急通報装置貸与事業費 | 一般 | 2-⑥ | 114 | / | 緊急通報装置利用者数 | | | → 現状維持 | 137 | / | 緊急通報装置利用者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 4人 | 4人 | A | | | | 4人 | | | |
| 10 | 精神障がい者デイケア事業費 | 一般 | 2-⑥ | 153 | / | 精神障がい者の生活訓練事業実施回数 | | | → 現状維持 | 153 | / | 精神障がい者の生活訓練事業実施回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 12回 | 12回 | A | | | | 12回 | | | |
| 11 | 重度障がい者(児)紙オムツ給付事業費 | 一般 | 2-⑥ | 1,039 | / | 重度障がい者(児)紙オムツ給付件数 | | | → 現状維持 | 927 | / | 重度障がい者(児)紙オムツ給付件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 260件 | 256件 | A | | | | 260件 | | | |
| 12 | 施設入通所措置事業費 | 一般 | 2-⑥ | 4,065 | / | 障害者虐待防止法による被虐待者の保護が必要な場合の施設入所率 | | | → 現状維持 | 4,065 | / | 障害者虐待防止法による被虐待者の保護が必要な場合の施設入所率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 0人 | - | | | | 100% | | | |
| 13 | 介護給付事業費 | 一般 | 2-⑥ | 2,469,042 | / | 生活介護利用者数 | | | → 現状維持 | 2,603,426 | / | 生活介護利用者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 420人/月 | 454人/月 | A | | | | 420人/月 | | | |
| 14 | 訓練等給付事業費 | 一般 | 2-⑥ | 1,001,988 | / | 就労継続支援B型事業所利用者数 | | | → 現状維持 | 1,029,602 | / | 就労継続支援B型事業所利用者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 320人/月 | 320人/月 | A | | | | 320人/月 | | | |
| 15 | 自立支援医療給付事業費 | 一般 | 2-⑥ | 225,107 | / | 自立支援医療給付対象件数 | | | → 現状維持 | 238,352 | / | 自立支援医療給付対象件数(延べ) | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 350件 | 493件 | A | | | | 1,950件 | | | |
| 16 | 障害者補装具給付事業費 | 一般 | - | 40,844 | / | 障害者補装具給付件数 | | | → 現状維持 | 40,000 | / | 障害者補装具給付件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 320件 | 308件 | A | | | | 320件 | | | |
| 17 | 障害者日常生活用具給付等事業費 | 一般 | - | 44,521 | / | 障害者日常生活用具給付件数(排泄管理支援用具) | | | → 現状維持 | 45,047 | / | 障害者日常生活用具給付件数(排泄管理支援用具) | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 290人/月 | 296人/月 | A | | | | 290人/月 | | | |

障がい福祉課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|---------------------|----|------|----------|----------|----------------------------|--------|----|-----------|----------|----------|----------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 18 | 障害者日中一時支援事業費 | 一般 | - | 56,616 | / | 障害者日中一時支援実利用者数 (月平均) | | | → 現状維持 | 65,466 | / | 障害者日中一時支援実利用者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 135人/月 | 160人/月 | A | | | | 300人 | | | |
| 19 | 障害者社会参加促進事業費 | 一般 | - | 2,650 | / | 身体障がい者自動車改造費等助成件数 | | | → 現状維持 | 2,650 | / | 身体障がい者自動車改造費等助成件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 10件 | 15件 | A | | | | 10件 | | | |
| 20 | 生活訓練等支援事業費 | 一般 | - | 8,496 | / | 知的障がい者生活訓練利用者数 (延べ) | | | → 現状維持 | 9,312 | / | 知的障がい者生活訓練利用者数 (延べ) | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 370人 | 350人 | A | | | | 370人 | | | |
| 21 | 移動支援事業費 | 一般 | - | 100,194 | / | 移動支援実利用者数 (月平均) | | | → 現状維持 | 104,424 | / | 移動支援実利用者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 190人/月 | 216人/月 | A | | | | 290人 | | | |
| 22 | 障害者相談支援事業費 | 一般 | - | 29,443 | / | 障がい者相談支援員による相談件数 | | | → 現状維持 | 29,666 | / | 障がい者相談支援員による相談件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 6,700件 | 7,832件 | A | | | | 7,000件 | | | |
| 23 | 意思疎通支援事業費 | 一般 | - | 15,323 | / | 聴覚障がい者の意思疎通支援のための登録手話通訳者数 | | | → 現状維持 | 15,643 | / | 手話奉仕員養成講座修了者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 12人 | 12人 | A | | | | 15人 | | | |
| 24 | 地域活動支援センター事業費 | 一般 | - | 9,000 | / | 地域活動支援センターによる生活訓練利用者数 (延べ) | | | → 現状維持 | 9,000 | / | 地域活動支援センターによる生活訓練利用者数 (延べ) | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 280人 | 545人 | A | | | | 280人 | | | |
| 25 | 在宅身体障がい者訪問入浴サービス事業費 | 一般 | - | 11,400 | / | 在宅身体障がい者訪問入浴サービス利用回数 | | | → 現状維持 | 10,260 | / | 在宅身体障がい者訪問入浴サービス利用回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 730回 | 663回 | A | | | | 730回 | | | |
| 26 | 職親委託措置事業費 | 一般 | - | 2,160 | / | 職親委託利用者数 | | | → 現状維持 | 2,160 | / | 職親委託利用者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 6人 | 6人 | A | | | | 6人 | | | |

障がい福祉課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|------------------|----|------|---------|---------|---------------------|--------|-----------|---------|---------|-----------------------------|--------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 27 | 福祉ホーム運営事業費補助金 | 一般 | 2-⑥ | 639 | / | 福祉ホーム利用者数 | | ↙ 縮小 | 320 | / | 福祉ホーム利用者数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 2人 | 1人 | | | | C | 1人 | | | |
| 28 | 障害者自立支援認定審査事業費 | 一般 | - | 13,822 | / | 障害者自立支援認定審査件数 | | → 現状維持 | 15,664 | / | 障害者自立支援認定審査件数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 680件 | 544件 | | | | B | 544件 | | | |
| 29 | 自立支援協議会事業費 | 一般 | - | 2,789 | / | 障がい者の理解を深める研修会等開催回数 | | → 現状維持 | 1,569 | / | 障がい者の理解を深める研修会等開催回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 15回 | 17回 | | | | A | 15回 | | | |
| 30 | 障がい者自立生活推進事業費 | 一般 | 2-⑥ | 114 | / | 障がい者自立生活推進事業利用者数 | | — 終了 | 0 | / | - | | — 終了 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 3人 | 1人 | | | | D | - | | - | - |
| 31 | 障害者総合支援一般経費 | 一般 | - | 23,076 | / | 生活介護利用者数 | | → 現状維持 | 24,270 | / | 部局長の実行宣言に掲げる障がい福祉課の宣言に対する評価 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 420人/月 | 454人/月 | | | | A | A | | | |
| 32 | 特別障害者手当等給付事業費 | 一般 | - | 81,016 | / | 特別障害者手当受給者数 | | → 現状維持 | 80,948 | / | 特別障害者手当受給者数（延べ） | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 230人 | 237人 | | | | A | 2,500人 | | | |
| 33 | 給付事務費 | 一般 | - | 550 | / | 特別児童扶養手当受給者数（延べ） | | → 現状維持 | 382 | / | 特別児童扶養手当受給者数（延べ） | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 4,800人 | 5,604人 | | | | A | 4,800人 | | | |
| 34 | 障害者福祉センター管理運営事業費 | 一般 | 2-⑥ | 6,633 | / | 障害者福祉センター利用者登録人数 | | → 現状維持 | 5,908 | / | 障害者福祉センター利用者登録人数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 120人 | 143人 | | | | A | 120人 | | | |
| 35 | 障害者福祉センター施設整備事業費 | 一般 | - | / | / | トイレ改修工事実施率 | | / | 7,031 | / | - | | — 終了 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | | | | | | 100% | | | |

障がい福祉課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|----------------------|----|------|---------|---------|------------------------|--------|--------|-----------|---------|---------|------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 36 | 障害者福祉センター創作活動等事業費 | 一般 | 2-⑥ | 10,511 | / | 障害者福祉センター社会参加促進事業利用人数 | | | → 現状維持 | 10,249 | / | 障害者福祉センター社会参加促進事業利用人数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100人 | 131人 | A | | | | 100人 | | | |
| 37 | 障害者福祉センター機能訓練事業費 | 一般 | 2-⑥ | 1,002 | / | 障害者福祉センター機能訓練事業利用人数 | | | → 現状維持 | 989 | / | 障害者福祉センター機能訓練事業利用人数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 20人 | 21人 | A | | | | 20人 | | | |
| 38 | 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業費 | 一般 | 2-⑥ | 232 | / | 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付対象児童数 | | | → 現状維持 | 232 | / | 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付対象児童数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1人 | 0人 | - | | | | 1人 | | | |
| 39 | 児童発達支援給付事業費 | 一般 | 2-⑥ | 448,369 | / | 児童発達支援利用者 | | | → 現状維持 | 640,078 | / | 児童発達支援利用者 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 180人/月 | 238人/月 | A | | | | 180人/月 | | | |
| 40 | 障害児福祉手当給付事業費 | 一般 | 2-⑥ | 25,728 | / | 障害児福祉手当受給者数 | | | → 現状維持 | 25,695 | / | 障害児福祉手当受給者数（延べ） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 115人 | 135人 | A | | | | 1,300人 | | | |

【課長シート】

| | | | | |
|---|-------------------------|----------------------------------|-----------------|-----------------|
| 組織名 | 保護課 | | 作成者（評価者） | 課長 橋爪 敏昭 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 生活保護制度の適正実施に取り組みます。 | | |
| | 平成30年度 | 訪問活動を充実し生活保護の適正実施に取り組みます！ | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 2-④ 地域福祉・生活支援の充実 | | | |
| 課の基本方針と使命 | | | | |
| <p>保護課が所管している生活保護制度は、資産や能力等すべてを活用してもなお生活に困窮する方に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い、「健康で文化的な最低限度の生活」を保障するとともに、自立を助長することを目的とし、生活困窮者対策の中の最後のセーフティネットとしての役割を担っています。</p> <p>このため、保護課では、生活に困窮する方に、社会保障や生活困窮の支援対策、様々な生活課題に対応する福祉サービスなどの情報提供に努めます。また、生活保護適正実施の基本となる訪問、面接活動により生活保護受給者の自立阻害要因を把握し、個々に必要な支援を行います。</p> | | | | |

| | |
|---|--|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | |
| 【達成できたこと】 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・通院中の生活保護受給者について毎月医療検討会を開催し、嘱託医師に医学的な見地から「病状把握、就労指導の可否、頻回受診にあたるかどうか」などについて意見を求め、ケースワークに生かすことができました。 ・生活保護制度を適正に運営するための必要な知識・技術を身につけるため、毎月、職員研修会を実施した。また、生活保護担当ケースワーカー全国研修、全国生活保護査察指導員研修に各1名参加し、研修会で学んだ内容を職員研修会で報告を行いました。 | |
| 【達成できなかったこと】 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援プログラムにより積極的な就労指導を行ってきましたが、稼働年齢層の方が世帯主である「その他世帯」が減少する中、就労開始件数、自立件数が目標を達成することができませんでした。（目標30件⇒実績21件）引き続き、就労支援相談員、ハローワーク等と連携して就労指導に取り組みます。 | |

保護課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|----------------|----|------|-----------|---------|-----------------------|------|-----------|-----------|---------|-----------------------|------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 1 | 嘱託医師報酬 | 一般 | 2-④ | 900 | / | 医療検討会での検討回数 | | → 現状維持 | 900 | / | 医療検討会での検討回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 90件 | 151件 | | | | A | 150件 | | | |
| 2 | 生活保護適正実施推進事業費 | 一般 | 2-④ | 3,651 | / | 後発医薬品の使用割合 | | → 現状維持 | 2,901 | / | 後発医薬品の使用割合 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 80% | 75% | | | | A | 80% | | | |
| 3 | 生活保護受給者就労支援事業費 | 一般 | 2-④ | 4,245 | / | 自立支援プログラムによる就労開始、自立件数 | | → 現状維持 | 4,365 | / | 自立支援プログラムによる就労開始、自立件数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 30件 | 21件 | | | | B | 30件 | | | |
| 4 | 生活保護一般経費 | 一般 | 2-④ | 12,646 | / | 毎月の訪問計画に対する訪問率 | | → 現状維持 | 12,972 | / | 訪問計画に対する面接率 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 90% | 94% | | | | A | 80% | | | |
| 5 | 生活保護扶助費 | 一般 | 2-④ | 4,392,600 | / | 毎月の訪問計画に対する訪問率 | | → 現状維持 | 4,200,000 | / | 訪問計画に対する面接率 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 90% | 94% | | | | A | 80% | | | |

【課長シート】

| | | | |
|--|--------------|-------------------------------------|----------|
| 組織名 | 高齢者支援課 | 作成者（評価者） | 課長 松田 佳浩 |
| 関係する「実行宣言」 | 平成29年度 | 介護予防を強力に推進。認知症サポーターを本年度2,000人養成します！ | |
| | 平成30年度 | 介護予防を強力に推進。一般介護予防事業の参加者15,000人！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | 2-⑤ 高齢者福祉の推進 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>高齢者支援課は、2025年には団塊の世代が75歳以上の高齢者となることや、今以上に単身や夫婦のみの高齢者世帯、要介護認定者、認知症高齢者が増加することが見込まれることから、高齢者がいつまでも元気で暮らし続けられるよう、介護予防や認知症対策に取り組んでいます。</p> <p>また高齢者の社会参加の機会を増やし、元気な高齢者を増やしていく施策を推進する一方、在宅医療・介護連携の推進に向けて必要な人材確保やスムーズな連携が図れるよう、関係者との協議を踏まえた施策を展開しています。</p> <p>今年度は、地域でできる介護予防を広め、生活支援サービスの体制づくりを進めるなど高齢者の見守り体制の充実を図ります。また松阪地域在宅医療・介護連携拠点の設置により医療と介護の連携がより密になるよう進めると共に、認知症初期集中支援チームの設置による認知症施策をより一層進めていきます。</p> | | | |

| |
|---|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域敬老事業推進特別交付金」は、全ての住民協議会に交付し、各地域の特性に応じた活用がなされました。 ・「高齢者等活力推進事業費」では、「お元気応援ポイント」事業への関心が高く、登録団体数が伸びました。 ・「緊急通報装置貸与事業」、「寝具丸洗乾燥事業」、「訪問理美容サービス事業」、「紙オムツ給付事業」は対象者のニーズが高い事業であり、ニーズに応じられるよう事業内容等を精査しつつ継続します。 ・松阪市老人福祉センター（松寿園）、飯高老人福祉センター、飯南と飯高の高齢者生活福祉センターは高齢者の生きがいづくり、健康増進、生活の向上等の役割を果たしていきます。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ活動事業補助金は、老人クラブへの加入者が年々減少しているため、目標達成には至りませんでした。加入者の減少を抑制するため補助金申請等について見直します。 ・高齢者在宅生活支援事業費は、ニーズはあるものの利用者が減少したため、目標達成には至りませんでした。利用者減少の要因を把握し、対処して継続します。 ・日常生活用具給付事業費は、火災報知機の設置の義務付けより、これまでに設置がなされニーズは減少しましたが、他の器具（電磁調理器・自動消火器）での高齢者の安全確保を続けていきます。 |

高齢者支援課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|------------------|----|------|---------|---------|--------------------------|--------|----|-----------|---------|---------|--------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 飯南ふれあいセンター管理事業費 | 一般 | 2-⑤ | 9,985 | / | 複合利用施設としての年間利用件数 | | | → 現状維持 | 10,482 | / | 複合利用施設としての年間利用件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 300件 | 441件 | A | | | | 300件 | | | |
| 2 | 高齢者虐待防止緊急一時保護事業費 | 一般 | 2-⑤ | 308 | / | 緊急時の一時保護におけるベッド利用日数 | | | → 現状維持 | 275 | / | 緊急時の一時保護におけるベッド利用日数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 25日 | 0日 | - | | | | 25日 | | | |
| 3 | 老人クラブ活動事業補助金 | 一般 | 2-⑤ | 9,403 | / | 老人クラブ会員数 | | | → 現状維持 | 7,620 | / | 老人クラブ会員数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 7,000人 | 5,682人 | B | | | | 7,000人 | | | |
| 4 | 長寿者祝事業費 | 一般 | 2-⑤ | 2,249 | / | 満100歳訪問対象者 | | | → 現状維持 | 2,310 | / | 満100歳訪問対象者 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 50人 | 42人 | B | | | | 50人 | | | |
| 5 | 地域敬老事業推進特別交付金 | 一般 | 2-⑤ | 15,912 | / | 全ての住民協議会への交付 | | | → 現状維持 | 16,000 | / | 全ての住民協議会への交付 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 43団体 | 43団体 | A | | | | 43団体 | | | |
| 6 | 高齢者等活力推進事業費 | 一般 | 2-⑤ | 8,110 | / | お元気応援ポイント事業の登録団体数 | | | → 現状維持 | 10,756 | / | お元気応援ポイント事業の登録団体数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 340団体 | 390団体 | A | | | | 450団体 | | | |
| 7 | うきさと憩センター施設整備事業費 | 一般 | - | / | / | 修繕工期内での完成 | | | / | 1,300 | / | 修繕工期内での完成 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | 3ヶ月 | | | |
| 8 | 老人福祉一般経費 | 一般 | 2-⑤ | 5,132 | / | 高齢者への相談対応・各種調査・会議等（外出）回数 | | | → 現状維持 | 4,084 | / | 高齢者への相談対応・各種調査・会議等（外出）回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 600回 | 610回 | A | | | | 600回 | | | |
| 9 | 高齢者生活管理指導短期宿泊事業費 | 一般 | 2-⑤ | 702 | / | 短期宿泊による一時的養護の日数 | | | → 現状維持 | 702 | / | 短期宿泊による一時的養護の日数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100日 | 0日 | - | | | | 100日 | | | |

高齢者支援課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|--------------------|----|------|----------|----------|----------------------|--------|----|-----------|----------|----------|----------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 10 | 緊急通報装置貸与事業費 | 一般 | 2-⑤ | 15,844 | / | 緊急通報装置貸与台数 | | | → 現状維持 | 15,120 | / | 緊急通報装置貸与台数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 621台 | 598台 | A | | | | 660台 | | | |
| 11 | 高齢者在宅生活支援事業費 | 一般 | 2-⑤ | 935 | / | 延べサービス提供時間数 | | | ↘ 縮小 | 716 | / | 延べサービス提供時間数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 468時間 | 169時間 | D | | | | 420時間 | | | |
| 12 | 寝具丸洗乾燥事業費 | 一般 | 2-⑤ | 1,088 | / | 延べ利用者数 | | | → 現状維持 | 1,086 | / | 延べ利用者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 306人 | 296人 | A | | | | 310人 | | | |
| 13 | 訪問理美容サービス事業費 | 一般 | 2-⑤ | 135 | / | 延べ利用者数 | | | → 現状維持 | 135 | / | 延べ利用者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 20人 | 19人 | A | | | | 20人 | | | |
| 14 | 日常生活用具給付事業費 | 一般 | 2-⑤ | 887 | / | 延べ利用者数 | | | ↘ 縮小 | 840 | / | 延べ利用者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 49人 | 14人 | E | | | | 45人 | | | |
| 15 | 在日外国人高齢者福祉給付金支給事業費 | 一般 | - | 120 | / | 延べ利用者数 | | | → 現状維持 | 120 | / | 延べ利用者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1人 | 1人 | A | | | | 1人 | | | |
| 16 | 老人ホーム入所措置事業費 | 一般 | 2-⑤ | 270,288 | / | 入所措置利用延べ人数 | | | → 現状維持 | 271,041 | / | 入所措置利用延べ人数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1,296人 | 1,374人 | A | | | | 1,440人 | | | |
| 17 | 松寿園管理運営事業費 | 一般 | 2-⑤ | 9,945 | / | 施設貸館の稼働率（日単位） | | | → 現状維持 | 10,002 | / | 施設貸館の稼働率（日単位） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 85% | 88% | A | | | | 85% | | | |
| 18 | 飯南高齢者生活福祉センター管理事業費 | 一般 | 2-④ | 11,402 | / | 居室部門の定員稼働率（月単位）※定員5人 | | | → 現状維持 | 11,574 | / | 居室部門の定員稼働率（月単位）※定員5人 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 85% | 95% | A | | | | 85% | | | |

高齢者支援課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|--------------------|----|------|---------|---------|-----------------------|---------|----|-----------|---------|---------|-----------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額(千円) | 決算額(千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額(千円) | 決算額(千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 19 | 飯高高齢者生活福祉センター管理事業費 | 一般 | 2-④ | 12,824 | / | 居室部門の定員稼働率(月単位)※定員10人 | | | → 現状維持 | 12,824 | / | 居室部門の定員稼働率(月単位)※定員10人 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 85% | 73% | B | | | | 85% | | | |
| 20 | 飯高老人福祉センター管理運営事業費 | 一般 | 2-⑤ | 7,055 | / | 複合利用施設としての年間利用件数 | | | → 現状維持 | 7,055 | / | 複合利用施設としての年間利用件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1,200件 | 1,228件 | A | | | | 1,200件 | | | |
| 21 | 指定管理者選定委員会事業費 | 一般 | - | / | / | 活動指標 | | | / | 72 | / | 活動指標 | | | ... |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | 指定管理者の決定 | | | |
| 22 | 医療介護連携システム事業費 | 特別 | - | / | / | 活動指標 | | | / | 297 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | I C T活用勉強会開催回数 | | | |
| 23 | 介護予防・生活支援サービス事業費 | 特別 | 2-⑤ | 162,525 | / | サービス延べ件数 | | | ↗ 拡大 | 325,050 | / | サービス延べ件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 6,156件 | 6,094件 | A | | | | 12,500件 | | | |
| 24 | 高額介護予防サービス費等相当事業費 | 特別 | 2-⑤ | 312 | / | 延べ件数 | | | → 現状維持 | 312 | / | 延べ件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 160件 | 45件 | E | | | | 160件 | | | |
| 25 | 介護予防ケアマネジメント事業費 | 特別 | 2-⑤ | 21,723 | / | ケアマネジメント延べ件数 | | | ↗ 拡大 | 43,446 | / | ケアマネジメント延べ件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 4,471件 | 4,442件 | A | | | | 9,900件 | | | |
| 26 | 一般介護予防事業費 | 特別 | 2-⑤ | 60,193 | / | 一般介護予防事業の延べ参加者数 | | | → 現状維持 | 60,193 | / | 一般介護予防事業の延べ参加者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 15,000人 | 17,194人 | A | | | | 15,000人 | | | |
| 27 | 地域包括支援センター事業費 | 特別 | 2-⑤ | 144,418 | / | センターでの総合相談等個別対応件数 | | | → 現状維持 | 144,418 | / | センターでの総合相談等個別対応件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 4,000件 | 3,676件 | A | | | | 4,000件 | | | |

高齢者支援課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|----------------|----|------|---------|---------|-----------------|---------|--------|-----------|---------|---------|-----------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 28 | 高齢者支援事業費 | 特別 | 2-⑤ | 48,663 | / | 紙オムツ給付延べ利用者数 | | | → 現状維持 | 48,663 | / | 紙オムツ給付延べ利用者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 8,424人 | 8,385人 | A | | | | 8,500人 | | | |
| 29 | 安心生きがい支援事業費 | 特別 | 2-⑤ | 323 | / | 認知症サポーター養成（年間） | | | → 現状維持 | 323 | / | 認知症サポーター養成（年間） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2,000人 | 1,964人 | A | | | | 2,000人 | | | |
| 30 | 在宅医療・介護連携推進事業費 | 特別 | 2-⑤ | 19,379 | / | 地域包括ケア推進会議の実施 | | | → 現状維持 | 22,287 | / | 地域包括ケア推進会議の実施 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3回 | 3回 | A | | | | 3回 | | | |
| 31 | 生活支援体制整備事業費 | 特別 | 2-⑤ | 27,800 | / | 生活支援コーディネーターの配置 | | | → 現状維持 | 27,800 | / | 生活支援コーディネーターの配置 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 5名 | 5名 | A | | | | 5名 | | | |
| 32 | 認知症総合支援事業費 | 特別 | 2-⑤ | 30,103 | / | 認知症地域支援推進員の配置 | | | ↗ 拡大 | 45,963 | / | 認知症地域支援推進員の配置 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 6名 | 6名 | A | | | | 6名 | | | |
| 33 | 審査支払手数料 | 特別 | 2-⑤ | 744 | / | 総合事業の審査支払にかかる件数 | | | ↗ 拡大 | 1,488 | / | 総合事業の審査支払にかかる件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 10,800件 | 10,527件 | A | | | | 24,000件 | | | |

【課長シート】

| | | | | |
|---|--------------|--|-----------------|----------|
| 組織名 | 介護保険課 | | 作成者（評価者） | 課長 田中 孝子 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険制度の安定した運営体制により、市民に寄り添った適切なサービスを提供します。 | | |
| | 平成30年度 | 施設整備や介護サービスの質の確保及び保険給付の適正化を推進し、介護を受けながら安心してできる暮らしを支えます。 | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 2-⑤ 高齢者福祉の推進 | | | |
| 課の基本方針と使命 | | | | |
| <p>介護保険課は、高齢化の進展とともに要介護認定者や認知症高齢者が増大を続ける中、「介護を受けながら安心してできる暮らし」を支えるため、在宅サービスと施設・居住系サービスのバランスの取れた基盤整備、介護サービスの質の確保と介護給付の適正化、費用負担の公平化を図る取組など、様々な事業を推進しています。</p> <p>平成29年度に策定した「第8次高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画」に基づき、住みなれた地域で安心して暮らし続けるための体制づくりを進めていきます。</p> | | | | |

| | |
|---|--|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | |
| 【達成できたこと】 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料の賦課徴収は、毎月の督促や催告、電話や訪問などを実施したことにより現年収納率（特別徴収+普通徴収）は前年度と比較すると向上する見込みです。 ・第7期介護保険事業計画における介護保険料基準額の設定では、所得水準に応じたきめ細かな所得段階の見直しや基金の取り崩しなどにより3.1%（6期計画11.2%）の上昇に留めることができました。 ・地域密着型サービス運営委員会を3回開催し、地域に根ざした地域密着型サービス事業所の指定更新や地域密着型介護老人福祉施設整備事業者の選定を行うことができました。 ・介護給付費の適正化のため、活動指標に掲げたケアプラン点検を始め、認定調査状況チェック、住宅改修等の点検、医療情報との突合、介護給付費通知を着実に実施することができました。 ・介護認定審査会は、目標の327回開催し、公平・公正かつ効率的な審査判定を実施することができました。 | |
| 【達成できなかったこと】 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業計画策定事業費（B判定）は、策定委員会の開催は8回予定に対し7回（平成28年度1回）開催となりましたが、活動指標に掲げた「各種調査結果及び現状課題の分析に基づく策定委員会の開催」を行うことができ、高齢者福祉施策の進捗状況や各種調査結果を踏まえ、団塊世代が後期高齢者となる2025年を見据えた中長期的な視点に立った計画策定を行うことができました。 ・介護保険暫定サービス利用者負担助成金（E判定）は、目標1人に対し実績0人となりましたが、対応が必要な場合のための事業であり、次年度は活動指標を見直します。 ・介護サービス事業所監査事業費（B判定）は、集団指導（1回）及び実地指導（15事業所）の16回の目標に対し14回に留まりましたが、実地指導予定の2事業所が廃止となったものです。平成30年度から居宅介護支援事業者の指定等権限が県から市に移譲されたため、サービスの質の確保・向上のための計画的な集団指導・実施指導に一層取り組みます。 | |

介護保険課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-----------------------|----|------|-----------|---------|------------------------------|--------------|-----------|-----------|---------|-----------------------------|--------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 1 | 介護保険事業特別会計繰出金 | 一般 | 2-⑤ | 2,675,223 | / | ケアプラン点検事業所数 | | ↗ 拡大 | 2,590,890 | / | ①介護給付費の通知 | | ↗ 拡大 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 5事業所 | 5事業所 | | | | A | ①3回 | | | |
| | | | | | | | | | | | ②ケアプラン点検事業数 | | | | |
| | | | | | | | | | | | ②6事業所 | | | | |
| 2 | 介護保険暫定サービス利用者負担助成金 | 一般 | 2-⑤ | 50 | / | 利用者数 | | → 現状維持 | 50 | / | 認定調査前に死亡された暫定サービス利用件数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 1人 | 0人 | | | | E | 0件 | | | |
| 3 | 社会福祉法人等利用者負担軽減措置事業費 | 一般 | 2-⑤ | 150 | / | 事業実施事業者数 | | → 現状維持 | 150 | / | 軽減事業実施事業所数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 60事業者 | 60事業者 | | | | A | 78事業所 | | | |
| 4 | 離島等地域特別加算利用者負担軽減措置事業費 | 一般 | 2-⑤ | 90 | / | 利用者数 | | → 現状維持 | 90 | / | 利用者数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 27人 | 25人 | | | | A | 30人 | | | |
| 5 | 福祉有償運送運営協議会事業費 | 一般 | 2-⑤ | 193 | / | 運営協議会の開催回数 | | → 現状維持 | 192 | / | 運営協議会の開催回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 2回 | 3回 | | | | A | 2回 | | | |
| 6 | グループホームいいたか管理運営事業費 | 一般 | 2-⑤ | 252 | / | 施設入居率 | | → 現状維持 | 0 | / | 施設入居率 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 100% | 100% | | | | A | 100% | | | |
| 7 | 公的介護施設等整備費補助金 | 一般 | - | / | / | 活動指標 | | / | 141,839 | / | 介護老人福祉施設の整備 | | — 終了 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | | | | | | 年度内の完成 | | | |
| 8 | 一般管理経費 | 特別 | 2-⑤ | 51,715 | / | コピー代・用紙・トナー等の消耗品費の削減率（前年度対比） | | → 現状維持 | 46,250 | / | コピー代・用紙・トナーの消耗品費の削減率（前年度対比） | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 5% | 14.4%(3月末時点) | | | | A | 5% | | | |

介護保険課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-------------------|----|------|---------|---------|----------------------------|----|----|-----------|--------------------------|---------|---------------------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 9 | 介護保険事業計画等策定事業費 | 特別 | - | 6,278 | / | 策定委員会の開催 | | | *** 定期 | 0 | / | - | | | *** 定期 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 8回 | 7回 | B | | | | - | - | - | |
| 10 | 三重県国民健康保険団体連合会負担金 | 特別 | 2-⑤ | 615 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 900 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 第三者行為求償事務研修会への参加回数 | | | | | | 第三者行為求償事務研修会への参加回数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 1回 | | | | | |
| 11 | 賦課徴収事業費 | 特別 | 2-⑤ | 23,800 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 24,963 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 保険料の賦課・徴収及び未納者への督促の実施 | | | | | | 保険料の賦課・徴収及び未納者への督促の実施 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 毎月 | 毎月 | A | | | | 毎月 | | | | | |
| 12 | 認定調査等事業費 | 特別 | 2-⑤ | 106,205 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 106,067 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 認定調査員の研修会の参加回数 | | | | | | 認定調査員の研修会の参加回数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 1回 | | | | | |
| 13 | 認定審査会運営事業費 | 特別 | 2-⑤ | 77,786 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 76,201 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 公平・公正かつ効率的な審査判定の実施回数 | | | | | | 公平・公正かつ効率的な審査判定の実施回数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 327回 | 327回 | A | | | | 288回 | | | | | |
| 14 | 趣旨普及事業費 | 特別 | 2-⑤ | 1,652 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 1,556 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | イベント等における啓発冊子の配布部数 | | | | | | ①介護保険ハンドブック送付数 ②イベント等における啓発冊子の配布部数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 1,000部 | 1,200部 | A | | | | ①65歳到達者 全員 ②1,200部 | | | | | |
| 15 | 地域密着型サービス運営委員会事業費 | 特別 | 2-⑤ | 286 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 286 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 事業所の指定更新等に係る運営委員会の開催回数 | | | | | | 事業所の指定更新等に係る運営委員会の開催回数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 3回 | 3回 | A | | | | 3回 | | | | | |
| 16 | 介護サービス事業所監査事業費 | 特別 | 2-⑤ | 292 | / | 活動指標 | | | ↗ 拡大 | 389 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 集団指導（1回）及び実地指導（15事業所）の実施回数 | | | | | | 集団指導（1回）及び実地指導（23回）の実施回数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 16回 | 14回 | B | | | | 24回 | | | | | |

介護保険課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-------------|----|------|---------|---------|------------|------|---------|---------|---------|--------------------------|--------------|---------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 17 | 介護給付適正化等事業費 | 特別 | 2-⑤ | 8,921 | / | ケアプラン点検事業数 | | ↗ 拡大 | 8,798 | / | ①介護給付費の通知 ②ケアプラン点検事業数 | | ↗ 拡大 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 5事業所 | 5事業所 | | | | A | ①3回 ②6事業所 | | | |

【課長シート】

| | | | |
|--|--------------|--|---------|
| 組織名 | 保険年金課 | 作成者（評価者） | 課長 北村 充 |
| 関係する「実行宣言」 | 平成29年度 | 国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険制度の安定した運営体制により、市民に寄り添った適切なサービスを提供します。 | |
| | 平成30年度 | 健康診査・保健指導等の実施により、疾病予防や医療費抑制を図り、国民健康保険・後期高齢者医療制度の安定した運営に努めます！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | 2-① 健康づくりの推進 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>保険年金課は、将来の生活の保障である年金が受給できるよう、また病気にかかった時に安心して医療が受けられるよう制度の安定した運営に取り組んでいます。</p> <p>近年の急速な高齢化と医療技術の高度化により、医療給付費が毎年増加し財政は厳しい状態となっている中、国民健康保険においては、安定的な運営や効率的な事業を行うため、平成30年度から「国保の広域化(県単位化)」が行われたところです。</p> <p>将来にわたって医療保険制度を持続させるためには、医療費適正化の取組が必要であり、特定健診の受診率向上やジェネリック医薬品の普及促進等を一層進めていきます。</p> | | | |

| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
|---|
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療費適正化の取組として、医療費のお知らせを3回、ジェネリック医薬品の差額通知を2回実施しました。（国保係） ・ 特定健診未受診者に対して受診勧奨通知を2回実施し、受診率向上に取り組みました。（国保係） ・ 趣旨普及を目的として、国保のしおりとジェネリック医薬品パンフレットを被保険者全世帯に配布しました。（国保係） ・ 医科・歯科のレセプト点検を行い、返戻件数を医科・歯科とも目標を上回りました。（国保係） ・ 国保運営協議会を3回実施しました。（国保係） ・ 保健事業関係の研修会へ4回参加しました。（国保係） ・ 健康フェスティバル及び歯と口腔の健康まつりに対し、補助を実施しました。（国保係） ・ 疾病予防の取組として、今年度は特に慢性腎臓病予防に重点を置いて、パンフレットを作成し配布しました。（国保係） ・ 高額医療費及び出産費資金貸付事業を実施し、高額医療費については8件、出産費資金については0件の実績がありました。（国保係） ・ 賦課徴収に関する専門講座・研修を受講しました。（国保税賦課係） ・ 納税啓発物品を国保窓口にて3,000個配布し、納税奨励に努めました。（国保税賦課係） ・ 後期高齢者医療保険料の現年度収納率について、平成30年3月31日現在で95.50%と、昨年度の同時期の95.33%と比較し0.17%の収納率向上を実現しました。（高齢者保険係） ・ 後期高齢者医療保険料の口座振替での納付件数について、平成30年3月時点で29,724件と、昨年度の同時期の29,635件と比較し89件の増を実現しました。（高齢者保険係） ・ 国民年金について「広報まつさか」に6回記事を掲載し、制度の周知を図りました。（国民年金係） |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし |

保険年金課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-------------------|----|------|-----------|---------|--------------------------------------|------------------|-----------|-----------|---------|--------------------------------------|------------------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 1 | 国民健康保険事業特別会計繰出金 | 一般 | 2-① | 1,963,530 | / | ジェネリック医薬品の差額通知、特定健診未受診者への受診勧奨通知 | | → 現状維持 | 1,554,263 | / | ジェネリック医薬品の差額通知、特定健診未受診者への受診勧奨通知 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 2回 | 2回 | | | | A | 2回 | | | |
| 2 | 国民年金事務事業費 | 一般 | 2-⑤ | 12,920 | / | 「広報まつさか」への制度周知記事掲載回数 | | → 現状維持 | 11,584 | / | 「広報まつさか」への制度周知記事掲載回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 5回 | 6回 | | | | A | 5回 | | | |
| 3 | 後期高齢者医療事業特別会計繰出金 | 一般 | 2-① | 2,289,497 | / | 財源確保のための収納率向上（現年度保険料収納率） | | → 現状維持 | 2,342,237 | / | 財源確保のための収納率向上（現年度保険料収納率） | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 99.5% | 95.5% | | | | A | 99.5% | | | |
| 4 | 一般管理経費 | 特別 | 2-⑤ | 24,603 | / | 財源確保のための収納率向上（現年度保険料収納率） | | → 現状維持 | 25,842 | / | 財源確保のための収納率向上（現年度保険料収納率） | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 99.5% | 95.5% | | | | A | 99.5% | | | |
| 5 | 一般管理経費 | 特別 | 2-① | 131,337 | / | ジェネリック医薬品の差額通知、特定健診未受診者への受診勧奨通知回数 | | → 現状維持 | 121,246 | / | ジェネリック医薬品の差額通知、特定健診未受診者への受診勧奨通知回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 2回 | 2回 | | | | A | 2回 | | | |
| 6 | 国保事業協力交付金 | 特別 | 2-① | 1,500 | / | ①医療機関における医科の返戻件数 ②医療機関における歯科の返戻件数 | | → 現状維持 | 1,500 | / | ①医療機関における医科の返戻件数 ②医療機関における歯科の返戻件数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | ①1,500件 ②300件 | ①1,518件 ②413件 | | | | A | ①1,500件 ②300件 | | | |
| 7 | 三重県国民健康保険団体連合会負担金 | 特別 | 2-① | 4,200 | / | 国保制度研修会への参加回数 | | → 現状維持 | 3,938 | / | 国保制度研修会への参加回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 3回 | 10回 | | | | A | 3回 | | | |
| 8 | 徴収事業費 | 特別 | 2-⑤ | 4,661 | / | 口座振替での納付件数 | | → 現状維持 | 4,838 | / | 口座振替での納付件数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 30,000件 | 29,700件 | | | | A | 30,000件 | | | |

保険年金課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|---------------|----|------|---------|---------|-------------------------------------|------------|--------|-----------|---------|---------|------------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 9 | 賦課徴収事業費 | 特別 | 2-① | 194 | / | 賦課徴収専門講座・研修の受講人数 | | | → 現状維持 | 187 | / | 賦課徴収専門講座・研修の受講人数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2人 | 2人 | A | | | | 2人 | | | |
| 10 | 納税奨励事業費 | 特別 | 2-① | 4,067 | / | 国保窓口での納税啓発消耗品（ウエットティッシュ）の配布数 | | | → 現状維持 | 3,899 | / | 国保窓口での納税啓発消耗品（ウエットティッシュ）の配布数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3,000個 | 3,000個 | A | | | | 3,000個 | | | |
| 11 | 国保運営協議会事業費 | 特別 | 2-① | 360 | / | 国保運営協議会の開催回数 | | | → 現状維持 | 361 | / | 国保運営協議会の開催回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 3回 | A | | | | 2回 | | | |
| 12 | 趣旨普及事業費 | 特別 | 2-① | 629 | / | 被保険者世帯への国保のしおり及びジェネリック医薬品パンフレットの送付率 | | | ▶ 統合 | 0 | / | ※一般管理経費へ組み換え | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | - | - | - | |
| 13 | 保健衛生普及事業費 | 特別 | 2-① | 9,963 | / | ①医療費のお知らせ ②ジェネリック医薬品の差額通知 | | | → 現状維持 | 9,865 | / | ①医療費のお知らせ ②ジェネリック医薬品の差額通知 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | ①3回 ②2回 | ①3回 ②2回 | A | | | | ①3回 ②2回 | | | |
| 14 | 保健事業負担金 | 特別 | 2-① | 3,594 | / | 保険事業関係研修会への参加 | | | → 現状維持 | 3,669 | / | 保険事業関係研修会への参加 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3回 | 4回 | A | | | | 3回 | | | |
| 15 | 健康フェスティバル補助金 | 特別 | 2-① | 2,700 | / | 補助金申請に対する補助率 | | | → 現状維持 | 2,700 | / | 補助金申請に対する補助率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 16 | 歯と口腔の健康まつり補助金 | 特別 | 2-① | 900 | / | 補助金申請に対する補助率 | | | → 現状維持 | 900 | / | 補助金申請に対する補助率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |

保険年金課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|--------------|----|------|---------|---------|----------------------|-------|--------|-----------|---------|---------|----------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 17 | 疾病予防事業費 | 特別 | 2-① | 221 | / | 慢性腎臓病予防のパンフレットを作成し配布 | | | → 現状維持 | 430 | / | 医療費適正化啓発パンフレットを作成し配布 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 対象者全員 | 対象者全員 | A | | | | 対象者全員 | | | |
| 18 | 高額医療費資金貸付事業費 | 特別 | 2-① | 3,000 | / | 高額医療費資金貸付申請に対する実施 | | | → 現状維持 | 2,400 | / | 高額医療費資金貸付申請に対する実施 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 8名 | 13名 | A | | | | 8名 | | | |
| 19 | 出産費資金貸付事業費 | 特別 | 2-① | 1,008 | / | 出産費資金貸付に対する実施 | | | → 現状維持 | 1,008 | / | 出産費資金貸付に対する実施 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1名 | 0名 | - | | | | 1名 | | | |
| 20 | 特定健康診査等事業費 | 特別 | 2-① | 141,552 | / | 未受診者への受診勧奨通知 | | | → 現状維持 | 148,829 | / | 未受診者への受診勧奨通知 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 2回 | A | | | | 2回 | | | |

【課長シート】

| 組織名 | 健康づくり課 | 作成者（評価者） | 課長 白藤哲央 |
|---|---------------|---|---------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 健康センター「はるるコンシェルジュ・子育てコンシェルジュ」の配置等で利用者満足度100%！ | |
| | 平成30年度 | 土曜はるる遊ぼうDAYや日曜はるる子育てセミナーを開催して、松阪版ネウボラを推進します！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | 1-① 子育て支援の推進 | | |
| | 2-① 健康づくりの推進 | | |
| | 2-③ 救急医療体制の確保 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>健康づくり課は、健康センターはるるを拠点に、母子保健、検診・健康相談などの保健活動と一次救急医療活動を実施しており、松阪市の健康予防や健康づくりの機能強化に努めるとともに、妊娠・出産・子育て期に対する相談・支援体制を充実させ、途切れのない支援を行うことで、「松阪版ネウボラ」を推進しています。</p> <p>「第2次松阪市健康づくり計画」に基づき、「元気なからだ」、「笑顔で子育て（松阪版ネウボラの推進）」、「健康なまちづくり」を基本方針として、市民の健康づくりを推進していきます。</p> <p>また、一次救急医療の拠点である休日夜間応急診療所について、年間を通じて休日・夜間・深夜における安定した一次救急を実施していきます。</p> | | | |

| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
|---|
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年4月に健康センターはるるが開設しました。市民が集まり活躍できる、元気づくりの拠点として、また妊娠・出産から子育て期を途切れなくサポートする松阪版ネウボラの拠点として、保健の専門的機能と一次救急の機能に加え、誰もが気軽に立ち寄りふれあいや交流ができる施設としています。 利用者アンケートにおいても健康センターはるるの満足度は90.6%と目標を達成し、当初の利用者30,000人の目標を上回る32,829人（休日夜間応急診療所利用除く）の利用がありました。 松阪版ネウボラは健康センターはるるを拠点に推進し、母子保健事業については、すべてA評価で目標達成しています。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月実施する定期献血における献血者数40人以上の確保率では、9月と12月が90%以上確保できませんでした。このことは定期献血以外での献血会場が多かった点及び冬季には献血者が少なくなることからPR不足であったと考えます。年間月平均は46.5人であり、今後ホームページなどでPRしていきます。 感染症予防関係の備蓄品の確認実施は、平成28年度までは、三雲、飯高等分散し備蓄していましたが、平成29年度は健康センターはるるへ集約し、一括管理ができるようになり、管理台帳も修正更新しました。今後は、目標値を見直します。 健康手帳の交付は、当課では健康教育・健康相談等を受けた方並びに希望される方に交付しています。平成29年度から、健康増進法による手帳の交付がダウンロードでの使用に国の指針が変更したため、今後は事業縮小し、目標値を見直します。 健康相談は、健康増進法にもとづき、個別の相談に応じていますが、目標値に達しておらず、健康教育の利用者数は増加しており、健康教育時、個別で相談の機会もあることから、方法を工夫し実施していきます。 |

【課長シート】

- ・訪問指導事業は、健康増進法にもとづき主に40歳以上65歳未満の方で訪問指導が必要な方に実施しています。訪問指導としては、他事業における特定保健指導での訪問指導が主で、母子保健事業の訪問時、家族等に対しても実施しています。対象年齢の方は、働き盛りの年齢で、訪問指導のニーズが少ないこと、健康教育では利用者数も伸びておりニーズが高いことから、保健指導の形態もニーズを考慮し、訪問指導の目標値を見直します。
- ・小児救急輪番制運営事業は、少子化により15歳未満人口が減少していること及び、一次救急診療体制の充実等により二次救急医療機関を利用しなかったことで小児救急受入患者数が目標値に達しなかったものと考えられますので、運営事業の目標値を見直します。
- ・嬉野宇気郷診療所事業は、山間部の過疎地の健康上の住民不安を解消することを目的としていることから、目標値を見直します。

健康づくり課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|---------------|----|------|---------|---------|-------------------------------|-------|-----------|---------|---------|-----------------------------|--------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 1 | 食生活改善推進員支援事業費 | 一般 | 2-① | 256 | / | 食生活改善推進員研修会参加者数の増加率（平成28年度対比） | | → 現状維持 | 414 | / | 食生活改善推進員研修会参加者数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 2% | 2.5% | | | | A | 1,200人 | | | |
| 2 | 献血推進協議会運営費補助金 | 一般 | 2-① | 172 | / | 定期献血における献血者数40人以上の確保率 | | → 現状維持 | 172 | / | 定期献血における献血者数40人以上の確保率 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 90% | 83.3% | | | | B | 90% | | | |
| 3 | 予防接種事業費 | 一般 | 2-① | 460,749 | / | 接種率の低いMR2期と、二種混合の接種勧奨取組回数 | | → 現状維持 | 453,406 | / | 接種率の低いMR2期の接種勧奨取組回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 3回 | 3回以上 | | | | A | 3回 | | | |
| 4 | 感染症予防事業費 | 一般 | 2-① | 168 | / | 備蓄品の確認作業の実施回数 | | → 現状維持 | 323 | / | 備蓄品の確認作業の実施回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 4回 | 3回 | | | | B | 3回 | | | |
| 5 | 予防接種事故対策事業費 | 一般 | 2-① | 13,771 | / | 予防接種会議の実施回数 | | → 現状維持 | 13,763 | / | 予防接種会議の実施回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 2回 | 2回 | | | | A | 2回 | | | |
| 6 | 食生活改善推進協議会補助金 | 一般 | 2-① | 650 | / | 委託事業の参加者数の増加率（平成28年度対比） | | → 現状維持 | 650 | / | 食生活改善推進員地区グループ活動回数（委託事業を除く） | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 5% | 8.8% | | | | A | 300回以上 | | | |
| 7 | 任意接種助成事業費 | 一般 | 2-① | 3,180 | / | MRワクチンの市民啓発実施回数 | | → 現状維持 | 3,551 | / | MRワクチンの市民啓発実施回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 3回 | 4回 | | | | A | 3回 | | | |
| 8 | 骨髄移植ドナー支援事業費 | 一般 | 2-① | 420 | / | 定期献血時の骨髄バンク登録可能者への周知 | | → 現状維持 | 420 | / | 定期献血時の骨髄バンク登録可能者への周知 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 100% | 100% | | | | A | 100% | | | |
| 9 | 予防接種県外接種補助金 | 一般 | 2-① | 1,616 | / | 妊娠届出時と赤ちゃん訪問時の説明の実施 | | → 現状維持 | 1,215 | / | 母子健康手帳交付時の情報提供の実施 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 100% | 100% | | | | A | 100% | | | |

健康づくり課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|---------------|----|------|---------|---------|---------------------------|-------|--------|-----------|---------|---------|---------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 10 | 予防一般経費 | 一般 | 2-① | 3,600 | / | 地域医療等連携推進協議回数 | | | → 現状維持 | 3,615 | / | 保育園、学校医、認定審査会等の医師の推薦 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 100% | | | |
| 11 | 母子保健事業費 | 一般 | 1-① | 170,673 | / | 乳児家庭全戸訪問実施率 | | | ↗ 拡大 | 170,059 | / | 乳児家庭全戸訪問実施率（市外依頼含まず） | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 95% | 93.1% | A | | | | 95% | | | |
| 12 | 1歳6か月児健康診査事業費 | 一般 | 2-① | 6,226 | / | 1歳6か月健診受診率 | | | → 現状維持 | 5,962 | / | 1歳6か月児健康診査受診率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 98% | 97.1% | A | | | | 98% | | | |
| 13 | 3歳児健康診査事業費 | 一般 | 2-① | 6,450 | / | 3歳児健康診査受診率 | | | → 現状維持 | 6,282 | / | 3歳児健康診査受診率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 98% | 96.2% | A | | | | 98% | | | |
| 14 | 特定不妊治療費補助金 | 一般 | 1-① | 24,100 | / | 三重県内指定医療機関への申請書・リーフレット設置率 | | | → 現状維持 | 21,100 | / | 三重県内指定医療機関への申請書・リーフレット設置率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 15 | 妊婦健診県外受診費補助金 | 一般 | 2-① | 2,816 | / | 妊婦健康診査の受診率(1回目) | | | → 現状維持 | 2,542 | / | 母子健康手帳交付時の情報提供の実施 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 95% | 97.0% | A | | | | 100% | | | |
| 16 | 未熟児養育医療給付事業費 | 一般 | 2-① | 12,400 | / | 指定医療機関への周知回数 | | | → 現状維持 | 12,582 | / | 母子健康手帳交付時の情報提供の実施 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 100% | | | |
| 17 | 不育症治療費助成事業費 | 一般 | 1-① | 527 | / | 三重県内指定医療機関への申請書・リーフレット設置率 | | | → 現状維持 | 1,034 | / | 三重県内指定医療機関への申請書・リーフレット設置率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |

健康づくり課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|---------------|----|------|---------|---------|--|-----------------|-----------|---------|---------|--------------------------------------|-----------------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 18 | 健康づくり推進事業費 | 一般 | 2-① | 2,706 | / | 「第2次健康づくり計画」の ①ダイジェスト版作成 ②配布部数 | | → 現状維持 | 2,150 | / | 「第2次健康づくり計画」の ①ダイジェスト版作成 ②配布部数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | ①3種類 ②3,000部 | ①3種類 ②5,330部 | | | | A | ①3種類 ②3,000部 | | | |
| 19 | 健康手帳交付事業費 | 一般 | 2-① | 24 | / | 健康づくり課による健康手帳交付数 | | → 現状維持 | 34 | / | 健康手帳交付数 | | ↘ 縮小 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 400冊 | 331冊 | | | | B | 300冊以上 | | | |
| 20 | 健康教育事業費 | 一般 | 2-① | 5,762 | / | 健康教育利用者数 | | ↗ 拡大 | 6,524 | / | 健康教育利用者数 | | ↗ 拡大 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 20,000人 | 23,679人 | | | | A | 20,000人以上 | | | |
| 21 | 健康相談事業費 | 一般 | 2-① | 554 | / | 健康相談利用者数 | | → 現状維持 | 591 | / | 健康相談利用者数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 1,800人 | 1,106人 | | | | C | 1,200人以上 | | | |
| 22 | 健康診査事業費 | 一般 | 2-① | 343,036 | / | 限定優待受診券・無料クーポン券の送付による受診勧奨と未受診者への受診勧奨回数 | | ↗ 拡大 | 346,224 | / | 乳がんマンモグラフィ検診受診者数（40~60歳） | | ↗ 拡大 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 2回 | 2回 | | | | A | 3,830人 | | | |
| 23 | 訪問指導事業費 | 一般 | 2-① | 252 | / | 訪問指導延件数 | | → 現状維持 | 119 | / | 訪問指導延件数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 665人 | 223人 | | | | D | 200人以上 | | | |
| 24 | 健康センター管理運営事業費 | 一般 | 2-① | 30,583 | / | 利用者満足度 | | → 現状維持 | 28,035 | / | 健康センター利用者数（休日夜間応急診療所を除く） | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 100% | 90.6% | | | | A | 30,000人以上 | | | |
| 25 | 健康センター施設整備事業費 | 一般 | 2-① | 4,968 | / | 健康センター施設整備の実施 | | → 現状維持 | 36,000 | / | 健康センター施設整備の実施 | | — 終了 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 100% | 100% | | | | A | 100% | | | |

健康づくり課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-------------------|----|------|---------|---------|------------------|------|--------|-----------|---------|---------|-----------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 26 | 新・健康センター建設事業費 | 一般 | - | 40,000 | / | 健康センターはるる施設整備の実施 | | | — 終了 | 0 | / | - | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | - | - | - | |
| 27 | 三雲保健福祉センター管理運営事業費 | 一般 | 2-① | 18,453 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 19,154 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 年間開館日数 | | | | | | 年間利用延べ人数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 293日 | 293日 | A | | 22000人 | | | | | | | |
| 28 | 飯高保健センター管理運営事業費 | 一般 | 2-① | 5,914 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 5,946 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 利用案内チラシの設置数 | | | | | | 利用案内チラシの設置数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 4カ所 | 4カ所 | A | | 4カ所 | | | | | | | |
| 29 | 飯高保健センター施設整備事業費 | 一般 | - | / | / | 活動指標 | | | / | 2,733 | / | 飯高保健センター施設整備の実施 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | 100% | | | |
| 30 | 指定管理者選定委員会事業費 | 一般 | - | / | / | 活動指標 | | | / | 72 | / | 指定管理者選定委員会の開催回数 | | | … 定期 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | 2回 | | | |
| 31 | 歯科センター管理運営事業費 | 一般 | 2-③ | 9,100 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 7,774 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 歯科休日応急診療所等患者数 | | | | | | 歯科休日応急診療所開設日数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 250人 | 256人 | A | | 72日 | | | | | | | |
| 32 | 地域医療推進事業費 | 一般 | 2-③ | 41,604 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 40,332 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 休日夜間応急診療所等患者数 | | | | | | 休日夜間応急診療所等開設日数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 12,000人 | 14,764人 | A | | 517日 | | | | | | | |
| 33 | 病院群輪番制病院運営費補助金 | 一般 | 2-③ | 34,523 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 34,523 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 二次救急受入患者数（三病院合計） | | | | | | 二次救急受入日数（三病院合計） | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 12,000人 | 13,775人 | A | | 365日 | | | | | | | |
| 34 | 地域医療安定化対策支援補助金 | 一般 | - | 5,060 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 5,060 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 救急医療意識啓発回数 | | | | | | 救急医療意識啓発回数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 1回 | 1回 | A | | 1回 | | | | | | | |

健康づくり課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|------------------|----|------|---------|---------|---------------------|---------|--------|-----------|---------|---------|--------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 35 | 小児救急輪番制運営事業補助金 | 一般 | 2-③ | 12,786 | / | 小児救急受入患者数 | | | → 現状維持 | 12,786 | / | 小児二次救急受入日数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1,800人 | 1,471人 | B | | | | 365日 | | | |
| 36 | 休日夜間応急診療所管理運営事業費 | 一般 | 2-③ | 111,559 | / | 休日夜間応急診療所等患者数 | | | → 現状維持 | 110,454 | / | 休日夜間応急診療所開設日数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 12,000人 | 12,278人 | A | | | | 365日 | | | |
| 37 | 松阪市民病院事業会計繰出金 | 一般 | 2-③ | 14,722 | / | (仮称) 地域医療構想検討委員会の実施 | | | → 現状維持 | 8,856 | / | (仮称) 医療機関関係者検討会の開催 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 5回 | 5回 | A | | | | 5回 | | | |
| 38 | 飯高診療所事業費 | 一般 | 2-③ | 2,763 | / | 管内広報誌掲載啓発回数 | | | → 現状維持 | 2,843 | / | 管内広報誌掲載啓発回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 1回 | | | |
| 39 | 飯高診療所医療機器整備事業費 | 一般 | 2-③ | 1,811 | / | 管内4診療所の患者数（年間） | | | → 現状維持 | 1,487 | / | 管内4診療所の患者数（年間） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 20,000人 | 24,781人 | A | | | | 20,000人 | | | |
| 40 | 飯南眼科クリニック事業費 | 一般 | 2-③ | 11,364 | / | 診療所患者数（1日当たり） | | | → 現状維持 | 10,487 | / | 診療所患者数（1日当たり） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 20人 | 19人 | A | | | | 20人 | | | |
| 41 | 嬉野宇気郷診療所事業費 | 一般 | 2-③ | 98 | / | 診療所患者数 | | | → 現状維持 | 98 | / | 診療所開設日数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 300人 | 75人 | E | | | | 51日 | | | |
| 42 | 指定管理者選定委員会事業費 | 一般 | - | / | / | 指定管理者選定委員会の開催回数 | | | / | 72 | / | 指定管理者選定委員会の開催回数 | | | ... 定期 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | 2回 | | | |

【課長シート】

| 組織名 | こども支援課 | 作成者（評価者） | 課長 荒木 章次 |
|---|--------------|--|----------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 三世代同居・近居に向けた支援策の周知徹底！ 多職種間の連携・協働に取り組み、組織力及び支援力を強化します。 | |
| | 平成30年度 | 次期子ども・子育て支援事業計画作成の基礎となる保護者のニーズを的確に把握するため、アンケート調査項目の充実及び回収率アップ！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | 1-④ 子育て支援の推進 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>こども支援課は、次世代を担う子どもたちが保護者とともに地域で心身ともに健やかに育つことができる環境づくりを進め、子どもの福祉の増進を図ります。</p> <p>平成27年3月に作成した「松阪市子ども・子育て支援事業計画」の点検・進捗管理を行っていくとともに次期子ども・子育て支援事業計画の策定に向けて基礎調査を実施します。</p> <p>また、親の育児不安、子育ての孤立感が顕在化している中で、関連機関との連携・情報共有を行い、要保護児童の早期発見に努め、子どもたちの成長を支援していくとともに、配偶者からの暴力を防止し、被害者の自立支援・保護を図ります。</p> | | | |
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子ども・子育て会議」を開催し、「子ども・子育て支援事業計画」の中間年の見直しを実施しました。 ・孫育て講座を3回シリーズで開催し、祖父母世代の方29名の参加があり、家庭や地域で子どもを見守り、支援する方法や関わり方を学んでいただきました。 ・三世代（親世代・子世代・孫）同居・近居支援事業を平成29年度より開始し、金融機関・ハウスメーカー等へもPRを図り、助成件数は20件（同居7件・近居13件）となりました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等職業訓練給付金事業は、対象資格の拡大を図り、また、「広報まつさか」、市ホームページの掲載に加え、児童扶養手当現況届の審査結果通知にチラシを同封し、制度周知を行っていますが、利用者数は6名でした。 ・ひとり親家庭等ファミリーサポートセンター利用支援事業は、「広報まつさか」、市ホームページの掲載に加え、児童扶養手当現況届の審査結果通知にチラシを同封し、また、ファミリーサポートセンター利用時に制度周知を行っていますが、利用者数は1名でした。 ・児童センターにおける就学前児童の利用は増加しましたが、10月の悪天候等により、1日当たりの利用者数は12名でした。 ・一日里親事業の実施については、事前面談回数の目標は達成できませんでしたが、面談だけでなく電話連絡等を活用することで、調整を図りました。 ・地域等での児童虐待問題に対する意識の高まりから相談・通告による児童虐待件数は53件となりました（平成28年度は54件）。「身体的虐待」等は減少していますが、家庭内暴力を子どもが目の当たりにする「面前DV」を含む心理的虐待が増加しており、関連機関との連携を図り、早期発見・対応に努めます。 | | | |

こども支援課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-----------------------------|----|------|-----------|---------|------------------|-----|----|-----------|-----------|---------|------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 子ども・子育て支援推進事業費 | 一般 | - | 742 | / | ①子ども・子育て会議の開催回数 | | | ↗ 拡大 | 5,055 | / | アンケート調査回収率 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | ②孫育て講座の開催回数 | | | | | | 70% | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | ①2回 | ①2回 | A | | | | | | | |
| | | | | ②3回 | ②3回 | | | | | | | | | | |
| 2 | 児童手当支給事業費 | 一般 | 1-① | 2,688,948 | / | 現況届の未提出者数 | | | → 現状維持 | 2,645,969 | / | 現況届の未提出者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | | | | | | 目標 | | | |
| | | | | | | 実績 | | | | | | 実績 | | | |
| | | | | | | 評価 | | | | | | 評価 | | | |
| | | | | ゼロ | 37人 | A | | | | | ゼロ | | | | |
| 3 | 児童福祉一般経費 | 一般 | 1-① | 67 | / | 児童センター1日あたりの利用者数 | | | → 現状維持 | 65 | / | 児童センター1日あたりの利用者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | | | | | | 目標 | | | |
| | | | | | | 実績 | | | | | | 実績 | | | |
| | | | | | | 評価 | | | | | | 評価 | | | |
| | | | | 15人 | 12人 | B | | | | | 15人 | | | | |
| 4 | ファミリーサポートセンター事業費 | 一般 | 1-① | 9,599 | / | 登録会員数 | | | → 現状維持 | 9,599 | / | 年度末の登録会員数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | | | | | | 目標 | | | |
| | | | | | | 実績 | | | | | | 実績 | | | |
| | | | | | | 評価 | | | | | | 評価 | | | |
| | | | | 600人 | 634人 | A | | | | | 600人 | | | | |
| 5 | 三世同居・近居支援補助金 | 一般 | 1-① | 6,060 | / | 助成件数 | | | → 現状維持 | 6,060 | / | 助成件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | | | | | | 目標 | | | |
| | | | | | | 実績 | | | | | | 実績 | | | |
| | | | | | | 評価 | | | | | | 評価 | | | |
| | | | | 20件 | 20件 | A | | | | | 25件 | | | | |
| 6 | 自立支援教育訓練給付金 | 一般 | 1-① | 375 | / | 支給者数 | | | → 現状維持 | 625 | / | 支給者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | | | | | | 目標 | | | |
| | | | | | | 実績 | | | | | | 実績 | | | |
| | | | | | | 評価 | | | | | | 評価 | | | |
| | | | | 5人 | 5人 | A | | | | | 6人 | | | | |
| 7 | 高等職業訓練給付金 | 一般 | 1-① | 11,663 | / | 支給者数 | | | → 現状維持 | 10,192 | / | 支給者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | | | | | | 目標 | | | |
| | | | | | | 実績 | | | | | | 実績 | | | |
| | | | | | | 評価 | | | | | | 評価 | | | |
| | | | | 10人 | 6人 | C | | | | | 7人 | | | | |
| 8 | 児童扶養手当支給事業費 | 一般 | 1-① | 728,689 | / | 現況届の未提出者数 | | | → 現状維持 | 704,683 | / | 現況届の未提出者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | | | | | | 目標 | | | |
| | | | | | | 実績 | | | | | | 実績 | | | |
| | | | | | | 評価 | | | | | | 評価 | | | |
| | | | | ゼロ | 48人 | A | | | | | ゼロ | | | | |
| 9 | ひとり親家庭等ファミリーサポートセンター利用支援補助金 | 一般 | 1-① | 200 | / | 利用者数 | | | → 現状維持 | 200 | / | 利用件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | | | | | | 目標 | | | |
| | | | | | | 実績 | | | | | | 実績 | | | |
| | | | | | | 評価 | | | | | | 評価 | | | |
| | | | | 10人 | 1人 | C | | | | | 150件 | | | | |

こども支援課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|--------------------|----|------|---------|---------|-------------------|------|----|-----------|---------|---------|-------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 10 | 母子寡婦福祉会活動補助金 | 一般 | - | 480 | / | 啓発活動回数 | | | → 現状維持 | 480 | / | 啓発活動回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 1回 | | | |
| 11 | 母子・父子寡婦福祉資金貸付事務事業費 | 一般 | - | 202 | / | 申請受付から送付までの日数 | | | → 現状維持 | 202 | / | 申請受付から送付までの日数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 5日以内 | 5日以内 | A | | | | 5日以内 | | | |
| 12 | 児童センター管理運営事業費 | 一般 | 1-① | 5,227 | / | 1日あたりの利用者数 | | | → 現状維持 | 5,106 | / | 1日あたりの利用者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 15人 | 12人 | B | | | | 15人 | | | |
| 13 | 家庭児童相談事業費 | 一般 | 1-① | 5,946 | / | 相談、通告に対する対応率 | | | → 現状維持 | 7,345 | / | 相談、通告に対する対応率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 14 | 養育支援訪問事業費 | 一般 | 1-① | 1,263 | / | 相談に対する対応率 | | | → 現状維持 | 1,413 | / | 相談に対する対応率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 15 | 子育て支援ショートステイ事業費 | 一般 | 1-① | 248 | / | 相談に対する対応率 | | | → 現状維持 | 496 | / | 相談に対する対応率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 16 | 一日里親事業費 | 一般 | 1-① | 94 | / | 一日里親との事前面談回数 | | | → 現状維持 | 94 | / | 一日里親との事前面談回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 0.5回 | B | | | | 1回 | | | |
| 17 | 交通遺児入進学卒業祝金支給事業費 | 一般 | 1-① | 180 | / | 広報・行政チャンネルによる周知期間 | | | → 現状維持 | 180 | / | 広報・行政チャンネルによる周知期間 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1か月 | 1か月 | A | | | | 1か月 | | | |
| 18 | 女性保護事業費 | 一般 | 1-① | 297 | / | DV相談等に対する対応率 | | | → 現状維持 | 295 | / | DV相談等に対する対応率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |

こども支援課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|---------------|----|------|---------|---------|----------------|------|--------|-----------|---------|---------|----------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 19 | 母子生活支援施設入所事業費 | 一般 | 1-① | 21,905 | / | 自立促進に向けた訪問調査回数 | | | → 現状維持 | 21,501 | / | 自立促進に向けた訪問調査回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 2回 | A | | | | 2回 | | | |
| 20 | 助産施設入所事業費 | 一般 | 1-① | 6,368 | / | 申請受付から決定まで日数 | | | → 現状維持 | 6,053 | / | 申請受付から決定まで日数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 5日以内 | 5日以内 | A | | | | 5日以内 | | | |
| 21 | 要保護児童対策事業費 | 一般 | 1-① | 578 | / | 児童虐待件数 | | | ↗ 拡大 | 562 | / | 児童虐待件数 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 30件 | 53件 | C | | | | 20件 | | | |

こども支援課 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|----------------------|----|------|---------|---------|------------|----|-----------|---------|---------|------------|----|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| (1) | 出前講座「児童虐待について」 | | - | | | 出前講座の実施 | | → 現状維持 | | | 出前講座の実施 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 3回 | 4回 | | | | A | 3回 | | | |
| (2) | 子ども・子育てプロジェクト庁内推進委員会 | | - | | | 庁内推進委員会の開催 | | → 現状維持 | | | 庁内推進委員会の開催 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 1回 | 1回 | | | | A | 2回 | | | |

【課長シート】

| 組織名 | こども未来課 | 作成者（評価者） | 課長 谷中 靖彦 |
|---|--------|---|----------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 保育園・幼稚園全施設を正確に把握し、再編・統廃合等に向け各地域での懇談会を実施します。 | |
| | | 多職種間の連携・協働に取り組み、組織力及び支援力を強化します。 | |
| | 平成30年度 | 昨年度に引き続き、「松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針」に基づき、保育園・幼稚園の再編・統廃合等に向け各地域での意見交換会を開催するとともに、一定の方向性を示していきます。 | |
| 関係する『総合計画』施策 | | 1-① 子育て支援の推進 | |
| | | 1-② 未就学児への支援 | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>子どもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されるよう、子ども及びその保護者に必要な施設型給付等及び地域子ども・子育て支援事業を総合的かつ計画的に行うことを使命としています。</p> <p>平成29年度は、これからの松阪市立幼稚園・保育園のあり方を示した『松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針』に基づき、保護者や地域住民等と意見交換を重ねました。</p> <p>平成30年度も引き続き、昨年度開催地区を始め未実施地区及び園児が減少している幼稚園の今後の方向性について、地域の方との対話を重ねながら方向性を示していきます。</p> <p>そして、今年度より始まった一時預かり（一時保育）事業の利用定着に向けて、広報活動に重点を置いて取り組んでいきます。</p> | | | |

| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
|---|
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立子育て支援センターが子育て世代の方たちに認知されことから、目標を超える年間利用者数を達成しました。 ・病児・病後児保育事業も定着し、利用者数も目標数を大幅に超えました。平成30年度からは1箇所増え2箇所になったことから、保護者への広報にも力を入れ、より一層の利用の増加を図ります。 ・春日保育園移転改築事業では、保護者・地域住民との話し合いを8回開催し、移転改築による課題を関係者と検証したことで、平成30年度から工事に着手することができました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立保育園施設整備については、建設予定地に埋蔵文化財が面的に存在し試掘調査が長期間に亘ることから平成29年度の建設は中止となりました。 ・私立認可保育園障がい児保育事業については、全ての園（15園）で受け入れ体制を整えましたが、対象入園児がいなかったことにより13園での実施となりました。 ・私立認可保育園及び公立保育園受入れ児童数については、保育士不足により受け入れができなかったことにより目標数に至りませんでした。 |

こども未来課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|---------------------|----|------|-----------|---------|-------------------|---------|----|-----------|-----------|---------|-------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 子育て支援センター管理運営事業費 | 一般 | 1-① | 22,159 | / | 公立子育て支援センターの年間利用者 | | | → 現状維持 | 22,417 | / | 公立子育て支援センターの年間利用者 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 31,000人 | 31,790人 | A | | | | 32,000人 | | | |
| 2 | 私立保育園子育て支援センター運営事業費 | 一般 | 1-① | 19,200 | / | 私立子育て支援センターの設置箇所数 | | | → 現状維持 | 19,200 | / | 私立子育て支援センターの設置箇所数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 8箇所 | 8箇所 | A | | | | 8箇所 | | | |
| 3 | 病児・病後児保育事業費 | 一般 | 1-① | 9,190 | / | 病児・病後児保育施設延べ利用児童数 | | | ↗ 拡大 | 18,374 | / | 病児・病後児保育施設延べ利用児童数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 240人 | 382人 | A | | | | 500人 | | | |
| 4 | 病児・病後児保育施設整備費補助金 | 一般 | - | 13,500 | / | 整備率 | | | — 終了 | 0 | / | - | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | - | - | - | |
| 5 | 一時預かり事業費 | 一般 | 1-① | / | / | 活動指標 | | | / | 9,531 | / | 一時預かり延べ人数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | 100人 | | | |
| 6 | 保育士修学支援事業費 | 一般 | 1-② | 6,000 | / | 県内高校への周知率 | | | ↗ 拡大 | 12,000 | / | 修学資金貸付件数 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 10件 | | | |
| 7 | 私立保育園管理運営事業費補助金 | 一般 | 1-② | 118,880 | / | 私立認可保育園受け入れ児童数 | | | → 現状維持 | 112,342 | / | 私立認可保育園受け入れ児童数 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2,400人 | 2,369人 | A | | | | 2,400人 | | | |
| 8 | 私立保育園延長保育促進事業費補助金 | 一般 | 1-② | 14,920 | / | 延長保育実施私立認可保育園数 | | | → 現状維持 | 12,836 | / | 延長保育実施私立認可保育園数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 15園 | 15園 | A | | | | 15園 | | | |
| 9 | 私立保育園運営事業費 | 一般 | 1-② | 2,291,679 | / | 私立認可保育園受け入れ児童数 | | | → 現状維持 | 2,365,874 | / | 私立認可保育園受け入れ児童数 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2,400人 | 2,369人 | A | | | | 2,400人 | | | |

こども未来課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|---------------------|----|------|---------|---------|------------------|--------|----|-----------|---------|---------|------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 10 | 私立保育園障がい児保育事業費補助金 | 一般 | 1-② | 69,084 | / | 障がい児保育実施私立認可保育園数 | | | → 現状維持 | 73,690 | / | 障がい児保育実施私立認可保育園数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 15園 | 12園 | B | | | | 15園 | | | |
| 11 | 私立保育園低年齢児保育推進事業費補助金 | 一般 | 1-② | 14,250 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 14,250 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 私立認可保育園受入れ0～2歳児数 | | | | | | 私立認可保育園受入れ0～2歳児数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 1,000人 | 994人 | A | 1,000人 | | | | | | | | |
| 12 | 私立保育園施設整備費補助金 | 一般 | 1-② | 306,511 | / | 活動指標 | | | ↗ 拡大 | 502,219 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 整備園数 | | | | | | 整備園数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 1園 | 0園 | - | 2園 | | | | | | | | |
| 13 | 保育園外国語翻訳・通訳サポート事業費 | 一般 | 1-② | 11,002 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 10,907 | / | 活動指標 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 配置する通訳の人数 | | | | | | 配置する通訳の人数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 4人 | 4人 | A | 4人 | | | | | | | | |
| 14 | 保育園嘱託医・嘱託歯科医報酬 | 一般 | 1-② | 7,648 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 7,593 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 健診回数 | | | | | | 健診回数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 年3回 | 年3回 | A | 年3回 | | | | | | | | |
| 15 | 保育園管理運営事業費 | 一般 | 1-② | 984,780 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 974,919 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 公立保育園受入れ児童数 | | | | | | 公立保育園受入れ児童数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 1,900人 | 1,867人 | A | 1,900人 | | | | | | | | |
| 16 | 延長保育事業費 | 一般 | 1-② | 4,211 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 4,190 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 延長保育実施公立保育園数 | | | | | | 延長保育実施公立保育園数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 2園 | 2園 | A | 2園 | | | | | | | | |
| 17 | 保育園看護師等配置事業費 | 一般 | 1-② | 15,881 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 15,819 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 必要とする児童への対応率 | | | | | | 必要とする児童への対応率 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 100% | 100% | A | 100% | | | | | | | | |
| 18 | 保育園広域入園事業費 | 一般 | 1-② | 19,222 | / | 活動指標 | | | ↗ 拡大 | 24,719 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 申請受付から決定までに要する期間 | | | | | | 申請受付から決定までに要する期間 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 30日以内 | 30日以内 | A | 30日以内 | | | | | | | | |

こども未来課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|----------------------|----|------|---------|---------|-------------------------|----|----|-----------|---------|----------|---------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額(千円) | 決算額(千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額(千円) | 決算額(千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 19 | 日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金 | 一般 | 1-② | 749 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 732 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 入園者への制度説明 | | | | | | 入園者への制度説明 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 2方法 | 2方法 | A | | | | | 5か国語以上対応 | | | | |
| 20 | 保育園施設整備事業費 | 一般 | - | 8,038 | / | 活動指標 | | | — 終了 | 0 | / | 活動指標 | | | — 終了 |
| | | | | | | 整備率 | | | | | | - | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 100% | 100% | A | | | | | - | - | - | | |
| 21 | 春日保育園移転改築事業費 | 一般 | 1-② | 57,803 | / | 活動指標 | | | ↗ 拡大 | 352,125 | / | 活動指標 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 保護者・地域住民等との情報共有・話し合いの回数 | | | | | | 予定工事進捗率 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 4回以上 | 8回 | A | | | | 40% | | | | | |
| 22 | 保育園一般経費 | 一般 | 1-② | 4,904 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 4,915 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 公立保育園受入れ児童数 | | | | | | 公立保育園受入れ児童数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 1,900人 | 1,867人 | A | | | | 1,900人 | | | | | |
| 23 | 幼稚園管理運営事業費 | 一般 | 1-② | 306,689 | / | 活動指標 | | | ↗ 拡大 | 354,907 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 3歳児保育実施園 | | | | | | 3歳児保育実施園 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 13園 | 13園 | A | | | | 13園 | | | | | |
| 24 | 幼稚園施設整備事業費 | 一般 | 1-② | 11,848 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 12,096 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 緊急修繕整備率 | | | | | | 緊急修繕整備率 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | | | |
| 25 | 幼稚園空調設備整備事業費 | 一般 | 1-② | / | / | 活動指標 | | | / | 115,658 | / | 活動指標 | | | — 終了 |
| | | | | | | 工事の進捗率 | | | | | | 工事の進捗率 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | 100% | | | | | |
| 26 | 公立幼稚園等施設型給付事業費 | 一般 | 1-② | 1,121 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 1,121 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 他市町における公定価格の算定回数の確認 | | | | | | 他市町における公定価格の算定回数の確認 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 1回 | - | - | | | | 1回 | | | | | |
| 27 | 私立幼稚園就園奨励費補助金 | 一般 | 1-② | 30,000 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 30,000 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 私立幼稚園の定員充足率 | | | | | | 私立幼稚園の定員充足率 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 95% | 85% | B | | | | 95% | | | | | |

こども未来課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|----------------|----|------|---------|---------|------------------------------|------|-----------|---------|---------|-----------------------|------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 28 | 私立幼稚園振興補助金 | 一般 | 1-② | 565 | / | 私立在園児の内科・歯科検診受信に対する補助 | | → 現状維持 | 565 | / | 私立在園児の内科・歯科検診受信に対する補助 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 100% | 100% | | | | A | 100% | | | |
| 29 | 幼稚園施設管理運営事業費 | 一般 | 1-② | 19,662 | / | 3歳児保育実施園 | | ▶ 統合 | 0 | / | ※幼稚園管理運営事業費に統合 | | — 終了 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 2園 | 2園 | | | | A | - | | - | - |
| 30 | 私立幼稚園等施設型給付事業費 | 一般 | 1-② | 1,869 | / | 新制度に移行した私立幼稚園における公定価格の算定確認回数 | | ↗ 拡大 | 9,103 | / | 公定価格の算定確認回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 1回 | 1回 | | | | A | 1回 | | | |

【課長シート】

| | | | |
|---|----------------------|--|-----------------|
| 組織名 | 子ども発達総合支援センター | 作成者（評価者） | 所長 西山 久司 |
| 関係する「実行宣言」 | 平成29年度 | 多職種間の連携・協働に取り組み、組織力及び支援力を強化します。 | |
| | 平成30年度 | 障がい児支援の提供体制の充実！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | 1-① 子育て支援の推進 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>子ども発達総合支援センターは、心身の発達に心配がある又は障がいのある子ども及びその家族等へ途切れのない支援を提供することを目的に事業展開をしています。</p> <p>主として、心身の発達を促す療育又は訓練を提供し、子育て、就園・就学及び発達に関する相談支援をしています。また、専門機関との連携と協働によって必要とする支援の提供、地域の児童発達支援事業所や相談支援事業所で従事している方を対象に技術研修や情報の提供、市内の保育園、幼稚園及び小中学校に当センターから職員を派遣し保育士や教諭に必要とする情報提供や相談支援を実施しています。</p> <p>また、第1期障がい児福祉計画に基づき、児童発達支援センターの設置に向けて関係機関と協議を進めます。</p> | | | |
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| 【達成できたこと】 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 就園・就学及び発達に関する相談支援実施日数については、施設開所日は全て実施しました。 目標240日、実績244日、目標達成度102% 本施設を開設したことで、特別支援教育への関心も高まり相談件数が著しく増加しました。 平成29年度／4,557件、前年度対比178%（平成28年度／2,557件） | | | |
| 【達成できなかったこと】 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 療育訓練を利用する児童数について、①保育士等訓練士の確保難により訓練日の確保ができなかったこと、②10月から2月にかけてインフルエンザ等によるキャンセルが続いたこと、また、療育訓練の相談支援については保護者・関係機関への浸透が図れなかったことで利用児童数が伸びませんでした。 平成29年度目標8,540人、実績6,929人（療育訓練児童数5,930人、療育訓練相談支援人数999件） 目標達成度81% ◎課題・・・訓練士等職員の確保、保護者等が気軽に療育相談できる環境づくり ・ 通所利用児童及びその家族等の満足度については、第三者委員による経営評価委員会において策定した経営計画書による利用者アンケートを実施する予定でしたが、策定が3月中旬となったことから集計作業が平成30年度となりました。 平成29年度目標満足度95%、実績－、目標達成度－ ◎課題・・・利用者アンケートの実施月について検討が必要（平成30年度は既に書式が決定したこともありスムーズに実施可。注：アンケート見直しも想定） | | | |

子ども発達総合支援センター 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|----------------------|----|------|---------|---------|----------------------|--------|-----------|---------|---------|---------------|--------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 1 | 子ども発達総合支援センター管理運営事業費 | 一般 | 1-① | 81,103 | | 来所人数、療育訓練相談件数 | | → 現状維持 | 78,729 | | 来所人数、療育訓練相談件数 | | ↗ 拡大 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 8,540人 | 6,929人 | | | | B | 8,322人 | | | |
| 2 | 子ども発達総合支援センター施設整備事業費 | 一般 | - | | | 活動指標 | | | 5,098 | | 活動指標 | | ↗ 拡大 | | |
| | | | | | | 木質外壁等劣化防止工事の実施 | | | | | 目標 | 実績 | | 評価 | |
| | | | | | | 100% | | | | | | | | | |
| 3 | 育ちサポート推進事業費 | 一般 | 1-① | 14,387 | | 活動指標 | | ↗ 拡大 | 16,023 | | 活動指標 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 就園・就学及び発達に関する相談支援実施日 | | | | | 目標 | 実績 | | 評価 | |
| | | | | | | 240日 | 244日 | | | | A | 244日 | | | |

平成30年度 産業文化部の「実行宣言」

| | | |
|--------------|----------|-------|
| 作成者 (評価者) | 部長 | 村林 篤 |
| | 競輪事業担当理事 | 奥野 義彦 |
| | 農林水産担当理事 | 竹岡 和也 |

| 基本方針と使命 |
|--|
| <p>産業文化部は、雇用対策、商工観光、企業誘致連携、交通政策、農林水産の振興、ブランドの推進、そして競輪事業と市内における産業全般の振興に取り組み、産業政策の活性化により地域経済の発展をめざします。また、平成29年度から文化課を所管し、文化と観光を連携させた「地域づくり・まちづくり」を進めていきます。</p> <p>松阪市が将来にわたって競争力を持ち、活力のある地域として持続的に発展していくために、産業政策を戦略的に推進し、また、市民の豊かな心を育むまちづくりを推進していくために文化の振興を図り、さらには、競輪事業の経常的な黒字化により市の自主財源の確保を図ることを使命とします。</p> |

| | |
|--------------------|--------------------|
| 『松阪市総合計画』 との関わり | 3 活力ある産業（産業振興） |
| | 4 人と地域の頑張る力（地域づくり） |
| | 5 安全・安心な生活（防犯・防災） |
| | 6 快適な生活（生活基盤の整備） |
| | 7 市民のための市役所（行政経営） |

| 平成29年度の評価 | | | |
|---|-------------------|----|---|
| 評価基準…A（90%以上）、B（70～89%）、C（50～69%）、D（30～49%）、E（29%以下） | | | |
| 宣言① | 松阪の“にぎわい”を取り戻します！ | 評価 | A |
| <p>【主な理由】</p> <p>新設した産業支援センターでは、7月10日の開設後、市内事業者135社からの会員登録があり、325件の相談・支援をすることができました。商工団体との連携事業がさらに充実するとともに、これまで事業所への支援が困難であった きめ細やかな相談・支援が可能となりました。</p> <p>また、ハローワーク松阪「就労の広場（求職者相談コーナー）」の設置により、障がい者・子育て世代・高齢者をはじめ589件の職業相談・就労支援をすることができましたが、雇用対策全体としては、人口減少と高齢化が進む中で若い世代の市外流出を抑制することが課題であり、労働力の確保と定着に対する支援に引き続き取り組みます。</p> <p>さらに、コミュニティバス利用者について、前年度比で、鈴の音バス・廃止代替バス・飯南コミュニティバスは減少しましたが、他のコミュニティバスは全て増加となりました。運賃の不公平感や公共交通の重要度に対する市民間での認識の温度差があり、これら課題の解消に努めます。</p> | | | |

【部局長シート】

| | | | |
|--|-----------------------------|----|---|
| 宣言② | 選ばれる観光地“松阪”をめざします！ | 評価 | B |
| <p>【主な理由】</p> <p>観光・レクリエーション入込客数については、平成25年の式年遷宮後、堅調に増加していましたが、平成28年に減少に転じ、平成29年は主要イベントでの入込客数の伸び悩みなどが影響し、全体としては微減となりました。（H29暫定値 入込客数 2,610,024人 前年比：▲16,080人 [▲0.61%]）</p> <p>なお、インバウンドに関しては、海外に対する情報発信の効果が徐々にあらわれ、観光情報センターの外国人観光客の利用者が1,126人と調査開始後、始めて千人を超え、外国人観光客の中でも特に個人客（FIT）の来訪が増加してきました。（H29 観光情報センター総利用者 30,298人 前年比：+2,188人[+7.78%]、内外国人利用者数 1,126人 前年比：+223人[+24.70%]）</p> | | | |
| 宣言③ | 企業誘致連携により地域の雇用確保・活性化をめざします！ | 評価 | A |
| <p>【主な理由】</p> <p>平成29年度中に企業立地件数として3件、産官学金が連携した取組件数として11件を達成することができました。また、中小企業伴走型支援事業では、公開審査にて選ばれた「三重化学工業株式会社」に対し、情報発信や人的ネットワークと資金面の両面から支援し、いくつかの商談中の案件から取引成立などの成果も出てきており、平成30年3月に開催した公開報告会にて事業実績が報告されました。</p> <p>なお、企業誘致を行うにあたっては、外からの誘致及び留め置く誘置の取組を進めていく必要があり、立地戦略上の課題として、新增設に対応できる人材と産業用地の確保があげられます。</p> | | | |
| 宣言④ | 地域ブランドを全国に発信します！ | 評価 | B |
| <p>【主な理由】</p> <p>松阪市の優れた特産品を全国の方に知っていただくため、首都圏を中心にPR活動を展開し販路開拓を図りました。また、ふるさと特産品PR事業費では、返礼品の拡充・PRを図り、前年度比約2倍の269,704,100円の寄附金につなげました。（目標3億円；実績89.9%）</p> | | | |
| 宣言⑤ | 農業者・漁業者への支援を全力で行います！ | 評価 | A |
| <p>【主な理由】</p> <p>農業については、法人化や利用権設定等、経営の安定化に向けた支援を行ったことで、新規就農者から認定農業者となったり、個人や集落営農組織から法人化し、新たに認定農業者となるなど、農業経営体の活性化につながりました。また、野生鳥獣による農作物被害を軽減するため、地域住民への防護柵の推進と、猟友会の協力により、有害鳥獣捕獲業務などを実施しました。</p> <p>畜産業については、肥育農家のコスト負担を軽減するため、兵庫県産素牛導入支援などの補助を行うとともに、平成29年度は「和牛サミット」を初開催し、松阪牛をはじめとする、全国を代表する8ブランドの高級和牛の魅力を、松阪牛の生産地である松阪市から国内外に発信することで、畜産業の振興及び活性化を図ることができました。</p> <p>水産業については、あさり漁獲量増大のため、漁協が実施する砕石覆砂やかぶせ網、海底耕運に対する事業費補助を行うとともに、水産資源増殖のため、ガザミや稚鮎を放流しました。</p> <p>平成29年度の組織改編において、各地域振興局地域整備課で担っていた農林水産業務を、新設した産業文化部直轄の北部・西部農林水産事務所で行うことで、命令系統の一元化と事務の効率化を図りました。</p> | | | |

【部局長シート】

| | | | |
|--|---|----|---|
| 宣言⑥ | 計画的な農業基盤整備により効率的な農業経営をめざします！ | 評価 | A |
| <p>【主な理由】</p> <p>ほ場整備事業は、水田の高度利用と農業生産性の向上に効果がある事業で、地域農業が抱える構造的な問題を解消するため、要望がある地区での事業計画が実施されるよう取り組みました。また、多面的機能支払交付金の活用により、地域共同活動の支援をおこない施設の維持・発揮が図れるよう事業の推進に努めました。</p> | | | |
| 宣言⑦ | 計画的な森林整備と森林資源の活用を図ります！ | 評価 | A |
| <p>【主な理由】</p> <p>森林整備においては間伐面積や林道・作業道の整備などについて計画的に実施されるよう取り組みました。認定林業事業体による素材生産量は、44,582m³と前年度対比2.4%増となっています。また林業支援センターでは、市内製材工場調査の結果を踏まえ、製材工場に直接原木を供給する取組への支援や、地方包括協定を活用し大手ビルダーやハウスメーカーなどの情報収集や市内製材工場の製品についての利用提案を積極的に行いました。今後も更なる木材需要の拡大や製品販路の開拓をめざしていきます。</p> | | | |
| 宣言⑧ | 市史跡「松浦武四郎誕生地」の保存整備を進め、生誕200年を迎え る松浦武四郎の偉業を全国に向けて発信します！ | 評価 | A |
| <p>【主な理由】</p> <p>市指定史跡「松浦武四郎誕生地」の保存・活用整備については、整備検討委員会において検討を重ね、松浦武四郎生誕200年のメモリアルイヤーである平成30年2月25日に一般公開しました。</p> <p>また、記念事業を実施するため「松浦武四郎生誕200年記念事業実行委員会」を立ち上げ、2月24日に開催したオープニングイベントを契機に松浦武四郎の偉業を顕彰しその功績を全国に発信していきます。</p> <p>文化課を文化関連行政と地域産業振興行政を所管する市長部局の産業文化部に移管したことにより、情報共有や意思決定等の点で、これまで以上にスピード感のある業務連携が行えるようになりました。具体的な例として、松浦武四郎生誕200年事業における情報発信や運営企画の面で成果が現れています。</p> | | | |
| 宣言⑨ | 市の自主財源を確保します！ | 評価 | A |
| <p>【主な理由】</p> <p>競輪事業の安定的経営、黒字体質の確立に努めた結果、平成29年度も前年度収益の4.7%を一般財源へ繰り入れることができました。また、年度内に照明設備を完成させたことで、平成30年度ミッドナイト競輪6節18日間開催による更なる安定的収益が望める素地ができました。バンクや場内施設の一般開放を積極的に推進し、地域や市民に親しまれる競輪場をめざしました。</p> | | | |
| 部局マネジメント方針 | | | |
| 部内における情報共有を図るため、本庁外も含めた部課長ミーティングを週1回開催します。 | | 評価 | A |
| 部の取組を市民に伝えるため、市ホームページやソーシャルメディアを活用し情報発信をします。 | | 評価 | A |
| 関係団体と目的達成への情報共有の強化を図ります。 | | 評価 | A |
| 部の総時間外勤務時間を前年より2%削減します。 | | 評価 | E |

【部局長シート】

| 『松阪市総合計画』関係施策の進捗度 | | | | |
|-------------------|------|-------------------|----------------------|----|
| ① | 施策名 | 3-① 農業の振興 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 認定農業者数 | 195経営体 | A |
| | 活動指標 | 人・農地プラン作成数(平坦地のみ) | 70集落 | A |
| | 活動指標 | 鳥獣による農作物被害額 | 10,903千円 | B |
| ② | 活動指標 | 茶防霜ファン改修基数 | 70基 | A |
| | 施策名 | 3-② 松阪牛の振興 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 松阪肉牛共進会の出品頭数 | 50頭 | A |
| | 活動指標 | 特産松阪牛の出荷頭数割合 | 4.3% | A |
| ③ | 活動指標 | 特産松阪牛の海外輸出頭数 | 10頭 | E |
| | 施策名 | 3-③ 林業の振興 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 林道(トロセ線)の延長(累計) | 1,010m | C |
| | 活動指標 | 木材搬出用作業路の延長(累計) | 45,000m | A |
| | 活動指標 | 間伐による森林整備面積(累計) | 3,991ha | B |
| | 活動指標 | 未利用間伐材の木質バイオマス活用量 | 21,000 t | C |
| ④ | 活動指標 | 主伐による木材生産量 | 31,000m ³ | A |
| | 施策名 | 3-④ 水産業の振興 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | アサリ漁獲量 | 300 t | E |
| ⑤ | 活動指標 | アオサ漁獲量 | 150 t | A |
| | 施策名 | 3-⑤ 商工業の振興 | 目標 (H31) | 評価 |
| ⑥ | 活動指標 | 新規創業者・第二創業者相談件数 | 100件 | E |
| | 活動指標 | 中小企業・小規模事業者の相談件数 | 500件 | A |
| ⑦ | 施策名 | 3-⑥ 企業誘致・連携の推進 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 企業立地件数(累計) | 12件 | A |
| ⑧ | 活動指標 | 産学官金が連携した取組件数(累計) | 20件 | A |
| | 施策名 | 3-⑦ 観光・交流の推進 | 目標 (H31) | 評価 |
| ⑨ | 活動指標 | 観光入込客数 | 300万人 | E |
| | 施策名 | 3-⑧ 地域ブランドの推進 | 目標 (H31) | 評価 |
| ⑩ | 活動指標 | ふるさと応援寄付金の額 | 10億円 | B |
| | 施策名 | 3-⑨ 雇用・勤労者福祉の充実 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 就労率 | 57.1% | E |
| | 活動指標 | 障がい者雇用率 | 2.00% | A |
| ⑪ | 活動指標 | 市の取組により増えた就労者数 | 120人 | A |
| | 施策名 | 4-③ 文化の振興 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 旧長谷川邸入場者数 | 2万人 | A |
| | 活動指標 | 文化センター自主事業入場者率 | 100% | A |

【部局長シート】

| | | | | |
|---|------|------------------|----------|----|
| ⑪ | 施策名 | 5-② 消費者対策の充実 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 消費生活に関する出前講座参加者数 | 1,000人 | E |
| | 活動指標 | 消費生活相談窓口の認知度 | 50.0% | A |
| ⑫ | 施策名 | 6-③ 地域公共交通の充実 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | コミュニティバス年間利用者数 | 187,000人 | E |
| | 活動指標 | 公共交通の整備に対する市民満足度 | 3.10/5 | E |

平成30年度 産業文化部の「実行宣言」

| | |
|-----|--|
| 宣言① | 松阪に“ひとのながれ”と“まちのにぎわい”を創り出します！ |
| 宣言② | 選ばれる観光地“松阪”をめざします！ |
| 宣言③ | 企業誘致連携により地域の雇用確保・活性化をめざします！ |
| 宣言④ | 松阪ブランドを全国に売り込みます！ |
| 宣言⑤ | 農業者・漁業者への支援を全力で行います！ |
| 宣言⑥ | 計画的な農業基盤整備により効率的で持続可能な農業経営をめざします。 |
| 宣言⑦ | 計画的な森林整備と森林資源の活用を図ります！ |
| 宣言⑧ | 生誕200年を迎えた松浦武四郎の偉業を全国発信するとともに、文化財の保存・活用を推進します！ |
| 宣言⑨ | 市の自主財源を確保します！更なる収益の増加を図り一般財源への繰り入れを強化します。 |

部局マネジメント方針

- 来庁者や職員間で明るく元気なあいさつを交わし、コミュニケーションを図ります。
- 部内における情報共有を密にするために、職場内、職場間のミーティングを実施します。
- 関係団体と目的達成への情報共有の強化を図ります。
- 市ホームページやSNS等を活用し積極的な情報発信に努めます。
- ノー残業デーにおける定時退庁の徹底と、時間外勤務時間数の前年度対比減をめざします。

【課長シート】

| 組織名 | 商工政策課 | | 作成者（評価者） | 課長 川村 浩稔 |
|--|-----------------|-------------------------------|----------|----------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 松阪の“にぎわい”を取り戻します！ | | |
| | 平成30年度 | 松阪に“ひとのながれ”と“まちのにぎわい”を創り出します！ | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 3－⑤ 商工業の振興 | | | |
| | 3－⑨ 雇用・勤労者福祉の充実 | | | |
| | 5－② 消費者対策の充実 | | | |
| | 6－③ 地域公共交通の充実 | | | |
| 課の基本方針と使命 | | | | |
| <p>商工政策課では「人口減少対策」として、若い世代の人口流出に歯止めをかけ、市民のみなさまが安全・安心で快適な生活が実現できる基盤を築くため、商工業環境の充実、創業支援、中小企業・小規模事業者の事業力向上支援、魅力ある就労環境の整備や雇用機会の創出と安定ならびに勤労者福祉の向上、安心安全な消費生活環境の整備、利便性の高い地域公共交通の維持・拡充に取り組むことにより、“ひとのながれ”と“まちのにぎわい”を創り出していくものです。</p> | | | | |

| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
|--|
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豪商のまち松阪起業家支援事業では、各種セミナー参加者253人、専門家派遣36回、創業相談33件があり、28件の創業（平成29年度以前からの相談者含む）に繋がりました。 ・新設した産業支援センターでは、7月10日の開設後、市内事業者135社からの会員登録があり、325件の相談・支援をすることができました。 ・ハローワーク松阪「就労の広場（求職者相談コーナー）」では、8月14日のリニューアルオープン後、障がい者・子育て世代・高齢者をはじめ589件の職業相談・就労支援をすることができました。 ・地域公共システム事業では、2つの地域との対話により随時運行形態の改善を行ったほか、2つの地域との間で新たな路線の検討を開始しました。 ・交通施設バリアフリー化設備整備補助金では、鉄道事業者が実施する松阪駅バリアフリー化設備整備事業1件を支援し、駅利用者の利便性・安全性の向上を図ることができました。 ・伊勢鉄道基盤強化等対策事業負担金では、第三セクター・伊勢鉄道(株)が実施する設備整備計画の支援を沿線市町と連携して行うことで、列車の安全運行の確保を図ることができました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街への出店希望者の相談が少なかったため、交通量調査結果冊子による情報提供も少なくなりました。 ・小規模事業資金保証料補給金の周知について、商工会議所、商工会の会報等への記事掲載が出来ず、広報まつさかのみでの周知に終わりました。 ・出店間もない方対象の個別フォローアップ研修の参加者が、出店者との時間調整が難しく少なくなりました。 ・創業・再挑戦アシスト資金保証補給金については、平成29年度は創業相談も含め、アシスト資金利用者が少なくなりました。 ・勤労者総合福推進事業費補助金において、補助金交付団体である（公財）松阪市勤労者サービスセンターの登録会員数を増加させることができませんでした。 ・高齢者就業機会確保事業費補助金において、補助金交付団体である（公社）松阪市シルバー人材センターの登録会員数を増加させることができませんでした。 ・海上アクセス旅客ターミナル管理事業及び同解体事業については、ターミナルの利活用に関し調整を行ってきましたが、年度内の解決ができませんでした。 |

商工政策課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|----------------------|----|------|---------|---------|-------------------------|-------|----|-----------|---------|---------|----------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 勤労者総合福祉推進事業費補助金 | 一般 | 3-⑨ | 28,000 | / | 補助団体登録会員数の増加率（対平成27年度比） | | | → 現状維持 | 28,000 | / | 補助団体登録会員数の維持 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1% | △1.2% | B | | | | ±0人 | | | |
| 2 | 勤労青少年激励大会補助金 | 一般 | 3-⑨ | 200 | / | 大会参加者の増加数（対平成27年度比） | | | → 現状維持 | 200 | / | 大会参加者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 10人 | 8人 | A | | | | 120人 | | | |
| 3 | 勤労者地域づくり活性化事業費補助金 | 一般 | 3-⑨ | 470 | / | 行事等参加者数の増加率（対平成27年度比） | | | → 現状維持 | 470 | / | 行事等参加者数の維持 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1% | 1% | A | | | | ±0人 | | | |
| 4 | 労働者福祉推進事業費補助金 | 一般 | 3-⑨ | 1,400 | / | 行事等参加者数の増加率（対平成27年度比） | | | → 現状維持 | 1,400 | / | 行事等参加者数の維持 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1% | 1% | A | | | | ±0人 | | | |
| 5 | 勤労者生活資金貸付金 | 一般 | 3-⑨ | 8,000 | / | 協調融資枠の活用率 | | | → 現状維持 | 8,000 | / | 協調融資枠の活用率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 87.3% | A | | | | 100% | | | |
| 6 | 高齢者就業機会確保事業費補助金 | 一般 | 3-⑨ | 10,880 | / | 補助団体登録会員数の増加率（対平成27年度比） | | | → 現状維持 | 10,880 | / | 補助団体登録会員数の維持 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1% | △3.2% | B | | | | ±0人 | | | |
| 7 | 障がい者雇用促進事業費 | 一般 | 3-⑨ | 456 | / | 障がい者雇用・就労促進フォーラム参加者数 | | | → 現状維持 | 467 | / | 障がい者雇用・就労促進フォーラム参加者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100人 | 87人 | A | | | | 100人 | | | |
| 8 | 潜在専門職トレーニングプロジェクト事業費 | 一般 | 3-⑨ | 771 | / | 1職種当たりの支援プログラム参加者数 | | | ↘ 縮小 | 183 | / | 1職種当たりの支援プログラム参加者数 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 10人 | 13人 | A | | | | 10人 | | | |
| 9 | 労働一般経費 | 一般 | 3-⑨ | 3,014 | / | 職業相談員による職業相談件数 | | | → 現状維持 | 2,980 | / | 職業相談員による職業相談件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100件 | 589件 | A | | | | 600件 | | | |

商工政策課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|---------------------|----|------|----------|----------|--------------------------------------|----------|----|-----------|----------|----------|--------------------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 10 | ワークセンター松阪管理運営事業費 | 一般 | 3-⑨ | 38,574 | / | ワークセンター松阪利用者数 | | | → 現状維持 | 40,679 | / | ワークセンター松阪利用者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 12万人 | 112,368人 | B | | | | 12万人 | | | |
| 11 | 企業内人権啓発事業費 | 一般 | 3-⑨ | 154 | / | 人権啓発冊子等の配布事業所数（雇用保険被保険者数30人以上事業所すべて） | | | ↘ 縮小 | 123 | / | 人権啓発冊子等の配布事業所数（雇用保険被保険者数30人以上事業所すべて） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 250社 | 240社(全社) | A | | | | 全社 | | | |
| 12 | 消費生活関連事業費 | 一般 | 5-② | 6,213 | / | 消費生活出前講座開催回数 | | | → 現状維持 | 5,541 | / | 消費生活出前講座開催回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 24回 | 20回 | A | | | | 24回 | | | |
| 13 | 商工一般経費 | 一般 | 3-⑨ | 811 | / | 予算執行額の削減率（対平成27年度比） | | | → 現状維持 | 848 | / | 予算執行額の削減率（対平成28年度比） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2% | 2% | A | | | | 2% | | | |
| 14 | 商店街交通量調査事業費 | 一般 | 3-⑤ | 426 | / | 調査結果の提供件数 | | | → 現状維持 | 437 | / | 調査結果の提供件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 14件 | 11件 | B | | | | 14件 | | | |
| 15 | 小規模事業資金保証料補給金 | 一般 | 3-⑤ | 6,160 | / | 広報誌等による周知回数 | | | → 現状維持 | 6,050 | / | 周知する媒体数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 1回 | C | | | | 3媒体 | | | |
| 16 | 松阪市中心商店街活性化促進協議会補助金 | 一般 | 3-⑤ | 450 | / | 商店街と連携する団体等の増加 | | | → 現状維持 | 450 | / | 商店街と連携する団体等の増加 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2団体 | 4団体 | A | | | | 2団体 | | | |
| 17 | 商店街活性化総合事業費補助金 | 一般 | 3-⑤ | 8,210 | / | イベント等による来街者数の増加率(対平成27年度比) | | | → 現状維持 | 9,110 | / | イベント等による来街者数の増加率(対平成28年度比) | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 10% | 0.49% | A | | | | 1% | | | |
| 18 | 商工団体補助金 | 一般 | 3-⑤ | 27,700 | / | 各団体の会員数の増加率(対平成27年度比) | | | → 現状維持 | 27,700 | / | 会員数の維持 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1% | 0.14% | A | | | | 3,455事業所 | | | |

商工政策課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|--------------------|----|------|---------|---------|----------------------|------|----|-----------|---------|---------|----------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 19 | ものづくり技能者育成支援事業費 | 一般 | 3-⑤ | 110 | / | 参加定員に対する参加率 | | | → 現状維持 | 110 | / | 参加定員に対する参加率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 86% | B | | | | 100% | | | |
| 20 | 商店街空き店舗等出店促進補助事業費 | 一般 | - | 1,290 | / | 補助金交付件数 | | | — 終了 | 0 | / | - | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2件 | 2件 | A | | | | - | - | - | |
| 21 | まちなか開業塾開催事業費 | 一般 | 3-⑤ | 221 | / | 開業塾、フォローアップ研修への参加者数 | | | → 現状維持 | 223 | / | 開業塾、フォローアップ研修への参加者数 | | | ↘ 縮小 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 50人 | 34人 | C | | | | 50人 | | | |
| 22 | 豪商のまち店舗改装支援事業費 | 一般 | 3-⑤ | 5,050 | / | 補助申請件数 | | | → 現状維持 | 5,050 | / | 補助申請件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 25件 | 23件 | A | | | | 25件 | | | |
| 23 | 創業・再挑戦アシスト資金保証料補給金 | 一般 | 3-⑤ | 2,155 | / | 創業・再挑戦アシスト資金融資制度利用件数 | | | → 現状維持 | 1,905 | / | 創業・再挑戦アシスト資金融資制度利用件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 40件 | 29件 | B | | | | 30件 | | | |
| 24 | 豪商のまち松阪起業家支援事業費 | 一般 | 3-⑤ | 4,200 | / | 支援件数 | | | → 現状維持 | 4,200 | / | 支援件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 200件 | 286件 | A | | | | 300件 | | | |
| 25 | 産業支援センター運営事業費 | 一般 | 3-⑤ | 14,494 | / | 相談件数 | | | → 現状維持 | 14,893 | / | 相談件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 200件 | 325件 | A | | | | 500件 | | | |
| 26 | カリヨンビル購入事業費 | 一般 | 3-⑤ | / | / | カリヨンビルの円滑な購入 | | | / | 168,913 | / | カリヨンビルの円滑な購入 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | 1件 | | | |
| 27 | 商工振興一般経費 | 一般 | 3-⑤ | 844 | / | 予算執行額の削減率(対平成28年度比) | | | → 現状維持 | 847 | / | 予算執行額の削減率(対平成29年度比) | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2% | 2% | A | | | | 2% | | | |

商工政策課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|--------------------|----|------|---------|---------|----------------------|--------------|----|-----------|---------|---------|----------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 28 | 産業振興センター管理運営事業費 | 一般 | 3-⑤ | 21,088 | / | ①本館年間利用率 ②別館年間利用率 | | | → 現状維持 | 21,557 | / | 年間利用率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | ①30% ②40% | ①40% ②23% | B | | | | 35% | | | |
| 29 | 産業振興センター施設整備事業費 | 一般 | 3-⑤ | 15,218 | / | ①本館年間利用率 ②別館年間利用率 | | | → 現状維持 | 2,344 | / | ①本館年間利用率 ②別館年間利用率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | ①30% ②40% | ①40% ②23% | B | | | | ①40% ②30% | | | |
| 30 | 地域公共交通システム事業費 | 一般 | 6-③ | 141,503 | / | コミュニティバス年間利用者数 | | | ↗ 拡大 | 147,120 | / | コミュニティバス年間利用者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 187,000人 | 176,552人 | A | | | | 187,000人 | | | |
| 31 | 飯南コミュニティバス購入事業費 | 一般 | 6-③ | / | / | 活動指標 | | | / | 3,650 | / | コミュニティバス用車両購入台数 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | 1台 | | | |
| 32 | 交通施設バリアフリー化設備整備補助金 | 一般 | - | 15,833 | / | 交付金交付件数 | | | — 終了 | 0 | / | - | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1件 | 1件 | A | | | | - | - | - | |
| 33 | 伊勢鉄道基盤強化等対策事業負担金 | 一般 | 6-③ | 14,467 | / | 伊勢鉄道経営改善会議への参加 | | | → 現状維持 | 14,467 | / | 伊勢鉄道経営改善会議への参加 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 2回 | A | | | | 2回 | | | |
| 34 | 海上アクセス旅客ターミナル管理事業費 | 一般 | - | 1,534 | / | ターミナル解体作業の進捗 | | | → 現状維持 | 312 | / | ターミナル解体作業の進捗 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 50% | C | | | | 100% | | | |
| 35 | 海上アクセス旅客ターミナル解体事業費 | 一般 | - | 109,504 | / | ターミナル解体作業の進捗 | | | → 現状維持 | 0 | / | ターミナル解体作業の進捗 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 50% | C | | | | 100% | | | |

商工政策課 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-------------------|----|------|---------|---------|---------------|------|-----------|---------|---------|---------------|------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| (1) | セーフティネット保証制度の認定事務 | | 3-⑤ | | | 迅速な認定 | | → 現状維持 | | | 迅速な認定 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 3日以内 | 3日以内 | | | | A | 3日以内 | | | |
| (2) | 関係機関との連携による雇用対策 | | 3-⑨ | | | 関係機関との連携実施事業数 | | ↗ 拡大 | | | 関係機関との連携実施事業数 | | ↗ 拡大 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 4回 | 4回 | | | | A | 5回 | | | |

【課長シート】

| 組織名 | 観光交流課 | | 作成者（評価者） | 課長 近田 弘之 |
|---|-------------|--------------------|----------|----------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 選ばれる観光地“松阪”をめざします！ | | |
| | 平成30年度 | 選ばれる観光地“松阪”をめざします！ | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 3-⑦観光・交流の振興 | | | |
| | 3-⑦観光・交流の振興 | | | |
| 課の基本方針と使命 | | | | |
| <p>観光交流課は、少子高齢化や人口減少などに伴い地域経済の縮小が懸念される中で、交流人口の増加を図ることで地域経済の発展を促すために、観光PRや受け入れ環境の整備を行うとともに、国内外の都市間でのヒト・モノ・情報の交流促進を推進しています。</p> <p>特に、東京オリンピック・パラリンピックを控え、国全体がインバウンドによる国内経済の活性化を図る中で、松阪市としても、その魅力を国内だけでなく国外へと発信し、海外誘客を促していくことが求められています。</p> <p>また、松阪市とゆかりを持つ地域に関しては、交流を民間主体へと深化させることで、実際のヒト・モノ・情報の交流をこれまで以上に促進し、双方の地域の経済の活性化にもつなげていくことが課題となっています。</p> <p>これらの課題に対応していくため、地域内の観光交流の拠点となる「豪商のまち松阪観光情報センター」の整備を進め、文化財施設や地域の観光事業者との連動性を高めることで、観光客の周遊性・滞在性を高め、地域経済の活性化をめざしていきます。</p> | | | | |

| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
|---|
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の観光振興の根幹となる「松阪市観光振興ビジョン」の見直しを行い、より時勢に応じた事業展開を図るための指針としました。 ・民間事業者との協働による「豪商のまち松阪プロモーション」を展開することで、話題性を高めるとともに情報発信のチャンネルを増やし、観光地としての認知度を高めました。 ・都市交流に関しては、文化課と連携して、松浦武四郎ゆかりの地域である北海道との積極的な交流に努め、松浦武四郎生誕200年記念事業のスタートを切ることができました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光・レクリエーション入込客数については、式年遷宮後、堅調に増加していましたが、主要イベントでの入込客数の伸び悩みなどが影響し減少しました。 <p>今後、天候などの影響を受けやすいイベント・キャンペーンだけでなく、シーズンを限定しない観光地づくりを進めるため、現在、建設中の「豪商のまち松阪観光情報センター」を中心に、観光地としての定番化を図るとともに、比較的、滞在期間が長く休日などの影響を受けにくい来訪を期待できるインバウンド（海外誘客）に関しては、引き続き、松阪の認知度向上の取組を進めるとともに、個人客（FIT）の取り込みを意識した着地型商品の開発や発信を強化してきます。</p> |

観光交流課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|---------------|----|------|----------|----------|--------------------------------|---------|----|-----------|----------|----------|--------------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 国際交流事業団体補助金 | 一般 | - | 1,000 | / | 国際化フォーラムを開催し、活動報告会を実施した団体 | | | → 現状維持 | 1,000 | / | 補助金交付団体数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 5団体 | 6団体 | A | | | | 7団体 | | | |
| 2 | 国際交流員（CIR）事業費 | 一般 | - | 303 | / | CIRが実施する派遣事業及びイベントの実施回数 | | | → 現状維持 | 751 | / | CIRが実施する派遣事業及びイベントの実施回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 72回 | 82日 | A | | | | 72回 | | | |
| 3 | 地域国際化推進事業費 | 一般 | - | 31 | / | 松阪市地域国際化推進会議 開催回数 | | | ↘ 縮小 | 31 | / | 松阪市地域国際化推進会議 開催回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 1回 | C | | | | 1回 | | | |
| 4 | 友好都市交流事業費 | 一般 | - | 1,872 | / | 相互交流の事業数 | | | ▶ 統合 | 0 | / | ※都市間交流事業に統合 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 1回 | C | | | | - | - | - | |
| 5 | 観光客誘致事業費 | 一般 | 3-⑦ | 15,536 | / | 観光パンフレット作成・配布部数 | | | → 現状維持 | 14,145 | / | 観光パンフレット作成・配布部数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 80,000部 | 80,000部 | A | | | | 80,000部 | | | |
| 6 | 観光協会運営費補助金 | 一般 | 3-⑦ | 10,737 | / | 補助金充当により雇用されている職員数（常勤業務執行理事除く） | | | ↘ 縮小 | 10,287 | / | 補助金充当により雇用されている職員数（常勤業務執行理事除く） | | | ↘ 縮小 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 4人 | 4人 | A | | | | 4人 | | | |
| 7 | 観光協会事業費補助金 | 一般 | 3-⑦ | 16,386 | / | 補助金充当により実施される事業数 | | | → 現状維持 | 16,720 | / | 補助金充当により実施される事業数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 14件 | 14件 | A | | | | 12件 | | | |
| 8 | 都市間交流事業費 | 一般 | 3-⑦ | 4,931 | / | 観光PRイベント等参加回数 | | | → 現状維持 | 6,645 | / | 観光・交流事業の実施・参加回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 25事業 | 26事業 | A | | | | 20事業 | | | |

観光交流課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-----------------------|----|------|----------|-----------|-------------------|----|----|-----------|----------|----------|------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 9 | インバウンドプロモーション事業費 | 一般 | 3-⑦ | 3,726 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 3,651 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | おもてなし力向上勉強会延参加者数 | | | | | | 協力事業者数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 50人 | 24人+19事業所 | B | | | | 20事業者 | | | | | |
| 10 | 豪商のまち松阪プロモーション事業費 | 一般 | 3-⑦ | 13,419 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 13,390 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 観光パンフレット作成・配布部数 | | | | | | 観光パンフレット作成・配布部数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 30,000部 | 50,000部 | A | | | | 30,000部 | | | | | |
| 11 | リバーサイド茶倉施設管理事業費 | 一般 | 3-⑦ | 15,279 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 14,985 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 営業日数 | | | | | | 営業日数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 308日 | 308日 | A | | | | 308日 | | | | | |
| 12 | 観光施設管理運営事業費 | 一般 | 3-⑦ | 9,199 | / | 活動指標 | | | ↘ 縮小 | 2,333 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 維持管理施設数 | | | | | | 維持管理施設数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 32施設 | 31施設 | A | | | | 9施設 | | | | | |
| 13 | 観光情報センター管理運営事業費 | 一般 | 3-⑦ | 9,319 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 9,370 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 開館日数 | | | | | | 開館日数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 361日 | 361日 | A | | | | 361日 | | | | | |
| 14 | 飯高グリーンライフ山林舎施設管理事業費 | 一般 | 3-⑦ | 1,939 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 1,927 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 営業日数 | | | | | | 営業日数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 365日 | 365日 | A | | | | 365日 | | | | | |
| 15 | 飯高森林とのふれあい環境整備施設管理事業費 | 一般 | 3-⑦ | 1,469 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 1,469 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 営業日数 | | | | | | 営業日数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 365日 | 365日 | A | | | | 365日 | | | | | |
| 16 | 飯高奥香肌峡林間キャンプ場施設管理事業費 | 一般 | - | 15 | / | 活動指標 | | | — 終了 | 15 | / | 活動指標 | | | — 終了 |
| | | | | | | 施設廃止（移譲）に向けた作業進捗率 | | | | | | 施設活用に向けた事務手続 進捗率 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | | | |
| 17 | 飯高ホテルスメール関連施設管理事業費 | 一般 | 3-⑦ | 12,798 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 12,000 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 営業日数 | | | | | | 営業日数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 365日 | 365日 | A | | | | 365日 | | | | | |

観光交流課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|--------------------|----|------|---------|---------|---|-------|----|-----------|---------|---------|---|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 18 | 飯高ホテルズメール関連施設整備事業費 | 一般 | 3-⑦ | 7,030 | / | 営業日数 | | | → 現状維持 | 6,743 | / | 営業日数 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 365日 | 365日 | A | | | | 365日 | | | |
| 19 | 指定管理者選定委員会事業費 | 一般 | 3-⑦ | 72 | / | 審査選定委員会 開催回数（1施設あたり） | | | … 定期 | 143 | / | 審査選定委員会 開催回数（1施設あたり） | | | … 定期 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 年2回 | 年2回 | A | | | | 年2回 | | | |
| 20 | 魅力ある観光地づくり支援事業費 | 一般 | 3-⑦ | 10,547 | / | 小規模観光案内施設委託数 | | | ↘ 縮小 | 10,048 | / | 小規模観光案内施設委託数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 4施設 | 4施設 | A | | | | 3施設 | | | |
| 21 | 飯高総合案内施設管理事業費 | 一般 | 3-⑦ | 1,582 | / | 営業日数 | | | → 現状維持 | 1,582 | / | 営業日数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 324日 | 324日 | A | | | | 324日 | | | |
| 22 | 飯高総合案内施設整備事業費 | 一般 | 3-⑦ | 6,400 | / | 営業日数 | | | → 現状維持 | 8,316 | / | 営業日数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 324日 | 324日 | A | | | | 324日 | | | |
| 23 | 観光交流拠点施設等整備事業費 | 一般 | 3-⑦ | 90,035 | / | 新築工事進捗率※平成29年度着工。平成30年度竣工、平成31年度オープン予定。 | | | ↗ 拡大 | 270,182 | / | 新築工事進捗率※平成29年度着工。平成30年度竣工、平成31年度オープン予定。 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 40% | 40% | A | | | | 100% | | | |
| 24 | 定住自立圏観光連携事業費 | 一般 | 3-⑦ | 2,180 | / | 観光客誘致PRイベントの共同開催回数 | | | → 現状維持 | 2,180 | / | 観光客誘致PRイベントの共同開催回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3回 | 3回 | A | | | | 3回 | | | |
| 25 | 観光振興ビジョン策定委員会事業費 | 一般 | - | 529 | / | ビジョン策定委員会開催回数 | | | — 終了 | 0 | / | - | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 5回 | 5回 | A | | | | - | - | - | |
| 26 | 観光一般経費 | 一般 | 3-⑦ | 1,101 | / | 削減率（前年度予算対比） | | | → 現状維持 | 1,059 | / | 削減率（前年度予算対比） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1% | 0.37% | C | | | | 1% | | | |

【課長シート】

| 組織名 | 地域ブランド課 | | 作成者(評価者) | 課長 砂子 祐一 |
|--|--------------|-------------------|----------|----------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 地域ブランドを全国に発信します！ | | |
| | 平成30年度 | 松阪ブランドを全国に売り込みます！ | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 3-⑧地域ブランドの振興 | | | |
| | 7-③健全な財政運営 | | | |
| 課の基本方針と使命 | | | | |
| <p>松阪市の魅力ある特産品を広く発信するとともに、松阪ブランドとしてアピール出来るよう、新たな認定制度を構築し、販路開拓につなげます。</p> <p>ふるさと納税制度を活用し、返礼品の充実とPRにより、当市への誘客につなげます。また、応募サイトの拡充などを図り、寄附金目標額 6 億円をめざします。</p> | | | | |

| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | |
|--|--|
| 【達成できたこと】 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域特産品ブランド戦略事業費 <ul style="list-style-type: none"> 松阪ブランドの販路確立 ○目標：3か所 ◆実績：16か所 ・ ブランド大使・マスコットキャラクター活用事業費 <ul style="list-style-type: none"> ブランド大使・ちゃちゃもによるPR回数 ○目標：10回 ◆実績：9回 ・ ブランド推進一般経費 <ul style="list-style-type: none"> 燃料消費量 ○目標：3%減 ◆実績：25%減 (H29：482.3ℓ H28：642.95ℓ) | |
| 【達成できなかったこと】 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと特産品PR事業費 <ul style="list-style-type: none"> 応援寄附金額 ○目標：3億円 ◆実績：269,704,100円 <p>【未達成理由】 返礼品の数量を伸ばすことは出来ましたが、個々の魅力・特質などを十分PR出来ませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 松阪ブランド推進事業費 <ul style="list-style-type: none"> 松阪ブランドPR活動回数 ○目標：10回 ◆実績：8回 <p>【未達成理由】 首都圏を中心にPRを行いました。地産地消としての地元PRが不十分でした。</p> | |

地域ブランド課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-------------------------|----|------|----------|----------|---------------------|--------------|--------|-----------|----------|----------|---------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | ふるさと特産品PR事業費 | 一般 | 3-⑧ | 40,396 | / | 応援寄附金額 | | | ↗ 拡大 | 256,885 | / | 応援寄附金額 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3億円 | 269,704,100円 | B | | | | 6億円 | | | |
| 2 | 地域特産品ブランド戦略事業費 | 一般 | 3-⑧ | 7,661 | / | 松阪ブランドの販路確立 | | | ↗ 拡大 | 5,932 | / | 松阪ブランドの販路確立 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3か所 | 16か所 | A | | | | 10か所 | | | |
| 3 | 松阪ブランド推進事業費 | 一般 | - | 2,930 | / | 松阪ブランドPR活動回数 | | | ▶ 統合 | 0 | / | ※地域特産品ブランド戦略事業費に統合 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 10回 | 8回 | B | | | | - | - | - | |
| 4 | ブランド大使・マスコットキャラクター活用事業費 | 一般 | 3-⑧ | 3,754 | / | ブランド大使・ちゃちゃもによるPR回数 | | | → 現状維持 | 1,669 | / | ブランド大使・ちゃちゃもによるPR回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 10回 | 9回 | A | | | | 10回 | | | |
| 5 | ブランド推進一般経費 | 一般 | 3-⑧ | 1,201 | / | 燃料消費量 | | | → 現状維持 | 1,259 | / | 燃料消費量 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3%減 | 25%減 | A | | | | 3%減 | | | |

【課長シート】

| | | | | |
|--|--------------|---|-----------------|----------|
| 組織名 | 競輪事業課 | | 作成者（評価者） | 課長 久保 秀朗 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 市の自主財源を確保します！ | | |
| | 平成30年度 | 市の自主財源を確保します！更なる収益の増加を図り、事業収益の5%を一般財源へ繰り入れます。 | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 7-③ 健全な財政運営 | | | |
| 課の基本方針と使命 | | | | |
| <p>ファンや地域に愛される競輪場をめざしつつ、全国のネットユーザーからの購入が見込めるミッドナイト競輪をあらたに開催し更なる収益増加を図ります。そして、自転車競技法第1条第1項に規定されており競輪事業本来の使命でもある『地方財政の健全化』に寄与するため、一般財源への繰り入れを安定的に行えるように努めます。</p> <p>また、スポーツ振興研修センタートレーニングジムの一般開放やアマチュア競技愛好者へのバンク貸し出しを通して「市民の健康増進」や、ファミリー運動会などの地域開放型イベントを実施し「憩いの場づくり」にも力を入れていきます。</p> | | | | |

| | |
|---|--|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | |
| 【達成できたこと】 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・競輪事業は、包括業務委託導入後、安定した事業運営を行い黒字体質が確立されつつあります。平成29年度も前年度収益の4.7%にあたる900万円を一般会計に繰出すことができました。 ・記念競輪は、4日間で延べ6,668人が来場していただき、トップ選手による迫力あるレースを堪能していただきました。 ・バンクやバンク内芝生広場を開放して、5月にファミリー運動会、7月にサマーフェスティバル、11月にオータムフェスティバルなど地域開放型のイベントを実施し、たくさんの家族連れでにぎわいました。 ・アマチュア競技愛好者や中高生で構成される松阪サイクルクラブに月2回程度バンクを貸し出し、選手会の協力を得ながら試走会やタイムトライアルの実施など、サイクルクラブ活動を支援し競技人口の裾野拡大に努めました。 | |
| 【達成できなかったこと】 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年1月25日から28日に開催した記念競輪の売り上げ目標を53億円に設定していましたが、全国的な大寒波に見舞われ50.7億円の売上にとどまりました。 | |

競輪事業課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-----------------|----|------|-----------|---------|--------------------------|---------------------|--------|-----------|-----------|---------|---|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 総務一般経費 | 特別 | 7-③ | 4,073 | / | 取支差額の財源調整基金積立金額 | | | → 現状維持 | 4,321 | / | 取支差額の財源調整基金積立金額 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 5,000万円 | 9,000万円 | A | | | | 8,000万円 | | | |
| 2 | 普通競輪開催事業費 | 特別 | 7-③ | 4,620,145 | / | 収益における一般会計への繰出割合 | | | → 現状維持 | 5,737,584 | / | ミッドナイト競輪の開催日数 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 4% | 4.7% | A | | | | 6節18日 | | | |
| 3 | 日本競輪選手会三重支部補助金 | 特別 | 7-③ | 2,240 | / | 三重支部所属選手訓練研修会回数 | | | → 現状維持 | 2,240 | / | 三重支部所属選手訓練研修会回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 6回 | 6回 | A | | | | 6回 | | | |
| 4 | スポーツ振興研修センター補助金 | 特別 | 7-③ | 18,359 | / | ①一般宿泊者数 ②トレーニングジム利用者数 | | | → 現状維持 | 87,110 | / | ①一般宿泊者数 ②トレーニングジム利用者数 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | ①1,700人 ②9,000人 | ①1,750人 ②12,098人 | A | | | | ①1,700人 ②10,000人 | | | |
| 5 | 記念競輪開催事業費 | 特別 | 7-③ | 5,411,262 | / | 記念競輪売上金額 | | | → 現状維持 | 5,178,705 | / | 記念競輪売上金額 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 53億円 | 50.7億円 | A | | | | 55億円 | | | |
| 6 | 包括業務委託事業費 | 特別 | 7-③ | 350,276 | / | 包括受託事業者へのモニタリング回数 | | | → 現状維持 | 491,400 | / | ①包括受託事業者へのモニタリング回数 ②施設整備委託へのモニタリング回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 12回 | 12回 | A | | | | ①12回 ②6回 | | | |

【課長シート】

| | | | |
|---|----------------|-----------------------------|-----------------|
| 組織名 | 企業誘致連携課 | 作成者（評価者） | 課長 大西 毅尚 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 企業誘致連携により地域の雇用確保・活性化をめざします！ | |
| | 平成30年度 | 企業誘致連携により地域の雇用確保・活性化をめざします！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | 3－⑥ 企業誘致・連携の推進 | | |
| | 3－⑥ 企業誘致・連携の推進 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>企業誘致連携課は、航空宇宙産業、ヘルスケア産業など今後成長が期待される産業や先端技術関連産業の企業誘致・連携を促進し、景気変動を受けにくい、強じんて多様な産業構造を構築し、地域の雇用確保、活性化をめざしています。</p> <p>特に、平成30年度はソフト、ハードの両面から、国内外企業の誘致戦略、立地済企業を留め置く誘置戦略、継続的な取組方向や立地環境整備の基本方針等を示した「企業立地戦略」、戦略のハード面の具現化として「産業用適地整備計画」の策定に取り組んでいきます。</p> | | | |

| |
|--|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業立地として、新規立地1件、工場増設2件の計3件を達成することができました。 ・産官学金が連携した取組として11件を達成することができました。 ・企業動向の情報収集や市の企業立地にかかる情報発信を行うため、年間388社の企業等の訪問を行いました。 ・産業経済人交流会では、首都圏、関西圏、中京圏合わせて164人の参加者があり、参加者の満足度は「満足」及び「やや満足」をあわせて97.5%でした。 ・中小企業伴走型支援事業では、公開審査にて選ばれた「三重化学工業株式会社」に対し、情報発信や人的ネットワークと資金面の両面から支援し、いくつかの商談中の案件から取引成立などの成果も出てきており、平成30年3月に開催した公開報告会にて事業実績が報告されました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし |

企業誘致連携課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-----------------|----|------|---------|---------|-------------------|------|----|-----------|---------|---------|-------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 企業誘致推進事業費 | 一般 | 3-⑥ | 14,379 | / | 企業等訪問延べ件数 | | | ↗ 拡大 | 15,429 | / | 企業等訪問延べ件数 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 200社 | 388社 | A | | | | 200社 | | | |
| 2 | 企業立地促進奨励金 | 一般 | 3-⑥ | 92,426 | / | 企業等訪問延べ件数 | | | → 現状維持 | 68,416 | / | 企業等訪問延べ件数 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 200社 | 388社 | A | | | | 200社 | | | |
| 3 | 地域資源活用企業立地促進奨励金 | 一般 | 3-⑥ | 7,961 | / | 企業等訪問延べ件数 | | | → 現状維持 | 7,960 | / | 企業等訪問延べ件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 200社 | 388社 | A | | | | 200社 | | | |
| 4 | 産業経済人交流事業費 | 一般 | 3-⑥ | 3,480 | / | 交流会参加者数 | | | → 現状維持 | 4,101 | / | 交流会参加者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 120人 | 164人 | A | | | | 120人 | | | |
| 5 | 企業連携推進事業費 | 一般 | 3-⑥ | 3,012 | / | 企業等訪問延べ件数 | | | ↗ 拡大 | 3,340 | / | 企業等訪問延べ件数 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 200社 | 388社 | A | | | | 200社 | | | |
| 6 | 中小企業伴走型支援事業費 | 一般 | 3-⑥ | 2,000 | / | 中小企業伴走型支援事業対象企業 | | | → 現状維持 | 2,000 | / | 中小企業伴走型支援事業対象企業 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1社 | 1社 | A | | | | 1社 | | | |
| 7 | 中小企業伴走型事業補助金 | 一般 | 3-⑥ | 3,000 | / | 中小企業伴走型事業補助金交付企業 | | | → 現状維持 | 3,000 | / | 中小企業伴走型事業補助金交付企業 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1社 | 1社 | A | | | | 1社 | | | |
| 8 | 中小企業販路拡大支援補助金 | 一般 | 3-⑥ | 2,500 | / | 中小企業販路開拓支援補助金交付企業 | | | → 現状維持 | 2,500 | / | 中小企業販路開拓支援補助金交付企業 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 5社 | 5社 | A | | | | 5社 | | | |

【課長シート】

| 組織名 | 農水振興課 | | 作成者（評価者） | 課長 向井 信之 |
|--|------------|----------------------|----------|----------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 農業者・漁業者への支援を全力で行います！ | | |
| | 平成30年度 | 農業者・漁業者への支援を全力で行います！ | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 3-① 農業の振興 | | | |
| | 3-② 松阪牛の振興 | | | |
| | 3-③ 水産業の振興 | | | |
| 課の基本方針と使命 | | | | |
| <p>農水振興課は、5つの係（農業・農山村・管理・畜産・水産）により豊富な地域資源や恵まれた自然・環境を生かした農水産業の支援を行っています。</p> <p>農業及び水産業は、自然環境に左右されやすく、また松阪産の特産品が他地域との競合など厳しい環境にもさらされています。また、農業・漁業従事者の高齢化による担い手不足、資源不足などの課題に対応し、地域の実情に応じた農業や水産業経営の安定化に取り組んでいます。</p> <p>平成30年度においても、総合計画に掲げる10年後のめざす姿である「耕作面積の維持100%」、「松阪牛の世界No.1ブランド」、「漁業経営体数の維持100%」を実現するために、農業者・漁業者への支援を全力で行います。</p> | | | | |

| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | |
|--|--|
| 【達成できたこと】 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 集落営農の法人化が2組織設立されました。 ・ 新規就農者が新たに2経営体増加しました。 ・ 11経営体に対し、機械導入等に対する支援ができました。 ・ 国の補助事業を活用した、茶防霜ファンの改修について、平成28年度から2ヶ年で計画していた69基の改修が完了しました。（〔目標改修数〕18基→6基（実績：平成28年度12基、繰越51基、平成29年度6基計69基）） ・ 第4期となる中山間地域等直接支払制度への加入促進を行い、目標を上回る数の集落と協定を結びました。（〔目標協定集落数〕21集落→22集落（本庁12、嬉野2、飯南5、飯高3）） ・ 有害鳥獣防護柵の設置面積を目標以上に増やすことができました。 ・ 和牛の最高峰ブランドである松阪牛の生産地の松阪市で和牛サミットを開催することで、和牛の魅力を広く情報発信し、他のブランドとの連携を構築することができました。 ・ 松阪牛の海外輸出について、生産者や購買者などの松阪牛関係団体で意見交換会を開催し、輸出の方向性を検討し、当面は国内の松阪牛の供給体制を考慮する中、本物の松阪牛を評価していただける国、地域へのPR輸出に取組を展開していくことの規定を設けることができました。 ・ 松阪肉牛共進会本選出場牛の出品頭数の確保ができました。 ・ ベルファーム指定管理者との定期的な協議により適正な管理を共有することができました。 ・ 稚鮎、アメゴについて、当初の予定量もしくはそれ以上放流できたため、水産資源の増殖に寄与できました。 ・ 松阪漁業まつりを開催し、市内県内から予定以上の18ブースの出店があり、水産物消費拡大のPRに努めました。 ・ 漁港機能保全工事について、当初の計画どおり遅延なく工事が完了したので目標を達成できました。 | |

【課長シート】

【達成できなかったこと】

- ・市農村青少年協議会の2名新規加入があったものの、定年脱退者が4名と上回り、増員に至りませんでした。
- ・人・農地プランの新規作成数が4地区に至り、目標達成できませんでした。
- ・環境保全型農業直接支払交付金で新規取り組み農業者がありませんでした。
- ・機構集積協力金について、実績が約20haと目標の半分程度の実績となりました。
- ・小学生を対象とした「松阪茶グランプリ」を開催し、松阪茶の普及PRを行いました。が、冬季の開催時期から風邪による欠席者などにより、目標達成できませんでした。（〔目標参加者数〕49組98名→43組86名（平成30年1月28日開催））
- ・中山間地域の農業支援として作物作付・奨励作物の推進を図りましたが、耕作者及び後継者の減少などから目標達成できませんでした。（〔目標面積〕3,440a→2,879a）
- ・平成29年11月1日～平成30年1月31日の間、多目的研修集会施設の利用者アンケートを実施しました。期間中の利用者421人に対して、アンケート回答者は108人、回答率は25.65%の実績となり、目標回答率の50%を達成できませんでした。
- ・飯南和紙和牛センターで実施している「紙すき体験」について、飯南管内小学校の利用中止等により、体験者数5%増の目標達成できませんでした。（体験者数 平成29年度：432人、平成28年度：530人）
- ・あさり資源増殖のため海底耕運や碎石覆砂、かぶせ網を実施しましたが、漁獲量が目標の100トンを達成できませんでした。
- ・ガザミについて、当初の予定どおり30万個の卵を購入しましたが、放流可能な大きさに成長するまでに共食い・死滅等により目減りし、実際の放流量は目標の約1/3にとどまりました。

農水振興課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-------------|----|------|----------|----------|--|----------|----|-----------|----------|----------|--|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 松阪牛まつり事業費 | 一般 | 3-② | 17,800 | / | 来場者数 | | | → 現状維持 | 17,800 | / | 来場者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 35,000人 | 35,000人 | A | | | | 35,000人 | | | |
| 2 | 農業総務一般経費 | 一般 | 3-① | 3,191 | / | 対前年度比予算削減率 | | | ↘ 縮小 | 3,203 | / | 部局長の実行宣言に掲げる農水振興課の宣言に対する評価 | | | ↘ 縮小 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3% | 0% | E | | | | A | | | |
| 3 | 農業後継者対策補助金 | 一般 | 3-① | 200 | / | 「松阪市農村青少年協議会」会員数の増 | | | → 現状維持 | 200 | / | 「松阪市農村青少年協議会」新規会員数の増 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2名 | 0% | E | | | | 1名 | | | |
| 4 | 特産振興補助金 | 一般 | 3-① | 2,700 | / | 「JA生産者部会」新規会員数 | | | → 現状維持 | 2,700 | / | 「JA生産者部会」新規会員数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2名 | 7名 | A | | | | 2名 | | | |
| 5 | 茶防霜施設設置補助金 | 一般 | 3-① | 700 | / | 設置後30年以上経過した防霜ファンの改修基数 | | | ↘ 縮小 | 350 | / | 設置後30年以上経過した防霜ファンの改修基数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 5基 | 10基 | A | | | | 5基 | | | |
| 6 | 茶業組合補助金 | 一般 | 3-① | 540 | / | 松阪茶のPRイベント及び品評会への品質向上について、茶業組合との会議開催回数 | | | → 現状維持 | 540 | / | 松阪茶のPRイベント及び品評会への品質向上について、茶業組合との会議開催回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 5回 | 6回 | A | | | | 5回 | | | |
| 7 | 茶防霜ファン改修事業費 | 一般 | - | 9,000 | / | 老朽化した防霜ファンの改修基数 | | | — 終了 | 0 | / | - | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 18基→6基 | 6基 | A | | | | - | - | - | |
| 8 | 松阪茶PR推進事業費 | 一般 | 3-① | 900 | / | 松阪茶グランプリの参加者数 | | | → 現状維持 | 962 | / | 松阪茶グランプリの参加者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 98人 | 86人 | B | | | | 100人 | | | |
| 9 | アライグマ対策事業費 | 一般 | 3-① | 409 | / | 鳥獣による農作物被害額 | | | → 現状維持 | 529 | / | 捕獲頭数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 12,266千円 | 14,727千円 | B | | | | 70頭 | | | |

農水振興課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-----------------------|----|------|---------|---------|-----------------------------|-----|----|-----------|---------|---------|-----------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 10 | 農業振興一般経費 | 一般 | 3-① | 562 | / | 対前年度比予算削減率 | | | ↘ 縮小 | 521 | / | 部局長の実行宣言に掲げる農水振興課の宣言に対する評価 | | | ↘ 縮小 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3% | 0% | E | | | | A | | | |
| 11 | 農山村振興一般経費 | 一般 | 3-① | 464 | / | 事務経費削減の取組協議回数 | | | → 現状維持 | 354 | / | 部局長の実行宣言に掲げる農水振興課の宣言に対する評価 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 月1回 | 月1回 | A | | | | A | | | |
| 12 | 松阪肉牛協会補助金 | 一般 | 3-② | 350 | / | 松阪肉牛協会と生産者との意見交換会の開催回 | | | → 現状維持 | 350 | / | 松阪肉牛協会と生産者との意見交換会の開催 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 1回 | | | |
| 13 | 松阪肉牛共進会出品奨励事業補助金 | 一般 | 3-② | 4,000 | / | 共進会本選出場牛の頭数 | | | → 現状維持 | 4,000 | / | 共進会本選出場牛の頭数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 50頭 | 50頭 | A | | | | 50頭 | | | |
| 14 | 特産松阪牛出荷奨励事業補助金 | 一般 | 3-② | 4,800 | / | 特産松阪牛出荷頭数 | | | ↗ 拡大 | 13,600 | / | 特産松阪牛出荷頭数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 60頭 | 79頭 | A | | | | 170頭 | | | |
| 15 | 松阪牛PR推進事業費 | 一般 | 3-② | 10,000 | / | 松阪牛関係団体との意見交換会の開催回数 | | | → 現状維持 | 7,000 | / | 国内外での松阪牛のPR | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 1回 | C | | | | 2回 | | | |
| 16 | 松阪食肉公社食の安全安心対策支援事業負担金 | 一般 | - | 18,960 | / | 「公社のあり方」について、三重県、関係市町との協議回数 | | | → 現状維持 | 18,960 | / | 「公社のあり方」について、三重県、関係市町との協議回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 3回 | A | | | | 1回 | | | |
| 17 | 特産松阪牛素牛導入促進事業補助金 | 一般 | 3-② | 4,800 | / | 導入頭数 | | | → 現状維持 | 4,800 | / | 導入頭数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 60頭 | 58頭 | A | | | | 60頭 | | | |
| 18 | 特産松阪牛緊急支援補助金 | 一般 | 3-② | 9,000 | / | 導入頭数 | | | → 現状維持 | 9,000 | / | 導入頭数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 60頭 | 58頭 | A | | | | 60頭 | | | |

農水振興課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-------------------|----|------|----------|----------|----------------------|--------|----|-----------|----------|----------|----------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 19 | 和牛サミット事業費 | 一般 | 3-② | 5,500 | / | 実行委員会、三重県等との定期的な協議回数 | | | — 終了 | 0 | / | - | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 月1回 | 月1回 | A | | | | - | - | - | |
| 20 | 畜産振興一般経費 | 一般 | 3-② | 182 | / | 活動指標 | | | ↘ 縮小 | 640 | / | 活動指標 | | | ↘ 縮小 |
| | | | | | | 対前年度比予算削減率 | | | | | | 部局長の実行宣言に掲げる農水振興課の宣言に対する評価 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3% | 0% | E | A | | | | | | |
| 21 | 経営所得安定対策直接支払推進事業費 | 一般 | 3-① | 14,793 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 14,885 | / | 活動指標 | | | ↘ 縮小 |
| | | | | | | 生産調整の達成率 | | | | | | 営農組合会議等参加延べ数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 107% | A | 30回 | | | | | | |
| 22 | 農業経営力向上支援補助金 | 一般 | - | 800 | / | 活動指標 | | | — 終了 | 0 | / | 活動指標 | | | — 終了 |
| | | | | | | 集落営農の組織化及び法人化数 | | | | | | - | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2組織 | 2組織 | A | - | - | - | | | | |
| 23 | 水田活用推進対策補助金 | 一般 | 3-① | 44,510 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 45,240 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 人・農地プラン作成集落数 | | | | | | 人・農地プラン作成集落数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 8集落 | 4集落 | C | 6集落 | | | | | | |
| 24 | 中山間地域水田活用推進対策補助金 | 一般 | 3-① | 6,000 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 6,000 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 作物作付・奨励作物面積 | | | | | | 作物作付・奨励作物面積 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3,440a | 2,879a | B | 3,000a | | | | | | |
| 25 | 環境保全型農業直接支払交付金 | 一般 | 3-① | 46 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 46 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 事業活用者の増加のための検討会議開催回数 | | | | | | 事業活用者の増加のための検討会議開催回数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 1回 | C | 2回 | | | | | | |
| 26 | 農業経営基盤強化促進事業費 | 一般 | 3-① | 2,943 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 2,930 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 対前年度比予算削減率 | | | | | | 対前年度比予算削減率 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3% | 0% | E | 3% | | | | | | |
| 27 | 中山間地域等直接支払交付金 | 一般 | 3-① | 14,967 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 16,078 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 本事業への新規加入集落数 | | | | | | 本事業の加入集落数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1集落 | 2集落 | A | 2 2集落 | | | | | | |

農水振興課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|--------------------------|----|------|----------|----------|-----------------------------|-------|----|-----------|----------|----------|-----------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 28 | 農業経営基盤強化資金等 利子補給促進補助金 | 一般 | 3-① | 1,501 | / | 本事業の新規活用件数 | | | → 現状維持 | 1,569 | / | 本事業の新規活用件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3件 | 2件 | C | | | | 2件 | | | |
| 29 | 新規就農者総合支援補助 金 | 一般 | 3-① | 19,500 | / | 青年新規就農者の増員数 | | | → 現状維持 | 18,750 | / | 青年新規就農者の増員数 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1人 | 2人 | A | | | | 3人 | | | |
| 30 | 機構集積協力補助金 | 一般 | 3-① | 12,550 | / | 農地中間管理機構を活用した集積面積 | | | ↘ 縮小 | 1,900 | / | 農地中間管理機構を活用した集積面積 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 38ha | 20ha | C | | | | 8ha | | | |
| 31 | がんばる認定農業者等支 援補助金 | 一般 | 3-① | 5,000 | / | 地域の中心経営体に対する支援数 | | | → 現状維持 | 5,000 | / | 地域の中心経営体に対する支援数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 6経営体 | 11経営体 | A | | | | 10経営体 | | | |
| 32 | ベルファーム施設管理事 業費 | 一般 | 3-① | 47,084 | / | 指定管理者との定期的な協議回数 | | | → 現状維持 | 47,339 | / | 指定管理者との定期的な協議回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 月1回 | 月1回 | A | | | | 月1回 | | | |
| 33 | ベルファーム施設整備事 業費 | 一般 | 3-① | 5,728 | / | 指定管理者との定期的な協議回数 | | | → 現状維持 | 14,739 | / | 指定管理者との定期的な協議回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 月1回 | 月1回 | A | | | | 月1回 | | | |
| 34 | 多目的研修集会施設管理 事業費 | 一般 | 3-① | 3,870 | / | 「利用者アンケート」の回答率 | | | ↘ 縮小 | 3,750 | / | 公共施設マネジメントの横断的協議回数 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 50% | 26% | C | | | | 2回 | | | |
| 35 | 飯南茶業伝承館管理事業 費 | 一般 | 3-① | 2,400 | / | 指定管理者との協議回数 | | | → 現状維持 | 2,400 | / | 指定管理者との協議回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 5回 | 6回 | A | | | | 5回 | | | |
| 36 | 飯高産業振興センター管 理事業費 | 一般 | 3-① | 5,057 | / | 生産者グループ合同での商品開発研究会の開催 回数 | | | → 現状維持 | 5,313 | / | 生産者グループ合同での商品開発研究会の開催 回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 1回 | | | |

農水振興課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-------------------|----|------|----------|----------|-----------------------------------|----------|----|-----------|----------|----------|----------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 37 | 飯南和紙和牛センター管理運営事業費 | 一般 | 3-① | 903 | / | 紙すき体験者数の増 | | | → 現状維持 | 733 | / | 紙すき体験者数の増 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 5% | 0% | E | | | | 5% | | | |
| 38 | 飯高地域資源活用交流施設管理事業費 | 一般 | 3-① | 20,399 | / | 施設の入込客数 | | | → 現状維持 | 19,930 | / | 施設の入込客数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 392,800人 | 372,000人 | A | | | | 390,600人 | | | |
| 39 | 飯高地域資源活用交流施設整備事業費 | 一般 | 3-① | 1,797 | / | 施設の入込客数 | | | → 現状維持 | 49,891 | / | 施設の入込客数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 392,800人 | 372,000人 | A | | | | 390,600人 | | | |
| 40 | 指定管理者選定委員会事業費 | 一般 | - | 70 | / | 指定管理者選定委員会の開催回数 | | | … 定期 | 0 | / | - | | | … 定期 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 2回 | A | | | | - | - | - | |
| 41 | 有害鳥獣対策事業費 | 一般 | 3-① | 4,978 | / | 鳥獣による農作物被害額 | | | → 現状維持 | 5,603 | / | 鳥獣による農作物被害額 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 12,266千円 | 14,727千円 | B | | | | 15,000千円 | | | |
| 42 | 有害鳥獣捕獲補助金 | 一般 | 3-① | 22,780 | / | 捕獲依頼及び許可申請を受けてから、現地確認・許可書の交付までの期間 | | | → 現状維持 | 21,400 | / | 鳥獣による農作物被害額 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1週間 | 1週間 | A | | | | 15,000千円 | | | |
| 43 | 有害鳥獣防護柵設置補助金 | 一般 | 3-① | 4,500 | / | 防護柵の設置面積 | | | → 現状維持 | 4,000 | / | 鳥獣による農作物被害額 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 5%増 | 14%増 | A | | | | 15,000千円 | | | |
| 44 | 水産業総務一般経費 | 一般 | 3-④ | 712 | / | 協議会開催の活動への参加回数 | | | → 現状維持 | 962 | / | 部局長の実行宣言に掲げる農水振興課の宣言に対する評価 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3回 | 9回 | A | | | | A | | | |
| 45 | 稚鮎等放流事業補助金 | 一般 | 3-④ | 2,600 | / | 目標増殖量の達成率 | | | → 現状維持 | 2,600 | / | 目標増殖量の達成率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |

農水振興課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-----------------|----|------|---------|---------|--------------------------|-------|----|-----------|---------|---------|--------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 46 | 川鵜対策事業補助金 | 一般 | 3-④ | 200 | / | 各内水面漁協が掲げる川鵜捕獲(100羽)の達成度 | | | → 現状維持 | 200 | / | 各内水面漁協が掲げる川鵜捕獲(100羽)の達成度 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 54% | C | | | | 100% | | | |
| 47 | 水産資源増殖事業費 | 一般 | 3-④ | 300 | / | 放流種苗量 | | | → 現状維持 | 300 | / | 放流種苗量 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 15万尾 | 5万1千尾 | D | | | | 15万尾 | | | |
| 48 | アサリ資源増殖事業補助金 | 一般 | 3-④ | 2,500 | / | アサリ漁獲量 | | | → 現状維持 | 2,500 | / | アサリ漁獲量 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100t | 48t | D | | | | 100t | | | |
| 49 | 水産物消費拡大推進事業費補助金 | 一般 | 3-④ | 500 | / | 漁業まつりへの出店数 | | | → 現状維持 | 500 | / | 漁業まつりへの出店数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 16店 | 18店 | A | | | | 18店 | | | |
| 50 | 漁港海岸施設管理事業費 | 一般 | 3-④ | 3,683 | / | 施設の点検回数 | | | → 現状維持 | 2,403 | / | 施設の点検回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 年1回 | 年1回 | A | | | | 年1回 | | | |
| 51 | 漁港機能保全事業費 | 一般 | 3-④ | 44,486 | / | 保全事業の進捗率 | | | → 現状維持 | 32,078 | / | 漁港機能保全事業（猟師漁港）の進捗率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 80% | 80% | A | | | | 90% | | | |

【課長シート】

| | | | | |
|---|------------------|-------------------------------|-----------------|-----------------|
| 組織名 | 林業振興課 | | 作成者（評価者） | 課長 北村 恭一 |
| 関係する「実行宣言」 | 平成29年度 | 計画的な森林整備と森林資源の活用を図ります！ | | |
| | 平成30年度 | 計画的な森林整備と森林資源の活用を図ります！ | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 3-③ 林業の振興 | | | |
| 課の基本方針と使命 | | | | |
| <p>現在の森林・林業の現状は木材価格の低迷、林業生産経費の高騰に加え林業従事者の高齢化、後継者不足など厳しい状況となっています。</p> <p>これらに対応するため、林道の開設、改良により森林施業の集約化や木材搬出等を促進することで「原木の安定供給」を図ります。</p> <p>「森林の公益的機能の向上」を図るため環境林の計画的な間伐実施や危険箇所を未然に防止する治山対策等の森林整備を進めていきます。</p> <p>また「地域材の需要拡大」を図るため林業支援センターを窓口、地域材の新たな販路を開拓することで素材生産量の増大につなげていく等、林業の生産活動の活性化や健全な森林維持の促進に努めます。</p> | | | | |

| |
|--|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的な森林整備では「環境林づくり協定」に基づく間伐等50ha、市有林8団地の境界明確化や皆伐跡地への広葉樹植栽12.4haを実施しました。 ・ 林業支援センターでは木材需要の拡大を図る中、今後の取組に反映させるべく市内製材工場調査を53社において実施しました。また公共施設への木材利用を促進するため、春日保育園の構造材として市有林原木を使用しました。県内外の大手ビルダーや工務店の製品に関する情報収集や市内製材工場の製品についての利用提案等、積極的に営業活動に取り組みました。 ・ みえ森と緑の県民税を活用し、里山の森林安全安心対策として18箇所での間伐や危険支障木の伐採を実施しました。 ・ 木材搬出等の効率化を行うため、林道の開設や既設林道の舗装工事を実施しました。 ・ 持続的な森林経営を確立するための森林経営計画作成にあたり、107haの森林調査経費等に支援を行いました。（認定を受けた計画に基づく森林施業については補助金や交付金等様々な支援措置が講じられます。） ・ 森林が身近に触れ合える憩いの場である環境保全林やその施設について、除草作業6.4haや散策路の管理等を実施しました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緑化推進事業については5自治会からの申請にとどまりました。今後も自治連合会などを通じPRを行い地域の緑化推進に努めます。 ・ 木質バイオマス有効活用にかかる運搬補助は9,975tにとどまりました。今後もさらに認定事業者への活用促進を図り林業振興とともに地域の活性化に努めます。 ・ 治山事業計画書の作成については三重県との協議に基づき4箇所にとどまりました。今後も計画箇所への早期施工についてさらに三重県との調整を図っていきます。 ・ 林道トロッコ線開設工事は事業費の変更により63.3mの延長にとどまりました。今後も早期完成に向け三重県との調整を図っていきます。 |

林業振興課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-------------------------------|----|------|---------|---------|----------------------------|---------|----|-----------|---------|---------|----------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 緑化推進事業費 | 一般 | 3-③ | 400 | / | 緑化苗木等の配布自治会数 | | | → 現状維持 | 400 | / | 緑化苗木等の配布自治会数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 10自治会 | 5自治会 | C | | | | 10自治会 | | | |
| 2 | 林業総務一般経費 | 一般 | 3-③ | 3,127 | / | 道路賠償責任保険の加入路線数 | | | → 現状維持 | 3,524 | / | 道路賠償責任保険の加入路線数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 222路線 | 222路線 | A | | | | 222路線 | | | |
| 3 | 森林環境創造事業費 | 一般 | 3-③ | 3,880 | / | 「環境林づくり協定」に基づく間伐面積 | | | → 現状維持 | 5,425 | / | 「環境林づくり協定」に基づく間伐面積 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 50ha | 50.01ha | A | | | | 50ha | | | |
| 4 | 「まつさかの木」を使用したワクワク快適な家づくり事業補助金 | 一般 | 3-③ | 4,500 | / | 支援する「松阪の木」を使用した新築木材住宅数 | | | → 現状維持 | 4,500 | / | 支援する「松阪の木」を使用した新築木材住宅数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 25棟 | 25棟 | A | | | | 25棟 | | | |
| 5 | 森林環境学習事業費 | 一般 | 3-③ | 2,900 | / | 森林環境学習実施対象小学校数 | | | → 現状維持 | 2,900 | / | 森林環境学習実施対象小学校数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2校 | 2校 | A | | | | 2校 | | | |
| 6 | 里山の森林安全安心対策事業費 | 一般 | 3-③ | 39,100 | / | 集落や公共施設周辺の森林間伐及び危険支障木の伐採箇所 | | | → 現状維持 | 37,920 | / | 集落や公共施設周辺の森林間伐及び危険支障木の伐採箇所 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 10箇所 | 18箇所 | A | | | | 10箇所 | | | |
| 7 | 林業労働者退職金共済掛金補助金 | 一般 | 3-③ | 636 | / | 補助を行う飯南・飯高地域の林業事業所数 | | | → 現状維持 | 480 | / | 補助を行う飯南・飯高地域の林業事業所数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 9事業所 | 9事業所 | A | | | | 9事業所 | | | |
| 8 | 森林経営計画作成推進事業費補助金 | 一般 | 3-③ | 3,420 | / | 森林経営計画作成面積 | | | ↗ 拡大 | 9,600 | / | 森林経営計画作成面積 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 120ha | 107ha | A | | | | 120ha | | | |
| 9 | 森林総合研究所分収造林事業費 | 一般 | 3-③ | 560 | / | 分収造林契約団地の間伐等面積 | | | ➤ 統合 | 0 | / | ※「飯南・飯高市有林管理業務費」へ統合 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 8ha | 6.44ha | B | | | | - | - | - | |

林業振興課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|------------------------|----|------|---------|---------|----------------------|----------|----|-----------|---------|---------|--------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 10 | 木質バイオマス有効活用 対策事業補助金 | 一般 | 3-③ | 8,000 | / | 未利用間伐材等の運搬重量 | | | → 現状維持 | 8,500 | / | 未利用間伐材等の運搬重量 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 16,000 t | 9,975t | C | | | | 17,000 t | | | |
| 11 | みなと森と水ネットワー ク促進事業費 | 一般 | 3-③ | 276 | / | 東京都港区での地域材のPR活動等回数 | | | → 現状維持 | 211 | / | 東京都港区での地域材のPR活動等回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回以上 | 2回 | A | | | | 2回以上 | | | |
| 12 | 松阪荒廃生活環境保全林 管理事業費 | 一般 | 3-③ | 632 | / | 窓口でのパンフレット配布数 | | | → 現状維持 | 632 | / | 窓口でのパンフレット配布数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100部 | 90部 | A | | | | 100部 | | | |
| 13 | 松阪創造の森施設管理事 業費 | 一般 | 3-③ | 3,141 | / | 施設及び作業路の草刈り面積 | | | → 現状維持 | 3,227 | / | 施設及び作業路の草刈り面積 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 4.6ha | 4.6ha | A | | | | 4.6ha | | | |
| 14 | 松阪ちとせの森施設管理 事業費 | 一般 | 3-③ | 800 | / | 施設内の下草刈り面積（年2回） | | | → 現状維持 | 861 | / | 施設内の下草刈り面積（年2回） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 0.9ha/2回 | 0.9ha/2回 | A | | | | 0.9ha/2回 | | | |
| 15 | 林地台帳整備事業費 | 一般 | 3-③ | 11,956 | / | 林地台帳整備 | | | ↘ 縮小 | 573 | / | 林地台帳整備 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 73,121筆 | 73,099筆 | A | | | | 100筆 | | | |
| 16 | 嬉野どんぐりの森管理事 業費 | 一般 | 3-③ | 50 | / | 施設内の下草刈り面積 | | | → 現状維持 | 50 | / | 施設内の下草刈り面積 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1,000㎡ | 1,000㎡ | A | | | | 1,000㎡ | | | |
| 17 | いきいき松阪の森づくり 事業補助金 | 一般 | 3-③ | 24,475 | / | 利用間伐促進事業への支援 | | | ↗ 拡大 | 25,475 | / | 利用間伐促進事業への支援 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 15,000㎡ | 13,789㎡ | A | | | | 18,000㎡ | | | |
| 18 | 林業支援センター運営事 業費 | 一般 | 3-③ | 12,568 | / | 木材産業関係者への情報提供やニーズ調査等 | | | → 現状維持 | 9,758 | / | AB材の素材生産量 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 53社 | 53社 | A | | | | 38,000㎡ | | | |

林業振興課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-------------------|----|------|---------|---------|------------------------|--------|----|-----------|---------|---------|------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 19 | 森林公園管理運営事業費 | 一般 | 3-③ | 31,883 | / | 指定管理者によるイベント等実施回数 | | | → 現状維持 | 31,788 | / | 指定管理者によるイベント等実施回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 14回 | 18回 | A | | | | 14回 | | | |
| 20 | 森林公園施設整備事業費 | 一般 | 3-③ | 832 | / | 井戸系統の配管洗浄及び井戸底部汚物除去 | | | → 現状維持 | 1,394 | / | 井戸系統の配管洗浄及び井戸底部汚物除去 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 一式 | 一式 | A | | | | 一式 | | | |
| 21 | 飯高林業総合センター管理運営事業費 | 一般 | 3-③ | 6,167 | / | 適正な施設維持管理等 | | | → 現状維持 | 5,860 | / | 適正な施設維持管理等 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 一式 | 一式 | A | | | | 一式 | | | |
| 22 | 林道・作業道等維持管理事業費 | 一般 | 3-③ | 13,612 | / | 林道作業道の舗装工事 | | | ↗ 拡大 | 35,742 | / | 林道作業道の舗装工事 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2路線 | 2路線 | A | | | | 2路線 | | | |
| 23 | 治山事業費 | 一般 | 3-③ | 3,689 | / | 要望に基づく治山事業計画書作成 | | | → 現状維持 | 3,689 | / | 要望に基づく治山事業計画書作成 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 8箇所 | 4箇所 | C | | | | 8箇所 | | | |
| 24 | 林道・作業道整備事業費 | 一般 | 3-③ | 15,001 | / | 嬉野上小川町地内の林道トロセ線開設工事 | | | → 現状維持 | 15,001 | / | 嬉野上小川町地内の林道トロセ線開設工事 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 80m | 63.3m | B | | | | 230m | | | |
| 25 | 飯南・飯高市有林管理事業費 | 一般 | 3-③ | 515 | / | 境界の明確化（白帯） | | | → 現状維持 | 1,316 | / | 境界の明確化（白帯） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 8団地 | 8団地 | A | | | | 8団地 | | | |
| 26 | 飯南・飯高市有林再造林事業費 | 一般 | 3-③ | 10,944 | / | 皆伐跡地へ広葉樹の植林面積 | | | → 現状維持 | 35,933 | / | 皆伐跡地へ広葉樹の植林面積 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 12.7ha | 12.4ha | A | | | | 15ha | | | |
| 27 | 林業施設災害復旧事業費 | 一般 | 3-③ | 2,000 | / | 被災林道の復旧工事に係る迅速な現場対応の実施 | | | → 現状維持 | 2,000 | / | 被災林道の復旧工事に係る迅速な現場対応の実施 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |

林業振興課 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-----------|----|------|----------|----------|--------------|------------|-----------|----------|----------|--------------|---------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | 方針 | | |
| (1) | 森林活プロジェクト | / | / | / | / | 未利用間伐材等の運搬重量 | | → 現状維持 | / | / | 未利用間伐材等の運搬重量 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 1,500 t | 1,605.85 t | | | | A | 1,500 t | | | |

【課長シート】

| | | | |
|--|-----------|-----------------------------------|-----------|
| 組織名 | 農村整備課 | 作成者（評価者） | 課長 長谷川 浩司 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 計画的な農業基盤整備により効率的な農業経営をめざします！ | |
| | 平成30年度 | 計画的な農業基盤整備により効率的で持続可能な農業経営をめざします！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | 3-① 農業の振興 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>農村整備課は、農業者とともに自然環境に配慮しながら、安定した農業生産が維持できるよう施設の整備と水環境の保全並びに資源を確保し、生産性の向上を通じて農業の体質強化を図ることとともに、多面的な機能を有している農地を保全し、農村に居住する人が快適な生活環境を享受できるように、農業基盤整備事業を行っています。</p> <p>平成30年度は、総合計画に掲げる10年後のめざす姿である「耕作面積の維持100%」を実現するため、農業生産が持続できるよう、農業者とともに取り組んでいきます。</p> | | | |

| |
|---|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市単土地改良事業において、各連合自治会と要望力所の現地調査おこない、約15カ所において整備工事を実施しました。 ・多面的機能支払交付金事業において、本庁管内4地区と飯南管内2地区新規の活動組織が加わり、全体で82組織になりました。 ・県営基幹水利施設ストックマネジメント事業において、松ヶ崎地区・三雲地区の排水機場において施設の長寿命化をおこないました。 ・その他、各事業において設定した目標値は概ね達成できました。 <p>次年度は目標値の設定を見直し、関係者並びに農家受益者と密に協議・連携を進め、持続可能な農業生産ができるよう、農業基盤整備に努めます。</p> |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三雲農業集落排水施設整備事業において、道路改良に伴うポンプ施設の移転工事を計画していましたが、道路改良工事の事業進捗が計画より進まなかった為、移転工事ができませんでした。 |

農村整備課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-----------------------|----|------|---------|---------|-------------------------------|-------|----|-----------|---------|---------|-------------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額(千円) | 決算額(千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額(千円) | 決算額(千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 市単土地改良事業費 | 一般 | 3-① | 88,150 | / | 各連合自治会の要望箇所の現地調査 | | | → 現状維持 | 89,495 | / | 各連合自治会の要望箇所の現地調査 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 各地区1回 | 各地区1回 | A | | | | 各地区1回 | | | |
| 2 | 公共事業等附帯事業費 | 一般 | 3-① | 14,569 | / | 市道認定の基準を満たすため、担当課と調整 | | | *** 定期 | 0 | / | - | | | *** 定期 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | - | - | - | |
| 3 | 県営ため池等整備計画事業費 | 一般 | 3-① | 49,896 | / | 地元と県との調整 | | | → 現状維持 | 85,100 | / | 地元と県との調整 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 1回 | | | |
| 4 | 三雲農業集落排水管理事業費 | 一般 | 3-① | 4,924 | / | 上下水道部と公共下水道供用開始地域の接続状況の確認等の協議 | | | → 現状維持 | 6,309 | / | 上下水道部と公共下水道供用開始地域の接続状況の確認等の協議 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 1回 | | | |
| 5 | 三雲農業集落排水施設整備事業費 | 一般 | 3-① | 4,374 | / | 改修に伴う施設の合理化 | | | *** 定期 | 0 | / | - | | | *** 定期 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1カ所 | 0カ所 | - | | | | - | - | - | |
| 6 | 小規模土地改良事業補助金 | 一般 | 3-① | 900 | / | 水利施設の事故に伴う修繕費用の一部負担 | | | → 現状維持 | 900 | / | 水利施設の事故に伴う修繕費用の一部負担 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 7 | 多面的機能支払交付金事業費 | 一般 | 3-① | 188,334 | / | 本事業への新規加入組織数 | | | → 現状維持 | 194,846 | / | 本事業への新規加入組織数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3組織 | 4組織 | A | | | | 2組織 | | | |
| 8 | 地域農業水利施設ストックマネジメント事業費 | 一般 | 3-① | 4,000 | / | 受益者との調整 | | | → 現状維持 | 34,000 | / | 受益者との調整 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 2回 | A | | | | 1回 | | | |
| 9 | 県営ため池等整備事業負担金 | 一般 | 3-① | 3,000 | / | 地元と県との調整 | | | → 現状維持 | 16,000 | / | 地元と県との調整 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 2回 | A | | | | 2回 | | | |

農村整備課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|------------------------------|----|------|----------|----------|-------------------------------|-----|----|-----------|----------|----------|-------------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 10 | 県営特定農業用管路等特別対策事業負担金 | 一般 | 3-① | 700 | / | 土地改良区と県との調整 | | | → 現状維持 | 9,100 | / | 土地改良区と県との調整 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 4回 | A | | | | 2回 | | | |
| 11 | 土地改良施設維持管理適正化事業補助金 | 一般 | 3-① | 1,000 | / | 土地改良区と三重県土地改良事業団体連合会との調整 | | | → 現状維持 | 2,600 | / | 土地改良区と三重県土地改良事業団体連合会との調整 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 2回 | A | | | | 2回 | | | |
| 12 | 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金（農地費） | 一般 | - | / | / | 活動指標 | | | / | 1,260 | / | 土地改良区と県との調整 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | 2回 | | | |
| 13 | 県営基幹水利施設ストックマネジメント計画事業費（農地費） | 一般 | 3-① | 3,500 | / | 改良区との調整 | | | → 現状維持 | 8,000 | / | 改良区との調整 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 3回 | A | | | | 2回 | | | |
| 14 | 農業基盤整備促進事業費 | 一般 | 3-① | 18,000 | / | 受益者との調整 | | | → 現状維持 | 13,600 | / | 受益者との調整 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 2回 | A | | | | 1回 | | | |
| 15 | 農地一般経費 | 一般 | 3-① | 10,136 | / | 県、三重県土地改良事業団体連合会、土地改良区、地元との協議 | | | → 現状維持 | 10,882 | / | 県、三重県土地改良事業団体連合会、土地改良区、地元との協議 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 週1回 | 週1回 | A | | | | 週1回 | | | |
| 16 | 農業集落排水事業特別会計繰出金 | 一般 | 3-① | 58,431 | / | 農業集落排水処理施設使用料の収入率 | | | → 現状維持 | 54,413 | / | 農業集落排水処理施設使用料の収入率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 98% | 98% | A | | | | 98% | | | |
| 17 | 県営ほ場整備事業土地改良区補助金 | 一般 | 3-① | 6,000 | / | 土地改良区と県との調整 | | | → 現状維持 | 5,000 | / | 土地改良区との調整 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 4回 | A | | | | 2回 | | | |
| 18 | 県営経営体育成基盤整備計画事業費 | 一般 | 3-① | / | / | 活動指標 | | | / | 5,700 | / | 地元との調整 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | 3回 | | | |

農村整備課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-------------------------------|----|------|----------|----------|-------------------------|-------|----|-----------|----------|----------|-------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 19 | 県営経営体育成基盤整備事業負担金 | 一般 | 3-① | 49,788 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 80,500 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 土地改良区と県との調整 | | | | | | 土地改良区と県との調整 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 10回 | A | | | | 5回 | | | |
| 20 | 湛水防除施設管理事業費 | 一般 | 3-① | 58,490 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 57,786 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 出水期における指導・援助の実施 | | | | | | 出水期における指導・援助の実施 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 週1回 | 週1回 | A | | | | 週1回 | | | |
| 21 | 土地改良施設維持管理適正化事業費 | 一般 | 3-① | 35,156 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 44,905 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 整備補修を行う機場数 | | | | | | 整備補修を行う機場数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2機場 | 2機場 | A | | | | 3機場 | | | |
| 22 | 基幹水利施設技術管理強化特別指導事業費 | 一般 | 3-① | 19,268 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 19,547 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 出水期における指導・援助の実施 | | | | | | 出水期における指導・援助の実施 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 月1回 | 月1回 | A | | | | 月1回 | | | |
| 23 | 湛水防除施設整備事業費 | 一般 | 3-① | 18,000 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 44,500 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 湛水防除施設の機械・電気設備の補修・更新機場数 | | | | | | 湛水防除施設の機械・電気設備の補修・更新機場数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1機場 | 1機場 | A | | | | 1機場 | | | |
| 24 | 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金（湛水防除） | 一般 | 3-① | 70,000 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 66,300 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 県との協議 | | | | | | 県との協議 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 4回 | A | | | | 2回 | | | |
| 25 | 県営基幹水利施設ストックマネジメント計画事業費（湛水防除） | 一般 | 3-① | 0 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 400 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 改良区との調整 | | | | | | 県との協議 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 1回 | | | |
| 26 | 農地等災害復旧事業費 | 一般 | 3-① | 1,500 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 1,500 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 受益者との調整 | | | | | | 受益者との調整 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 30日以内 | 30日以内 | A | | | | 30日以内 | | | |
| 27 | 一般管理経費 | 特別 | 3-① | 1,590 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 1,562 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 農業集落排水処理施設使用料の収入率 | | | | | | 農業集落排水処理施設使用料の収入率 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 98% | 98% | A | | | | 98% | | | |

農村整備課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|----------------|----|------|---------|---------|----------------------------|------|-----------|---------|---------|----------------------------|------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 28 | 小野地区施設維持管理費 | 特別 | 3-① | 9,858 | / | 施設の週1回の点検及び月1回の処理水の水质検査実施率 | | → 現状維持 | 10,677 | / | 施設の週1回の点検及び月1回の処理水の水质検査実施率 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 100% | 100% | | | | A | 100% | | | |
| 29 | 高木地区施設維持管理費 | 特別 | 3-① | 14,201 | / | 施設の週1回の点検及び月2回の処理水の水质検査実施率 | | → 現状維持 | 16,279 | / | 施設の週1回の点検及び月2回の処理水の水质検査実施率 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 100% | 100% | | | | A | 100% | | | |
| 30 | 須賀・川北地区施設維持管理費 | 特別 | 3-① | 17,546 | / | 施設の週1回の点検及び月2回の処理水の水质検査実施率 | | → 現状維持 | 10,380 | / | 施設の週1回の点検及び月2回の処理水の水质検査実施率 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 100% | 100% | | | | A | 100% | | | |

【課長シート】

| 組織名 | 文化課 | | 作成者（評価者） | 課長 榊原 典子 |
|--|-----------|---|----------|----------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 市史跡『松浦武四郎誕生地』の保存整備を進め、生誕200年を迎える松浦武四郎の偉業を全国に向けて発信します！ | | |
| | 平成30年度 | 生誕200年を迎える松浦武四郎の偉業を全国発信するとともに、文化財の保存・活用を推進します！ | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 4-③ 文化の振興 | | | |
| 課の基本方針と使命 | | | | |
| <p>文化課は、市民一人ひとりの自主性、創造性が尊重される豊かな環境を整備し、新しい松阪市の文化芸術の創造をめざすとともに、長い伝統の中で洗練されてきた独自の文化の再発見や再認識、地域の歴史文化遺産の保存や活用を通じて、市民の文化に対する自信と誇りにつながるよう取組を進め、地域づくり、まちづくりにつなげていきます。</p> <p>市民の文化芸術の鑑賞や参加の機会の充実を図るとともに、国重要文化財「旧長谷川邸」や国史跡「松坂城跡」などの歴史的文化遺産について適切な整備を行いながら、歴史文化の発信拠点としての活用を進めます。加えて、地域や文化団体等と協働しながら文化芸術活動を推進し、文化の薫り高く心豊かで潤いのある市民生活の実現をめざします。また、松浦武四郎生誕200年を迎える平成30年を全国に武四郎を広める元年と位置付け、記念事業を実施するほか、北海道や三重県と連携し、積極的に情報発信を行っていきます。</p> | | | | |

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

- ・各事業について概ね数値目標を達成したほか、事業内容についても創意工夫を行ったことから市民満足度の高い取組を実施することができました。特に、松浦武四郎誕生地保存整備の現場説明会や旧長谷川邸で開催した歴史文化塾では、文化財を身近に触れることにより、「市内にある文化財に対する理解を深めることが出来て非常に良かった」と、参加者から好評を得ました。
- ・松浦武四郎誕生地については平成30年2月25日の公開後の入館者数は3,495人に達する等、松浦武四郎を顕彰することと併せて、歴史的文化遺産の活用に寄与することができました。
- ・地域や文化団体等と協働しながら、市民が中心となった文化芸術活動を推進することができました。
- ・文化課が市長部局へ移管したことにより、情報共有や意思決定等の点で、これまで以上にスピード感のある業務連携が行えるようになりました。具体的な例として、松浦武四郎生誕200年事業における情報発信や運営企画の面で成果が現れています。
- ・毎朝の課内ミーティングにより事業の情報共有が進み、事務事業の進捗管理が適切に行うことができました。

【達成できなかったこと】

- ・市美術展覧会会期中に台風上陸が重なったことが影響し、入場者数の減となりました。2019年（平成31年）度は第60回目の節目を迎えるにあたり、広く情報発信を行っていきます。
- ・市ホームページ「文化情報」へのアクセス件数は、仕様の変更に伴い集計方法も変更となったこともあり大幅に減少しましたが、引き続き情報発信を行っていきます。
- ・殿町武家屋敷生垣等保存整備事業補助金については、植えたばかりで刈り込み・剪定・補植を必要としないなどの箇所があったことから件数の減となりました。
- ・長谷川家資料調査委員会、長谷川家文化財専門委員会については、必要案件が早期に協議終了となったことから回数減となりました。
- ・嬉野ふるさと会館市民ギャラリーの開設は、当初計画より実施開始が遅れたことから開催回数の減となりました。今後は、利用の周知徹底を図っていきます。

【課長シート】

・松阪商人の館の年間入館者数については、旧長谷川邸の無料公開拡充のため減少したと思われませんが、豪商エリアの施設として広く情報発信を行っていきます。

文化課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|--------------------|----|------|---------|---------|---|------------------------|----|-----------|---------|---------|---|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 地域文化振興事業費 | 一般 | 4-③ | 3,684 | / | ①嬉野文化祭への来場者数、おどろまいかコンテストの参加者 ②三雲文化祭への来場者数 ③飯高文化祭での他地域との交流事業件数 | | | → 現状維持 | 3,886 | / | ①嬉野文化祭への来場者数、おどろまいかコンテストの参加者 ②三雲文化祭への来場者数 ③飯高文化祭での他地域との交流事業件数 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | ①10%増 ②10%増 ③2件 | ①42%増 ②8.8%増 ③2件 | A | | | | ①4,700人 ②3,500人 ③3件 | | | |
| 2 | 本居宣長記念館補助金 | 一般 | 4-③ | 79,479 | / | 本居宣長記念館の年間入館者数 | | | → 現状維持 | 32,205 | / | 本居宣長記念館の入館者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 25,000人 | 25,442人 | A | | | | 25,500人 | | | |
| 3 | 市美術展覧会開催事業費 | 一般 | 4-③ | 3,223 | / | 市美術展覧会の入場者数 | | | → 現状維持 | 3,187 | / | 市美術展覧会の入場者数 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3,500人 | 2,712人 | B | | | | 3,250人 | | | |
| 4 | 芸術文化活動奨励金・勲功賞交付事業費 | 一般 | 4-③ | 500 | / | 市内各高校等へのチラシ配布数 | | | → 現状維持 | 450 | / | 市内各高校等へのチラシ配布数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 各10枚 | 各10枚 | A | | | | 各10枚 | | | |
| 5 | 埴輪制作事業費 | 一般 | 4-③ | 458 | / | こどもハニワ展入場者数 | | | → 現状維持 | 448 | / | こどもハニワ展入場者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 300人 | 418人 | A | | | | 320人 | | | |
| 6 | 音楽文化活動事業費 | 一般 | 4-③ | 1,947 | / | フェスティバルへの出場者数 | | | → 現状維持 | 1,907 | / | フェスティバルへの出場者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1,300人 | 1,337人 | A | | | | 1,350人 | | | |
| 7 | 文化芸術団体共催事業費 | 一般 | 4-③ | 215 | / | 連絡協議会 会議等の開催回数 | | | → 現状維持 | 193 | / | 連絡協議会 会議等の開催回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 2回 | A | | | | 2回 | | | |
| 8 | 小津安二郎青春館等管理運営事業費 | 一般 | 4-③ | 4,478 | / | 青春館・資料室の年間入館者数 | | | → 現状維持 | 4,430 | / | 青春館・資料室の年間入館者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2,500人 | 2,550人 | A | | | | 2,550人 | | | |

文化課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|--------------------|----|------|---------|---------|-----------------------|---------|----|-----------|---------|---------|-----------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 9 | 文化振興一般経費 | 一般 | 4-③ | 2,793 | / | 松阪市HP「文化情報」ページへのアクセス件 | | | → 現状維持 | 2,921 | / | 松阪市HP「文化情報」ページへのアクセス件 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 118,265件 | 48,222件 | D | | | | 49,000件 | | | |
| 10 | 文化財保存管理活用事業費 | 一般 | 4-③ | 45,313 | / | 旧長谷川邸の公開日数（フリー公開） | | | → 現状維持 | 34,622 | / | 旧長谷川邸の公開日数（フリー公開） | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 117日 | 117日 | A | | | | 117日 | | | |
| 11 | 殿町武家屋敷生垣等保存整備事業補助金 | 一般 | 4-③ | 880 | / | 補助金対象件数の維持 | | | → 現状維持 | 830 | / | 補助金対象件数の維持 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 23件 | 19件 | B | | | | 22件 | | | |
| 12 | 無形民俗文化財保存活用補助金 | 一般 | 4-③ | 1,218 | / | 補助金対象件数の維持 | | | → 現状維持 | 1,218 | / | 補助金対象件数の維持 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 14件 | 14件 | A | | | | 14件 | | | |
| 13 | 埋蔵文化財発掘調査事業費 | 一般 | 4-③ | 34,780 | / | 埋蔵文化財発掘調査の年間受託件数 | | | → 現状維持 | 34,780 | / | 埋蔵文化財発掘調査の年間受託件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1件 | 1件 | A | | | | 1件 | | | |
| 14 | 市内遺跡緊急発掘調査事業費 | 一般 | 4-③ | 3,060 | / | 市内遺跡緊急発掘調査の年間調査実施件数 | | | → 現状維持 | 3,160 | / | 市内遺跡緊急発掘調査の年間調査実施件数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 15件 | 14件 | A | | | | 15件 | | | |
| 15 | 埋蔵文化財活用事業費 | 一般 | 4-③ | 809 | / | 活用普及の啓発活動への参加者数 | | | → 現状維持 | 809 | / | 活用普及の啓発活動への参加者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1,800人 | 2,249人 | A | | | | 1,800人 | | | |
| 16 | 郷土資料室資料保存管理事業費 | 一般 | 4-③ | 7,980 | / | 年間来場者数の維持 | | | → 現状維持 | 3,234 | / | 所蔵目録等の刊行数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 500人 | 694人 | A | | | | 1件 | | | |
| 17 | 文化財保存整備事業補助金 | 一般 | 4-③ | 533 | / | 補助金対象件数の維持 | | | → 現状維持 | 310 | / | 補助金対象件数の維持 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1件 | 2件 | A | | | | 1件 | | | |

文化課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-----------------------|----|------|---------|---------|---------------------|-------|----|-----------|---------|---------|-----------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 18 | 指定文化財保存修理事業費 | 一般 | 4-③ | 3,879 | / | 文化財修理に対する理解度（アンケート） | | | → 現状維持 | 3,877 | / | 資料整理を実施した回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 80% | 90%以上 | A | | | | 年8回 | | | |
| 19 | 長谷川家資料調査事業費 | 一般 | - | 9,972 | / | 長谷川家資料調査委員会の開催回数 | | | — 終了 | 0 | / | - | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 1回 | C | | | | - | - | - | |
| 20 | 旧長谷川邸保存整備事業費 | 一般 | - | / | / | 活動指標 | | | / | 70,174 | / | 旧長谷川邸整備検討委員会（仮称）の開催回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | 1回 | | | |
| 21 | 無形民俗文化財普及事業費 | 一般 | 4-③ | 145 | / | 「無形民俗文化財展」入場者数 | | | → 現状維持 | 142 | / | 「無形民俗文化財展」入場者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 250人 | 298人 | A | | | | 280人 | | | |
| 22 | 長谷川家文化財専門委員会事業費 | 一般 | - | 4,247 | / | 長谷川家文化財専門委員会の開催回数 | | | — 終了 | 0 | / | - | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 4回 | 3回 | B | | | | - | - | - | |
| 23 | 松坂城跡保存整備事業費 | 一般 | 4-③ | 7,929 | / | 松坂城跡整備検討委員会の開催回数 | | | → 現状維持 | 25,341 | / | 松坂城跡整備検討委員会の開催回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 3回 | A | | | | 2回 | | | |
| 24 | 松阪歴史文化塾事業費 | 一般 | 4-③ | 888 | / | 松阪歴史文化塾の開催回数 | | | → 現状維持 | 519 | / | 松阪歴史文化塾の開催回数 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 2回 | A | | | | 2回 | | | |
| 25 | 松阪市民文化会館管理運営事業費 | 一般 | 4-③ | 54,477 | / | 会館利用率 | | | → 現状維持 | 62,147 | / | 会館利用率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 75% | 78% | A | | | | 75% | | | |
| 26 | 松阪コミュニティ文化センター管理運営事業費 | 一般 | 4-③ | 37,338 | / | 会館利用率 | | | → 現状維持 | 39,749 | / | 会館利用率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 80% | 90% | A | | | | 80% | | | |

文化課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | |
|-----|-----------------------|----|------|----------|----------|----------------|----|-----------|----------|----------|----------------------|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | 方針 |
| 27 | 松阪コミュニティ文化センター施設整備事業費 | 一般 | 4-③ | / | / | 活動指標 | | / | 18,338 | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | 会館利用率 | | | | | 80% | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| 28 | 嬉野ふるさと会館管理運営事業費 | 一般 | 4-③ | 32,679 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | 37,144 | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | 市民ギャラリーの開設 | | | | | 市民ギャラリーの開催による会館利用者の増 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| 29 | 嬉野ふるさと会館施設整備事業費 | 一般 | 4-③ | 37,500 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | 807 | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | 施設利用人数 | | | | | 会館利用率 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| 30 | 飯南産業文化センター管理運営事業費 | 一般 | 4-③ | 14,285 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | 14,266 | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | 会館利用率 | | | | | 会館利用率 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| 31 | 飯南産業文化センター施設整備事業費 | 一般 | 4-③ | 2,705 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | 3,975 | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | 会館利用率 | | | | | 会館利用率 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| 32 | 文化センター自主事業費 | 一般 | 4-③ | 12,926 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | 11,243 | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | 自主事業の入場者率 | | | | | 自主事業の入場者率 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| 33 | 文化財センター管理運営事業費 | 一般 | 4-③ | 48,576 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | 47,002 | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | 文化財センターの年間来館者数 | | | | | 文化財センターの年間来館者数 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| 34 | 文化財センター特別企画展等事業費 | 一般 | 4-③ | 5,000 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | 3,857 | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | はにわ館の年間入館者数 | | | | | はにわ館の年間入館者数 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| 35 | 文化財センター施設整備事業費 | 一般 | 4-③ | 12,099 | / | 活動指標 | | — 終了 | 0 | / | 活動指標 | | — 終了 |
| | | | | | | 文化財センターの年間来館者数 | | | | | - | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |

文化課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|---------------------|----|------|----------|----------|----------------------|---------|----|-----------|----------|----------|----------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 36 | 歴史民俗資料館管理運営事業費 | 一般 | 4-③ | 10,550 | / | 歴史民俗資料館の年間入館者数 | | | → 現状維持 | 13,278 | / | 歴史民俗資料館の年間入館者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 20,400人 | 19,565人 | A | | | | 20,800人 | | | |
| 37 | 松阪商人の館管理運営事業費 | 一般 | 4-③ | 6,786 | / | 松阪商人の館の年間入館者数 | | | → 現状維持 | 6,631 | / | 松阪商人の館の年間入館者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 17,000人 | 14,679人 | B | | | | 14,500人 | | | |
| 38 | 松浦武四郎記念館管理運営事業費 | 一般 | 4-③ | 15,477 | / | 記念館の入館者数 ※武四郎まつりを含む | | | → 現状維持 | 15,489 | / | 記念館の入館者数 (武四郎まつりを除く) | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 12,000人 | 13,964人 | A | | | | 7,000人 | | | |
| 39 | 松浦武四郎記念館特別企画展等事業費 | 一般 | 4-③ | 590 | / | 展示室の年間展示替え回数 | | | → 現状維持 | 0 | / | ※松浦武四郎生誕200年記念事業費へ統合 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 5回 | 6回 | A | | | | - | | | |
| 40 | 松浦武四郎記念館民俗資料収集保管事業費 | 一般 | 4-③ | 678 | / | 害虫調査の年間実施回数 | | | → 現状維持 | 678 | / | 害虫調査の年間実施回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3回 | 3回 | A | | | | 3回 | | | |
| 41 | 松浦武四郎生誕200年記念事業費 | 一般 | 4-③ | 3,000 | / | 各種イベントへの参加者数 | | | ↗ 拡大 | 20,532 | / | 各種イベントへの参加者数 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 500人 | 500人以上 | A | | | | 1,300人 | | | |
| 42 | 松浦武四郎誕生地保存整備活用事業費 | 一般 | - | 195,868 | / | 誕生地の入館者数 ※武四郎まつりを含む | | | ↘ 縮小 | 2,400 | / | 誕生地の入館者数 (武四郎まつりを除く) | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2,000人 | 3,495人 | A | | | | 3,000人 | | | |
| 43 | 松浦武四郎誕生地管理運営事業費 | 一般 | - | / | / | 誕生地の入館者数 (武四郎まつりを除く) | | | / | 3,704 | / | 誕生地の入館者数 (武四郎まつりを除く) | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | 3,000人 | | | |

平成30年度 建設部の「実行宣言」

| | | |
|--------------|----|------|
| 作成者 (評価者) | 部長 | 長野 功 |
|--------------|----|------|

| 基本方針と使命 |
|---|
| <p>建設部は、平成29年度より組織改編に伴い7課2事務所となり、災害から市民を守り、安全で安心な生活環境を確保するために、道路、河川、公園、住宅等の生活基盤の整備促進、将来における各施設の長寿命化や安全対策の強化、日々の維持管理に努め、市民が幸せを感じ楽しく生活できるまちづくりを推進しています。</p> <p>また、社会経済情勢の変化に対応した松阪市の将来都市像、土地利用計画、まちづくりの見直しを進めるとともに、市の魅力を後世に伝えるために歴史、文化、景観等の地域の特性を生かしたまちづくりをめざしています。</p> |

| | |
|--------------------|------------------------|
| 『松阪市総合計画』 との関わり | 2 いつまでもいきいきと（福祉・健康づくり） |
| | 5 安全・安心な生活（防犯・防災） |
| | 6 快適な生活（生活基盤の整備） |

| 平成29年度の評価 | | | |
|--|---------------------------|----|---|
| 評価基準…A（90%以上）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下） | | | |
| 宣言① | 安全・安心インフラ、生活インフラの整備を進めます！ | 評価 | A |
| <p>【主な理由】</p> <p>土木課では、平成29年度、国道42号松阪多気バイパスが全線開通し市としても盛大に開通イベント等を開催しPRすることができました。また、松阪市総合運動公園内に建設するスケートパークの設計においては、特殊な工事であることから、地元のスケートボード愛好家や協会等との協力を得ながら設計業務を行い、作業に時間を要したものの年度末に工事発注を行いました。総合雨水対策10か年戦略事業では、三重県と連携し床上浸水ゼロをめざした三渡川、百々川、愛宕川、名古須川の浸水対策について一定の整備方針を見出せたものの、百々川においては更に検討が必要となりました。10月には台風21号の影響で多くの公共施設に被害が発生し、深夜に及ぶ台風時の対応、その後の災害復旧に対し連日連夜の対応を行い、緊急性のある市単災害復旧工事においては約88%程度の工事が完了しました。</p> | | | |

【部局長シート】

| | | | |
|---|--|-----------|-----------------|
| <p>宣言②</p> | <p>地域における住環境の整備を進めます！</p> | <p>評価</p> | <p>B</p> |
| <p>【主な理由】</p> <p>建設保全課及び北部・西部建設保全事務所では、施設の老朽化などの課題があるものの、市民からいただく多種多様な要望に対する取組及び安全で快適な生活空間を維持するために取り組んでおり、道路・河川維持修繕に関する地元要望604件に対し、370件、約61%について実施しました。交通安全施設であるガードレールは224m修繕し、区画線は17km、カーブミラーは68基設置しました。しかし、道路管理瑕疵による事故が6件発生し、施設の老朽化や管理範囲の増大に伴う今後の維持管理に対する課題が生じています。また、平成29年度の組織改編に伴い、平成28年度まで各地域振興局地域整備課で行っていた業務を北部・西部建設保全事務所に対応することとなり、地域のみなさんには不便をおかけするところもありましたが、地域振興局や関係各課と連携し対応することができました。</p> | | | |
| <p>宣言③</p> | <p>「今後の市営住宅のあり方に関する意見書」に沿った業務を進めます！</p> | <p>評価</p> | <p>A</p> |
| <p>【主な理由】</p> <p>住宅課では、平成28年度に提出された「今後の市営住宅のあり方に関する意見書」に基づき、それぞれの事項の実現に向け取り組んでおり、老朽住宅の住替えにおいては13件移転してもらいました。また、指定管理者制度の導入にあたっては、受託実績のある民間事業者からの調査や委託する業務・市で行うべき業務の整理など検討を進めました。利便性係数及び市営住宅使用料（家賃）の見直しについては、平成29年度に見直しを行い平成30年度から新たな家賃基準の適用をめざして業務の進捗を図っていましたが、大幅な家賃増となる事例があり、係数の見直しや家賃に係る激変緩和の検討など、最終的な体制整備には至らず、更に調査を行い次年度以降の対応となりました。また、市営住宅における老朽化が以前にも増して進んでおり、突発的な対応や長寿命化修繕計画の見直しが必要となっています。</p> | | | |
| <p>宣言④</p> | <p>迅速で正確な事務処理を行います！</p> | <p>評価</p> | <p>C</p> |
| <p>【主な理由】</p> <p>用地対策課では、境界立会いにおいて迅速に対応するために、申請書を受理した日から3週間以内に1/2以上実施するといった独自の目標をたてました。申請件数269件に対して88件、約33%は実施できましたが、境界立会いを行うにあたり、申請者・地元自治会・関係隣接地の所有者等の日程調整に時間を要するもの、古い関係書類（分筆図・旧図）や法務局等での調査に時間を要することがあり遅れた部分がありました。用地買収業務においては、道路改良工事等に伴う用地の取得を行うために、用地交渉を行い取得することができました。</p> | | | |

【部局長シート】

| | | | | |
|--|--|----------------------------|-----------------|-----------|
| 宣言⑤ | 市民が住みやすく誇りをもつことが出来るまちづくりの方針を示します！ | 評価 | A | |
| <p>【主な理由】</p> <p>都市計画課では、「松阪市景観計画」が策定後8年経過し課題等もある中で、太陽光発電施設の設置に関する景観形成ガイドラインを作成しました。併せて、景観重点地区候補地の景観まちづくりに対する活動支援、景観絵画コンクールなどPRを行いました。屋外広告物事業では、許可事務、措置命令・指導事務、指定事務を行い、屋外広告物適正化旬間中には市内一円のパトロールを実施しました。</p> <p>また平成29年5月には、20年後の中心市街地の将来像を描いた「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画を策定しました。併せて、「松阪市都市計画マスタープラン」の中間見直し、立地適正化計画の策定に取り組んでおり、庁内検討委員会を4回、庁内作業部会を5回開催し検討を行いました。</p> | | | | |
| 宣言⑥ | 営繕工事を適正に実施します！ | 評価 | A | |
| <p>【主な理由】</p> <p>営繕課では、合併特例債の期限を見据えて各課からの工事依頼が多くありましたが、松浦武四郎誕生地保存修理工事や図書館改修工事などの工事、業務委託等を工期内に無事完成させることができました。市の公共施設における営繕工事及びその関連業務を適正に実施することを使命とし、市民のみなさんが安全で安心して使用できる公共施設の構築や快適で機能の充実した施設の建設に努めました。</p> | | | | |
| 宣言⑦ | 適切かつ円滑な建築・開発行政を行います！ | 評価 | A | |
| <p>【主な理由】</p> <p>建築開発課では、平成29年度は、建築確認電子台帳整備を行い、災害等により紙媒体が滅失した場合でも電子データが安全に保管され、また建築計画概要書等の開示請求の迅速な対応も可能となるなど、市民サービスの向上に努めました。また、開発許可申請の受付・指導を行っており、平成29年度からはこれまで三雲・嬉野地域振興局地域整備課で行っていた開発業務を本庁に一本化し対応しています。</p> | | | | |
| 部局マネジメント方針 | | | | |
| 毎日の朝礼の実施と毎週1回課長以上でミーティングを持ち、情報共有を行います。 | | 評価 | A | |
| 時間外を平成28年度実績より5%削減します。 | | 評価 | E | |
| 『松阪市総合計画』関係施策の進捗度 | | | | |
| ① | 施策名 | 2-④ 地域福祉・生活支援の充実 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 市営住宅応募率（応募者数／応募戸数） | 1.0倍 | A |
| ② | 施策名 | 5-⑥ 浸水対策の充実 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 河川改修（九手川・中川）の整備延長 | 1,430m | B |
| ③ | 施策名 | 6-④ まちづくりの推進 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | “豪商のまち松阪”生き生きプランにもとづく事業の完了 | 3項目 | A |
| ④ | 施策名 | 6-⑤ 景観の保全 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 景観重点地区の指定数 | 4地区 | E |

【部局長シート】

| | | | | |
|---|------|--------------|----------|----|
| ⑤ | 施策名 | 6-⑥ 道路・公園の整備 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 都市計画道路の整備率 | 46.8% | A |
| | 活動指標 | 橋梁耐震補強の整備数 | 46橋 | D |
| | 活動指標 | 1人当たりの都市公園面積 | 12㎡ | E |



平成30年度 建設部の「実行宣言」

| | |
|-----|----------------------------------|
| 宣言① | 安心して住めるインフラ整備と快適な憩いの空間づくりを進めます！ |
| 宣言② | 安全で快適な生活空間の維持管理に努めます！ |
| 宣言③ | 「今後の市営住宅のあり方に関する意見書」に沿った業務を進めます！ |
| 宣言④ | 迅速で正確な事務処理を行います！ |
| 宣言⑤ | 地域の特性を生かした都市づくりをめざします！ |
| 宣言⑥ | 公共施設の営繕工事を適正かつ着実に実施します！ |
| 宣言⑦ | 適切かつ円滑な建築・開発行政・空家等対策を行います！ |

部局マネジメント方針

●計画から実行への工程管理

多種多様な事業を効率的に実行するために、主な事業における年間スケジュールを作成し、3ヶ月毎に工程管理を行います。

●情報共有とコミュニケーションの充実

職員間の情報共有とコミュニケーションを図るために、毎朝の朝礼と毎週1回幹部会議を行います。

●ワークライフバランスの充実

職員の健康管理とワークライフバランスの充実を図るために、時間外を前年度より3%削減します。

【課長シート】

| 組織名 | 土木課 | | 作成者（評価者） | 課長 松本 尚久 |
|--|--------------|---------------------------------|----------|----------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 安全・安心インフラ、生活インフラの整備を進めます！ | | |
| | 平成30年度 | 安心して住めるインフラ整備と快適な憩いの空間づくりを進めます！ | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 5－⑥ 浸水対策の充実 | | | |
| | 6－⑥ 道路・公園の整備 | | | |
| 課の基本方針と使命 | | | | |
| <p>土木課は、市民の「安全・安心な生活」を実現するため、床上浸水ゼロを目標に中小河川の改修や市街地の排水路整備など、浸水被害の軽減効果が早期に発揮される事業を進め、自然災害に対しては、警戒態勢を強化し、被災した場合は迅速な機能回復に努めます。</p> <p>併せて、市民の「快適な生活」を実現するため、安全な道路と市民が憩う公園のあるまちをめざし、道路の整備や橋りょう等の長寿命化を進めるとともに、スポーツの機会を創出する松阪市総合運動公園の建設やまちの公園の適切な管理を進めます。</p> <p>これらの取組により、市民が安全で安心な、また快適な生活が営まれるまちづくりをめざします。</p> | | | | |

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

- ・道路整備単独事業費では、5路線の整備ができ、嬉野小村線においては前倒しして完成することで事業効果が高まりました。
- ・橋りょう長寿命化事業費では、上前谷橋およびばんや谷橋の整備ができ、飯高町森から国道166号に至るルート安全性が増したことで地域の避難経路としての利便性が高まりました。
- ・浸水対策事業費では、423mの整備ができ、上川排水路は、計画していた全箇所が完成したことにより浸水被害の軽減が期待されます。

【達成できなかったこと】

- ・道路橋梁一般経費では、コスト削減1%の目標に対し国道42号松阪多気バイパス開通イベントの規模に合わせた負担金100万円が必要となったため経費的に7%増となりました。
- ・河川改良単独事業費では、120mの目標に対し富士見谷川の地権者との施工時期の調整で112mとなりました。
- ・準用河川九手川改修事業費では、目標として護岸整備延長30mの整備に対し、平成29年度の整備箇所が本線ではなく取付護岸の整備であったため本線の護岸整備延長としては0mとなりましたが、年度末に国からの補正予算がつき繰越工事10mの発注を行いました。
- ・総合雨水対策10か年戦略事業費では、新松ヶ島排水路および垣鼻排水路を整備したことにより、道路の冠水被害等の軽減が期待されますが、三重県と連携し床上浸水ゼロを目指した三渡川、百々川、愛宕川、名古屋川の浸水対策においては、一定の整備方針を見出せたものの百々川においては更に検討が必要となりました。
- ・総合運動公園建設事業費（単独、補助）では、期末の整備率90%に対しスケートパークなど全体事業費の見直しにより88%に減少しました。

土木課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|----------------------|----|------|----------|----------|----------------------|-----|----|-----------|----------|----------|----------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 三重県社会基盤整備協会負担金 | 一般 | 6-⑥ | 2,145 | / | 協会に関係する会合への参加 | | | → 現状維持 | 2,071 | / | 協会に関係する会合への参加 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 5回 | 6回 | A | | | | 5回 | | | |
| 2 | 道路橋りょう一般経費 | 一般 | 6-⑥ | 6,549 | / | コスト削減率 (H28年度当初予算対比) | | | → 現状維持 | 8,596 | / | コスト削減率 (H29年度当初予算対比) | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1% | -7% | D | | | | 1% | | | |
| 3 | 島田北10号線道路新設事業費 | 一般 | 6-⑥ | 15,000 | / | 県との事業調整協議回数 | | | ↘ 縮小 | 0 | / | 県との事業調整協議回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3回 | 3回 | A | | | | 3回 | | | |
| 4 | 道路整備単独事業費 | 一般 | 6-⑥ | 199,200 | / | 事業完了予定路線数 | | | → 現状維持 | 187,100 | / | 事業完了予定路線数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3路線 | 5路線 | A | | | | 2路線 | | | |
| 5 | 星合舞出線道路改良事業費 | 一般 | 6-⑥ | 40,000 | / | 期末の事業進捗率 | | | ↘ 縮小 | 20,000 | / | 期末の事業進捗率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 28% | 28% | A | | | | 35% | | | |
| 6 | 松阪六軒線道路改良事業費 | 一般 | 6-⑥ | 60,000 | / | 期末の事業進捗率 | | | ↗ 拡大 | 90,000 | / | 期末の事業進捗率 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 75% | 75% | A | | | | 100% | | | |
| 7 | 国道42号松阪多気バイパス関連整備事業費 | 一般 | - | 3,000 | / | 事業実施箇所 | | | → 現状維持 | 3,000 | / | 事業実施箇所 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1箇所 | 1箇所 | A | | | | 1箇所 | | | |
| 8 | 最終処分場関連道路等整備事業費 | 一般 | 6-⑥ | 16,000 | / | 事業実施路線数 | | | → 現状維持 | 45,000 | / | 事業実施路線数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3路線 | 3路線 | A | | | | 2路線 | | | |
| 9 | 橋りょう長寿命化事業費 | 一般 | 6-⑥ | 230,000 | / | 工事実施橋りょう数 | | | → 現状維持 | 160,000 | / | 工事実施橋りょう数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1橋 | 2橋 | A | | | | 2橋 | | | |

土木課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|------------------|----|------|----------|----------|-----------------------|----|----|-----------|----------|----------|-----------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 10 | 河川一般経費 | 一般 | 5-⑥ | 671 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 671 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | コスト削減率 (H28年度当初予算対比) | | | | | | コスト削減率 (H29年度当初予算対比) | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 1% | 33% | A | | | | 1% | | | | | |
| 11 | 県施行急傾斜地崩壊対策事業負担金 | 一般 | 5-⑥ | 16,000 | / | 活動指標 | | | ↗ 拡大 | 19,000 | / | 活動指標 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 工事施行延長 (他事業区間を含む) | | | | | | 工事施行延長 (他事業区間を含む) | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 128m | 128m | A | | | | 185m | | | | | |
| 12 | 急傾斜地崩壊対策事業費 | 一般 | - | 32,500 | / | 活動指標 | | | — 終了 | 0 | / | 活動指標 | | | — 終了 |
| | | | | | | 工事施行延長 | | | | | | - | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 21.5m | 21.5m | A | | | | - | - | - | | | |
| 13 | 河川改良単独事業費 | 一般 | 5-⑥ | 61,000 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 89,600 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 年間の整備延長 | | | | | | 年間の整備延長 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 120m | 112m | B | | | | 145m | | | | | |
| 14 | 県施行海岸環境整備事業負担金 | 一般 | 6-⑥ | 600 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 600 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 海開き前の環境整備 (海岸清掃) 実施回数 | | | | | | 海開き前の環境整備 (海岸清掃) 実施回数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 1回 | | | | | |
| 15 | 準用河川九手川改修事業費 | 一般 | 5-⑥ | 57,000 | / | 活動指標 | | | ↗ 拡大 | 60,000 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 年間の護岸整備延長 | | | | | | 年間の護岸整備延長 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 30m | 0m | C | | | | 80m | | | | | |
| 16 | 浸水対策事業費 | 一般 | 5-⑥ | 159,000 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 69,500 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 河川及び排水路の整備延長 | | | | | | 河川及び排水路の整備延長 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 300m | 423m | A | | | | 260m | | | | | |
| 17 | 総合雨水対策10か年戦略事業費 | 一般 | 5-⑥ | 62,000 | / | 活動指標 | | | ↗ 拡大 | 55,000 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 事業着手箇所数 | | | | | | 事業着手箇所数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 1箇所 | 2箇所 | A | | | | 2箇所 | | | | | |
| 18 | 県施行松阪港改修事業負担金 | 一般 | 6-⑥ | 43,045 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 43,045 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 期末の工事進捗率 (t/Mt配管) | | | | | | 岸壁の整備延長 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 100% | 100% | A | | | | 24m | | | | | |

土木課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|---------------------|----|------|----------|----------|-------------------|-----|----|-----------|----------|----------|-------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 19 | 港湾管理一般経費 | 一般 | 6-⑥ | 304 | / | 要望活動の実施 | | | → 現状維持 | 300 | / | 要望活動の実施 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 2回 | A | | | | 1回 | | | |
| 20 | 県施行街路事業負担金 | 一般 | 6-⑥ | 43,667 | / | 年間の事業進捗率 | | | → 現状維持 | 27,000 | / | 年間の事業進捗率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2% | 2% | A | | | | 2% | | | |
| 21 | 都市公園維持管理事業費 | 一般 | 6-⑥ | 175,146 | / | 定期的な清掃等の実施 | | | → 現状維持 | 182,809 | / | 定期的な清掃等の実施 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 月1回 | 月1回 | A | | | | 月1回 | | | |
| 22 | 都市公園整備事業費 | 一般 | 6-⑥ | 20,960 | / | 四阿建て替え | | | → 現状維持 | 26,000 | / | 四阿建て替え | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1棟 | 1棟 | A | | | | 1棟 | | | |
| 23 | 公園一般経費 | 一般 | 6-⑥ | 522 | / | 都市緑化推進運動のPR活動 | | | → 現状維持 | 523 | / | 都市緑化推進運動のPR活動 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 2回 | A | | | | 2回 | | | |
| 24 | 総合運動公園建設事業費 (単独) | 一般 | 6-⑥ | 76,826 | / | 期末の整備率 | | | → 現状維持 | 71,875 | / | 期末の整備率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 90% | 88% | B | | | | 90% | | | |
| 25 | 総合運動公園建設事業費 (補助) | 一般 | 6-⑥ | 325,000 | / | 期末の整備率 | | | → 現状維持 | 360,000 | / | 期末の整備率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 90% | 88% | B | | | | 90% | | | |
| 26 | 道路橋りょう災害復旧事業費 | 一般 | 6-⑥ | 2,000 | / | 被災した施設の復旧率（国災は除く） | | | → 現状維持 | 2,000 | / | 被災した施設の復旧率（国災は除く） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 90% | 91% | A | | | | 90% | | | |
| 27 | 河川災害復旧事業費 | 一般 | 5-⑥ | 2,000 | / | 被災した施設の復旧率（国災は除く） | | | → 現状維持 | 2,000 | / | 被災した施設の復旧率（国災は除く） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 80% | 83% | A | | | | 80% | | | |

【課長シート】

| 組織名 | 建設保全課 | 作成者（評価者） | 課長 阪井 正幸 |
|---|--------|-----------------------|----------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 地域における住環境の整備を進めます！ | |
| | 平成30年度 | 安全で快適な生活空間の維持管理に努めます！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | | 5－① 交通安全対策の充実 | |
| | | 5－⑥ 浸水対策の充実 | |
| | | 6－⑥ 道路・公園の整備 | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>建設保全課は、生活道路や小河川、排水路などの維持管理を行います。</p> <p>施設の老朽化などの課題がありますが、側溝修繕や道路舗装などを行うことにより、市民からいただく多種多様な要望に対する取組及び安全で快適な生活空間の維持に努めています。</p> <p>地域住民の要望に対する十分な調整や協議及び地域間バランス、優先順位を考慮した事業実施や、交通安全対策事業として事故が起きた箇所など、危険箇所に対し交通弱者に配慮した交通環境の迅速な整備、また、不法占用物件に対する指導に努めます。</p> | | | |

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

- ・交通安全施設修繕事業では、ガードレールを224m修繕しました。
- ・道路・河川維持修繕事業では、地元要望604件に対し370件、約61%実施しました。
- ・道路清掃等事業では、50箇所の清掃業務を行いました。
- ・雪寒対策道路維持事業では、3回の降雪がありましたが、パトロールを含め7回対応し降雪回数に比べ4回多く凍結防止対策を行いました。
- ・道路維持一般経費では、建設保全課が管理する照明灯のLED化を7本行いました。
- ・中川駅東西連絡地下道管理事業では、防犯カメラを2台設置しました。
- ・水防施設管理事業では、水防倉庫全体で土のう袋55,300袋を配備し災害時に備えました。
- ・水防一般経費では、ライフジャケット50着を購入し関係各所へ配布し災害時に備えました。

【達成できなかったこと】

- ・道路台帳整備事業では、測量調査距離数として20kmの目標に対し平成29年度新規認定市道路線が見込みより少なく延長実績が13kmとなりました。
- ・街路樹剪定等事業では、街路樹等の維持管理を行っていますが、保全に適さない樹木伐採本数として20本の目標に対し倒木等の危険性がある対象樹木が16本でありました。
- ・交通安全対策施設整備事業では、カーブミラー設置100基の目標を掲げましたが、設置要望の減少及び設置基準等により68基の設置に留まりました。
- ・道路施設点検事業では、道路照明点検数120基の目標に対し台帳と現地との異差等で68基点検しました。
- ・最終処分場関連維持修繕事業では、側溝整備の延長240mの目標に対し地元調整ができず実施延長が168mとなりました。
- ・道路事故対策緊急整備事業では、区画線整備延長22kmの目標に対し区画線以外での対策を行った箇所もあり実施延長が17kmとなりました。
- ・樋門・樋管等管理事業、調整池管理事業の電気代の節約では台風の襲来が平成28年度は2回、平成29年度は5回であったため前年比は樋門・樋管で+12%、調整池で+2%となりました。

建設保全課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|----------------|----|------|---------|---------|------------------|------|--------|-----------|---------|---------|------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 交通安全施設修繕事業費 | 一般 | 6-⑥ | 11,110 | / | ガードレール修繕延長 | | | → 現状維持 | 10,888 | / | ガードレール修繕延長 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 200m | 224m | A | | | | 200m | | | |
| 2 | 道路維持修繕事業費 | 一般 | 6-⑥ | 349,954 | / | 要望に対する実施達成率 | | | → 現状維持 | 350,011 | / | 要望に対する実施達成率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 65% | 61% | A | | | | 65% | | | |
| 3 | 道路清掃等事業費 | 一般 | 6-⑥ | 13,517 | / | 清掃を行う箇所数 | | | → 現状維持 | 13,247 | / | 清掃を行う箇所数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 48箇所 | 50箇所 | A | | | | 48箇所 | | | |
| 4 | 雪寒対策道路維持事業費 | 一般 | 6-⑥ | 3,048 | / | 積雪回数を上回る凍結防止対策回数 | | | → 現状維持 | 2,987 | / | 積雪回数を上回る凍結防止対策回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 4回 | A | | | | 1回 | | | |
| 5 | 道路台帳整備事業費 | 一般 | 6-⑥ | 25,113 | / | 測量調査距離数 | | | → 現状維持 | 20,000 | / | 測量調査距離数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 20km | 13km | C | | | | 10km | | | |
| 6 | 街路樹剪定等事業費 | 一般 | 6-⑥ | 15,300 | / | 保年に適さない樹木伐採本数 | | | → 現状維持 | 14,994 | / | 保年に適さない樹木伐採本数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 20本 | 16本 | B | | | | 20本 | | | |
| 7 | 交通安全対策施設整備事業費 | 一般 | 5-① | 30,960 | / | カーブミラー設置数 | | | → 現状維持 | 31,230 | / | 交通安全対策実施箇所数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100基 | 68基 | C | | | | 100箇所 | | | |
| 8 | 道路施設点検事業費 | 一般 | 6-⑥ | 8,070 | / | 道路照明点検数 | | | → 現状維持 | 7,909 | / | 道路附属施設点検箇所数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 120基 | 68基 | C | | | | 30箇所 | | | |
| 9 | 最終処分場関連維持修繕事業費 | 一般 | 6-⑥ | 15,500 | / | 側溝整備の延長 | | | ↘ 縮小 | 6,000 | / | 側溝整備の延長 | | | ↘ 縮小 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 240m | 168m | B | | | | 50m | | | |

建設保全課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|---------------|----|------|----------|----------|-------------|---------|-----------|----------|----------|--------------------------|---------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | 方針 | | |
| 10 | 道路事故対策緊急整備事業費 | 一般 | 5-① | 10,000 | / | 区画線整備延長 | | → 現状維持 | 10,000 | / | 事故防止対策箇所数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 22km | 17km | | | | B | 15箇所 | | | |
| 11 | 道路維持一般経費 | 一般 | 6-⑥ | 33,523 | / | LEDへの更新個数 | | → 現状維持 | 34,194 | / | LEDへの更新個数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 5本 | 7本 | | | | A | 5本 | | | |
| 12 | 中川駅前・連絡道管理事業費 | 一般 | 6-⑥ | 26,441 | / | カメラの設置 | | → 現状維持 | 16,550 | / | エスカレーターの維持管理不備を原因とする停止回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 2台 | 2台 | | | | A | 0回 | | | |
| 13 | 河川維持修繕事業費 | 一般 | 5-⑥ | 73,343 | / | 要望に対する実施達成率 | | → 現状維持 | 65,804 | / | 要望に対する実施達成率 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 65% | 61% | | | | A | 65% | | | |
| 14 | 樋門・樋管等管理事業費 | 一般 | 5-⑥ | 22,529 | / | 電気代の節約 | | → 現状維持 | 23,178 | / | ポンプ場の管理不備を原因とするトラブル発生件数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 5% | +12% | | | | E | 0件 | | | |
| 15 | 調整池管理事業費 | 一般 | 5-⑥ | 7,405 | / | 電気代の節約 | | → 現状維持 | 8,356 | / | 調整池管理不備を原因とするトラブル発生件数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 5% | +2% | | | | E | 0件 | | | |
| 16 | 水防施設管理事業費 | 一般 | 5-⑥ | 1,063 | / | 土のう袋の倉庫配備数 | | → 現状維持 | 2,152 | / | 土のう袋の倉庫配備数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 19,000袋 | 55,300袋 | | | | A | 15,000袋 | | | |
| 17 | 水防一般経費 | 一般 | 5-⑥ | 519 | / | ライフジャケット購入数 | | → 現状維持 | 1,057 | / | 水防倉庫への土のう袋配備率 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 50着 | 50着 | | | | A | 100% | | | |

【課長シート】

| | | | |
|---|------------------|----------------------------------|----------|
| 組織名 | 住宅課 | 作成者（評価者） | 課長 田畑 吉隆 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 「今後の市営住宅のあり方に関する意見書」に沿った業務を進めます！ | |
| | 平成30年度 | 「今後の市営住宅のあり方に関する意見書」に沿った業務を進めます！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | 2-④ 地域福祉・生活支援の充実 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>住宅課は、昭和40年代以降を中心に市営住宅の整備を進め、現在では改良住宅等も含め管理戸数が1,674戸となっており、住宅に困窮する低所得者等に対して低廉な家賃で賃貸し、生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的としています。</p> <p>基本業務として、市営住宅及び関連施設の管理、住宅の入退去事務、使用料の徴収、不正入居、悪質滞納者への対応などを行うとともに、平成28年度に提出された「今後の市営住宅のあり方に関する意見書」により頂いた事項の実現に向け、平成29年度からは関連事業の予算化や具体的な事務・調査・検討等を行うなど、継続して業務の推進を図っていきます。</p> | | | |

| |
|--|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅管理運営事業では、現年度家賃徴収率の向上を目標として98%の実績でした。又、市営住宅老朽化対策に伴う住替えは宝塚団地など13戸行いました。 ・市営住宅維持修繕費では、団地内防犯灯のLED化について38基の目標に対して次年度予定分を含め52基を実施し、平成26年度から進めてきた当該LED化が完了しました。 ・一般管理経費では、住宅新築資金等貸付事業における滞納に関する現況調査の全件実施に対して97%の調査実績でした。 ・指定管理の受託実績のある民間事業者から資料を求める等の調査とともに、委託する業務・市で行うべき業務の整理を課内会議で検討するなど、指定管理導入に向けた検討を進めました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅修繕工事費では、ベランダ手摺塗装工事を100戸実施したが、塗装だけでは劣化に対応しきれない箇所が確認されたため、一部取替施工を追加したことによる経費増により、施工戸数を調整したことから89%の達成率となりました。 ・公営住宅ストック改善事業費では、屋上防水、外壁改修、給水システム（受水槽）改修を8棟で行ったが、社会資本整備交付金（国補）を利用した事業であり、その交付額に合わせて施工棟数を調整したことから80%の達成率となりました。 ・利便性係数及び市営住宅使用料（家賃）の見直しについては、平成29年度に見直しを行い平成30年度から新たな家賃基準の適用をめざして業務の進捗を図ったが、大幅な家賃増となる事例があり係数の見直しや家賃に係る激変緩和の検討が必要になるなど最終的な体制整備には至らず、更に調査を行い次年度以降の対応となりました。 |

住宅課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|---------------|----|------|---------|---------|-----------------------------------|--------------|--------|-----------|---------|---------|-----------------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 市営住宅管理運営事業費 | 一般 | 2-④ | 59,553 | / | ①現年度家賃徴収率の向上 ②市営住宅老朽化対策としての住替え | | | → 現状維持 | 51,337 | / | ①現年度家賃徴収率の向上 ②市営住宅老朽化対策としての住替え | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | ①98% ②11戸 | ①98% ②13戸 | A | | | | ①98% ②11戸 | | | |
| 2 | 市営住宅維持修繕費 | 一般 | 2-④ | 111,985 | / | 団地内防犯灯のLED化 | | | → 現状維持 | 103,878 | / | ベランダ帯防水 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 38基 | 52基 | A | | | | 40戸 | | | |
| 3 | 市営住宅修繕工事費 | 一般 | 2-④ | 36,700 | / | 物置改修、ベランダ手摺塗装 | | | ↗ 拡大 | 51,691 | / | 物置改修、ベランダ手摺塗装 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 112戸 | 100戸 | B | | | | 122戸 | | | |
| 4 | 公営住宅ストック改善事業費 | 一般 | 2-④ | 49,678 | / | 屋上防水、外壁改修、給水システム(受水槽)改修 | | | ↗ 拡大 | 65,136 | / | 屋上防水、外壁改修、給水システム(受水槽)改修 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 10棟 | 8棟 | B | | | | 12棟 | | | |
| 5 | 一般管理経費 | 特別 | - | 881 | / | 滞納に関する現況調査 | | | → 現状維持 | 806 | / | 滞納繰越分の徴収率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 99% | A | | | | 3% | | | |

【課長シート】

| 組織名 | 用地対策課 | 作成者（評価者） | 課長 山路 伸之 |
|--|--------|-------------------|----------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 迅速で正確な事務処理を行います！ | |
| | 平成30年度 | 迅速で正確な事務処理を行います！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | 5-⑥ | 総合雨水対策による床上浸水被害ゼロ | |
| | 6-⑥ | 道路・公園の整備 | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>用地対策課は、市所管の公有財産（道路、河川、水路等）の境界確認、それらに伴い発生した用途廃止、寄附等の登記業務、公共用地買収業務及び公拡法申請業務を迅速で正確な事務処理を行うことを基本方針とします。</p> <p>いずれの業務も近年の土地に関する権利意識の高まりがあることから、関係者の方々に、ご理解、ご納得をいただけるようきめ細やかな対応を心掛けます。また、各職員が土地に関する専門的な知識はもちろん、道路や河川、不動産登記、税など様々な知識が必要となってくることから、各種研修に参加しスキルアップに努めるとともに、関係各課との情報共有を図り組織力の向上に努めていきます。</p> | | | |

| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | |
|---|--|
| 【達成できたこと】 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・用地買収業務では、「海会寺幸生線」「星合舞出線」の道路改良工事において買収予定8筆に対して6筆、75%の買収が完了しました。また、「六軒市場ノ庄2号線」道路改良工事においては8筆の用地交渉を行い取得することができました。 | |
| 【達成できなかったこと】 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・用地対策事業では、境界立会い申請受理から、目標とする期間3週間以内に実施できたものは、申請件数269件に対して88件、約33%でした。境界立会いを行うにあたり、申請者・地元自治会・関係隣接地の所有者等の日程調整に時間を要するものや、申請者の意向で立会日を指定する場合がありますその時点で21日を超えての日程指定もありました。又、申請地によっては、過去の立会い資料の確認や、古い関係書類（分筆図・旧図）、法務局等での調査にかなりの時間を要することや、立会いと合わせて用地の寄附等があるケースもあり立会い日程が目標である3週間以内に決まらない状況がありました。 | |

用地対策課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|---------|----|------|---------|---------|-------------------|-----|-----------|---------|---------|-------------------|-----|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 1 | 用地対策事業費 | 一般 | - | 15,300 | / | 申請受理から立ち合い実施まで3週間 | | → 現状維持 | 12,930 | / | 申請受理から立ち合い実施まで3週間 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 50% | 33% | | | | C | 50% | | | |

【課長シート】

| 組織名 | 都市計画課 | 作成者（評価者） | 課長 廣田 昇 |
|---|--------------|-----------------------------------|---------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 市民が住みやすく誇りをもつことが出来るまちづくりの方針を示します！ | |
| | 平成30年度 | 地域の特性を生かした都市づくりをめざします！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | 6-④ まちづくりの推進 | | |
| | 6-⑤ 景観の保全 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>都市計画課は、松阪市の自然環境に恵まれた景観、また城下町の都市構造基盤、主要な街道が集まる交通の要衝として繁栄した歴史と文化に培われた歴史的なまち並み、これらの美しく豊かな景観を、次世代まで継承していきます。そのために、策定後8年が経過する「松阪市景観計画」は、その運用等における課題とその解決方法を検討し、より良い景観形成を実現するために松阪市景観計画の見直しを行うこととしています。併せて、景観重点地区候補地の地域の景観まちづくり活動を支援し、重点地区指定に向けた取組も行います。</p> <p>また、人口減少・超高齢化に伴う空地・空家の増加によるコミュニティの衰退や防災・防犯上の危険性並びに税収の減少や社会保障費の増大による地方財政の逼迫が現実味を帯びてきている中で、長期的に現在の暮らしやすさとまちの活力を維持していくため、社会情勢の変化に対応できるまちづくりの計画が必要とされており、松阪市の顔である中心市街地が元気で魅力あるまちになるよう、公共施設の配置を中心とした実効性のある土地利用計画が完成し、計画の推進を図っています。また、松阪市の都市計画に関する基本的な方針において、社会情勢の変化に伴う対応や作成から概ね10年が経過したことから「松阪市都市計画マスタープラン」の現状と課題、将来フレーム、将来都市像、土地利用計画等について必要な見直しを行い、また今後の課題に対応するために都市構造を見直し、住宅及び医療施設、福祉施設、商業施設などの都市機能の増進に著しく寄与する施設の立地の適正を図るための計画（立地適正化計画）の作成を平成30年度完成に向けて取り組んでいます。</p> | | | |

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

- ・屋外広告物事業では、許可事務、措置命令・指導事務、指定事務を行い、屋外広告物適正化旬間中には市内一円のパトロールを4回実施し、また違反屋外広告物の簡易除去などを行いました。
- ・都市計画審議会事業では、都市計画審議会を1回開催し都市計画の変更等を審議していただきました。
- ・都市計画マスタープラン策定事業では、松阪市都市計画マスタープランの見直し、立地適正化計画に策定に向けて、庁内検討委員会を4回、庁内作業部会を5回開催し検討を行いました。
- ・都市計画変更事業では、松阪都市計画ごみ焼却場の廃止、ごみ処理場の変更にあたり、関係各課等と検討・協議を行い、都市計画の変更を行いました。
- ・都市計画一般経費では、駅西地区の計画に伴う調査研究を行うために先進地視察を3回実施しました。
- ・中心市街地整備事業では、松阪市生き生きプラン推進会議を5回開催し「豪商のまち松阪生き生きプラン2」作成しました。
- ・「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画作成事業では、平成28年度からの内容を整理し「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画を平成29年5月に完成させました。

【達成できなかったこと】

- ・都市景観推進事業では、景観絵画コンクールの実施や景観交流会を実施し景観に対する取組を推進しましたが、歴史的まちなみ修景整備事業補助金の交付にあたって景観重点地区からの申請が0件でした。

都市計画課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|---------------------------|----|------|---------|---------|-------------------------|----|----|-----------|---------|---------|-----------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 屋外広告物事業費 | 一般 | 6-⑤ | 3,794 | / | 屋外広告物適正化旬間中のパトロール回数 | | | → 現状維持 | 2,885 | / | 屋外広告物適正化旬間中のパトロール回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 4回 | A | | | | 2回 | | | |
| 2 | 都市計画審議会事業費 | 一般 | 6-④ | 379 | / | 都市計画審議会の開催回数 | | | → 現状維持 | 378 | / | 都市計画審議会の開催回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 1回 | | | |
| 3 | 都市景観推進事業費 | 一般 | 6-⑤ | 9,569 | / | 歴史的まちなみ修景整備事業補助金の交付実績 | | | → 現状維持 | 9,563 | / | 歴史的まちなみ修景整備事業補助金の交付実績 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1件 | 0件 | E | | | | 1件 | | | |
| 4 | 都市計画マスタープラン策定事業費 | 一般 | 6-④ | 14,681 | / | 庁内作業部会の開催回数 | | | → 現状維持 | 7,279 | / | 庁内作業部会の開催回数 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 5回 | 5回 | A | | | | 3回 | | | |
| 5 | 都市計画基礎調査事業費 | 一般 | 6-④ | / | / | 土地利用現況調査を行う | | | / | 4,650 | / | 土地利用現況調査を行う | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | 1回 | | | |
| 6 | 都市計画変更事業費 | 一般 | 6-④ | 4,266 | / | 都市計画変更等の検討回数 | | | → 現状維持 | 4,180 | / | 都市計画変更等の検討回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 1回 | A | | | | 1回 | | | |
| 7 | 都市計画一般経費 | 一般 | 6-④ | 5,128 | / | 先進地視察 | | | → 現状維持 | 5,363 | / | 先進地視察 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 3回 | A | | | | 1回 | | | |
| 8 | 中心市街地整備事業費 | 一般 | 6-④ | 315 | / | 活き生きプラン推進会議の開催回数 | | | → 現状維持 | 1,945 | / | 活き生きプラン推進会議の開催回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 5回 | 6回 | A | | | | 5回 | | | |
| 9 | 「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画作成事業費 | 一般 | 6-④ | 3,068 | / | 「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画の完成 | | | — 終了 | - | / | - | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 5月 | 5月 | A | | | | - | - | - | |

【課長シート】

| | | | |
|---|--------|-------------------------|----------|
| 組織名 | 営繕課 | 作成者（評価者） | 課長 須崎 隆夫 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 営繕工事を適正に実施します！ | |
| | 平成30年度 | 公共施設の営繕工事を適正かつ着実に実施します！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | | — | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>営繕課は、市の公共施設における営繕工事及びその関連業務を適正に実施することを使命とし、安全で安心して使用できる公共施設の構築や快適で機能の充実した施設とすることをめざしています。</p> <p>さらに、誰もが利用できるユニバーサルデザインに基づいた施設として、市民の利用しやすさを考慮して施設の設計及び工事を行っています。</p> <p>また、工事に伴う財政上の効果を上げ、完成後の運営においても適正な管理が行えるように考慮していくことを基本方針としています。</p> | | | |

| |
|--|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営繕管理事業では、各課から依頼のあった松浦武四郎誕生地保存修理工事や図書館改修工事などの工事78本 約25億円、業務委託23本 約2億2千万円を工期内に無事完成させることができました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし |

営繕課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|---------|----|------|---------|---------|--------------|------|--------|---------|---------|------|--------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 1 | 営繕管理事業費 | 一般 | - | 4,311 | / | 営繕業務を適正に実施する | | | ↗ 拡大 | 4,979 | / | 営繕業務を適正に実施する | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | - | |

【課長シート】

| | | | |
|--|------------------|----------------------------|----------|
| 組織名 | 建築開発課 | 作成者（評価者） | 課長 関岡 輝明 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 適切かつ円滑な建築・開発行政を行います！ | |
| | 平成30年度 | 適切かつ円滑な建築・開発行政・空家等対策を行います！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | 5-④ 防災・危機管理対策の充実 | | |
| | 6-④ まちづくりの推進 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>建築開発課は、平成17年4月1日より「特定行政庁」となり、建築確認・許可等の建築基準法に関する全ての事務を行っています。建築行政は、構造計算書偽装事件以降、建築確認審査はより厳格かつ円滑な審査が求められており、また毎年法改正もあり、道路・建築・開発相談及び指導等においても、年々複雑になってきており、職員の人材育成・能力向上が重要であるため日々努力をしています。</p> <p>平成28年度より、市民の命を守り、安全で安心な生活環境を実現するために「松阪市耐震改修促進計画」を改正施行し、周知・啓発に努めています。</p> <p>平成29年度に実施した建築確認電子台帳整備事業により、災害等により紙媒体が滅失した場合でも、電子データが安全に保管され、また建築計画概要書等の開示請求の迅速な対応も可能となり、市民サービスの向上につなげていきます。また、開発指導は、平成29年度より三雲・嬉野管内の業務についても本庁で一括して対応しています。</p> | | | |

| |
|--|
| 【達成できたこと】 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築確認電子台帳整備事業では、過去からの建築確認台帳（約60,000件）及び建築計画概要書（約75,000件）の電子化、位置特定、データベース化を行いました。これによって、災害等による紙媒体の消失がなくなり安全にデータの保管をするとともに、建築計画概要書等の開示請求にも迅速な対応が可能となり市民サービスの向上につなげます。 ・ 建築開発事業では、道路・開発相談等の迅速化に努めており、事前相談等の処理日数を7日以内に処理をすることを目標にし、相談内容の重複等により遅くなった事案もありましたが、事前相談約1,300件に対して約1,200件 約92%の処理ができました。 |
| 【達成できなかったこと】 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ なし |

建築開発課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|---------------|----|------|---------|---------|--------------|------|---------|---------|---------|------------|------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 1 | 空家等対策事業費 | 一般 | 5-④ | 300 | / | 空家相談対応 | | ↗ 拡大 | 13,009 | / | 空家等対策計画の策定 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 30% | 36% | | | | A | 100% | | | |
| 2 | 建築開発事業費 | 一般 | 6-④ | 7,761 | / | 事前相談等の処理日数 | | ↗ 拡大 | 9,680 | / | 事前相談等の処理日数 | | ↗ 拡大 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 90% | 92% | | | | A | 90% | | | |
| 3 | 建築確認電子台帳整備事業費 | 一般 | - | 86,590 | / | 建築計画概要書等の電子化 | | — 終了 | 0 | / | - | | — 終了 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 100% | 100% | | | | A | - | | - | - |

平成30年度 消防団事務局の「実行宣言」

| | | |
|--------------|----|------|
| 作成者 (評価者) | 局長 | 三木 淳 |
|--------------|----|------|

| 基本方針と使命 |
|--|
| <p>松阪市消防団は、地域防災力の要であり、自主防災組織との適切な役割分担と連携協力の下、大規模災害時への対応、火災、台風、局所的豪雨等への対応など地域住民の生命、身体、財産を守る消防機関として大きな役割を担っています。今年度も消防団の充実強化をさらに図るため、</p> <p>① 消防団員の確保と災害対応能力の向上 ② 消防団車両及び機械器具等装備の整備 ③ 消防団施設及び耐震性貯水槽の整備 ④ 広域消防及び自主防災組織との連携強化 に取り組んでいきます。</p> |

| | |
|--------------------|-------------------|
| 『松阪市総合計画』 との関わり | 5 安全・安心な生活（防犯・防災） |
|--------------------|-------------------|

| 平成29年度の評価 | | | | |
|--|-------------------|--------------|---------|----|
| 評価基準…A（90%以上）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下） | | | | |
| 宣言① | 消防団組織の適正運営をめざします。 | 評価 | A | |
| 消防団事務局は、消防団活動のより一層の充実を図るため、消防団との連携協力を強化し火災、台風等の災害対応、安全管理を目的とした訓練、研修等で連携を図ることができました。 また、局内のミーティングを効果的に行ったことで業務を円滑に進めることができました。 | | | | |
| 部局マネジメント方針 | | | | |
| ワンミニ・ミーティングを実施し、共通の認識で業務に取り組めます。 | | 評価 | A | |
| 週初めは、週の業務予定を発表し合い情報共有・業務量のバランス調整を行い、さらに定期的に振興局の消防団担当者との意見交換を持ちます。 | | 評価 | B | |
| 訓練研修等については、職員にフィードバックさせ課題等を検討し改善を図っていきます。 | | 評価 | A | |
| 定期的に図上訓練を実施し、局内の災害対応能力を高めています。 | | 評価 | A | |
| 市民からの要望等に対しては、市民に寄り添った形で対応します。 | | 評価 | B | |
| 『松阪市総合計画』関係施策の進捗度 | | | | |
| | 施策名 | 5-⑤ 消防団の充実 | 目標（H31） | 評価 |
| ① | 活動指標 | 耐震性貯水槽の設置数 | 157基 | A |
| | 活動指標 | 消防団協力事業所の認定数 | 31事業所 | A |



| 平成30年度 消防団事務局の「実行宣言」 | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 宣言① | 消防団の災害対応能力の向上を図ります。 |
| 部局マネジメント方針 | |
| 毎朝ミーティングを実施し、情報共有を図り業務の効率化をめざします。 | |
| 市ホームページ等を活用し、消防団の取組を積極的に発信します。 | |
| 局内の災害対応能力の向上をめざし、訓練等を実施します。 | |
| 市民ニーズに応えられるよう丁寧な対応をめざします。 | |

【課長シート】

| | | | |
|---|------------|---------------------|---------|
| 組織名 | 消防団事務局 | 作成者（評価者） | 局長 三木 淳 |
| 関係する「実行宣言」 | 平成29年度 | 消防団組織の適正運営をめざします | |
| | 平成30年度 | 消防団の災害対応能力の向上を図ります。 | |
| 関係する『総合計画』施策 | 5-⑤ 消防団の充実 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>消防団事務局は、消防団運営を円滑に進める部局として消防団が活動しやすい環境づくりに努め、消防団活動のより一層の充実を図ることで魅力ある消防団づくりにつなげます。</p> <p>平成19年度から取り組んでいる「消防団協力事業所表示制度」を推進し、被雇用者が入団しやすく活動しやすい環境整備を整え、団員確保に努めます。</p> <p>同時に、消防団員個々の災害対応能力向上を図るため、実践的な訓練や「災害対応マニュアル等」を活用した教育訓練の拡充を計画的に行い、さらに広域消防・自主防災組織等と連携を密にし、地域の総合防災力の要として充実強化させます。</p> | | | |

| | |
|---|--|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員定数1,420名に対し、実員1,406名（99%）となり「消防団応援の店」や「消防団協力事業所表示制度」を活用したことから団員確保につながりました。 ・安全装備品を充実強化させるため、消防団車両1台に「防火衣一式4着」を配備、また新活動服140着（32%）を貸与したことにより、災害活動時の安全確保につなげられた結果、公務災害発生は「0」件でした。 ・安全管理教育の拡充として、危険予知訓練等の災害活動マニュアル（200部）を作成し、各分団へ教材として配布、訓練等での活用ができました。さらに消防団の新機関員（100名）を対象に自動車学校での安全運転研修を実施し、交通事故防止に対する意識の高揚を図ることができました。 ・消防・防災訓練センターを消防団訓練や研修など方面団各分団で定期的に利用し、消防団員個々の能力向上を図ることができました。（年間35回実施） ・大規模地震発生時の消火・生活用水用の確保に耐震性貯水槽（40 t）4基を設置し、総設置数は149基となりました。 ・老朽化した消防団車庫2棟を建替えをしたことで防災拠点の強化を図ることができました。また、消防団小型動力ポンプ付積載車等4台の車両更新を行い、災害現場での消防力の強化につなげました。 | |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の約1割の自営業者130名を対象とした消防団員健康診断受診率の割合が、114名（88%）にとどまりました。（募集期間を待たずに医療機関で受診した又は当日キャンセルによる） | |

消防団事務局 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|--------------------|----|------|-----------|---------|------------------|--------|----|-----------|-----------|---------|------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 松阪地区広域消防組合分担金 | 一般 | 5-⑤ | 1,993,264 | / | 救急出動における平均現場到着時間 | | | → 現状維持 | 2,070,525 | / | 救急出動における平均現場到着時間 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 8分以内 | 8分22秒 | A | | | | 8分以内 | | | |
| 2 | 消防団員消防・水防手当 | 一般 | 5-⑤ | 52,801 | / | 消防団員訓練等出動に伴う参加人数 | | | → 現状維持 | 56,433 | / | 消防団員訓練等出動に伴う参加人数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 92% | A | | | | 100% | | | |
| 3 | 消防団員報酬 | 一般 | 5-⑤ | 44,869 | / | 消防団員数 | | | → 現状維持 | 44,899 | / | 消防団員数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1,420名 | 1,406名 | A | | | | 1,420名 | | | |
| 4 | 消防団員退職報償金等 | 一般 | 5-⑤ | 31,441 | / | 消防団員退職報償金該当者の支払 | | | → 現状維持 | 30,335 | / | 消防団員退職報償金該当者の支払 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 5 | 消防団員等公務災害補償等共済基金掛金 | 一般 | 5-⑤ | 30,536 | / | 共済基金掛金率 | | | → 現状維持 | 30,536 | / | 共済基金掛金率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 6 | 消防団員等福祉共済加入掛金 | 一般 | 5-⑤ | 4,260 | / | 福祉共済加入率 | | | → 現状維持 | 4,260 | / | 福祉共済加入率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 7 | 小型動力ポンプ付積載車等購入事業費 | 一般 | 5-⑤ | 26,300 | / | 実施計画に基づく車両更新台数 | | | → 現状維持 | 22,800 | / | 実施計画に基づく車両更新台数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 4台 | 4台 | A | | | | 3台 | | | |
| 8 | 消防団防災資機材等整備事業費 | 一般 | 5-⑤ | 7,434 | / | 年次計画に基づく活動服導入数 | | | → 現状維持 | 7,273 | / | 年次計画に基づく活動服導入数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 32% | 32% | A | | | | 49% | | | |
| 9 | 消防団員公務災害補償費 | 一般 | 5-⑤ | 1,822 | / | 公務災害補償費加入率 | | | → 現状維持 | 1,815 | / | 公務災害補償費支払率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |

消防団事務局 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|------------------------|----|------|---------|---------|----------------------|------|--------|-----------|---------|---------|----------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 10 | 消防団員健康診断事業費 | 一般 | 5-⑤ | 421 | / | 自営業の消防団員定期健康診断受診率 | | | → 現状維持 | 421 | / | 自営業の消防団員定期健康診断受診率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 88% | B | | | | 100% | | | |
| 11 | 非常備消防一般経費 | 一般 | 5-⑤ | 16,905 | / | 研修会等の参加人員 | | | → 現状維持 | 17,609 | / | 研修会等の参加人員 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 90% | A | | | | 100% | | | |
| 12 | 水道事業会計繰出金 | 一般 | 5-⑤ | 15,306 | / | 新規公設消火栓設置・維持管理率 | | | → 現状維持 | 14,933 | / | 新規公設消火栓設置・維持管理率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 13 | 消防施設管理事業費 | 一般 | 5-⑤ | 6,267 | / | 消火栓点検維持管理率 | | | → 現状維持 | 6,137 | / | 消火栓点検維持管理率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 14 | 消防防災施設整備事業費 | 一般 | 5-⑤ | 52,000 | / | 耐震性貯水槽設置総数 | | | → 現状維持 | 52,000 | / | 耐震性貯水槽設置総数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 149基 | 149基 | A | | | | 153基 | | | |
| 15 | 消防・防災訓練センター管理運営事業費 | 一般 | 5-⑤ | 256 | / | 訓練センター施設使用満足度 | | | → 現状維持 | 249 | / | 訓練センター施設使用満足度 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 93% | A | | | | 100% | | | |
| 16 | 消防救急デジタル無線（共通波）整備事業負担金 | 一般 | 5-⑤ | 21,709 | / | 無線共通波整備にかかる通信エリアカバー率 | | | → 現状維持 | 21,709 | / | 無線共通波整備にかかる通信エリアカバー率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 95% | A | | | | 100% | | | |

消防団事務局 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|---------------------|----|------|---------|---------|--------------|--------|-----------|---------|---------|--------------|-------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| (1) | 「消防団協力事業所表示制度」の推進取組 | | 5-⑤ | / | / | 消防団協力事業所の認定数 | | → 現状維持 | / | / | 消防団協力事業所の認定数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 27事業所 | 27事業所 | | | | A | 29事業所 | | | |
| (2) | 「消防団入団促進活動」の推進 | | 5-⑤ | / | / | 消防団員数 | | → 現状維持 | / | / | 消防団員数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 1420名 | 1,406名 | | | | A | 1420名 | | | |
| (3) | 「消防団分団再編」のあり方検討 | | 5-⑤ | / | / | 消防団分団再編数 | | / | / | / | 消防団分団再編数 | | … 定期 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | | | | | | 1分団 | | | |

平成30年度 会計管理課の「実行宣言」

| | | |
|--------------|-------|-------|
| 作成者 (評価者) | 会計管理者 | 内田 寿明 |
|--------------|-------|-------|

| 基本方針と使命 | |
|--|--|
| <p>松阪市が実施する各種事業において、各部局の予算執行や収入調定等にあたり、関係法令、条例及び規則等に則した会計処理がなされているか厳格に審査を行い、適正な支払事務を行うとともに、公金の安全確実な管理及び保管を行います。</p> <p>また、市民から託された大切な財産である公金の運用について、より安全かつ有利な方法で、管理・運用を行います。</p> | |

| | |
|----------------|---|
| 『松阪市総合計画』との関わり | — |
|----------------|---|

| 平成29年度の評価 | | | |
|--|----------------------------------|----|---|
| 評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下) | | | |
| 宣言① | 会計事務の適正な執行を確保するとともに公金の適正な管理に努める。 | 評価 | A |
| 【主な理由】 公金の安全かつ有利な運用との視点から、安全性において金融機関の情報収集に努めるとともに、運用面で資金状況を勘案しながら資金運用率目標90%に対し、88%を達成することが出来ました。 | | | |
| 部局マネジメント方針 | | | |
| 会計管理業務の向上のため、知識の取得に努めます。 | | 評価 | B |
| 公金の安全かつ有利な運用のため、金融情報等の把握に努めます。 | | 評価 | B |
| 適正な財務会計事務の推進のため担当者研修会等を実施します。 | | 評価 | B |
| 各会計担当者の質問等に対し的確に対応し、随時、有益な情報提供を行い会計事務の向上に努めます。 | | 評価 | B |
| 効率的な事務が行えるよう事務改善に努めます。 | | 評価 | C |



| 平成30年度 会計管理課の「実行宣言」 | |
|---------------------|----------------------------------|
| 宣言① | 会計事務の適正な執行を確保するとともに公金の適正な管理に努める。 |
| 部局マネジメント方針 | |
| 会計管理事務の向上 | |
| 公金の安全かつ有利な運用 | |
| 適正な会計事務の推進 | |
| 組織マネジメントの取組 | |

【課長シート】

| | | | |
|--|--------|----------------------------------|-------------|
| 組織名 | 会計管理課 | 作成者（評価者） | 会計管理者 内田 寿明 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 会計事務の適正な執行を確保するとともに公金の適正な管理に努める。 | |
| | 平成30年度 | 会計事務の適正な執行を確保するとともに公金の適正な管理に努める。 | |
| 関係する『総合計画』施策 | — | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>会計管理課では、松阪市の公金の安全確実な管理及び保管を行うとともに、松阪市が実施する各種事業の会計事務を行っており、収入や支出について会計書類等が条例や規則に則して適正な事務処理がされているか厳格に審査を行っていきます。</p> <p>また、大切な財産である公金の運用については、安全かつ有利な方法で管理・運用を行っていきます。適正な会計事務を行うため、会計事務に関する実務能力の向上、効率的な執行に努めます。</p> | | | |

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

- ・会計事務において各種事業の歳入歳出等、条例等に則した会計処理がなされているか厳格な審査を行い、適正に支払い事務を行うことができました。
- ・金融金等の情報収集に努め、安全性を把握し、より確実で有利な資金運用を行うことができました。
- ・新任課長、係長級職員への会計事務の研修、また電子決裁操作研修の実施のほか、職員ポータル全体の掲示板への会計管理課からのお知らせとして「起票時の注意事項」などを連載し、適正な財務会計の推進を図りました。

【達成できなかったこと】

- ・効率的な会計事務が行えるよう、事務改善について他市の状況等を調査し検討を行いました。解決策を見出すまでには至りませんでした。
- 課内において、審査のしやすい体制づくりを進めるとともに、引き続き、他市の状況等を検討しながら電子決裁に対応できる効率的な会計事務に取り組みます。

会計管理課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|----------|----|------|---------|---------|-------------------|-----|--------|-----------|---------|---------|-------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 会計管理一般経費 | 一般 | - | 7,720 | / | 資金の運用率（預託金額/総資金額） | | | → 現状維持 | 7,718 | / | 資金の運用率（預託金額/総資金額） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 90%以上 | 88% | A | | | | 90%以上 | | | |

会計管理課 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|--------------|----|------|----------|----------|-----------|----|--------|-----------|----------|------|-----------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | 方針 | | |
| (1) | 適正な財務会計事務の推進 | / | - | / | / | 全体掲示板での周知 | | | → 現状維持 | / | / | 全体掲示板での周知 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 7回 | 8回 | A | | | | 7回 | | | |

平成30年度 市民病院事務部の「実行宣言」

| | | |
|--------------|----|-------|
| 作成者 (評価者) | 部長 | 武田 裕樹 |
|--------------|----|-------|

| 基本方針と使命 |
|--|
| <p>地域における基幹的な公的医療機関として、地域のニーズに応えうる地域に根ざした病院をめざすなか、少子高齢化や人口減少を見据えた国策による新公立病院改革プランや地域医療構想により医療提供体制の改革(病床機能の分化・連携)に向けた取組が求められています。</p> <p>昨年度、外部有識者等による「地域医療構想をふまえた松阪市民病院の在り方検討委員会」を設置し、議論を重ねましたが、一つの具体的な方向性を示すまでには至りませんでした。</p> <p>今年度は、市民への情報発信に努めるとともに、医療機関や医療関係団体などとの協議を継続し、将来において必要な医療サービスが提供できる地域医療体制を、そして、そのなかにおける松阪市民病院としての役割や機能、運営形態などの方向性を導き出していきたいと考えています。</p> |

| | |
|----------------|------------------------|
| 『松阪市総合計画』との関わり | 2 いつまでもいきいきと(福祉・健康づくり) |
|----------------|------------------------|

| 平成29年度の評価 | | | | |
|--|------------------|--------------------------|---------|----|
| 評価基準…A(90%以上)、B(70~89%)、C(50~69%)、D(30~49%)、E(29%以下) | | | | |
| 宣言① | 健全な病院の経営に取り組みます。 | 評価 | A | |
| 【主な理由】 | | | | |
| 入院・外来とも前年度を上回る患者数となりました。また、利益についても経費削減等への取組の成果もあり、前年度を上回る純利益が見込める経営状況となりました。 | | | | |
| 部局マネジメント方針 | | | | |
| 定期的に幹部会議を開催し懸案事項の協議、事業遂行の決定を行います。 | | 評価 | A | |
| 各部門の責任者等による月例の経営会議を開催し経営実態等を共有します。 | | 評価 | A | |
| 医療安全、接遇等の研修の実施、アンケート調査等による改善を図ります。 | | 評価 | A | |
| 『松阪市総合計画』関係施策の進捗度 | | | | |
| | 施策名 | 救急医療体制の確保 | 目標(H31) | 評価 |
| ① | 活動指標 | 医療施設、救急医療が整っていると感じる市民の割合 | 30.0% | A |
| | 活動指標 | 患者アンケートで「満足」と答えた患者の割合 | 95.0% | A |



平成30年度 市民病院事務部の「実行宣言」

宣言① 健全な病院経営に取り組みます。

宣言② 患者さま満足度の向上に努めます。

部局マネジメント方針

病院運営等の目標を定めた計画表を作成し、計画・実行・評価し、更なる改善に取り組みます。

接遇等の研修、患者さまアンケートの実施などにより、患者さま満足度の向上に努めます。

各部門の責任者等による経営会議を毎月1回開催し経営実態等を共有します。

地域医療構想の実現に向けた公立病院（市民病院）としての役割などを導き出していくための取組を進めていきます。

【課長シート】

| | | | |
|---|---------------|------------------|----------|
| 組織名 | 市民病院事務部 | 作成者（評価者） | 部長 武田 裕樹 |
| 関係する「実行宣言」 | 平成29年度 | 健全な病院の経営に取り組みます。 | |
| | 平成30年度 | 健全な病院の経営に取り組みます。 | |
| | | 患者さま満足度の向上に努めます。 | |
| 関係する『総合計画』施策 | 2-③ 救急医療体制の確保 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>昭和21年9月に健康保険松阪市民病院として開設し、現在は、急性期病床267床、緩和ケア病床20床、地域包括ケア病床39床の計328床の総合病院です。</p> <p>当院は、10年程前、医師数の減少に伴う診療科の縮小などにより、二次救急体制の維持、ひいては経営存続の危機的な状況にありましたが、医療の効率化や医師確保に奮闘するなか、全国的に赤字の自治体病院が多いなか、8期連続の黒字経営であり、安定した経営の下で良質な医療の提供に努めています。</p> <p>こうしたなか、少子高齢化や人口減少を見据えたさまざまな政策が打ち出され、その時代にふさわしい医療提供体制の構築が求められてきています。</p> <p>今後、市民病院としての役割や機能をしっかりと見極め、市民等が安心して生活していくための必要な医療サービスが提供できるよう努めていきます。</p> | | | |

| |
|--|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的に自治体病院の経営状況が厳しいなか、当院の平成29年度の入院・外来患者数、さらには経営上の純利益も前年度を上回る結果となり、9期連続の黒字を達成できる見込みとなりました。 具体的には、患者に選ばれる病院づくりをめざし、質の高い医療の提供や出前講座などに努めました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、三重県による地域医療構想が策定され、松阪地域においても医療提供体制のあり方が問われています。 そのようななか、外部有識者等による「地域医療構想をふまえた松阪市民病院の在り方検討委員会」を設置し議論を重ねましたが、平成29年度内に一定の方向性を示すまでには至りませんでした。 |

市民病院事務部 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-----------------|----|------|-----------|----------|-----------|----------|--------|-----------|-----------|----------|-----------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 松阪市民病院事業会計繰出金 | 一般 | 2-③ | 901,115 | / | 基準内繰出しの割合 | | | → 現状維持 | 911,954 | / | 基準内繰出しの割合 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 98% | 99% | A | | | | 98% | | | |
| 2 | IT推進事業 | 企業 | 2-③ | 27,098 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 59,003 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 予定案件執行率 | | | | | | 予定案件執行率 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 100% | 100% | A | 100% | | | | | | | | |
| 3 | 医療機器更新事業 | 企業 | 2-③ | 210,562 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 298,456 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 予定案件執行率 | | | | | | 予定案件執行率 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 100% | 100% | A | 100% | | | | | | | | |
| 4 | 建設附帯施設整備事業 | 企業 | 2-③ | 31,440 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 20,000 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 予定案件執行率 | | | | | | 予定案件執行率 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 100% | 100% | A | 100% | | | | | | | | |
| 5 | その他市民病院事業会計全事業費 | 企業 | 2-③ | 5,519,271 | / | 活動指標 | | | ↗ 拡大 | 5,613,901 | / | 活動指標 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 医業収益 | | | | | | 医業収益 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 9,131百万円 | 9,222百万円 | A | 9,180百万円 | | | | | | | | |

平成30年度 上下水道部の「実行宣言」

| | | |
|--------------|-----------|------|
| 作成者 (評価者) | 上下水道事業管理者 | 佐藤 誠 |
|--------------|-----------|------|

| 基本方針と使命 |
|--|
| <p>上下水道部は、市民生活に欠かすことのできない水道水の安定供給、また快適な住環境の維持・改善のため下水道の整備に取り組みます。</p> <p>水道事業においては、水道管路や施設等の老朽化に対応するために計画的な更新工事の実施と危惧される震災に備えた耐震化工事の実施に努めるとともに、経営基盤の強化に努めます。</p> <p>下水道事業においては、適正かつ効率的な公共下水道の整備に努めるとともに、市街地の浸水被害の解消に向けた事業の実施に努めます。</p> |

| | |
|--------------------|-------------------|
| 『松阪市総合計画』 との関わり | 5 安全・安心な生活（防犯・防災） |
| | 6 快適な生活（生活基盤の整備） |

| 平成29年度の評価 | | | |
|---|--------------------------------------|----|---|
| 評価基準…A（90%以上）、B（70～89%）、C（50～69%）、D（30～49%）、E（29%以下） | | | |
| 宣言① | 「床上浸水ゼロ」をめざす事業計画の策定に努めます。 | 評価 | C |
| <p>【主な理由】</p> <p>愛宕川・名古須川流域の浸水対策シミュレーションによる浸水被害の軽減に向けた対策の検討、また松阪地区浸水対策検討会での協議に日数を費やし、大筋での対応策は合意を得ることはできましたが、具体的な計画策定には至りませんでした。今後も引き続き、詳細な事業実施に向けた検討や実施スケジュールの調整、また県と市の費用負担等の整理に努めます。</p> | | | |
| 宣言② | 公共下水道（汚水処理）の効率的な普及促進と計画区域の見直しに努めます。 | 評価 | C |
| <p>【主な理由】</p> <p>公共下水道の計画区域の見直しについては、既存の計画の見直しとなることから、従前からの市民の意向を十分に整理する必要があると考え、見直しの対象とする地域の意向確認に時間を要したために、年度内の計画見直しには至りませんでした。引き続き、市民の意向確認また経営上の検討を行い都市計画マスタープランへの反映をめざします。</p> | | | |
| 宣言③ | 経営の安定化を図るため、料金収納率の向上と料金徴収形態の改定に努めます。 | 評価 | B |
| <p>【主な理由】</p> <p>収納率の向上については、前年度と比較してほぼ横ばいの状況であり、引き続き、滞納整理や債権回収に努めます。また、料金徴収等の隔月検針・請求については、平成30年10月の実施に向けて条例改正や市民への周知などほぼ計画通りに進められました。</p> | | | |

【部局長シート】

| 部局マネジメント方針 | | | | |
|---|------|---------------------------|---------|----|
| 事業の進捗状況の確認と課題の共有と課題解決の検討会議として管理職での定例会の開催 | | | 評価 | B |
| 職員のプレゼンテーション能力の向上を目的に工事担当職員による工事設計プレゼンの実施 | | | 評価 | B |
| 上下水道事業の積極的な情報発信（見える化） | | | 評価 | B |
| 災害に備えたクライシスマネジメントの確認と訓練 | | | 評価 | C |
| ワーク・ライフ・バランスを意識した職場環境の構築 | | | 評価 | A |
| 無事故・無違反を目標に「無事故・無違反チャレンジ2017」の実施 | | | 評価 | B |
| 『松阪市総合計画』関係施策の進捗度 | | | | |
| ① | 施策名 | 浸水対策の充実 | 目標（H31） | 評価 |
| | 活動指標 | 雨水排水施設（宮町・沖ス・大口ポンプ場）事業進捗率 | 60.0% | A |
| ② | 施策名 | 上下水道の整備 | 目標（H31） | 評価 |
| | 活動指標 | 基幹管路の耐震適合率 | 37.00% | A |
| | 活動指標 | 下水道普及率 | 58.00% | A |
| | 活動指標 | 水洗化率 | 80.00% | D |
| | 活動指標 | 上水道の整備に対する市民満足度 | 3.6 / 5 | B |



| 平成30年度 上下水道部の「実行宣言」 | |
|-----------------------------------|------------------------------|
| 宣言① | 床上浸水ゼロ（名古須川流域）の事業計画の確定に努めます。 |
| 宣言② | 公共下水道（汚水）の普及促進と計画区域見直しに努めます。 |
| 宣言③ | 基幹管路の耐震化と老朽管路の更新に努めます。 |
| 宣言④ | 上下水道事業の安定経営と料金収納率の確保に努めます。 |
| 部局マネジメント方針 | |
| 災害に備えたマニュアルの周知と訓練 | |
| 事業の進捗管理と課題解決に向けた所属長会議の開催 | |
| 安定経営をめざした水道事業基本計画の策定（平成30～31年度） | |
| 工事担当者による設計プレゼンテーションの実施（部内の決裁権者対象） | |
| ワークライフバランスを意識した職場環境の継続 | |

【課長シート】

| 組織名 | 上下水道部 | 作成者（評価者） | 上下水道事業管理者 佐藤 誠 |
|--|-------------|--------------------------------------|----------------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 「床上浸水ゼロ」をめざす事業計画の策定に努めます。 | |
| | | 公共下水道（汚水処理）の効率的な普及促進と計画区域の見直しに努めます。 | |
| | | 経営の安定化を図るため、料金収納率の向上と料金徴収形態の改定に努めます。 | |
| | 平成30年度 | 床上浸水ゼロ（名古屋川流域）の事業計画の確定に努めます。 | |
| | | 公共下水道（汚水）の普及促進と計画区域の見直しに努めます。 | |
| | | 基幹管路の耐震化と老朽管の更新に努めます。 | |
| 上下水道事業の安定経営と料金収納率の確保に努めます。 | | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 5－⑥ 浸水対策の充実 | | |
| | 6－⑦ 上下水道の整備 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>上下水道部は、市民生活に欠かすことのできない水道水の安定供給、また快適な住環境の維持・改善のため下水道の整備に取り組みます。</p> <p>水道事業においては、水道管路や施設等の老朽化に対応するために計画的な更新工事の実施と危惧される震災に備えた耐震化工事に努めるとともに経営基盤の強化に努めます。</p> <p>下水道事業においては、適正かつ効率的な公共下水道の整備に努めるとともに、市街地の浸水被害の解消に向けた事業の実施に努めます。</p> | | | |

| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
|---|
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝見簡易水道組合との協議においては、目標の2回の協議を持ち一般会計からの繰出金を平成30年度から皆減とすることに合意を得ました。引き続き水道事業への統合に向け協議を行います。 ・平成30年10月からの隔月検針、隔月請求の実施に向けて、条例の改正また次期営業関連業務委託の受託業者の選定を行いました。 ・都市下水路管理運営事業費及び整備事業費については、管理の不具合からのトラブルもなく目標達成となりました。またポンプ場の長寿命化事業、ポンプ場築造事業についても、宮町ポンプ場の更新及び大口ポンプ場の増設に関して目標達成となりました。 ・水道管路及び施設の新設、更新等に係る事業においては、目標とした整備を実施することができました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床上浸水ゼロをめざす事業計画の策定において、名古屋川流域については、松阪市浸水対策検討会での協議の結果、県管理の本川の局部拡幅と既設断面の改修により、浸水解消の対策が大筋で合意を得られましたが、実施に当たっては、今後更に詳細な検討またスケジュール・費用負担の協議が引き続き必要となることから、計画の策定までには至りませんでした。また、愛宕川流域については、公共下水道（雨水）の整備により浸水解消が可能となることから、今後年次計画を立てて事業の進捗を図るものとします。 ・公共下水道の区域の見直しについては、関係自治会等の意向も把握することが必要と判断し、関係者への下水道事業の説明や意向調査に時間を要したため、年度内の見直しには至りませんでした。引き続き、見直し案の作成に努めます。 |

【課長シート】

- ・平成29年度の公共下水道の整備面積は、30.4haの整備を行い目標とする整備を終えることができましたが、普及率（人口普及率）については、前年比1.1%の増に留まりました。
- ・水洗化促進として、水洗化啓発や水洗化補助金等の制度の活用により、水洗化の向上に努めましたが、目標とする前年度比1.0%の増には至らず、0.8%の増に留まりました。

上下水道部 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|---------------|----|------|-----------|---------|--|---------------------------------------|-----------|-----------|---------|--|----------------------------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 1 | 水道事業会計繰出金 | 一般 | 6-⑦ | 122,463 | / | ①経常収支比率（経常収益/経常費用） ②営業収支比率（営業収益/営業費用） ※受託工事除く。 | | → 現状維持 | 114,440 | / | ①経常収支比率（経常収益/経常費用） ②営業収支比率（営業収益/営業費用） ※受託工事除く。 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | ①110% ②100% | ①107.2% ②103.0% | | | | A | ①110% ②100% | | | |
| 2 | 簡易水道事業特別会計繰出金 | 一般 | 6-⑦ | 1,376 | / | 朝見簡易水道組合との繰出金の減額、上水道統合に関する協議の回数 | | — 終了 | 0 | / | - | | — 終了 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 2回 | 2回 | | | | A | - | | - | - |
| 3 | 都市下水路管理運営事業費 | 一般 | 5-⑥ | 126,962 | / | 管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場及び都市下水路等の維持管理 | | → 現状維持 | 130,904 | / | 管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場及び都市下水路等の維持管理 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 発生ゼロ | 発生ゼロ | | | | A | 発生ゼロ | | | |
| 4 | 都市下水路施設整備事業費 | 一般 | 5-⑥ | 26,681 | / | 管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場のエンジン点検整備及び導水路の維持管理 | | → 現状維持 | 15,550 | / | 管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場のエンジン点検整備及び導水路の維持管理 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 発生ゼロ | 発生ゼロ | | | | A | 発生ゼロ | | | |
| 5 | ポンプ場施設長寿命化事業費 | 一般 | 5-⑥ | 22,574 | / | ポンプ整備基数 | | → 現状維持 | 252,150 | / | 宮町ポンプ場No.2ポンプ製作(進捗率) | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 1基 | 1基 | | | | A | 30% | | | |
| 6 | 公共下水道事業会計繰出金 | 一般 | 6-⑦ | 2,860,307 | / | ①雨水対策（床上浸水ゼロ）事業計画の策定 ②普及率（平成28年度実績比） ※上段（普及率）下段（年度内整備面積） | | → 現状維持 | 2,935,404 | / | ①雨水対策（床上浸水ゼロ）事業計画（名古屋川）の策定 ②下水道普及率 ③汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲） | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | ①今年度中 ②1.4%増 (55.1%) (28.4ha) | ①継続中 ②1.1%増 (54.8%) (30.8ha) | | | | C | ①今年度中 ②56.6% ③79.5ha | | | |

上下水道部 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-------------------|----|------|-----------|---------|--|--------------------|----|-----------|-----------|---------|--|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 7 | 高須町公園多目的広場施設管理事業費 | 一般 | 6-⑦ | 2,500 | / | 施設の年間利用者数 | | | → 現状維持 | 2,500 | / | 施設の年間利用者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1,500人 | 1,362人 | A | | | | 1,500人 | | | |
| 8 | 高須町公園多目的広場施設整備事業費 | 一般 | 6-⑦ | 2,600 | / | 施設の年間利用者数 | | | → 現状維持 | 2,600 | / | 施設の年間利用者数 | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1,500人 | 1,362人 | A | | | | 1,500人 | | | |
| 9 | 朝見簡易水道管理事業費 | 特別 | 6-⑦ | 5,072 | / | 朝見簡易水道組合との繰出金の減額、上水道統合に関する協議の回数 | | | → 現状維持 | 5,381 | / | 朝見簡易水道組合との上水道統合に関する協議の回数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 2回 | A | | | | 2回 | | | |
| 10 | ポンプ場築造事業費 | 企業 | 5-⑥ | 163,340 | / | 大口ポンプ場のポンプ増設 | | | → 現状維持 | 70,000 | / | 沖スポンプ場増設詳細設計 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2基 | 2基 | A | | | | 1箇所 | | | |
| 11 | 管路新設事業 | 企業 | 6-⑦ | 83,600 | / | 基幹管路の整備延長 | | | → 現状維持 | 88,000 | / | 配水支管の整備延長 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 200m | 189m | A | | | | 1,000m | | | |
| 12 | 老朽施設更新事業 | 企業 | 6-⑦ | 68,000 | / | 新久保山ポンプ場受電設備の更新 | | | → 現状維持 | 11,000 | / | 第二水源発電機始動盤の更新 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 7面 | 7面 | A | | | | 1面 | | | |
| 13 | 老朽管更新事業 | 企業 | 6-⑦ | 1,028,320 | / | 基幹管路の整備延長 | | | ↗ 拡大 | 1,113,200 | / | 基幹管路の整備延長 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 500m | 584m | A | | | | 1,160m | | | |
| 14 | その他水道事業会計全事業費 | 企業 | 6-⑦ | 3,533,291 | / | ①経常収支比率（経常収益/経常費用） ②営業収支比率（営業収益/営業費用） ※受託工事除く。 | | | → 現状維持 | 3,521,985 | / | ①経常収支比率（経常収益/経常費用） ②営業収支比率（営業収益/営業費用） ※受託工事除く。 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | ①110% ②100% | ①107.2% ②103.0% | A | | | | ①110% ②100% | | | |

上下水道部 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|---------------------------|----|------|-----------|----------|------------------|------------------|--------|-----------|-----------|----------|------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 15 | 関連公共下水道事業（松阪） | 企業 | 6-⑦ | 2,023,476 | / | 汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲） | | | → 現状維持 | 2,598,682 | / | 汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 28.4ha | 30.8ha | A | | | | 79.5ha | | | |
| 16 | 関連公共下水道事業（嬉野） | 企業 | 6-⑦ | 15,000 | / | 汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲） | | | → 現状維持 | 15,000 | / | 汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 28.4ha | 30.8ha | A | | | | 79.5ha | | | |
| 17 | 中勢沿岸流域下水道事業 松阪処理区（負担金） | 企業 | 6-⑦ | 95,284 | / | 汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲） | | | → 現状維持 | 106,253 | / | 汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 28.4ha | 30.8ha | A | | | | 79.5ha | | | |
| 18 | 関連公共下水道事業（三雲） | 企業 | 6-⑦ | 188,000 | / | 汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲） | | | → 現状維持 | 272,000 | / | 汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 28.4ha | 30.8ha | A | | | | 79.5ha | | | |
| 19 | 水洗化促進事業 | 企業 | 6-⑦ | 17,222 | / | 水洗化率（平成28年度実績比） | | | → 現状維持 | 17,494 | / | 水洗化率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1.0%増 (78.4%) | 0.6%増 (78.0%) | D | | | | 79.1% | | | |
| 20 | その他公共下水道事業 会計全事業費 | 企業 | 6-⑦ | 944,797 | / | 汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲） | | | → 現状維持 | 1,020,790 | / | 汚水整備面積（松阪、嬉野、三雲） | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 28.4ha | 30.8ha | A | | | | 79.5ha | | | |

平成30年度 教育委員会事務局の「実行宣言」

| | | |
|-------|-----|--------|
| 作成者 | 教育長 | 中田 雅喜 |
| (評価者) | 局長 | 松名瀬 弘己 |

| 基本方針と使命 |
|---|
| <p>教育委員会では、松阪市教育大綱の基本理念「夢を育み、未来を切り拓く松阪の人づくり」に基づき策定した松阪市教育ビジョンにより、松阪市の未来を担う子どもたちを育てることをめざします。そのための教育施策における基本方針を次のように掲げ、松阪市の教育向上に取り組みます。</p> <p>(1) 確かな学力を持ち、意欲的に未来を切り拓く子どもを育てます。</p> <p>(2) スポーツや文化に親しみ、仲間と社会を生き抜く子どもを育てます。</p> <p>(3) ふるさと・松阪を愛し、自らの夢を抱く子どもを育てます。</p> <p>(4) 思いやりを大切にし、新たな松阪をつくる子どもを育てます。</p> |

| | |
|----------------|------------------------|
| 『松阪市総合計画』との関わり | 1 輝く子どもたち（子育て・教育） |
| | 2 いつまでもいきいきと（福祉・健康づくり） |
| | 4 人と地域の頑張る力（地域づくり） |

| 平成29年度の評価 | | | |
|---|---|----|---|
| 評価基準…A（90%以上）、B（70～89%）、C（50～69%）、D（30～49%）、E（29%以下） | | | |
| 宣言① | 学びの環境を整え教育施設の充実をめざします！ | 評価 | A |
| <p>【主な理由】</p> <p>学校空調設備整備及び学校トイレ洋式化改修整備について、教室環境実証事業検証や懇談会等の意見を反映した学校教室等環境対策検討委員会の答申を受け2019年（平成31年）度末までの整備をめざした事業着手が行えました。また、粥見小学校校舎改築事業、鎌田中学校校舎改築事業など計画通りに進めることができました。</p> <p>組織については、教育事務所を北部・西部の2か所に改編し、事務局との連携を密にしながら、学校、地元の調整を行うなど、教育施設の整備をはじめとした業務遂行を効率的に進めることができました。</p> | | | |
| 宣言② | 子育ての支援体制を充実し、子どもたちが心身ともに健やかに成長する健康教育を推進します！ | 評価 | A |
| <p>【主な理由】</p> <p>生活困窮家庭に対し、就学援助事業及び特別支援就学奨励事業における申請から決定までを遅滞なく対応するとともに、新入学生用品費を前倒しして支給し、生活困窮世帯の経済的負担を軽減することができました。また、児童の健康維持のため、結核対策（実施率100%）や児童生徒の健康診断事業（全小中学校実施）について、実施することができました。</p> | | | |

【部局長シート】

| | | | | |
|--|--|----------------------------|----------------------|----|
| 宣言③ | 次世代を担う子どもたちが、確かな学力や豊かな人間性を培い、健康・体力のバランスのとれた成長を遂げられるよう取組の充実を図ります！ | 評価 | A | |
| 【主な理由】 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修会における指導主事の活用や学級満足度尺度調査（Q-U）の実施などにより、子どもたちに確かな学力と豊かな心を育成する教育の推進を図りました。 ・シンポジウムや講演会の開催、先進地視察など、地域住民等への周知・理解を進めることにより、地域とともにある学校づくりの推進を図りました。 | | | | |
| 宣言④ | 社会が人を育み、人が社会をつくる社会教育を充実します！ | 評価 | A | |
| 【主な理由】 | | | | |
| <p>松阪公民館の移転、第一小講座室の整備及び松阪図書館の改修工事を行うことで、新たな生涯学習施設の拠点づくりを行うことができました。また、市長部局から放課後児童クラブの事務移管が行われたが、滞りなく放課後児童クラブへの支援を継続するとともに、運営形態を委託から補助に変更することで、運営の外部委託を可能とし、保護者の負担軽減を図りました。</p> | | | | |
| 宣言⑤ | ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します！ | 評価 | A | |
| 【主な理由】 | | | | |
| <p>市民の様々な世代が地域で身近で気軽にできるスポーツ・レクリエーションや様々なスポーツに参加できる機会として、シティマラソンや各種スポーツ大会等の開催、また、新たな取組として幼児を対象とした「キッズコーディネーショントレーニング」を開催し、幅広い年齢層の市民が身近にスポーツを感じていただける取組を進めることができました。</p> | | | | |
| 宣言⑥ | 安全・安心で魅力ある学校給食の充実を図ります！ | 評価 | A | |
| 【主な理由】 | | | | |
| <p>学校給食における地場産物使用割合こそ目標に達しませんでしたでしたが、給食施設・備品の更新や調理員に対する研修会の実施により衛生管理の向上を図り、また、食物アレルギーには安全性を最優先した対応に努め、安全・安心な給食を提供することができました。</p> | | | | |
| 部局マネジメント方針 | | | | |
| 開かれた教育委員会をめざし、教育課題や事業の進捗状況などを積極的に発信します。 | | 評価 | A | |
| ミーティングを通じて、各課の課題、懸案等を確認し、事務局内で共有します。 | | 評価 | A | |
| 総時間外勤務時間を前年度より3%削減します。 | | 評価 | B | |
| 『松阪市総合計画』関係施策の進捗度 | | | | |
| ① | 施策名 | 1-① 子育て支援の推進 | 目標（H31） | 評価 |
| | 活動指標 | 松阪市で今後も子育てをしていきたいと思う保護者の割合 | 95.0% | A |
| ② | 施策名 | 1-③ 学校教育の充実 | 目標（H31） | 評価 |
| | 活動指標 | 松阪市標準学力検査における標準スコアの平均 | 50.0 | A |
| | 活動指標 | 授業以外で1日30分以上読書をしている割合 | 小学校38.0% 中学校31.0% | B |
| | 活動指標 | 学級満足度尺度調査（Q-U）の満足度 | 65.0% | A |
| | 活動指標 | 学校給食における地場産物使用割合 | 35.0% | E |

【部局長シート】

| | | | | |
|---|------|----------------------------|----------------------|----|
| ③ | 施策名 | 1-④ 青少年の健全育成 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 「青少年育成のつどい」講演会の参加者満足度 | 90.0% | B |
| | 活動指標 | 青少年補導者数 | 450人 | A |
| ④ | 施策名 | 1-⑤ 人権教育の推進 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 人権教育研修講座参加者の満足度 | 95.0% | A |
| | 活動指標 | 「自分には良いところがある」と回答した児童生徒の割合 | 小学校80.0% 中学校75.0% | A |
| | 活動指標 | 外国人生徒の就職・高校進学率 | 100.0% | A |
| ⑤ | 施策名 | 2-② 生涯スポーツの推進 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 松阪シティマラソン参加者数 | 3,500人 | A |
| | 活動指標 | 公共スポーツ施設を利用している市民の割合 | 25.0% | E |
| | 活動指標 | 市長杯スポーツ大会の参加者数 | 4,000人 | A |
| ⑥ | 施策名 | 4-② 生涯学習の推進 | 目標 (H31) | 評価 |
| | 活動指標 | 公民館における家庭教育講座の開設 | 250講座 | A |
| | 活動指標 | 図書館利用者数 | 248,000人 | B |



平成30年度 教育委員会事務局の「実行宣言」

| | |
|-----|---|
| 宣言① | 学びの環境を整え教育施設の充実をめざします！ |
| 宣言② | 子育ての支援体制を充実し、子どもたちが心身ともに健やかに成長する健康教育を推進します！ |
| 宣言③ | 子どもたちに求められる資質・能力とは何かを地域と共有し、知・徳・体にわたる「生きる力」を子どもたちに育みます！ |
| 宣言④ | 学び続け合う生涯学習と青少年健全育成を推進します！ |
| 宣言⑤ | いつでも・どこでも・いつまでも気軽に楽しめるスポーツライフを実現します！ |
| 宣言⑥ | 三重とこわか国体・三重とこわか大会のPRを進めます！ |
| 宣言⑦ | 安全・安心で魅力ある学校給食の充実を図ります！ |

部局マネジメント方針

事業を円滑に推進するため、積極的な情報発信に努めます。

ミーティングやホットラインにより、部内の課題・懸案など情報共有を図ります。

時間外勤務縮減に向け、一人当たり時間外勤務時間数の前年度対比減をめざします。

【課長シート】

| | | | |
|---|--------------------|-------------------------------|-----------------|
| 組織名 | 教育総務課 | 作成者（評価者） | 課長 青木 俊夫 |
| 関係する「実行宣言」 | 平成29年度 | 学びの環境を整え教育施設の充実をめざします！ | |
| | 平成30年度 | 学びの環境を整え教育施設の充実をめざします！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | 1-③ 学校教育の充実 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>子どもたちや住民が安心して集い、学びやすく、学ぶことの楽しさや喜びを実感できる教育環境を創造し、学びを支える教育環境の整備を進めます。</p> <p>平成30年度は、誰もが利用しやすい学校施設をめざし、昨年度に着手した粥見小学校校舎改築工事は9月からの新校舎での授業をめざします。また、鎌田中学校校舎改築事業については地域と共に協議を重ねた実施設計が完了し、テニスコート整備を先行し行うとともに、新校舎の2020年（平成32年）度からの運用開始をめざし校舎改築工事を進めます。</p> <p>一方、小中学校空調設備整備事業については発注支援を受けながら、工事設計施工及び維持管理業者を決定し2019年（平成31年）9月の使用開始をめざします。なお、学校トイレの洋式化については、平成30年度に47校の実施設計を行い、避難所機能強化を推進するためにも小中学校の校舎及び体育館内のトイレの洋式化等整備を2年間で行います。</p> | | | |

| |
|---|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教室等環境対策検討委員会より「松阪市立学校教室等環境対策に関する答申」を10月に受け、空調設備整備基本構想及びトイレ改修整備基本構想を策定し、2019年（平成31年）度末までの整備を目標としました。 ・平成29年度の大江中学校への入学者が無かったことから、今後の大江中学校区の子どもたちの学習環境を保障するため、学校、保護者、地域住民が大江中学校の将来を議論する、「大江中学校の将来を考える協議会」を設置し、大江中学校のめざす学校像や将来の方向性に関すること、将来の方向性をふまえた具体的方策に関すること等を7回に亘り協議し、その内容を保護者や地域に周知してきた結果、平成30年度は5人の入学者がいましたが、引き続き保護者や地域と協議していきます。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総時間外勤務時間削減については、組織改編による業務の所管変更や新規事業などがあったため、達成できませんでした。具体的には、学校改築やエアコン・トイレに関する重要課題が検討委員会議論や市民懇談会・市民アンケート実施などから急激な進捗があり、学校現場の実態把握・基本構想作成など関係資料の作成等には内部事務体制を工夫するなどを行いました。部局全体では、松阪公民館のマーム移転や図書館リニューアルオープンに加え、学習指導要領改訂の対応、各学校課題に合わせた研修会準備、教科書改訂に伴う採択等の膨大な事務量の処理等により、時間外削減には至りませんでした。 |

教育総務課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | |
|-----|----------------|----|------|---------|---------|----------------------------------|----|-----------|---------|---------|-------------------------------------|----|-----------|
| | | | | 予算額(千円) | 決算額(千円) | 活動指標 | | 方針 | 予算額(千円) | 決算額(千円) | 活動指標 | | 方針 |
| 1 | 教育委員会一般経費 | 一般 | 1-③ | 4,484 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | 4,432 | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | 先進地視察を行い、教育委員会定例会にその内容を報告する | | | | | 教育課題に対する先進地視察を行い、教育委員会定例会にその内容を報告する | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| | | | | 100% | 100% | A | | | 100% | | | | |
| 2 | 私立高等学校振興補助金 | 一般 | 1-③ | 2,000 | / | 活動指標 | | ↘ 縮小 | 1,500 | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | 市内中学校の進学先選択肢の拡充のため、特色ある学校として補助交付 | | | | | 特色ある学校としての補助金申請に対する支給 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| | | | | 100% | 100% | A | | | 100% | | | | |
| 3 | 高校等奨学金貸与事業費 | 一般 | 1-③ | 240 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | 240 | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | 希望者への貸与実施と市広報等に1回以上掲載 | | | | | 各学校を通してのチラシ配布と市広報に1回以上掲載 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| | | | | 1回以上 | 1回 | A | | | 各1回以上 | | | | |
| 4 | スクールバス運営事業費 | 一般 | 1-③ | 23,941 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | 22,352 | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | 定刻、無事故による児童生徒の安全通学の実施と確保 | | | | | 職員による定期点検の毎月実施 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| | | | | 無事故 | 無事故 | A | | | 12回 | | | | |
| 5 | 教室環境対策検討委員会事業費 | 一般 | - | 1,073 | / | 活動指標 | | — 終了 | 0 | / | 活動指標 | | — 終了 |
| | | | | | | 検討委員会7回の開催と方針決定(答申の提出) | | | | | - | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| | | | | 10月末 | 10月末 | A | | | - | - | - | | |
| 6 | 教育委員会事務局一般経費 | 一般 | 1-③ | 15,656 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | 14,941 | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | 事務の効率化を図り、残業時間数3%削減 | | | | | 事務の効率化を図り、1人当残業時間数3%削減 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| | | | | 3%削減 | 14.9%増 | B | | | 3%削減 | | | | |
| 7 | 小学校施設管理運営事業費 | 一般 | 1-③ | 486,387 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | 469,762 | / | 活動指標 | | → 現状維持 |
| | | | | | | 電気水道使用量削減の取組 | | | | | 職員による定期点検の毎月実施 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| | | | | 前年度同様 | 前年度同様 | A | | | 12回 | | | | |
| 8 | 小学校施設整備事業費 | 一般 | 1-③ | 111,852 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | 98,522 | / | 活動指標 | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 改修工事実施率(迅速な現場対応実施率) | | | | | 改修工事実施率(迅速な現場対応実施率) | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | |
| | | | | 100% | 100% | A | | | 100% | | | | |

教育総務課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-----------------|----|------|---------|---------|----------------------|-------|--------|-----------|---------|---------|---------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額(千円) | 決算額(千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額(千円) | 決算額(千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 9 | 小学校空調設備整備事業費 | 一般 | 1-③ | | | 活動指標 | | | | 872,913 | | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 実施事業者の決定 | | | | | | 12月末 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| 10 | 地域材活用学校環境整備事業費 | 一般 | 1-③ | 8,870 | | 活動指標 | | | → 現状維持 | 7,202 | | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 木製机椅子の不具合個所の改修率 | | | | | | 木製机椅子の不具合個所の改修率 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 11 | 小学校トイレ改修事業費 | 一般 | 1-③ | | | 活動指標 | | | | 234,022 | | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 17校の工事の完成 | | | | | | 17校 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| 12 | 小学校給食配膳施設整備事業費 | 一般 | 1-③ | | | 活動指標 | | | | 20,467 | | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 2校の工事の完成 | | | | | | 2校 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| 13 | 第三小学校校舎大規模改造事業費 | 一般 | 1-③ | 236,634 | | 活動指標 | | | → 現状維持 | 314,735 | | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 第1期工事の完成 | | | | | | 第2期工事の完成 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 今年度中 | 今年度中 | A | | | | 100% | | | |
| 14 | 粥見小学校校舎改築事業費 | 一般 | 1-③ | 498,826 | | 活動指標 | | | → 現状維持 | 710,202 | | 活動指標 | | | — 終了 |
| | | | | | | 平成30年度供用開始に向けた改築工事進捗 | | | | | | 改築工事進捗率 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 40% | 43% | A | | | | 100% | | | |
| 15 | 中学校施設管理運営事業費 | 一般 | 1-③ | 224,788 | | 活動指標 | | | → 現状維持 | 212,301 | | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 電気水道使用量削減の取組 | | | | | | 職員による定期点検の毎月実施 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 前年度同様 | 前年度同様 | A | | | | 12回 | | | |
| 16 | 中学校施設整備事業費 | 一般 | 1-③ | 61,274 | | 活動指標 | | | ↗ 拡大 | 78,604 | | 活動指標 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 改修工事実施率(迅速な現場対応実施率) | | | | | | 改修工事実施率(迅速な現場対応実施率) | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 17 | 多気中学校分担金 | 一般 | 1-③ | 54,460 | | 活動指標 | | | → 現状維持 | 152,366 | | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 人口、生徒数に対する負担の完全納付 | | | | | | 校舎改築に係る協議3回 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 3回 | | | |

教育総務課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | | |
|-----|----------------|----|------|----------|----------|----------------------------|----|--------|-----|-----------|----------|-----------|----------------------|----|----|------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | |
| 18 | 中学校防災防犯対策事業費 | 一般 | 1-③ | / | / | 活動指標 | | | / | 9,386 | / | 活動指標 | | | / | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 1校の工事の完成 | 目標 | 実績 | | 評価 |
| | | | | | | | | | | | | 1校 | | | | |
| 19 | 中学校空調設備整備事業費 | 一般 | 1-③ | / | / | 活動指標 | | | / | 303,340 | / | 活動指標 | | | / | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 実施事業者の決定 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | 12月末 | | | | |
| 20 | 中学校教室環境対策事業費 | 一般 | - | 12,060 | / | 活動指標 | | | / | 0 | / | 活動指標 | | | / | |
| | | | | | | 6月から9月の測定結果に基づく検証の実施 | | | | | | — | - | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 終了 | 目標 | 実績 | | 評価 |
| | | | 10月末 | 10月末 | A | | | | | | | | | | | |
| 21 | 中学校トイレ改修事業費 | 一般 | 1-③ | / | / | 活動指標 | | | / | 102,424 | / | 活動指標 | | | / | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 6校の工事の完成 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | 6校 | | | | |
| 22 | 中学校給食配膳施設整備事業費 | 一般 | - | 49,623 | / | 活動指標 | | | / | 120,354 | / | 活動指標 | | | / | |
| | | | | | | 平成30年度工事着手に向けた学校関係者等との設計協議 | | | | | | → 現状維持 | 工事の完成 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 終了 |
| | | | 3回 | 3回 | A | | | | 1校 | | | | | | | |
| 23 | 三雲中学校校舎増築事業費 | 一般 | 1-③ | / | / | 活動指標 | | | / | 360,415 | / | 活動指標 | | | / | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 工事の完成 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | 1校 | | | | |
| 24 | 鎌田中学校校舎改築事業費 | 一般 | 1-③ | 72,372 | / | 活動指標 | | | / | 1,224,269 | / | 活動指標 | | | / | |
| | | | | | | 実施設計書の作成に向けた学校関係者等との協議 | | | | | | → 現状維持 | 平成31年度供用開始に向けた改築工事進捗 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 現状維持 |
| | | | 6回 | 6回 | A | | | | 40% | | | | | | | |

教育総務課 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-----------------|----|------|---------|---------|---------|----|---------|---------|---------|------|----|---------|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | |
| (1) | 大江中学校の将来を考える協議会 | | - | | | 協議会開催回数 | | — 終了 | | | - | | — 終了 | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 目標 | 実績 | | 評価 |
| | | | | | | 4回 | 7回 | | | | A | - | | - |

【課長シート】

| | | | |
|---|-------------|---|----------|
| 組織名 | 学校教育課 | 作成者(評価者) | 課長 有瀧 弘晃 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 子育ての支援体制を充実し、子どもたちが心身ともに健やかに成長する健康教育を推進します！ | |
| | 平成30年度 | 子育ての支援体制を充実し、子どもたちが心身ともに健やかに成長する健康教育を推進します！ | |
| 関係する『総合計画』施策 | 1-③ 学校教育の充実 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>変化の激しい社会で、子どもたちが安全・安心に学校生活を送るため、以下の取組を行います。</p> <p>①経済的な理由で就学困難な児童生徒の保護者に対し、学校で必要な物品費等の一部を援助することにより、義務教育の円滑な実施を図ります。</p> <p>②子どもの体力・運動能力が長期的に低下している現状から、子どもたちの運動習慣の確立、部活動の活性化、児童生徒の健康診断の実施等の事業を実施します。</p> <p>③子どもの健康増進・健全な生活習慣の確立の観点から、健康づくり課と共働し、「ピロリ菌検査」「フッ化物洗口」等の事業を実施します。</p> <p>④児童生徒の基本的な生活習慣や基礎学力の定着を図るため、学校の実情に合った教職員の適正配置に努めます。</p> | | | |

| |
|---|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所管事業において、ほぼ、目標を達成できました。 ・就学援助や校区変更についての保護者窓口対応においても、大きなトラブルなく対応できました。 ・新入学用品費を前倒しして、平成29年度より支給することができました。 ・ピロリ菌検査実施を平成30年度に控え、健康づくり課や各中学校、胃がん撲滅委員会との連絡調整を重ね、関係団体との連携も密にし、準備を進めることができました。 ・フッ化物洗口実施を平成30年度に控え、健康づくり課や該当6小学校、歯科医師会との連絡調整を重ね、学校現場の理解や協力体制等の準備を進めることができました。また、2019年（平成31年）度実施の6校についても、決定することができました。 ・各小中学校での欠員（産育休、病休、介護休等）に迅速に対応し、長期の欠員状態を出すことなく、講師の配置をすることができました。 ・例年、消防職員により「応急手当救命救急講習会」を実施していますが、平成29年度は、各校に配置している応急手当普及員の資格をもつ教員が消防職員に替わって、「応急手当救命救急講習会」の講師として講習会を実施することができました。（8校） |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教職員のストレスチェック実施率が90.4%に留まりました。平成30年度は、100%をめざし、教職員への周知を図ります。 |

学校教育課 事務・事業管理シート（予算事業）

239

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|--------------------|----|------|---------|---------|----------------------------|----|--------|-----------|---------|---------|----------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 高等学校・大学入学援助金 | 一般 | 1-③ | 960 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 800 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | ①広報まつさかへ掲載 ②行政チャンネル文字放送 | | | | | | ①広報まつさかへ掲載 ②行政チャンネル文字放送 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | ①1回 | 100% | A | | | | | ①1回 | | | | |
| | | | | ②2ヶ月 | | | | | | | ②2ヶ月 | | | | |
| 2 | 児童生徒安全対策支援事業費 | 一般 | 1-③ | 4,806 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 4,953 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 黄色帽子・ヘルメットの支給率 | | | | | | 黄色帽子・ヘルメットの支給率 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 100% | 100% | A | | | | | 100% | | | | |
| 3 | 要保護及び準要保護児童生徒援助事業費 | 一般 | 1-③ | 116,585 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 119,293 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | ①広報まつさかへ掲載 ②行政チャンネル文字放送 | | | | | | ①広報まつさかへ掲載 ②行政チャンネル文字放送 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | ①1回 | 100% | A | | | | | ①1回 | | | | |
| | | | | ②2ヶ月 | | | | | | | ②2ヶ月 | | | | |
| 4 | 特別支援教育就学奨励事業費 | 一般 | 1-③ | 6,287 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 7,535 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 対象者へチラシ配布 | | | | | | 対象者へチラシ配布 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 100% | 100% | A | | | | | 100% | | | | |
| 5 | 遠距離通学支援事業費 | 一般 | 1-③ | 5,381 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 5,287 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 対象児童生徒への交通費支給率 | | | | | | 対象児童生徒への交通費支給率 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 100% | 100% | A | | | | | 100% | | | | |
| 6 | 教育振興一般経費 | 一般 | 1-③ | 405 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 681 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 入学通知書送付率・申請承認した学校への支給率 | | | | | | 入学通知書送付率・申請承認した学校への支給率 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 100% | 100% | A | | | | | 100% | | | | |
| 7 | 要保護及び準要保護児童生徒援助事業費 | 一般 | 1-③ | 86,990 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 103,751 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | ①広報まつさかへ掲載 ②行政チャンネル文字放送 | | | | | | ①広報まつさかへ掲載 ②行政チャンネル文字放送 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | ①1回 | 100% | A | | | | | ①1回 | | | | |
| | | | | ②2ヶ月 | | | | | | | ②2ヶ月 | | | | |
| 8 | 特別支援教育就学奨励事業費 | 一般 | 1-③ | 4,257 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 5,248 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 対象者へチラシ配布 | | | | | | 対象者へチラシ配布 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 100% | 100% | A | | | | | 100% | | | | |

学校教育課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|----------------------|----|------|----------|----------|------------------------|------|----|-----------|----------|----------|------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 9 | 遠距離通学支援事業費 | 一般 | 1-③ | 724 | / | 対象児童生徒への交通費支給率 | | | → 現状維持 | 496 | / | 対象児童生徒への交通費支給率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 10 | 教育振興一般経費 | 一般 | 1-③ | 1,146 | / | 入学通知書送付率・申請承認した学校への支給率 | | | → 現状維持 | 1,161 | / | 入学通知書送付率・申請承認した学校への支給率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 11 | 結核対策事業費 | 一般 | 1-③ | 228 | / | 結核高蔓延国からの転入児童の検査受診率 | | | → 現状維持 | 249 | / | 結核高蔓延国からの転入児童の検査受診率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 12 | 児童・生徒の健康診断事業費 | 一般 | 1-③ | 51,017 | / | 健康診断実施校 | | | → 現状維持 | 51,396 | / | 健康診断実施校 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 47校 | 47校 | A | | | | 47校 | | | |
| 13 | 学校職員健康診断事業費 | 一般 | 1-③ | 10,180 | / | ストレスチェック受診率 | | | → 現状維持 | 10,040 | / | ストレスチェック受診率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 90% | B | | | | 100% | | | |
| 14 | スポーツエキスパート活用事業費 | 一般 | 1-③ | 882 | / | 外部指導者配置校 | | | → 現状維持 | 623 | / | 外部指導者配置校 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 7校 | 7校 | A | | | | 7校 | | | |
| 15 | 学校プール夏季休業中管理運営補助金 | 一般 | 1-③ | 1,750 | / | 補助金申請に対する支給率 | | | → 現状維持 | 1,700 | / | 補助金申請に対する支給率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |
| 16 | 松阪市学校保健会補助金 | 一般 | 1-③ | 156 | / | 保健会主催研修会への参加校 | | | → 現状維持 | 154 | / | 保健会主催研修会への参加校 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 47校 | 47校 | A | | | | 47校 | | | |
| 17 | 日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金 | 一般 | 1-③ | 12,163 | / | 災害申請に対する支給率 | | | → 現状維持 | 12,078 | / | 災害申請に対する支給率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | 100% | | | |

学校教育課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-------------------|----|--------|---------|---------|--------------|----|-----------|---------|---------|------------------|------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 18 | 学校水泳民間プール施設活用事業費 | 一般 | 1-③ | / | / | 活動指標 | | / | 2,042 | / | 第一小学校全学年5回10時限実施 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | | | | | | 100% | | | |
| 19 | 学校保健体育一般経費 | 一般 | 1-③ | 14,807 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | 14,681 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | A E D講習会参加者数 | | | | | A E D講習会参加者数 | | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | 3,000人 | 4,038人 | A | 3,000人 | | | | | | | | | |
| 20 | 児童生徒体育文化行事参加旅費補助金 | 一般 | 1-③ | 5,500 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | 5,000 | / | 活動指標 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 申請に対する支給率 | | | | | 申請に対する支給率 | | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | 100% | 100% | A | 100% | | | | | | | | | |

【課長シート】

| 組織名 | 学校支援課 | | 作成者（評価者） | 課長 萬濃 正通 |
|--|-------------|--|----------|----------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年 度 | 次世代を担う子どもたちが、確かな学力や豊かな人間性を培い、健康・体力のバランスのとれた成長を遂げられるよう取組の充実を図ります！ | | |
| | 平成30年 度 | 子どもたちに求められる資質・能力とは何かを地域と共有し、知・徳・体にわたる「生きる力」を子どもたちに育みます！ | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 1-③ 学校教育の充実 | | | |
| | 1-⑤ 人権教育の推進 | | | |
| 課の基本方針と使命 | | | | |
| <p>学校支援課は、変化の激しい社会に対応し、子どもたちに「社会を生き抜く力」を身につけさせるため、確かな学力と豊かな心を育成する教育を推進していきます。</p> <p>学校では、子どもたちの思考力、判断力、表現力、主体性、多様性、協働性などを育む教育や、心身ともに健やかな成長を促す教育が行われるよう支援していきます。</p> <p>また、コミュニティ・スクールの推進をはじめ地域の教育力を活用し、社会全体で子どもたちを見守り、安心して成長できる環境を整備し、子どもも大人も学び合い、ともに育つ教育体制を構築していきます。</p> | | | | |

| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | |
|--|--|
| 【達成できたこと】 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の目標とまとめを位置付けた授業づくりが充実し、各校の授業改善が進むなか、松阪市標準学力調査結果の標準スコアは、小学校が48.1、中学校が49.1となり、2年連続で前年度の数値を上回りました。 ・ 学級満足度尺度調査（Q-U）を活用し、子どもたちや学級の実態に即した指導を行うことにより、自分の学級の状態に満足している児童生徒の割合が、小学校で64.2%、中学校で69.2%となり前年度を上回りました。 ・ 県外の先進実践者を招聘したシンポジウムや講演会の開催、先進地視察など、地域住民等への周知・理解を図ることにより、コミュニティ・スクール設置校が6校（12.8%）となるなど、学校・家庭・地域が連携し一体となって子どもの豊かな育ちを確保する取組を進めました。 ・ ICT導入校である三雲中学校、殿町中学校、飯高中学校のICT機器を効率的に運用し、希望する未導入校の教員延べ37人に対して、タブレット端末を活用した授業を行える基本セット（タブレット端末10台、アクセスポイント、プロジェクター等）を貸出し、授業支援を行いました。実践を終えて、実践校の児童生徒は、ICTを活用することで、授業に興味関心を高め、特に人に考えを伝えること、人の考えを知ること に効果を実感し、実践をした教職員は、「これから松阪市の学校にタブレットが導入される前に体験ができてよかった。」「授業のイメージができた」「もっとやってみたい」との報告をしています。 ・ 「松阪市教育の情報化検討委員会」（委員長：聖心女子大学益川弘如教授）を年4回開催し、PTA代表者や学校長、教員、市職員ら12人の委員により、これまでの取組の検証と効果等を協議し、今後の方向性を打ち出した報告書を取りまとめました。 | |
| 【達成できなかったこと】 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校では、不登校児童生徒に対して、登校を促すための家庭訪問や別室登校など、地道で熱心な取組を行ってきたにも関わらず、不登校児童生徒の割合が小学校では、0.70%、中学校では、4.44%とともに増加しました。 ・ 子ども支援研究一般経費の活動指標を「印刷紙の年間総使用量の削減割合」とし、平成28年度比1%削減の目標を掲げていましたが、業務量の増加等により成果を得るには至りませんでした。 | |

学校支援課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|---------------------|----|------|----------|----------|-----------------------------|----|----|-----------|----------|----------|--|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 英語コミュニケーション力向上推進事業費 | 一般 | 1-③ | 40,735 | / | 活動指標 | | | ↗ 拡大 | 49,149 | / | 活動指標 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | イングリッシュキャンプの参加人数 | | | | | | イングリッシュキャンプの参加人数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 30人 | 45人 | A | | | | | 35人 | | | | |
| 2 | 人権教育ネットワーク推進事業費 | 一般 | 1-⑤ | 3,037 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 3,073 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 地域や保護者に開かれた学習会等の回数 | | | | | | 「自分には良いところがある」と回答した児童生徒の割合 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 44回 | 48回 | A | | | | | 76% | | | | |
| 3 | 教科書及び指導書導入事業費 | 一般 | 1-③ | 3,248 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 10,760 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 小中学校教員への教師用教科書及び指導書の支給率 | | | | | | 小中学校教員への教師用教科書及び指導書の支給率 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 100% | 100% | A | | | | | 100% | | | | |
| 4 | 科学芸術振興事業費 | 一般 | 1-③ | 1,350 | / | 活動指標 | | | ▶ 統合 | 0 | / | 活動指標 | | | — 終了 |
| | | | | | | 児童生徒科学作品展の出展者数 | | | | | | ※学力向上推進事業費に統合 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 380回 | 406回 | A | | | | | - | - | - | | |
| 5 | 特色ある学校づくり推進事業費 | 一般 | 1-③ | 13,480 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 14,427 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 地元との交流活動体験数（1校あたり） | | | | | | 地元との交流活動体験数（1校あたり） | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 20回 | 21回 | A | | | | | 20回 | | | | |
| 6 | 特別支援教育推進事業費 | 一般 | 1-③ | 84,524 | / | 活動指標 | | | ↗ 拡大 | 84,437 | / | 活動指標 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | アシスタント1人に対する特別支援学級在籍児童生徒数 | | | | | | アシスタント1人に対する特別支援学級在籍児童生徒数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 4.9人 | 5.17人 | A | | | | | 3.8人 | | | | |
| 7 | いじめ等対策事業費 | 一般 | 1-③ | 13,717 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 13,531 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 学級満足度尺度調査（Q-U）の実施校の割合 | | | | | | 学級満足度尺度調査（Q-U）における自分の学級の状態に満足している児童生徒の割合 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 91% | 91% | A | | | | | 65% | | | | |
| 8 | 地域の教育力活用推進事業費 | 一般 | - | 5,959 | / | 活動指標 | | | ↗ 拡大 | 5,842 | / | 活動指標 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 教職員と保護者、地域住民が教育についての意見交換の回数 | | | | | | コミュニティ・スクールを導入している学校の割合 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | 6回 | 6回 | A | | | | | 15% | | | | |

学校支援課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|--------------------|----|------|----------|----------|-----------------------------|------|-----------|----------|----------|---|---------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | 方針 | | |
| 9 | 郷土の偉人に学ぶ教育推進事業費 | 一般 | 1-③ | 1,503 | / | 郷土の偉人冊子を活用した実践交流会の参加人数 | | ↗ 拡大 | 1,563 | / | 郷土の偉人冊子を活用した実践交流会の参加人数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 40人 | 40人 | | | | A | 40人 | | | |
| 10 | 学力向上推進事業費 | 一般 | 1-③ | 9,801 | / | 指導主事の年間学校訪問回数 | | → 現状維持 | 10,107 | / | 標準学力調査における標準スコアの平均値 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 175回 | 187回 | | | | A | 49.0 | | | |
| 11 | 新たな学びの創造事業費 | 一般 | 1-③ | 51,081 | / | 導入校へのICT支援員の年間派遣回数 | | → 現状維持 | 61,813 | / | 「ICT機器を活用して、協働学習や課題解決型学習を行った」と回答した学校の割合 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 350回 | 613回 | | | | A | 小学校:70% | | | |
| 12 | 教育指導一般経費 | 一般 | 1-③ | 3,735 | / | 指導主事の先進地視察の派遣回数 | | → 現状維持 | 6,045 | / | 指導主事の先進地視察の派遣回数 | | ↗ 拡大 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 5人 | 5人 | | | | A | 5人 | | | |
| 13 | 外国人児童生徒いきいきサポート事業費 | 一般 | - | 17,058 | / | 母語スタッフ（2種）の雇用人数 | | ▶ 統合 | 0 | / | ※外国人児童生徒受入促進事業費に統合 | | — 終了 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 4人 | 4人 | | | | A | - | | - | - |
| 14 | 外国人児童生徒受入促進事業費 | 一般 | 1-⑤ | 5,133 | / | 日本語指導法連続講座参加者数 | | → 現状維持 | 21,850 | / | 日本語指導を受けた生徒のうち、日本に残り、就職または進学した生徒の割合 | | ↗ 拡大 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 50人 | 96人 | | | | A | 100% | | | |
| 15 | 人権学習推進事業費 | 一般 | - | 142 | / | 人権教育研修講座の年間開催講座数 | | ▶ 統合 | 0 | / | ※教職員研修事業費に統合 | | — 終了 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 4回 | 4回 | | | | A | - | | - | - |
| 16 | 教育支援センター推進事業費 | 一般 | 1-③ | 2,383 | / | 鈴の森教室に通う生徒の支援に関する保護者懇談の実施回数 | | → 現状維持 | 2,383 | / | 通室生の学校復帰に向けた改善率 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 1回 | 1回 | | | | A | 60% | | | |

学校支援課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|--------------------|----|------|---------|---------|---------------------|-------|-----------|---------|---------|-------------------------|-----|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 17 | 教育研究事業費 | 一般 | 1-③ | 1,120 | / | 今日的教育課題の研究集録の冊数 | | → 現状維持 | 969 | / | 研修員が調査・研究のために学校等を訪問する回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 2冊 | 2冊 | | | | A | 30回 | | | |
| 18 | 教職員研修事業費 | 一般 | 1-③ | 1,061 | / | 教職員研修講座開催数 | | → 現状維持 | 1,324 | / | 教職員研修講座の受講者の満足度 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 30講座 | 27講座 | | | | A | 95% | | | |
| 19 | 教育相談事業費 | 一般 | 1-③ | 3,778 | / | 広報やチラシ等で市民に知らせる年間回数 | | → 現状維持 | 3,778 | / | 広報やチラシ等で市民に知らせる年間回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 14回 | 14回 | | | | A | 14回 | | | |
| 20 | 子ども支援研究センター管理運営事業費 | 一般 | 1-③ | 15,476 | / | 職員による安全点検を毎月実施する回数 | | → 現状維持 | 15,277 | / | 職員による安全点検を実施する回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 2回 | 2回 | | | | A | 12回 | | | |
| 21 | 子ども支援研究センター施設整備事業費 | 一般 | 1-③ | 20,963 | / | 職員による安全点検を毎月実施する回数 | | → 現状維持 | 8,381 | / | 職員による安全点検を実施する回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 2回 | 2回 | | | | A | 12回 | | | |
| 22 | 子ども支援研究一般経費 | 一般 | 1-③ | 1,580 | / | 印刷紙の年間総使用量の削減割合 | | → 現状維持 | 1,813 | / | 職員による安全点検を実施する回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 1% | 0.55% | | | | C | 12回 | | | |

【課長シート】

| 組織名 | 生涯学習課 | 作成者（評価者） | 課長 藤武 利文 |
|---|--------|-----------------------------|----------|
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 社会が人を育み、人が社会をつくる社会教育を充実します！ | |
| | 平成30年度 | 学び続け合う生涯学習と青少年健全育成を推進します。 | |
| 関係する『総合計画』施策 | 1-① | 子育て支援の推進 | |
| | 1-④ | 青少年の健全育成 | |
| | 1-⑤ | 人権教育の推進 | |
| | 4-② | 生涯学習の推進 | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>生涯学習課は、市民一人ひとりの自発的な意思に基づく学習や活動を支援するために、市民が利用できる施設を生涯学習施設と位置付け、心地よく学べる生涯学習環境づくりを進めています。</p> <p>また、次世代を担う子どもたちが地域ですくすくと育つ環境づくりも進めています。</p> | | | |

| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
|--|
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブの支援については、平成29年度に委託事業から補助事業に転換することで、運営の外部委託を可能にし、保護者の負担軽減を図ることができました。 ・松阪図書館をリニューアルし、読み聞かせ室や図書の自動貸し出し機等のより快適な図書館利用を行うための施設整備を行い、生涯学習拠点施設としての機能の充実を図ることができました。 ・松阪公民館のマーム移転を行い、新たな形での生涯学習施設の拠点づくりに着手することができました。また、第一小講座室も整備し、市民の生涯学習意欲の多様なニーズに応えることができました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書室等支援事業は、台風21号によりビブリオバトル自体が中止となったことから目標達成にはいたりませんでした。 ・公民館管理運営事業費、生涯学習センター管理運営事業費等は、光熱水費の削減を指標にしていたが、松阪図書館改修に伴い、松阪公民館1階ホールを改修に伴う作業や嬉野図書館施設利用者増などにより、光熱水費が増加したため達成できませんでした。 |

生涯学習課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|---------------------|----|------|---------|---------|---------------------|------|-----------|---------|---------|------------------------|------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 1 | 教育集会所管理運営事業費 | 一般 | 1-⑤ | 2,785 | / | 施設の管理瑕疵による事故発生件数 | | → 現状維持 | 2,729 | / | 教育集会所利用者の安全確保のための点検の実施 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | ゼロ | ゼロ | | | | A | 24回 | | | |
| 2 | PTA連合会運営費補助金 | 一般 | 4-② | 793 | / | PTA連合会行事開催数 | | → 現状維持 | 777 | / | PTA連合会行事開催数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 5回 | 5回 | | | | A | 5回 | | | |
| 3 | 社会教育一般経費 | 一般 | 4-② | 2,012 | / | 公用車のガソリン代の削減率 | | → 現状維持 | 2,228 | / | 公用車のガソリン代の削減率 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 1.8% | -53% | | | | E | 1.8% | | | |
| 4 | 生涯学習振興事業費 | 一般 | 4-② | 14,050 | / | 講座開設数に対する子育て関連講座の割合 | | → 現状維持 | 14,420 | / | 講座開設数に対する子育て関連講座の割合 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 10% | 17% | | | | A | 10% | | | |
| 5 | 公民館管理運営事業費 | 一般 | 4-② | 118,836 | / | 光熱水費の削減率 | | ↗ 拡大 | 134,992 | / | 松阪公民館利用者利用満足度 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 0.1% | -5% | | | | E | 80% | | | |
| 6 | 公民館施設整備事業費 | 一般 | 4-② | 79,284 | / | 第一・幸公民館トイレ改修の進捗率 | | ↘ 縮小 | 13,091 | / | 第二公民館トイレ改修の進捗率 | | ↗ 拡大 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 100% | 100% | | | | A | 100% | | | |
| 7 | 中川コミュニティセンター管理運営事業費 | 一般 | 4-② | 5,214 | / | 光熱水費の削減率 | | → 現状維持 | 5,179 | / | 利用者数の増加率 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 0.1% | -5% | | | | E | 1.0% | | | |
| 8 | 生涯学習センター管理運営事業費 | 一般 | 4-② | 18,511 | / | 光熱水費の削減率 | | → 現状維持 | 17,669 | / | 利用者数の増加率 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 0.1% | -6% | | | | E | 1.0% | | | |
| 9 | 図書館管理運営事業費 | 一般 | - | 147,811 | / | 貸出冊数及び利用者数の増加率 | | ↗ 拡大 | 156,564 | / | 貸出冊数及び利用者数の増加率 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 2% | 67% | | | | A | 5% | | | |

生涯学習課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|-----------------|----|------|-----------|----------|--------------------|------|----|-----------|----------|----------|-----------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 10 | 図書館施設整備事業費 | 一般 | - | 1,018,525 | / | 松阪図書館改修工事の進捗率 | | | — 終了 | 0 | / | - | | | — 終了 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | - | - | - | |
| 11 | 学校読書室等支援事業費 | 一般 | 4-② | 21,383 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 19,283 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | ビブリオバトルへの中学生の出場者数 | | | | | | 図書館を使った調べる学習コンクール出点作品 点数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 12人 | - | - | | | | 150点 | | | |
| 12 | 放課後児童クラブ施設整備事業費 | 一般 | 1-① | 51,423 | / | 活動指標 | | | … 定期 | 0 | / | - | | | … 定期 |
| | | | | | | 放課後児童クラブ施設整備事業の進捗率 | | | | | | - | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100% | 100% | A | | | | - | - | - | |
| 13 | 青少年健全育成事業費 | 一般 | 1-④ | 7,557 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 6,849 | / | 青少年育成のつどい講演会の満足度 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 青少年育成のつどい講演会の満足度 | | | | | | 青少年育成のつどい講演会の満足度 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 90% | 82% | B | | | | 90% | | | |
| 14 | 新成人のつどい開催事業費 | 一般 | 1-④ | 557 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 591 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 新成人による実行委員会開催数 | | | | | | 新成人による実行委員会開催数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 6回 | 6回 | A | | | | 6回以上 | | | |
| 15 | こどもまつり事業費 | 一般 | 1-④ | 2,135 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 2,174 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | こどもまつりの参加団体数 | | | | | | こどもまつりの参加団体数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 30団体 | 32団体 | A | | | | 32団体 | | | |
| 16 | 子ども会連合会補助金 | 一般 | 1-④ | 294 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 294 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 子ども会連合会行事開催数 | | | | | | 子ども会連合会行事開催数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 20回 | 21回 | A | | | | 20回 | | | |
| 17 | 放課後子ども教室推進事業費 | 一般 | 1-④ | 2,363 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 2,363 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 子ども教室開催回数 | | | | | | 子ども教室開催回数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 230回 | 198回 | B | | | | 230回 | | | |
| 18 | 青少年センター運営事業費 | 一般 | 1-④ | 12,289 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 12,610 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 青少年補導実施回数 | | | | | | 青少年補導実施回数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 580回 | 460回 | B | | | | 580回 | | | |

生涯学習課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|------------------|----|------|---------|---------|------------------|------|-----------|---------|---------|----------------------|-----|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 19 | 堀坂山の家管理運営事業費 | 一般 | 1-④ | 466 | | 施設の管理瑕疵による事故発生件数 | | → 現状維持 | 420 | | 施設のあり方に関する地元協議 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | ゼロ | ゼロ | | | | A | 2回 | | | |
| 20 | 放課後児童クラブ活動事業費 | 一般 | 1-① | 206,744 | | 放課後児童クラブ実施校区数 | | ↗ 拡大 | 260,652 | | 支援員・補助員の研修会の回数(市主催分) | | ↗ 拡大 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 33校区 | 33校区 | | | | A | 10回 | | | |
| 21 | 放課後児童クラブ連絡協議会補助金 | 一般 | 1-① | 234 | | 支援員・補助員の研修会の回数 | | → 現状維持 | 234 | | 支援員・補助員の研修会の回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 6回 | 6回 | | | | A | 6回 | | | |

【課長シート】

| | | | |
|---|---------------|--------------------------------------|----------|
| 組織名 | スポーツ課 | 作成者（評価者） | 課長 松林 正人 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します！ | |
| | 平成30年度 | いつでも・どこでも・いつまでも気軽に楽しめるスポーツライフを実現します。 | |
| 関係する『総合計画』施策 | 2-② 生涯スポーツの推進 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>スポーツ課は、「松阪市スポーツ振興計画」に基づき、市民が、いつでも、どこでも、いつまでも個人のライフスタイルに応じてスポーツに親しみ、楽しむことができる環境を整えるとともに、スポーツを通じて豊かな生活を送れるよう、健康の保持増進や生きがいづくりにつながる振興策に取り組んでいます。</p> <p>低年齢からスポーツに触れ合う機会を増加させるなど、スポーツのすそ野を広げ、より多くの市民が気軽にスポーツに参加する機会の提供を図るなど具体的な施策を進めていきます。</p> | | | |

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

- ・幼児を対象に開催した「キッズコーディネーショントレーニング」については、30組60人の定員に対し、即時定員となり、事業終了後には、「日頃、スポーツを行っていない」という保護者から「スポーツが身近に感じられるものになった」などの意見が多くありました。今後も幼児と親子向けの教室から高齢者向けのプログラムまで、幅広い年齢層の市民が身近にスポーツを感じていただける取組を進めていきます。
- ・三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催周知を図るため、イベント事業での広報活動を2回行い、多くの方に「開催年、開催種目」を知っていただくことができました。今後は、国体推進室において、開催周知に努め、市民のスポーツへの関心の向上を図りながら大会の成功に向け取組を進めていきます。

【達成できなかったこと】

- ・スポーツ激励会の開催について、年4回以上の目標に対し3回の開催で目標を達成できませんでした。今年度は、開催時期を概ね2.5か月毎にすることで、4回以上をめざします。
- ・第13回松阪シティマラソンの参加者数は前年度比192人増の2,834人でしたが、目標を達成できませんでした。ただし、ハーフマラソンの参加者数は年々増加しており、フルマラソンへの移行を踏まえ、また、各地のマラソン大会でのPR活動の実施や第13回大会の反省を踏まえ、タイム計測実施方法をグロスタイム計測からネットタイム計測への変更を検討するなどして、参加者増をめざしていきます。
- ・各競技団体の組織強化に関する講習会について未実施となりました。活動指標を「各競技の実施回数」に見直していきます。
- ・スポーツ少年大会の市内開催数について、6回の目標に対し、5回であり目標を達成できませんでした。活動指標を「スポーツ少年大会の参加者数」に見直していきます。
- ・三重県市町対抗駅伝大会の小学5・6年生と中学生の選手選考参加申込者数は、前年度比21人減の36人で目標を達成できませんでした。陸上のスポーツクラブの減少に伴い競技者数の減少が主な理由であり、T A I K Y Oスポーツクラブなどにより競技人口の減少を食い止めることや各小中学校の児童生徒への参加呼びかけを積極的に行い、陸上競技を行っていない児童生徒からの発掘を行います。また、活動指標について、沿道での応援を増やすため「駅伝開催のPR活動の回数」に見直していきます。
- ・B & G海洋センター体育館利用のスポーツ大会の開催数について、積雪による中止が一回あったことから目標を達成できませんでした。

スポーツ課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|------------------|----|------|----------|----------|-----------------------|--------|-----------|----------|----------|------------------------|--------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | 方針 | | |
| 1 | スポーツ推進委員活動事業費 | 一般 | 2-② | 2,773 | / | 推進委員への研修内容報告回数 | | → 現状維持 | 2,825 | / | 推進委員への研修内容報告回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 1回 | 1回 | | | | A | 1回 | | | |
| 2 | 全国大会等出場派遣支援事業費 | 一般 | 2-② | 4,936 | / | スポーツ激励会の開催回数 | | → 現状維持 | 5,723 | / | スポーツ激励会の開催回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 4回以上 | 3回 | | | | B | 4回以上 | | | |
| 3 | スポーツ大会等運営事業費 | 一般 | 2-② | 3,191 | / | 市長杯スポーツ大会の参加者数 | | → 現状維持 | 3,367 | / | 市長杯スポーツ大会の参加者数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 3,800人 | 3,793人 | | | | A | 3,900人 | | | |
| 4 | シティマラソン事業費 | 一般 | 2-② | 8,000 | / | 大会参加者数 | | ↗ 拡大 | 8,000 | / | ハーフマラソンの参加申込者数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 3,200人 | 2,834人 | | | | B | 1,500人 | | | |
| 5 | フルマラソン準備事業費 | 一般 | - | / | / | 活動指標 | | / | 3,772 | / | ①準備委員会の開催数 ②先進地視察回数 | | ↗ 拡大 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | | | | | | ①4回 | | | |
| 6 | 市体育協会加盟団体育成強化補助金 | 一般 | 2-② | 1,900 | / | 各競技団体の組織強化に関する講習会開催回数 | | → 現状維持 | 1,849 | / | 各競技団体主催の大会実施回数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 1回 | 0回 | | | | E | 10大会 | | | |
| 7 | スポーツ少年大会等補助金 | 一般 | 2-② | 758 | / | 市内で開催する大会回数 | | → 現状維持 | 758 | / | 市内で開催する大会の参加者数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 6回 | 5回 | | | | B | 1,400人 | | | |
| 8 | スポーツ少年団補助金 | 一般 | 2-② | 3,240 | / | スポーツ少年団登録者数 | | → 現状維持 | 3,180 | / | スポーツ少年団登録者数 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 1,080人 | 1,110人 | | | | A | 1,150人 | | | |

スポーツ課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|---------------------|----|------|----------|----------|--------------------------------|--------------|----|-----------|----------|----------|--------------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 9 | 総合型地域スポーツクラブ推進事業補助金 | 一般 | 2-② | 400 | / | ①大人の参加できる教室数 ②未就学児から参加できる教室 | | | → 現状維持 | 400 | / | ①大人の参加できる教室数 ②未就学児から参加できる教室 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | ①5教室 ②5教室 | ①5教室 ②7教室 | A | | | | ①5教室 ②5教室 | | | |
| 10 | 三重県市町対抗駅伝大会事業費 | 一般 | 2-② | 1,300 | / | 小学5・6年生、中学生の選手選考参加申込者数 | | | → 現状維持 | 1,300 | / | 参加者募集告知方法の数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 65人 | 36人 | C | | | | 7方法 | | | |
| 11 | 体育振興一般経費 | 一般 | 2-② | 2,703 | / | スポーツ推進計画に基づく具体的事業の先進地視察 | | | → 現状維持 | 2,761 | / | 事務の効率化により一人当たりの時間外勤務時間の削減 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1回 | 2回 | A | | | | 1% | | | |
| 12 | 体育施設管理運営事業費 | 一般 | 2-② | 21,051 | / | 体育施設8施設の利用者数 | | | → 現状維持 | 20,977 | / | 体育施設9施設の利用者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 87,600人 | 103,561人 | A | | | | 104,000人 | | | |
| 13 | 体育施設整備事業費 | 一般 | 2-② | 16,065 | / | 体育施設整備箇所数 | | | → 現状維持 | 23,480 | / | 体育施設整備箇所数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2か所 | 2か所 | A | | | | 3か所 | | | |
| 14 | 松阪公園プール管理運営事業費 | 一般 | 2-② | 16,943 | / | 25mプールに水泳や水中歩行のためのコースロープを設置 | | | → 現状維持 | 19,595 | / | 松阪公園プール利用者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 専用2レーン | 専用2レーン | A | | | | 10,000人 | | | |
| 15 | 阪内川スポーツ公園管理運営事業費 | 一般 | 2-② | 28,736 | / | 阪内川スポーツ公園施設利用者数 | | | → 現状維持 | 30,041 | / | 阪内川スポーツ公園施設利用者数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 64,400人 | 64,247人 | A | | | | 65,000人 | | | |
| 16 | 阪内川スポーツ公園施設整備事業費 | 一般 | 2-② | 7,479 | / | 阪内川スポーツ公園施設整備箇所数 | | | ↗ 拡大 | 46,008 | / | 阪内川スポーツ公園施設整備箇所数 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1か所 | 1か所 | A | | | | 1か所 | | | |

スポーツ課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-------------------|----|------|---------|---------|-------------------|----|--------|-----------|---------|---------|-------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額(千円) | 決算額(千円) | 活動指標 | | | 方針 | 予算額(千円) | 決算額(千円) | 活動指標 | | | 方針 |
| 17 | 指定管理者選定委員会事業費 | 一般 | - | / | / | 活動指標 | | | / | 72 | / | 活動指標 | | | *** 定期 |
| | | | | | | 指定管理選定委員会の開催数 | | | | | | 指定管理選定委員会の開催数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | | | | | | | | | |
| 18 | 中部台運動公園施設管理運営事業費 | 一般 | 2-② | 105,294 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 109,191 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 中部台運動公園施設利用者数 | | | | | | 中部台運動公園施設利用者数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 120,000人 131,355人 | | | 135,000人 | | | | | | |
| 19 | 中部台運動公園施設整備事業費 | 一般 | 2-② | 27,850 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 15,660 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 中部台運動公園施設整備箇所数 | | | | | | 中部台運動公園施設整備箇所数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2か所 2か所 A | | | 1か所 | | | | | | |
| 20 | スポーツ文化センター管理運営事業費 | 一般 | 2-② | 25,937 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 | 23,982 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | スポーツ文化センター利用数 | | | | | | スポーツ文化センター利用数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 36,000人 33,942人 A | | | 36,000人 | | | | | | |
| 21 | 海洋センター管理運営事業費 | 一般 | 2-② | 9,800 | / | 活動指標 | | | ↘ 縮小 | 7,663 | / | 活動指標 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 体育館利用のスポーツ大会の開催回数 | | | | | | B & G 海洋センターの利用者数 | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 3回以上 2回 B | | | 4,500人 | | | | | | |

【課長シート】

| | | | |
|---|---------------|----------------------------|----------|
| 組織名 | 国体推進室 | 作成者（評価者） | 室長 山口 真澄 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 三重とこわか国体・三重とこわか大会のPRを進めます！ | |
| | 平成30年度 | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 2-② 生涯スポーツの推進 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>2021年（平成33年）度開催の三重とこわか国体（第76回国民体育大会）、三重とこわか大会（第21回障害者スポーツ大会）の円滑な運営に向け、体制の強化を図るため、今年度、スポーツ課から独立した組織として「国体推進室」を設置しました。</p> <p>本市の開催競技は、三重とこわか国体ではアーチェリー、高等学校野球（軟式）、ゲートボール、健康体操、日本拳法、ペタンク、多気町と共同開催のカヌー（スラローム・ワイルドウォーター）の7競技で、また、三重とこわか大会では、アーチェリー（身体障がい）の1競技です。両大会の開催により、市民のスポーツへの関心を高め、更なるスポーツ活動の普及・発展に大きく寄与するとともに地域の活性化にもつながるよう準備を進めています。</p> <p>さらに、市民への大会のPRについて進めます。特に、大会のイメージソング「未来に響け」の歌唱 野田愛実氏、編曲 牧戸太郎氏が共に松阪市出身であることから、大会イメージソング・ダンスを活用し、小中学校からもPRできるよう関係団体と協議しながら進めます。</p> | | | |

| | |
|--|--|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <p>※平成30年度新設部署</p> | |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <p>※平成30年度新設部署</p> | |

国体推進室 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-----------------|----|------|---------|---------|-------------|----|--------|---------|---------|------|--------------------|----|----|---------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 1 | 第76回国民体育大会準備事業費 | 一般 | 2-② | 2,062 | / | 国体準備委員会開催回数 | | | ↗ 拡大 | 7,250 | / | 国体準備委員会(実行委員会)開催回数 | | | ↗ 拡大 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 2回 | A | | | | 3回 | | | |

【課長シート】

| | | | | |
|---|--------------------|--------------------------------|-----------------|-----------------|
| 組織名 | 給食管理課 | | 作成者（評価者） | 課長 上山 孝一 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 安全・安心で魅力ある学校給食の充実を図ります！ | | |
| | 平成30年度 | 安全・安心で魅力ある学校給食の充実を図ります！ | | |
| 関係する『総合計画』施策 | 1－③ 学校教育の充実 | | | |
| | 1－③ 学校教育の充実 | | | |
| 課の基本方針と使命 | | | | |
| <p>給食管理課は、児童・生徒のみなさんに安全・安心で魅力ある給食の提供を行います。</p> <p>給食施設も老朽化が進んでいるため、計画的な改修や設備の更新を行うことで衛生管理や作業効率の向上を図ります。</p> <p>近年、食物アレルギーを持つ児童・生徒は増加傾向にあり、かつ多様化していることから、「学校におけるアレルギー疾患対応の手引」に沿って安全性を最優先に適切な対応を行います。また、感染症・食中毒や異物混入などに対する危機管理研修や新メニュー試作などの調理研修を行い、調理員の意識と技術の向上を図ります。</p> <p>さらに、学校給食が食育の「生きた教材」として活用されるよう、旬の地場産物を取り入れた「ちゃちゃもランチ」等の取組を進め、学校（園）では、食育担当教員や栄養教諭を中心に子どもたちが食に関する正しい知識と健全な食生活を実践できる資質・能力を身につけることができるよう、食育を進めます。</p> | | | | |

平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

- ・給食室の床改修や空調設備設置、また備品等の更新を行い、衛生管理や調理員の作業能率向上を図ることができました。併せて、調理員に対する衛生管理等の研修会を実施し、調理環境を原因とする労災や食中毒、異物混入事故の発生予防に努めました。
- ・食物アレルギーを有する児童・生徒の実態調査や研修会を行うとともに、メニューや調理方法を工夫することにより、安全・安心な食物アレルギー対応食（除去食）の提供に努めました。
- ・市民給食試食会の開催を通じて、市民のみなさんに食材の産地や流通、調理への関心を深め、学校給食事業への理解を深めていただくことができました。また、給食で使用する主要食材の産地を市ホームページ等で公表しました。
- ・北部学校給食センター建設に向けて、業者選定・業者決定を行い設計・施工・維持管理・運営まで全ての契約を締結しました。また、設計業務も順調に進んでおり、予定通り平成30年7月からの建設工事開始に向けて進めることができました。

【達成できなかったこと】

- ・旬の地場産物を取り入れた「ちゃちゃもランチ」の実施など、給食で使用する食材は可能な限り市内産や県内産のものを使用することで地産地消の推進に取り組みましたが、天候不良等により県内産のものだけを調達することが困難な場合も多く、地場産物使用割合は28.3%に留まりました。

給食管理課 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | | 平成30年度 | | | | | | |
|-----|----------------------|----|------|---------|---------|----------------------------|-----|----|-----------|---------|---------|----------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 学校給食単独調理場管理運営事業費 | 一般 | 1-③ | 191,477 | / | 調理員への食中毒防止や異物混入等危機管理研修会の開催 | | | → 現状維持 | 183,831 | / | 調理員への食中毒防止や異物混入等危機管理研修会の開催 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 2回 | A | | | | 2回 | | | |
| 2 | 学校給食単独調理場施設整備事業費 | 一般 | 1-③ | 3,672 | / | 給食室床の改修 | | | → 現状維持 | 4,104 | / | 給食室床の改修 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1校 | 1校 | A | | | | 1校 | | | |
| 3 | 学校給食単独調理場備品等整備事業費 | 一般 | 1-③ | 23,735 | / | 給食室への空調設備の設置（未設置18校） | | | → 現状維持 | 5,986 | / | 食器消毒保管庫の更新 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 1校 | 1校 | A | | | | 1校 | | | |
| 4 | 学校給食センター管理運営事業費 | 一般 | 1-③ | 122,109 | / | 調理員への食中毒防止や異物混入等危機管理研修会の開催 | | | → 現状維持 | 120,935 | / | 調理員への食中毒防止や異物混入等危機管理研修会の開催 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 2回 | A | | | | 2回 | | | |
| 5 | 学校給食センター備品等整備事業費 | 一般 | 1-③ | 9,860 | / | 中学校給食用リフトの改修 | | | → 現状維持 | 27,466 | / | 中学校給食用リフトの改修 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2校 | 2校 | A | | | | 2校 | | | |
| 6 | 学校給食センターバルコニー管理運営事業費 | 一般 | 1-③ | 160,213 | / | 市民給食試食会の開催 | | | → 現状維持 | 159,388 | / | 市民給食試食会の開催 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 2回 | 2回 | A | | | | 2回 | | | |
| 7 | 北部学校給食センター建設事業費 | 一般 | 1-③ | 114,891 | / | 平成31年9月提供開始に向けた事業の進捗率 | | | → 現状維持 | 686,192 | / | 平成31年9月提供開始に向けた事業の進捗率 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 70% | 70% | A | | | | 90% | | | |

【部局長シート】

平成30年度 議会事務局の「実行宣言」

| | | |
|--------------|----|--------|
| 作成者 (評価者) | 局長 | 福島 ひろみ |
|--------------|----|--------|

| 基本方針と使命 |
|--|
| 議会事務局は、議決機関である議会の補佐機関であり、「円滑な議会運営に必要な業務を進める」、「議会及び議員の活動をサポートする」などの役割があります。議会は、二元代表のもと、市民の負託に応えるため、政策に対して重要な意思決定を委ねられているとともに、監視機能や調査機能を有し、市政が適正に行われているかをチェックしています。こうした議会の権限と責任は大きく、議会をサポートする議会事務局の役割も大きいといえます。そして、議会改革の推進を図り、広報広聴機能の充実と、市民の声を反映した政策課題に取り組む委員会活動をサポートしていきます。 |

| | |
|----------------|---|
| 『松阪市総合計画』との関わり | — |
|----------------|---|

| 平成29年度の評価 | | | |
|--|---|----|---|
| 評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下) | | | |
| 宣言① | サポート体制の強化を図り、市民と議会をつなぎます。 ～議会活動の情報を、早く・わかりやすく、市民の皆さんに伝えま す～ | 評価 | A |
| 【主な理由】 議会だより「みてんか」では、松阪工業高校の生徒の議場見学や松阪商工会議所女性部との意見交換会の様子を掲載するなど、市民参加型の広報とする工夫をし、音声によるホームページ公開も実施しました。 | | | |
| 部局マネジメント方針 | | | |
| 情報共有とチームワークで、議会活動をサポートします。 | | 評価 | A |
| 一人ひとりが専門的知識の習得に努め、事務局全体の能力向上を図ります。 | | 評価 | A |



| 平成30年度 議会事務局の「実行宣言」 | | | |
|-----------------------------|--|--|--|
| 宣言① | 議会白書の作成と、委員会活動等での 政策課題への取組をサポートします。 | | |
| 部局マネジメント方針 | | | |
| 情報共有とチームワークで、議会活動をサポートします。 | | | |
| 議会改革の推進に向けて、職員も意識向上に取り組みます。 | | | |

【課長シート】

| | | | |
|--|--------|---|-----------|
| 組織名 | 議会事務局 | 作成者（評価者） | 局長 福島 ひろみ |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | サポート体制の強化を図り、市民と議会をつなぎます。 ～議会活動の情報を、早く・わかりやすく、市民の皆さんに伝えます～ | |
| | 平成30年度 | 議会白書の作成と、委員会活動等での 政策課題への取組をサポートします。 | |
| 関係する『総合計画』施策 | — | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>議会事務局は、議事・調査・総務の業務体制で、円滑な議会運営に努めています。議会の権限である議決権や検査権、調査権などが十分に機能し、市民福祉の向上に資することが議会の使命であり、事務局は、そのための議会活動をサポートします。そして、「開かれた議会」に対応すべく、議会の活動情報を市民に伝える、議会への市民参加を促す、広報広聴機能の充実が必要と考えます。平成30年度は、議会改革の取組として、わかりやすい議会白書の作成や委員会活動の充実・強化等があり、さらに、新しい特別委員会も設置されたことから、適切なサポートに努めます。</p> | | | |

| |
|--|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会活動事業では、議長、委員長等の議事及び議員活動をサポートし、円滑な議会運営に努めました。議員の政策能力向上のための行政視察では72%の満足度があり、議会力の向上を図りました。 ・議会広報事業では、議会日より「みてんか」を住民参加型広報とするよう工夫し、ホームページでの音声による公開（発行5回）も実施しました。また、市ホームページ、「ぎゅうっと松阪（フェイスブック）」への議会情報の発信をタイムリーに行いました。 ・職員が議会運営及び法務能力の向上に資する研修会等に参加し、事務局体制の強化に努めました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政務活動費については、交付率が32%でした。このことは、昨年7月に改選が行われたため、その前後に分けた交付となったこと、また、退任された議員においては、特に積極的な活用が図られなかったことが挙げられます。 ・会議録作成事業においては、9月議会の議事録が11月議会までに公開できませんでした。これは、9月議会が決算議会であり、その会議録量が多く、また、11月議会との期間も短いことが要因です。 |

議会事務局 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|------------|----|------|---------|---------|----------------------|-----|-----------|---------|---------|--------------------|------|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 1 | 議会活動事業費 | 一般 | - | 8,043 | / | 行政視察内容の満足度 | | ↗ 拡大 | 8,838 | / | 専門的知見の活用 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 80% | 72% | | | | A | 4回 | | | |
| 2 | 政務活動費補助金 | 一般 | - | 8,400 | / | 議員の調査研究等の活動費を交付 | | → 現状維持 | 8,400 | / | 議員の調査研究等の活動費を交付 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 100% | 33% | | | | D | 100% | | | |
| 3 | 議会広報事業費 | 一般 | - | 10,964 | / | 「みてんか」の音声によるホームページ公開 | | ↗ 拡大 | 11,327 | / | わかりやすい議会白書の作成と全戸配布 | | ↘ 縮小 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 5回 | 5回 | | | | A | 1回 | | | |
| 4 | 会議録作成事業費 | 一般 | - | 4,791 | / | 会議録を次期定例会までにホームページ公開 | | → 現状維持 | 5,060 | / | 会議録を次期定例会までに作成 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 4回 | 3回 | | | | B | 4回 | | | |
| 5 | 議会公用車購入事業費 | 一般 | - | 4,980 | / | 安全で機能的な車を効果的に購入 | | — 終了 | 0 | / | - | | — 終了 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 1台 | 1台 | | | | A | - | | - | - |
| 6 | 議会一般経費 | 一般 | - | 7,985 | / | コピーカウント料の前年度比の減 | | → 現状維持 | 7,772 | / | コピーカウント料の対前年度比の削減 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 5% | 32% | | | | A | 5% | | | |

平成30年度 農業委員会事務局の「実行宣言」

| | | |
|--------------|----|-------|
| 作成者 (評価者) | 局長 | 金谷 一也 |
|--------------|----|-------|

| 基本方針と使命 | |
|---|--|
| <p>農業委員会は、農業生産力の増進及び農業経営の合理化を図り、農業の健全な発展に寄与することを目的に、市に設置された行政委員会です。市長が議会の同意を得て任命する農業委員と、農業委員会が委嘱し新たに設置する農地利用最適化推進委員により構成されます。</p> <p>農地売買・貸借などの権利移動や農地転用の許認可業務のほか、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など、農地等の利用の最適化の推進を行っています。また、農業者の老後の生活の安定及び福祉の向上を図ることを目的として設立された農業者年金の受託事務を行っています。本年度も市の総合計画に掲げる10年後のめざす姿である「耕作面積の維持100%」を実現するために、農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の調査・解消等の活動を強化します。</p> | |

| | |
|----------------|-----------------|
| 『松阪市総合計画』との関わり | 3 活力ある産業（農業の振興） |
|----------------|-----------------|

| 平成29年度の評価 | | | | | |
|---|---------------------|------------------|---------|----|---|
| 評価基準…A（90%以上）、B（70～89%）、C（50～69%）、D（30～49%）、E（29%以下） | | | | | |
| 宣言① | 農地利用の最適化を推し進めていきます。 | | | 評価 | A |
| 【主な理由】 | | | | | |
| <p>農地利用の新規集積面積については、ほぼ目標を達成できました。</p> <p>耕作放棄地解消面積については、農業委員・農地利用最適化推進委員との協働により、目標を上回ることができました。</p> <p>また、農地転用事務による残業も少なく目標を概ね達成することができました。</p> | | | | | |
| 部局マネジメント方針 | | | | | |
| 農業委員・農地利用最適化推進委員と事務局のコミュニケーションを強化し協働体制を確立します。 | | | | 評価 | A |
| 事務局の総時間外勤務を3%削減します。 | | | | 評価 | A |
| 『松阪市総合計画』関係施策の進捗度 | | | | | |
| | 施策名 | 3 活力ある産業（①農業の振興） | 目標（H31） | 評価 | |
| ① | 活動指標 | 農地利用の新規集積面積 | 260 ha | B | |
| | 活動指標 | 耕作放棄地解消面積 | 6 ha | B | |



| 平成30年度 農業委員会事務局の「実行宣言」 | | | | |
|---|---------------------|--|--|--|
| 宣言① | 農地利用の最適化を推し進めていきます。 | | | |
| 部局マネジメント方針 | | | | |
| 農業委員・農地利用最適化推進委員と事務局のコミュニケーションを強化し協働体制を確立します。 | | | | |

【課長シート】

| | | | |
|---|-----------|------------------------------|----------|
| 組織名 | 農業委員会事務局 | 作成者（評価者） | 局長 金谷 一也 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 農地の利用の最適化を押し進めていきます。 | |
| | 平成30年度 | 本年度も引き続き農地の利用の最適化を押し進めていきます。 | |
| 関係する『総合計画』施策 | 3-① 農業の振興 | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>農業委員会は、農業生産力の増進及び農業経営の合理化を図り、農業の健全な発展に寄与することを目的に、市に設置された行政委員会です。市長が議会の同意を得て任命する農業委員と、農業委員会が委嘱し新たに設置する農地利用最適化推進委員により構成されます。</p> <p>農地売買・貸借などの権利移動や農地転用の許認可業務のほか、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など、農地等の利用の最適化の推進を行っています。また、農業者の老後の生活の安定及び福祉の向上を図ることを目的として設立された農業者年金の受託事務を行っています。本年度も市の総合計画に掲げる10年後のめざす姿である「耕作面積の維持100%」を実現するために、農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の調査・解消等の活動を強化します。</p> | | | |

| |
|--|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農地利用の新規集積面積については、ほぼ目標を達成することができました。 ・ 耕作放棄地解消面積については、目標を上回る結果となりました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業者年金新規加入者については、加入促進活動を行うも確保できませんでした。 |

農業委員会事務局 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|--------|------------|----|--------|---------|---------|-------------------|----|-----------|---------|---------|-------------------|----|-----------|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| 1 | 農業者年金事務事業費 | 一般 | 3-① | 621 | / | 加入促進活動による新規加入者の確保 | | → 現状維持 | 629 | / | 加入促進活動による新規加入者の確保 | | → 現状維持 | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 2人 | 0人 | | | | E | 2人 | | | |
| 2 | 農業委員会活動事業費 | 一般 | 3-① | 21,532 | / | 活動指標 | | ↗ 拡大 | 25,936 | / | 活動指標 | | ↗ 拡大 | | |
| | | | | | | ①農地利用の新規集積面積 | | | | | ①農地利用の新規集積面積 | | | | |
| | | | | | | ②耕作放棄地解消面積 | | | | | ②耕作放棄地解消面積 | | | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| ①230ha | ①229ha | A | ①260ha | | | | | | | | | | | | |
| ②3ha | ②4.2ha | | ②6ha | | | | | | | | | | | | |

平成30年度 監査委員事務局の「実行宣言」

| | | |
|--------------|----|-------|
| 作成者 (評価者) | 局長 | 中西 範子 |
|--------------|----|-------|

| 基本方針と使命 |
|--|
| <p>監査委員事務局は、監査委員を補助する組織として、監査委員の指揮のもと公正、公平で実効性のある監査等を実施し、市民の行政に対する信頼を深めることを使命としています。</p> <p>この使命を達成するため次に掲げる方針を具体化していきます。</p> <p>○監査機能の強化に努め、実効性の高い監査を実施します。</p> <p>○専門的知識の習得及び資質の向上を図ります。</p> <p>○監査の結果等の情報を市民に分かりやすく情報発信します。</p> |

| | |
|--------------------|---|
| 『松阪市総合計画』 との関わり | — |
|--------------------|---|

| 平成29年度の評価 | | | |
|--|--------------------------|----|---|
| 評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下) | | | |
| 宣言① | 経済性、効率性、有効性の視点による財務監査の実施 | 評価 | A |
| 【主な理由】 全国都市監査委員会の「都市監査基準」に準拠し、監査実施計画に基づく財務監査を実施しました。 指摘要望事項等については、改善、検討を求め監査結果を公表しました。 | | | |
| 職員間のコミュニケーションが活性化され、自由闊達な意見交換ができる明るい職場づくりに努めます。 | | 評価 | A |



| 平成30年度 監査委員事務局の「実行宣言」 | |
|--------------------------------|-----------------|
| 宣言① | 監査能力の維持向上を図ります。 |
| 部局マネジメント方針 | |
| 職員間の情報共有を進め、職場内の連携・協力体制を強化します。 | |

【課長シート】

| | | | |
|--|---------|--------------------------|----------|
| 組織名 | 監査委員事務局 | 作成者（評価者） | 局長 中西 範子 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 経済性、効率性、有効性の視点による財務監査の実施 | |
| | 平成30年度 | 監査能力の維持向上を図ります。 | |
| 関係する『総合計画』施策 | — | | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>監査委員事務局は、監査委員を補助する組織として、監査委員の指揮のもと公正、公平で実効性のある監査等を実施し、市民の行政に対する信頼を深めることを使命としています。</p> <p>この使命を達成するため次に掲げる方針を具体化していきます。</p> <p>○監査機能の強化に努め、実効性の高い監査を実施します。</p> <p>○専門的知識の習得及び資質の向上を図ります。</p> <p>○監査の結果等の情報を市民に分かりやすく情報発信します。</p> | | | |

| |
|---|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期監査資料へ監査項目を追加し、監査委員が、リスク及び実施した事業の目的の達成や効果等の有効性など多角的な観点から監査が実施できるようサポートしました。また、監査等の結果及び関連する証拠を保存するため監査調書を作成しました。 ・職員全員がそれぞれ違ったテーマの外部研修に参加し、受講後は情報共有を行い、監査に関する専門知識・スキルを高めました。 |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし |

監査委員事務局 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|-----------|----|------|---------|---------|-------------------|-------|--------|-----------|---------|---------|-------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 監査委員活動事業費 | 一般 | - | 7,559 | / | 監査実施計画に基づく財務監査の実施 | | | → 現状維持 | 7,519 | / | 監査実施計画に基づく財務監査の実施 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 100か所 | 100か所 | A | | | | 101か所 | | | |

監査委員事務局 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|------------|----|------|---------|---------|-----------|----|--------|---------|---------|------|----|----|----|----|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | 方針 | | |
| (1) | 三重県都市監査委員会 | | - | | | 総会・研修会の開催 | | - | | | - | | - | | |
| | | | | | | 目標 | 実績 | | | | 評価 | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | | 1回 | 1回 | | | | A | 終了 | | - | - |

平成30年度 選挙管理委員会事務局の「実行宣言」

| | | |
|--------------|----|-------|
| 作成者 (評価者) | 局長 | 内山 次生 |
|--------------|----|-------|

| 基本方針と使命 |
|---|
| <p>選挙管理委員会は、地方自治法により都道府県及び市区町村に設置が義務付けられ、公正な選挙を行うため、市長から独立した機関として置かれるもので、議会において選挙された4人の委員により構成されており、この職務を補助執行するために、事務局が置かれています。</p> <p>国政・地方選挙や海区委員、土地改良区総代選挙などの管理執行及び直接請求、住民投票などの選挙に関係のある事務のほか裁判員候補予定者の選定、また明るい選挙推進協議会などと連携し、公正な選挙や投票率向上に向けた啓発活動を行っています。</p> |

| | |
|----------------|---|
| 『松阪市総合計画』との関わり | — |
|----------------|---|

| 平成29年度の評価 | | | |
|---|---|----|---|
| 評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下) | | | |
| 宣言① | 平成29年7月23日執行予定の松阪市議会議員選挙を適正かつ効率的に執行します。 | 評価 | A |
| <p>【主な理由】</p> <p>選挙管理事務局執行上の軽微な準備ミスをなくすことはできませんでしたが、概ね目標を達成することができました。</p> <p>選挙啓発については、五輪メダリストをポスターやうちわに起用しての作成や、コンビニ店内掲示や店内放送を実施していただく等、新たな取組を行いました。</p> <p>投票率は、多くの要因が考えられるものの、約47%と前回より14.7ポイント（市議補選より5.6ポイント）下回る結果となりました。しかしながら、開票時間については、2時間20分と短縮することができました。</p> | | | |
| 部局マネジメント方針 | | | |
| | 気づき、新しい情報はすぐに共有を図ります。 | 評価 | A |
| | 複数チェック体制を徹底します。 | 評価 | A |



| 平成30年度 選挙管理委員会事務局の「実行宣言」 | | | |
|--------------------------|--|--|--|
| 宣言① | 平成31年4月執行予定の三重県知事選挙・三重県議会議員選挙を適正かつ効率的できるように準備をします。 | | |
| 部局マネジメント方針 | | | |
| | 気づき、新しい情報はすぐに共有を図ります。 | | |
| | 複数チェック体制を徹底します。 | | |

【課長シート】

| | | | |
|---|------------|--|----------|
| 組織名 | 選挙管理委員会事務局 | 作成者（評価者） | 局長 内山 次生 |
| 関係する 「実行宣言」 | 平成29年度 | 平成29年7月23日執行予定の松阪市議会議員選挙を適正かつ効率的に執行します。 | |
| | 平成30年度 | 平成31年4月執行予定の三重県知事選挙・三重県議会議員選挙を適正かつ効率的できるように準備をします。 | |
| 関係する『総合計画』施策 | | — | |
| 課の基本方針と使命 | | | |
| <p>選挙管理委員会は、地方自治法により都道府県及び市区町村に設置が義務付けられ、公正な選挙を行うため、市長から独立した機関として置かれるもので、議会において選挙された4人の委員により構成されており、この職務を補助執行するために、事務局が置かれています。</p> <p>国政・地方選挙や海区委員、土地改良区総代選挙などの管理執行及び直接請求、住民投票などの選挙に関係のある事務のほか裁判員候補予定者の選定、また明るい選挙推進協議会などと連携し、公正な選挙や投票率向上に向けた啓発活動を行っています。</p> | | | |

| |
|--|
| 平成29年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選挙管理事務執行に当たり、軽微な準備ミスはあったものの支障はなく、円滑に事務を執行することができました。 ・ 啓発用のポスターやうちわには、五輪メダリストの土性選手を起用するなど、選挙に関心を持ってもらうように努め、また、新たにコンビニ店内掲示や店内放送を実施していただきました。 ・ 市議会議員選挙は、事故なく適正、円滑な執行に努め、開票時間の短縮を図りました。 （3時間15分 ⇒ 2時間20分） ・ 模擬投票や出前授業で啓発を行い、参加者の意識向上を図りました。 （参加者アンケートで、意識変化があったとの回答率 78.4%） |
| <p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市議会議員選挙の投票率が46.98%であり、目標の60%を大きく下回りました。 （主な要因） <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の市議会議員選挙は、参議院選挙と同日であったこと。 ・ 市議会議員選挙への関心度が低かった。（候補者や政策など） |

選挙管理委員会事務局 事務・事業管理シート（予算事業）

| No. | 事業名 | 会計 | 関係施策 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | | | | |
|-----|------------|----|------|---------|---------|----------------------------|--------------------|--------|-----------|---------|---------|-------------------------|----|----|-----------|
| | | | | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 | 予算額（千円） | 決算額（千円） | 活動指標 | | | 方針 |
| 1 | 選挙管理委員会事業費 | 一般 | - | 3,282 | / | 選挙管理事務執行上のミス件数 | | | → 現状維持 | 4,074 | / | 選挙関係研修会への参加 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | ゼロ | ほぼ達成 | A | | | | 3回 | | | |
| 2 | 選挙啓発事業費 | 一般 | - | 2,091 | / | 模擬投票、出前授業の実施による、参加者の意識変化割合 | | | → 現状維持 | 1,299 | / | 高校・中学校への模擬投票、出前授業の実施校の増 | | | → 現状維持 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | 80% | 78% | A | | | | 4校 | | | |
| 3 | 市議会議員選挙費 | 一般 | - | 111,784 | / | ①投票率の向上 ②開票時間の短縮 | | | *** 定期 | 0 | / | - | | | *** 定期 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | ①60% ②3時間 | ①46.98% ②2時間20分 | C | | | | - | - | - | |
| 4 | 三重県知事選挙費 | 一般 | - | / | / | 期日前投票所の開設数 | | | / | 14,553 | / | 期日前投票所の開設数 | | | *** 定期 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | 9ヶ所 | | | |
| 5 | 三重県議会議員選挙費 | 一般 | - | / | / | 期日前投票所の開設数 | | | / | 9,101 | / | 期日前投票所の開設数 | | | *** 定期 |
| | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | | | | | | | | 9ヶ所 | | | |

平成30年度 部局長の「実行宣言」

発行 平成30年7月発行
発行者 松阪市
〒515-8515 松阪市殿町1340番地1
編集 企画振興部 市政改革課
TEL：0598-53-4363
Email：shisei.div@city.matsusaka.mie.jp